
香川県子どもの生活状況調査
報告書

令和6年8月
香川県

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的.....	1
2 調査の概要.....	1
(1) 子どもとその保護者に対する調査.....	1
(2) 相談・支援機関に対する調査.....	3
第2章 調査結果	4
1 保護者に対する調査.....	4
(1) 回答者の続柄.....	4
(2) 居住市町.....	4
(3) 家族構成と人数.....	5
(4) 親の年齢.....	7
(5) 単身赴任状況.....	7
(6) 親の婚姻状況.....	8
(7) ひとり親の養育費受取状況.....	9
(8) 家庭で使用している言語.....	11
(9) 親の学歴.....	11
(10) 親の雇用形態.....	12
(11) 就労していない理由.....	13
(12) 幼児期の教育（0～2歳）.....	14
(13) 幼児期の教育（3～5歳）.....	15
(14) 子どもだけで夕食を食べる頻度.....	16
(15) 子どものむし歯の状況.....	17
(16) 子どもとの関わり方.....	18
(17) 学校行事への参加.....	22
(18) 学習塾に通っているか.....	24
(19) 学習塾に通っていない理由.....	25
(20) 習い事に通っているか.....	26
(21) 習い事に通っていない理由.....	27
(22) 進学の見通し.....	28
(23) 想定する進学先の理由.....	29
(24) 子育てに関する不安や悩み.....	30
(25) 頼れる人の有無・相手.....	32
(26) 相談できなかった理由.....	35
(27) 現在の暮らしの状況.....	36

(28) 世帯収入.....	37
(29) 滞納・欠乏経験（食料）.....	39
(30) 滞納・欠乏経験（衣服）.....	40
(31) 滞納・欠乏経験（電気・ガス・水道料金）.....	41
(32) 精神状態.....	42
<この1か月間の気持ち>.....	43
(33) 生活の満足度.....	46
(34) 子育てに関する制度の利用状況・満足度.....	47
(35) 必要・重要だと思う施策.....	51
2 子どもに対する調査.....	53
(1) 性別.....	53
(2) 高校の課程（※高校生票のみ）.....	54
(3) 学習環境.....	55
(4) 学習習慣.....	56
(5) 学習成績.....	58
(6) 授業の理解度.....	59
(7) 授業についていけなくなった時期.....	60
(8) 進学希望.....	61
(9) 想定する進学先の理由.....	62
(10) 部活動等の状況.....	63
(11) 部活動等を行わない理由.....	64
(12) 活動時間.....	65
(13) 食事の頻度.....	68
(14) 就寝時間の規則性.....	70
(15) 信頼できる大人・友人.....	71
(16) 生活の満足度.....	72
(17) 満足した生活を送るために必要なもの.....	74
(18) 精神状態.....	75
(19) 支援の利用状況.....	86
(20) 支援の効果.....	90
3 項目間のクロス集計・分析.....	91
保護者と子どもの考えの一致・不一致.....	91
進学したいと思う教育段階.....	92
進学希望の教育段階について「高校まで」と考える理由.....	92
子どもの活動状況と子どもの心理的な状態.....	94
子どもの「勉強を無料で見てくれる場所の利用意向」と 保護者の「子どもが塾に通っていない理由」.....	94
保護者の「心理的な状態」と子どもの「情緒の問題」.....	95

4 相談・支援機関に対する調査結果.....	96
相談状況について.....	96
相談の背景に貧困を伴うと考えられる案件について.....	100
背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯について.....	103
子どもの貧困対策にかかる支援について.....	113
第3章 資料.....	124
1 集計表.....	124
相談・支援機関に対する調査.....	124
2 調査票.....	128
保護者に対する調査.....	128
子どもに対する調査.....	138
相談・支援機関に対する調査.....	156

本書を読む際の留意点

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ②基数となるべき実数(調査数)は、“N=〇〇”として掲載し、各比率はNを100%として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④世帯の年間収入の水準について、「子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行いました。

「等価世帯収入の水準」の算出

- ・年間年収に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする(例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50~100万円」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする。)
- ・上記の値を、保護者票問3で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- ・上記の方法で算出した値(等価世帯収入)の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かを分類する。
 等価世帯収入の中央値：290.69万円
 等価世帯収入の中央値の2分の1：145.34万円

- ⑤「世帯状況別」としてふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか別に集計して、結果を比較した。また、ひとり親世帯のうち、母子世帯に限った集計を行い、その結果も示した。

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査目的

香川県では、こども基本法に基づく県こども計画の策定に向けて、県内の子どもの生活状況などを把握するとともに、支援制度の利用状況や問題点を明らかにし、より効果的な支援のあり方について検討するため、「香川県子どもの生活状況調査」を実施しました。

2 調査の概要

調査は、「県内小学5年生、中学2年生及び高校2年生の児童・生徒並びにその保護者」、「子どもや保護者の相談・支援に携わる機関」に対して実施しました。

(1) 子どもとその保護者に対する調査

ア 調査時期

令和6年2月6日～3月6日

イ 調査方法

住民基本台帳を基に無作為抽出 調査票の郵送配付・郵送回収またはインターネット回答

ウ 調査対象及び回収率

県内の小学5年生、中学2年生及び高校2年生の児童・生徒並びにその保護者

(各学年の児童・生徒数の25%を抽出)

学年	種別	配付数	有効回答数	有効回答率
小学5年生	保護者	2,024	938	46.3%
	児童	2,024	905	44.7%
中学2年生	保護者	2,117	911	43.0%
	生徒	2,117	868	41.0%
高校2年生	保護者	2,077	836	40.3%
	生徒	2,077	783	37.7%
計	保護者	6,218	2,685	43.2%
	児童・生徒	6,218	2,556	41.1%

工 調査内容

【保護者票】

【子ども票】

番号	概要	番号	概要
1	回答者の続柄	1	性別
2	居住市町	2	高校の課程 ※高校生票のみ
3	家族構成と人数	3	学習環境
4	親の年齢	4	学習習慣
5	単身赴任状況	5	学習成績
6	親の婚姻状況	6	授業の理解度
7	ひとり親の養育費受取状況	7	授業についていけなくなった時期
8	家庭で使用している言語	8	進学希望
9	親の学歴	9	想定する進学先の理由
10	親の雇用形態	10	部活動等の状況
11	就労していない理由	11	部活動等を行わない理由
12	幼児期の教育（0～2歳）	12	活動時間
13	幼児期の教育（3～5歳）	13	食事の頻度
14	子どもだけで夕食を食べる頻度	14	就寝時間の規則性
15	子どものむし歯の状況	15	信頼できる大人・友人
16	子どもとの関わり方	16	生活の満足度
17	学校行事への参加	17	満足した生活を送るために必要なもの
18	学習塾に通っているか	18	精神状態
19	学習塾に通っていない理由	19	支援の利用状況
20	習い事に通っているか	20	支援の効果
21	習い事に通っていない理由		
22	進学の見通し		
23	想定する進学先の理由		
24	子育てに関する不安や悩み		
25	頼れる人の有無・相手		
26	相談できなかった理由		
27	現在の暮らしの状況		
28	世帯収入		
29	滞納・欠乏経験（食料）		
30	滞納・欠乏経験（衣服）		
31	滞納・欠乏経験 （電気・ガス・水道料金）		
32	精神状態		
33	生活の満足度		
34	子育てに関する制度の利用状況・満足度		
35	必要・重要だと思う施策		

(2) 相談・支援機関に対する調査

ア 調査時期

令和6年2月6日～2月27日

イ 調査方法

下記対象機関の中から抽出 調査票の郵送配付・郵送回収またはメール回答

ウ 調査対象及び回収率

子どもや保護者の相談・支援に携わる機関

機関名	配付数	有効回答数	有効回答率
保育所・幼稚園	25	19	76.0%
スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	25	19	76.0%
教育支援機関	1	1	100.0%
高等学校（定時制・通信制）	4	4	100.0%
母子・父子自立支援員	11	11	100.0%
福祉事務所	11	11	100.0%
児童相談所	2	2	100.0%
児童福祉施設	4	4	100.0%
民生委員・児童委員	17	12	70.6%
社会福祉協議会	17	16	94.1%
NPO 法人	3	2	66.7%
その他（機関名について回答がなく不明なもの）	—	3	—
計	120	104	86.7%

エ 調査内容

- I 相談状況について
- II 相談の背景に貧困を伴うと考えられる案件について
- III 背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯について
- IV 子どもの貧困対策にかかる支援について

第2章 調査結果

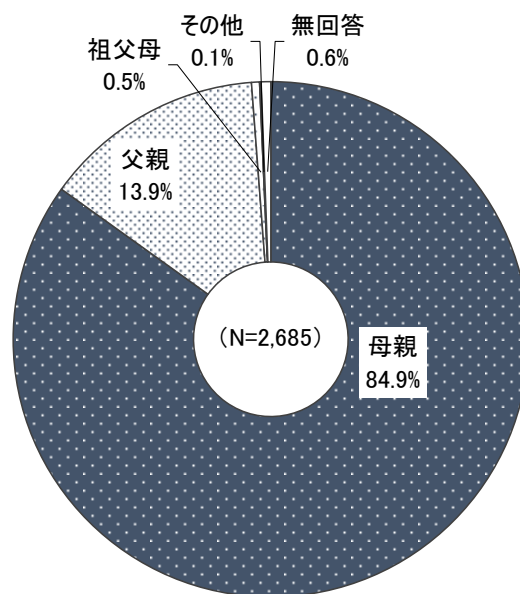
第2章 調査結果

1 保護者に対する調査

(1) 回答者の続柄

お子さんからみた続柄について、「母親」(84.9%)、「父親」(13.9%)、「祖父母」(0.5%)、「その他」(0.1%)となっています。

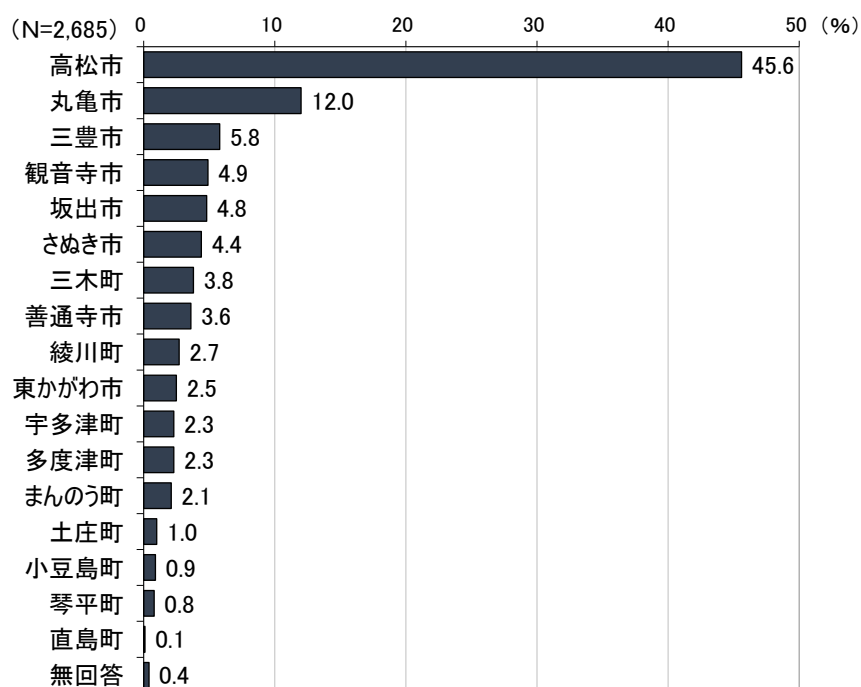
図表 お子さんからみた続柄



(2) 居住市町

お住まいの市町について、「高松市」(45.6%)が最も多く、次いで「丸亀市」(12.0%)、「三豊市」(5.8%)、「観音寺市」(4.9%)などとなっています。

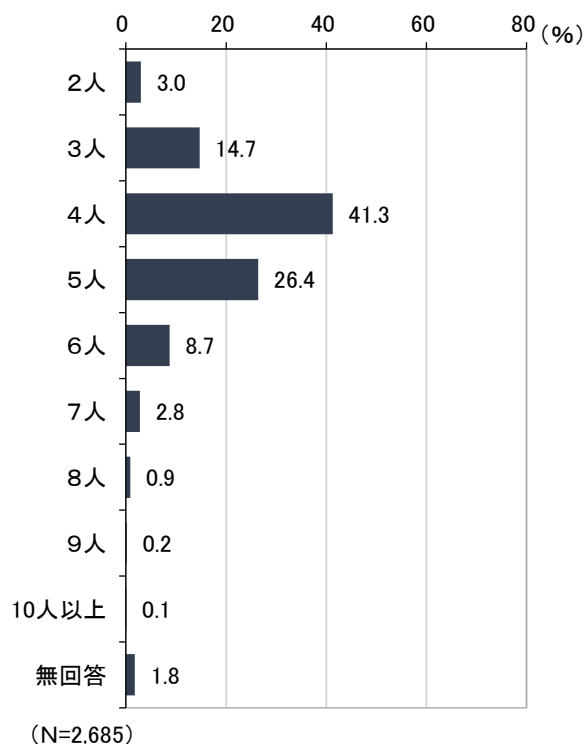
図表 お住まいの市町



（3）家族構成と人数

家族構成として最も多いのは「4人」（41.3%）となっています。

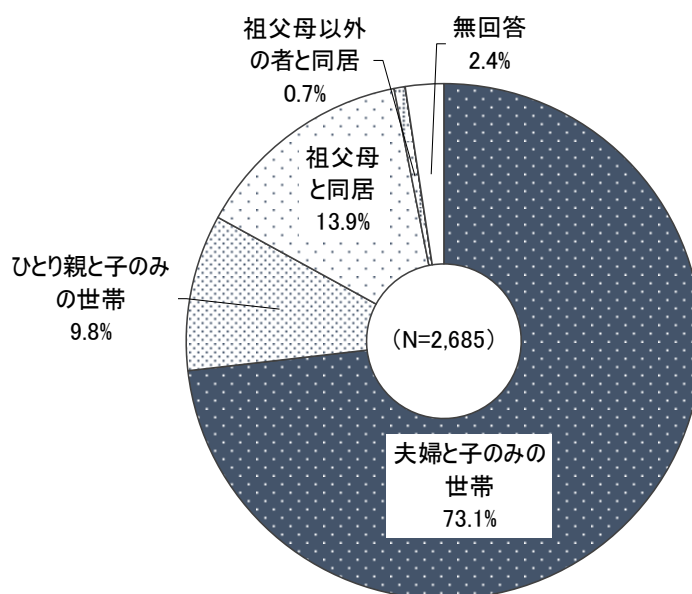
図表 世帯人数（全体）



家族構成として最も多いのは「夫婦と子のみの世帯」（73.1%）となっています。

世帯状況別にみると、「夫婦と子のみの世帯」は、ふたり親世帯で 86.9%、「ひとり親と子のみの世帯」は母子世帯で 75.3%、父子世帯で 53.8%となっています。

図表 家族構成と人数



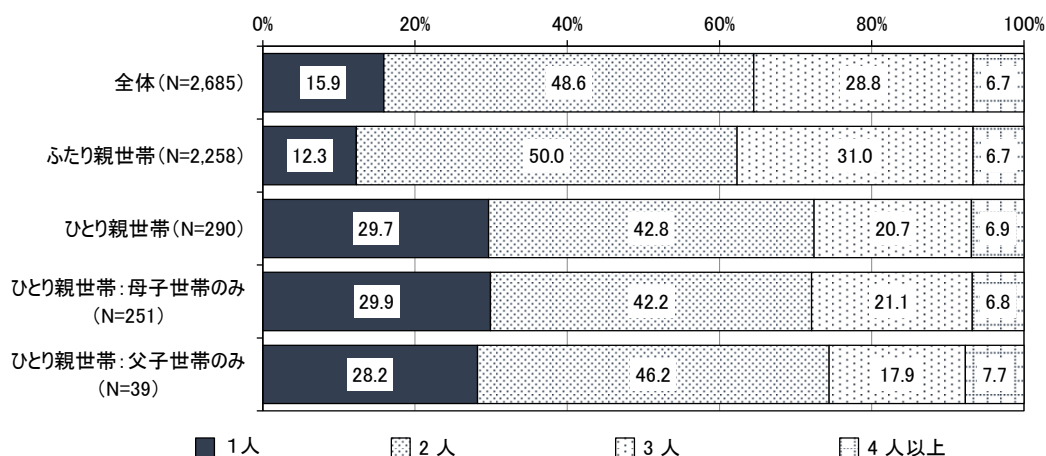
図表 家族構成と人数（数表）

			(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	夫婦と子のみの世帯	ひとり親と子のみの世帯	祖父母と同居	祖父母以外の者と同居	不明・無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=		1位					
		2位					
今回(R6)	全体	2,685 100.0	1,963 73.1	264 9.8	374 13.9	19 0.7	65 2.4
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258 100.0	1,963 86.9	-	284 12.6	11 0.5	-
	ひとり親世帯	290 100.0	-	210 72.4	74 25.5	6 2.1	-
	ひとり親世帯:母子世帯のみ(N=251)	251 100.0	-	189 75.3	58 23.1	4 1.6	-
	ひとり親世帯:父子世帯のみ(N=39)	39 100.0	-	21 53.8	16 41.0	2 5.1	-
	不明・無回答	137 100.0	-	54 39.4	16 11.7	2 1.5	65 47.4

子どもの人数で最も多いのは「2人」（48.6%）となっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「2人」が最も多くなっています。

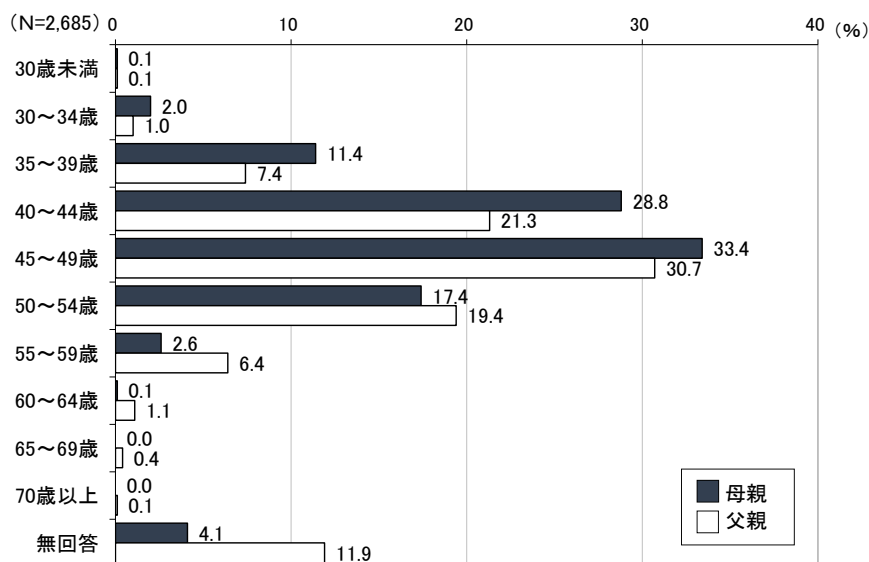
図表 子ども人数



（4）親の年齢

親の年齢について、母親では「45～49歳」(33.4%)が最も多く、次いで「40～44歳」(28.8%)、「50～54歳」(17.4%)となっており、父親では「45～49歳」(30.7%)が最も多く、次いで「40～44歳」(21.3%)、「50～54歳」(19.4%)となっています。

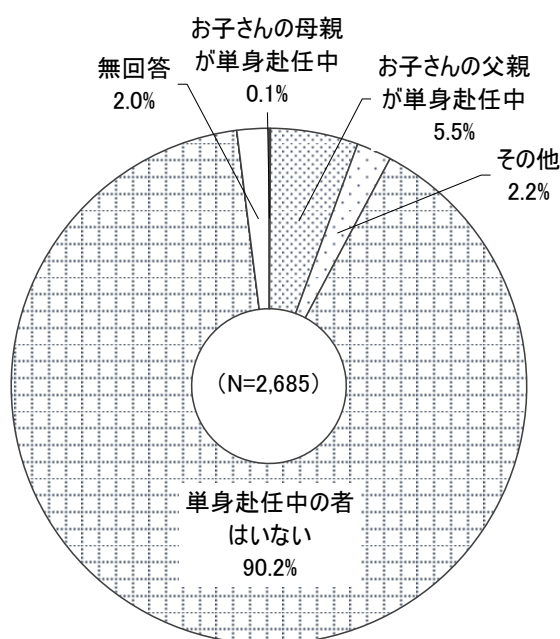
図表 親の年齢



（5）単身赴任状況

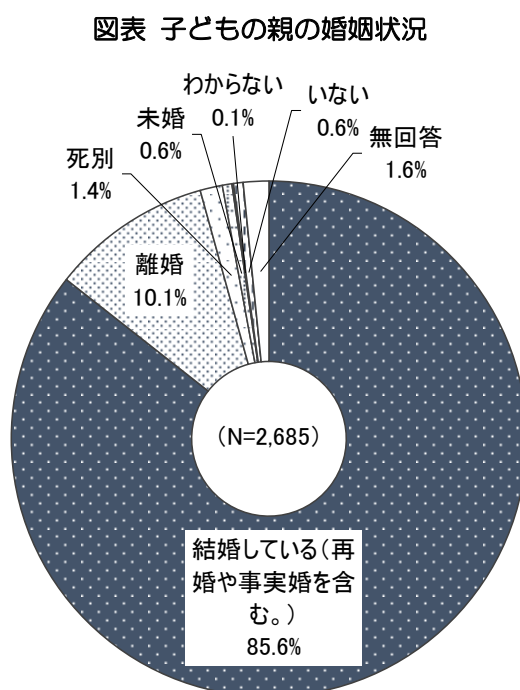
現在単身赴任中のご家族がいるかについて、「単身赴任中のものはいない」(90.2%)が最も多く、次いで「お子さんの父親が単身赴任中」(5.5%)、「その他」(2.2%)となっています。

図表 単身赴任状況



（6）親の婚姻状況

婚姻状況について、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」（85.6%）が最も多く、次いで「離婚」（10.1%）、「死別」（1.4%）、「未婚」（0.6%）となっています。



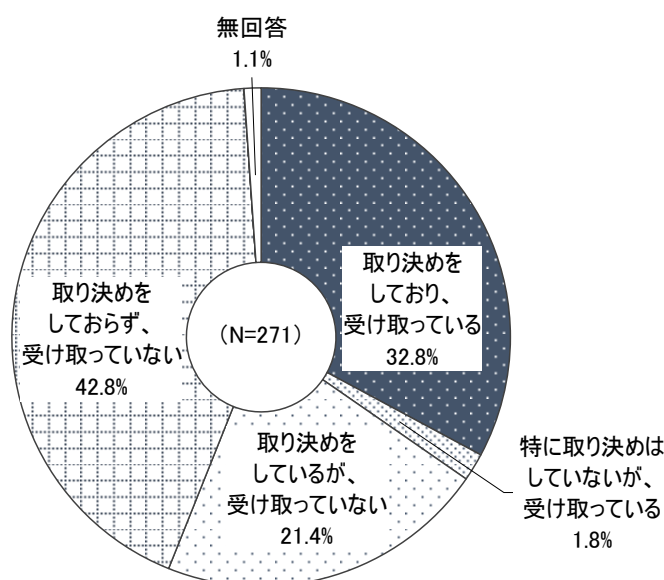
(7) ひとり親の養育費受取状況

離婚の状況について「離婚」と回答した方に関し、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしているかについて、「取り決めをしておらず、受け取っていない」(42.8%)が最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」(32.8%)、「取り決めをしているが、受け取っていない」(21.4%)、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」(1.8%)となっています。「受け取っていない」の回答は、合わせると64.2%となっています。

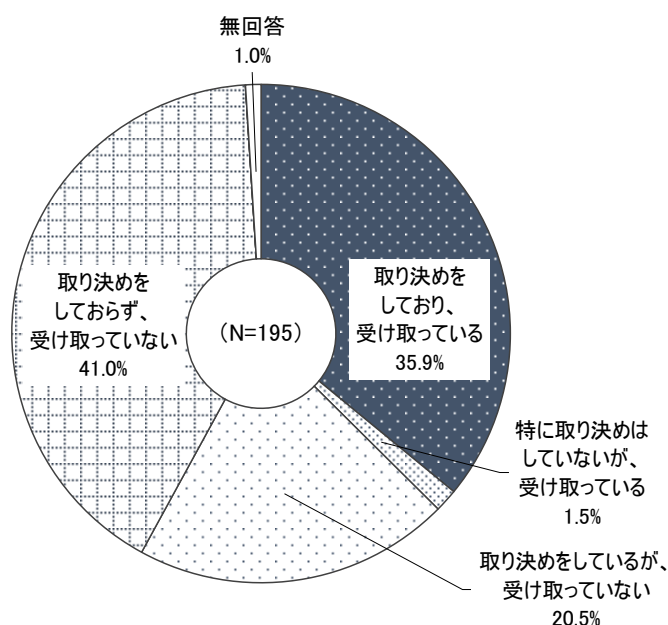
「母子世帯」のみで集計すると、「取り決めをしているが、受け取っていない」(20.5%)、「取り決めをしておらず、受け取っていない」(41.0%)となっており、合わせた割合は61.5%となっています。

父子世帯のみで集計すると、「取り決めをしているが、受け取っていない」(20.0%)となっています。

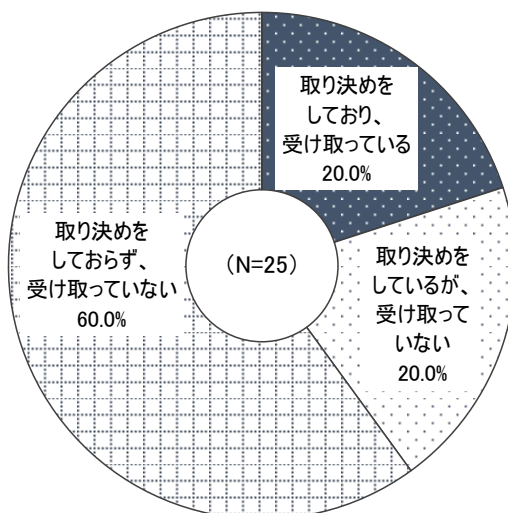
図表 ひとり親の養育費受取状況（全体）



図表 ひとり親の養育費受取状況（「母子世帯」のみ）



図表 ひとり親の養育費受取状況（「父子世帯」のみ）



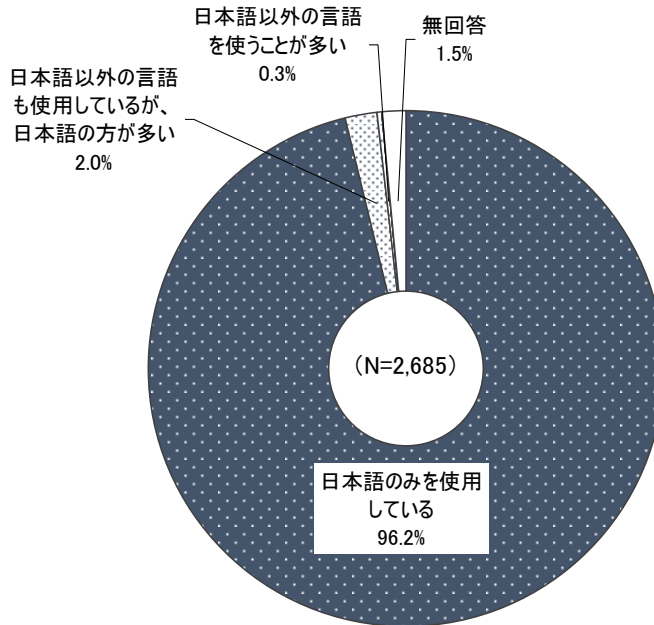
図表 ひとり親の養育費受取状況（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	
		受取り 取り決 めを してい る	受し けて 取り 取り 決 め を してい ない が、 は	受し 取り 決 め を い ない	受し 取り 決 め を い ない		
	全体	271	32.8	1.8	21.4	42.8	1.1
	等価世帯 収入の 水準別						
	中央値以上	37	37.8	5.4	21.6	35.1	-
	中央値の2分の1以上中央値未満	109	32.1	0.9	20.2	45.9	0.9
	中央値の2分の1未満	111	34.2	1.8	24.3	39.6	-
	世帯 状況別						
	ひとり親世帯	220	34.1	1.4	20.5	43.2	0.9
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	195	35.9	1.5	20.5	41.0	1.0
	ひとり親世帯:父子世帯のみ	25	20.0	-	20.0	60.0	-

（8）家庭で使用している言語

家庭での日本語言語以外の使用状況について、「日本語のみを使用している」（96.2%）が最も多く、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」（2.0%）、「日本語以外の言語を使うことが多い」（0.3%）となっています。

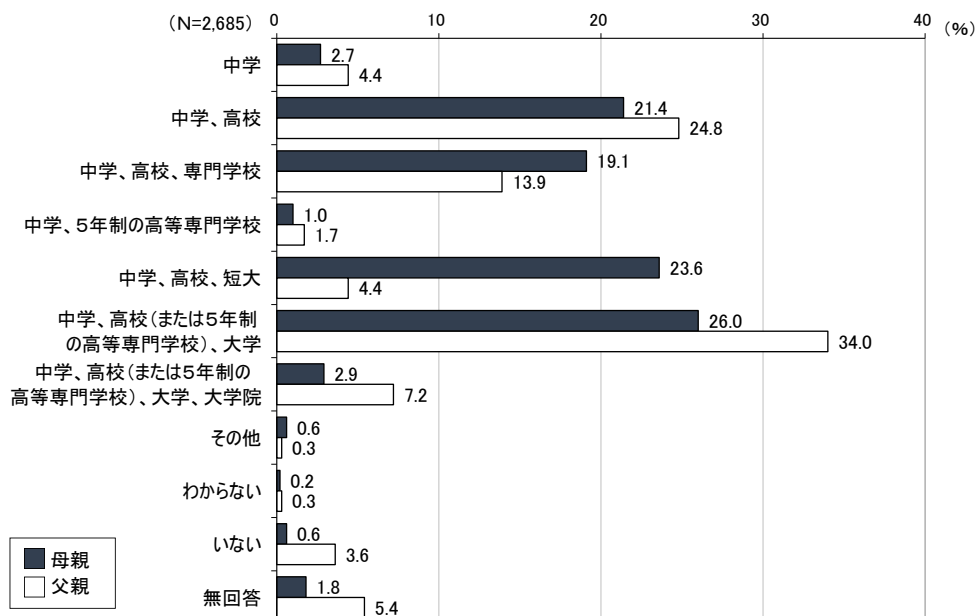
図表 家庭で使用している言語



（9）親の学歴

親の学歴（最終）について、母親・父親ともに「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が26.0%、34.0%とそれぞれ最も多く、次いで母親では「中学、高校、短大」（23.6%）、「中学、高校」（21.4%）、父親では「中学、高校」（24.8%）、「中学、高校、専門学校」（13.9%）と続いています。

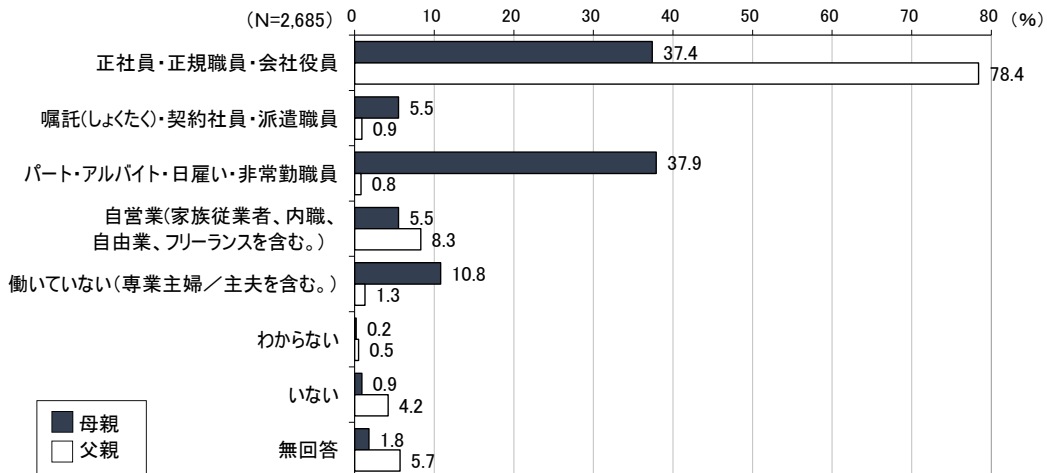
図表 親の学歴



(10) 親の雇用形態

母親の就労状況について、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」(37.9%)が最も多く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」(37.4%)となっており、父親の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」(78.4%)が最も多く、次いで「自営業(家庭従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」(8.3%)となっています。

図表 親の雇用形態



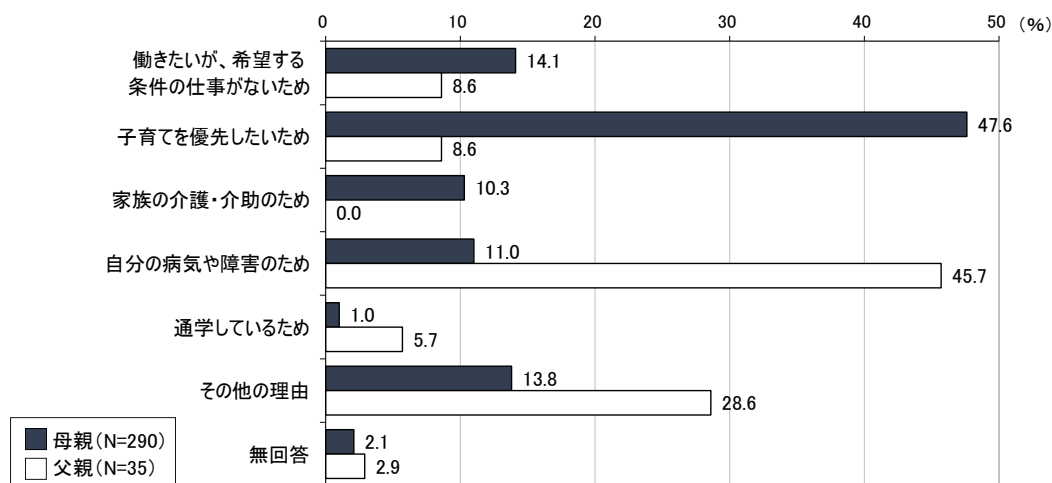
図表 親の雇用形態 (数表)

調査数	(1) 正社員・ 正規職員・ 会社役員	(2) 嘱託(しよたく)・ 派遣職員・ 契約社員	(3) パート・ 非常勤職員・ アルバイト・ 日雇い	(4) 自営業(家族従業者、 フリーランスを含む。)	(5) 自営業(家庭従業者、 内職、 フリーランスを含む。)	(6) 働いていない(専業主婦/ 主夫を含む。)	(7) わからない	(8) いない	(9) 無回答
全体	2,685	37.4	5.5	37.9	5.5	10.8	0.2	0.9	1.8
【母親】 等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,357	47.2	4.8	32.4	4.3	9.5	0.1	1.3
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	28.7	6.0	44.1	5.6	11.8	-	1.8
	中央値の2分の1未満	257	22.6	7.4	45.1	10.5	11.3	1.2	1.6
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,258	35.8	5.4	40.3	5.5	11.9	0.0	1.1
	ひとり親世帯	290	51.0	5.5	24.1	4.5	3.8	0.7	4.5
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	251	57.0	6.0	26.7	4.8	4.4	0.4	0.8
【父親】	全体	2,685	78.4	0.9	0.8	8.3	1.3	0.5	4.2
	等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,357	90.3	0.7	0.4	5.3	0.4	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	907	75.7	1.3	1.3	10.1	0.9	0.6
		中央値の2分の1未満	257	27.6	0.4	1.2	15.6	7.4	2.7
	世帯 状況別	ふたり親世帯	2,258	86.8	0.9	0.9	9.1	1.2	0.0
		ひとり親世帯	290	22.4	0.7	0.3	2.8	1.0	2.8
ひとり親世帯: 父子世帯のみ		39	82.1	5.1	2.6	2.6	2.6	-	

（11）就労していない理由

働いていない理由について、母親では「子育てを優先したいため」（47.6%）が最も多く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」（14.1%）、「その他の理由」（13.8%）となっており、父親では「自分の病気や障害のため」（45.7%）が最も多く、次いで「その他の理由」（28.6%）、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「子育てを優先したいため」（同率8.6%）となっています。

図表 就労していない理由



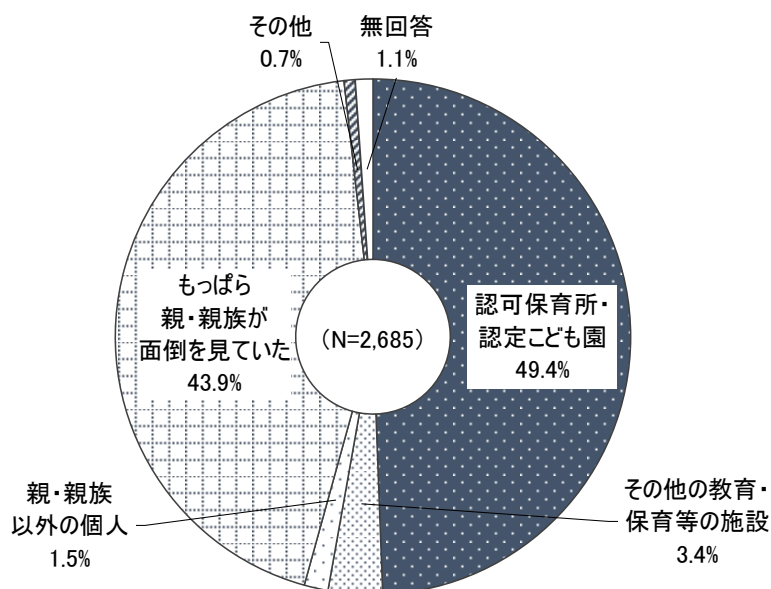
図表 就労していない理由（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	無回答	
			働きたいが、希望する条件の仕事がないため	子育てを優先したいため	家族の介護・介助のため	自分の病気や障害のため	通学しているため	その他の理由		
【母親】	全体	290	14.1	47.6	10.3	11.0	1.0	13.8	2.1	
	等価世帯収入の水準別	中央値以上	129	10.9	55.8	9.3	6.2	1.6	14.0	2.3
		中央値の2分の1以上中央値未満	107	15.0	43.0	12.1	14.0	0.9	13.1	1.9
		中央値の2分の1未満	29	17.2	31.0	10.3	24.1	-	17.2	-
	世帯状況別	ふたり親世帯	269	14.1	47.2	10.8	10.0	1.1	14.5	2.2
		ひとり親世帯	11	-	36.4	9.1	45.5	-	9.1	-
ひとり親世帯：母子世帯のみ		11	-	36.4	9.1	45.5	-	9.1	-	
【父親】	全体	35	8.6	8.6	-	45.7	5.7	28.6	2.9	
	等価世帯収入の水準別	中央値以上	6	-	33.3	-	16.7	-	50.0	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	8	-	-	-	37.5	-	50.0	12.5
		中央値の2分の1未満	19	15.8	5.3	-	52.6	10.5	15.8	-
	世帯状況別	ふたり親世帯	28	7.1	7.1	-	42.9	7.1	32.1	3.6
		ひとり親世帯	3	-	-	-	66.7	-	33.3	-
ひとり親世帯：父子世帯のみ		1	-	-	-	100.0	-	-	-	

(12) 幼児期の教育（0～2歳）

0～2歳に最も通っていた教育・保育施設について、「認可保育所・認定こども園」（49.4%）が最も多く、次いで「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」（43.9%）、「その他の教育・保育等の施設」（3.4%）となっています。

図表 幼児期の教育（0～2歳）



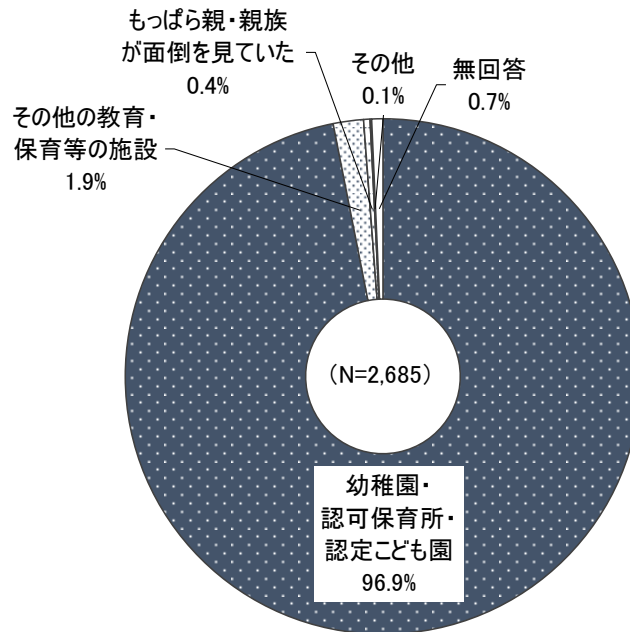
図表 幼児期の教育（0～2歳）（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	
		認可保育所・認定こども園	その他の施設・保育所	親・親族以外の個人	もっぱら親・親族が面倒を見ていた	その他		
全体	2,685	49.4	3.4	1.5	43.9	0.7	1.1	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,357	50.1	3.7	1.3	43.0	0.8	1.1
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	48.6	2.9	1.5	45.5	0.4	1.0
	中央値の2分の1未満	257	49.4	2.7	3.1	42.4	0.8	1.6
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,258	47.7	3.4	1.4	45.8	0.7	1.0
	ひとり親世帯	290	58.3	4.5	2.4	33.4	0.7	0.7
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	57.4	4.4	2.8	33.9	0.8	0.8

(13) 幼児期の教育（3～5歳）

3～5歳に最も通っていた教育・保育施設について、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」（96.9%）が最も多く、次いで「その他の教育・保育等の施設」（1.9%）、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」（0.4%）となっています。

図表 幼児期の教育（3～5歳）



図表 幼児期の教育（3～5歳）（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答
		所 幼 ・ 稚 園 ・ 認 定 ・ こ ど も 保 育 園	保 そ 育 の 等 他 の の 施 教 育 ・ 設 施	以 親 外 ・ の 親 個 族 人	面 倒 を 親 族 が 見 て い た	も っ ぱ ら 親 族 が 見 て い た	
全体	2,685	96.9	1.9	-	0.4	0.1	0.7
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,357	97.7	1.5	-	0.1	0.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	96.6	2.1	-	0.4	0.7
	中央値の2分の1未満	257	93.4	3.5	-	1.9	1.2
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,258	97.2	1.7	-	0.4	0.6
	ひとり親世帯	290	95.9	3.4	-	-	0.7
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	95.6	3.6	-	-	0.8

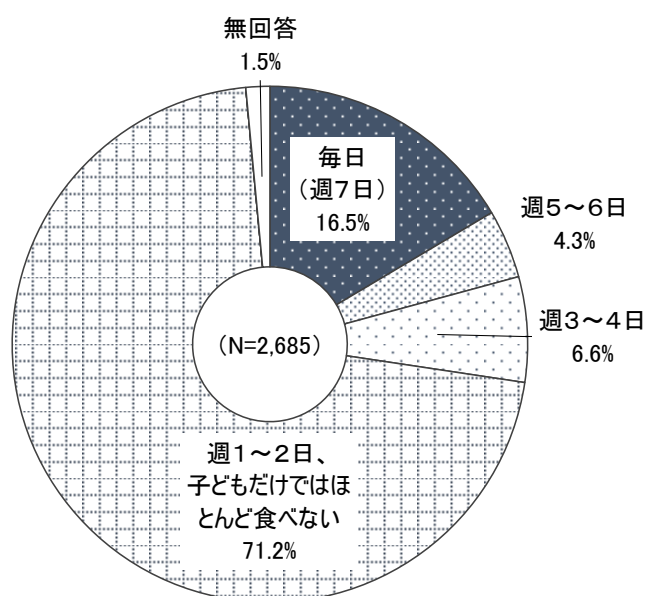
（14）子どもだけで夕食を食べる頻度

子どもだけで夕食を食べる頻度について、「週1～2日、子どもだけではほとんど食べない」（71.2%）が最も多く、次いで「毎日（週7日）」（16.5%）、「週3～4日」（6.6%）となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「週1～2日、子どもだけではほとんど食べない」が最も多くなっています。中央値の2分の1未満では「毎日（週7日）」が28.4%と他より多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「週1～2日、子どもだけではほとんど食べない」が最も多くなっています。ひとり親世帯、「母子世帯」のみでは「毎日（週7日）」が24.1%、23.9%と他より多くなっています。

図表 子どもだけで夕食を食べる頻度



図表 子どもだけで夕食を食べる頻度（数表）

	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答
		毎日（週7日）	週5～6日	週3～4日	週1～2日、子どもだけではほとんど食べない	
全体	2,685	16.5	4.3	6.6	71.2	1.5
等価世帯収入の水準別	中央値以上	13.3	4.1	6.6	74.5	1.4
	中央値の2分の1以上中央値未満	16.9	4.4	6.7	70.9	1.1
	中央値の2分の1未満	28.4	4.3	6.2	58.8	2.3
世帯状況別	ふたり親世帯	14.7	3.9	6.3	73.6	1.5
	ひとり親世帯	24.1	5.5	6.9	62.1	1.4
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	23.9	5.2	7.2	62.2	1.6

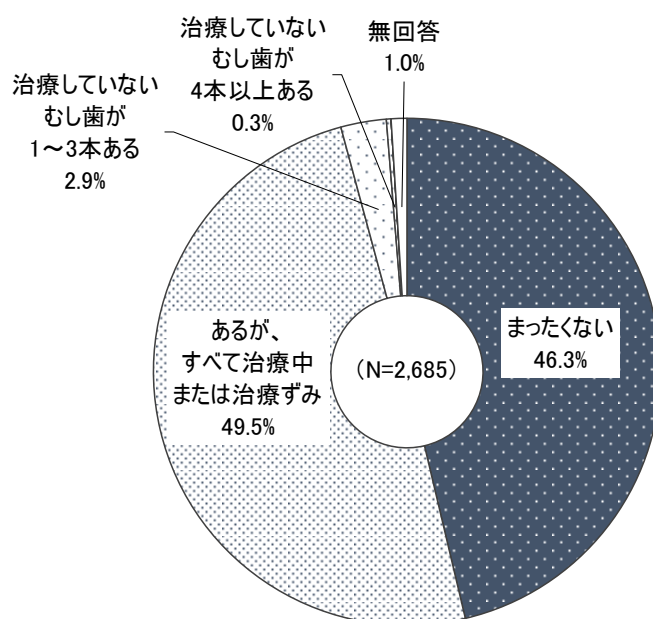
（15）子どものむし歯の状況

子どものむし歯の状況について、「あるが、すべて治療中または治療済み」（49.5%）が最も多く、次いで「まったくない」（46.3%）、「治療していないむし歯が1～3本ある」（2.9%）、「治療していないむし歯が4本以上ある」（0.3%）となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「あるが、すべて治療中または治療済み」が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「あるが、すべて治療中または治療済み」が最も多くなっています。

図表 子どものむし歯の状況



図表 子どものむし歯の状況（数表）

	調査数	(1) (2) (3) (4)				無回答	
		ま っ た く な い	ま す あ る が 、 ま た べ る 治 療 中 ま た は 治 療 済 み	1 む し 歯 が あ る	4 む し 歯 が あ る		
全体	2,685	46.3	49.5	2.9	0.3	1.0	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,357	47.4	49.1	2.7	0.1	0.7
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	44.1	52.1	2.8	0.2	0.8
	中央値の2分の1未満	257	45.5	45.9	5.1	1.6	1.9
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,258	47.4	49.0	2.6	0.1	0.9
	ひとり親世帯	290	38.6	54.1	5.9	0.7	0.7
	ひとり親世帯・母子世帯のみ	251	39.8	53.8	4.8	0.8	0.8

（16）子どもとの関わり方

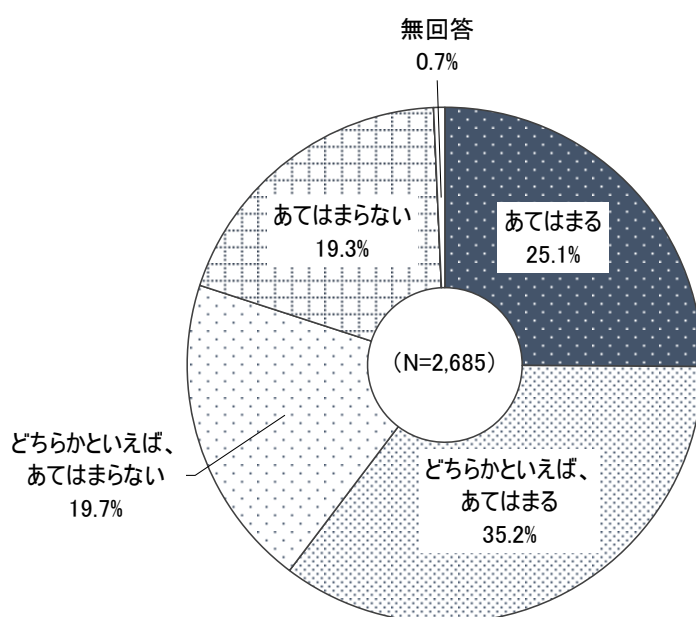
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、「あてはまる」（25.1%）、「どちらかといえば、あてはまる」（35.2%）となっており、合わせた【あてはまる】の割合は60.3%となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、【あてはまる】の割合は、中央値以上の世帯では62.2%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では57.5%、中央値の2分の1未満では59.5%となっています。

世帯状況別にみると、【あてはまる】の割合は、ふたり親世帯では62.3%、ひとり親世帯では49.3%、「母子世帯」のみでは51.8%となっています。

図表 テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている



図表 テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(1)+(2)	(3)+(4)	
		あてはまる	あてはまる どちらかといえば、	あてはまる どちらかといえば、	あてはまらない		【あてはまる】	【あてはまらない】	
	2,685	25.1	35.2	19.7	19.3	0.7	60.3	39.0	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	27.0	35.2	19.0	18.3	0.6	62.2	37.3
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	22.2	35.3	21.5	20.5	0.6	57.5	42.0
	中央値の2分の1未満	257	23.3	36.2	17.9	21.8	0.8	59.5	39.7
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	26.1	36.2	19.2	17.9	0.6	62.3	37.1
	ひとり親世帯	290	19.3	30.0	22.8	27.6	0.3	49.3	50.4
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	20.3	31.5	22.3	25.5	0.4	51.8	47.8

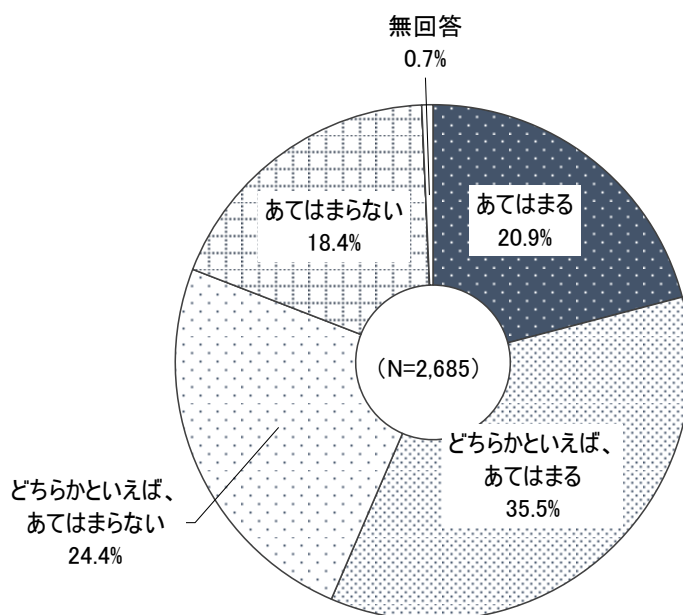
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

お子さんに本や新聞を読むように勧めているについて、「あてはまる」(20.9%)、「どちらかといえば、あてはまる」(35.5%)となっており、合わせた【あてはまる】の割合は 56.4%となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、【あてはまる】の割合は、中央値以上の世帯では 62.1%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では 50.5%、中央値の2分の1未満では 49.4%となっています。

世帯状況別にみると、【あてはまる】の割合は、ふたり親世帯では 58.1%、ひとり親世帯では 49.3%、「母子世帯」のみでは 52.2%となっています。

図表 お子さんに本や新聞を読むように勧めている



図表 お子さんに本や新聞を読むように勧めている（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(1)+(2)	(3)+(4)	
		あてはまる	あてはまる どちらかといえば、	あてはまる どちらかといえば、	あてはまらない		【あてはまる】	【あてはまらない】	
	2,685	20.9	35.5	24.4	18.4	0.7	56.4	42.8	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,357	25.0	37.1	22.8	14.4	0.7	62.1	37.2
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	15.9	34.6	26.9	22.2	0.4	50.5	49.1
	中央値の2分の1未満	257	17.5	31.9	24.5	24.9	1.2	49.4	49.4
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,258	22.1	36.0	24.8	16.6	0.5	58.1	41.4
	ひとり親世帯	290	15.2	34.1	22.8	27.2	0.7	49.3	50.0
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	15.5	36.7	22.3	24.7	0.8	52.2	47.0

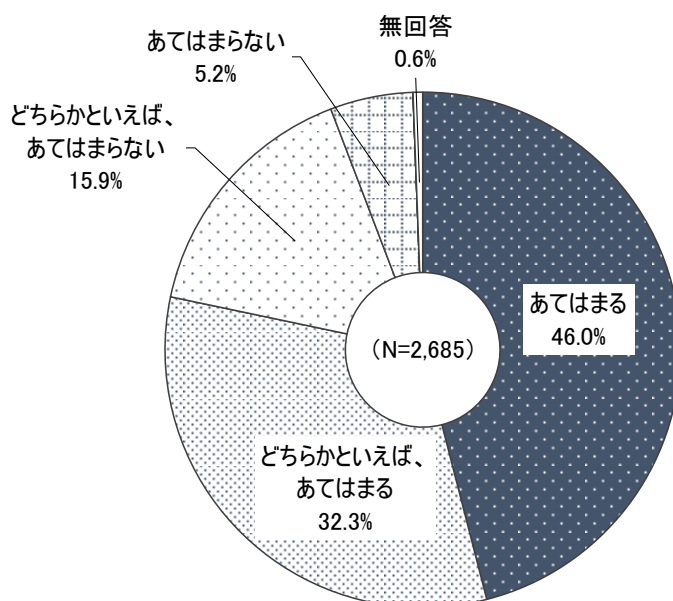
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていたについて、「あてはまる」(46.0%)、「どちらかといえば、あてはまる」(32.3%)となっており、合わせた【あてはまる】の割合は 78.3%となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、【あてはまる】の割合は、中央値以上の世帯では 81.0%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では 76.4%、中央値の2分の1未満では 70.4%となっています。

世帯状況別にみると、【あてはまる】の割合は、ふたり親世帯では 79.7%、ひとり親世帯では 73.8%、「母子世帯」のみでは 74.5%となっています。

図表 お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた



図表 お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(1)+(2)	(3)+(4)	
		あてはまる	あてはまるか といえ、	あてはまら ない	あてはまら ない		【あてはまる】	【あてはまら ない】	
全体	2,685	46.0	32.3	15.9	5.2	0.6	78.3	21.1	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,357	50.4	30.6	14.7	3.8	0.6	81.0	18.5
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	41.7	34.7	16.8	6.4	0.4	76.4	23.2
	中央値の2分の1未満	257	34.2	36.2	18.7	9.7	1.2	70.4	28.4
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,258	46.8	32.9	15.3	4.4	0.6	79.7	19.7
	ひとり親世帯	290	44.1	29.7	18.3	7.9	-	73.8	26.2
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	45.0	29.5	19.5	6.0	-	74.5	25.5

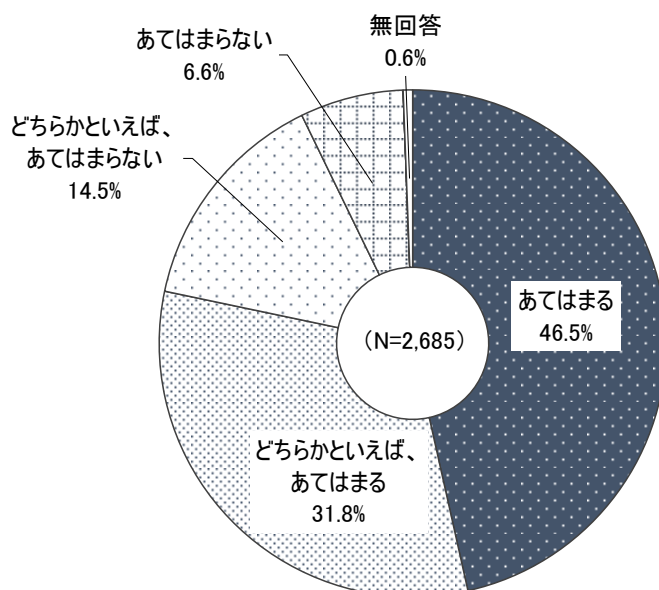
d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれるについて、「あてはまる」（46.5%）、「どちらかといえば、あてはまる」（31.8%）となっており、合わせた【あてはまる】の割合は 78.3% となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、【あてはまる】の割合は、中央値以上の世帯では 80.9%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では 76.1%、中央値の2分の1未満では 73.5%となっています。

世帯状況別にみると、【あてはまる】の割合は、ふたり親世帯では 79.5%、ひとり親世帯では 70.3%、「母子世帯」のみでは 72.1%となっています。

図表 お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる



図表 お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(1)+(2)	(3)+(4)	
		あてはまる	あてはまるか あるいは、	あてはまらない か、	あてはまらない		【あてはまる】	【あてはまらない】	
全体	2,685	46.5	31.8	14.5	6.6	0.6	78.3	21.1	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,357	48.3	32.6	12.8	5.7	0.5	80.9	18.5
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	44.9	31.2	16.5	6.9	0.4	76.1	23.4
	中央値の2分の1未満	257	41.2	32.3	16.3	8.9	1.2	73.5	25.2
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,258	47.3	32.2	13.6	6.4	0.5	79.5	20.0
	ひとり親世帯	290	37.2	33.1	22.4	7.2	-	70.3	29.6
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	38.6	33.5	21.1	6.8	-	72.1	27.9

（17）学校行事への参加

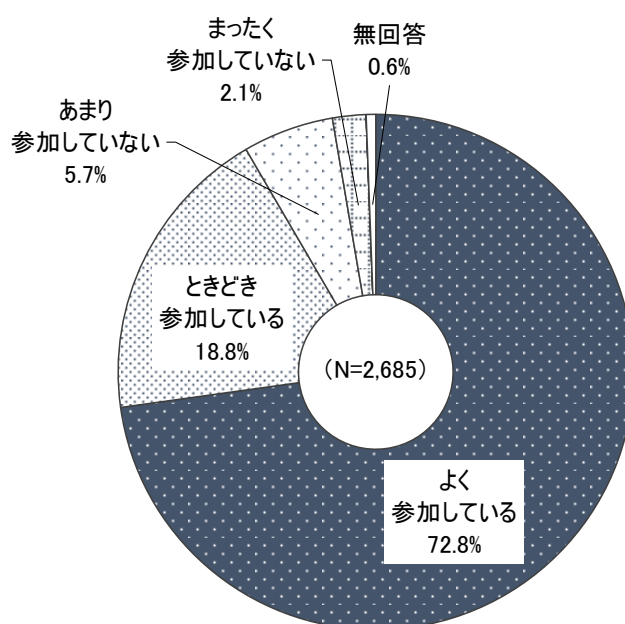
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加

授業参観や運動会などの学校行事へ参加しているかについて、「よく参加している」（72.8%）、「ときどき参加している」（18.8%）となっており、合わせた【参加している】の割合は 91.6% となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、【参加している】の割合は、中央値以上の世帯では 92.3%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では 91.7%、中央値の2分の1未満では 89.9%となっています。

世帯状況別にみると、【参加している】の割合は、ふたり親世帯では 92.2%、ひとり親世帯では 87.6%、「母子世帯」のみでは 88.4%となっています。

図表 授業参観や運動会などの学校行事への参加



図表 授業参観や運動会などの学校行事への参加（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(1)+(2)	(3)+(4)	
		よく参加している	参ときどき参加している	参あまり参加していない	参まったく参加していない		【参加している】	【参加していない】	
	2,685	72.8	18.8	5.7	2.1	0.6	91.6	7.8	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	74.1	18.2	5.4	1.7	0.6	92.3	7.1
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	71.7	20.0	5.7	2.2	0.4	91.7	7.9
	中央値の2分の1未満	257	68.9	21.0	5.4	3.5	1.2	89.9	8.9
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	74.1	18.1	5.4	1.9	0.5	92.2	7.3
	ひとり親世帯	290	64.5	23.1	8.3	3.4	0.7	87.6	11.7
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	251	65.7	22.7	8.0	3.2	0.4	88.4	11.2

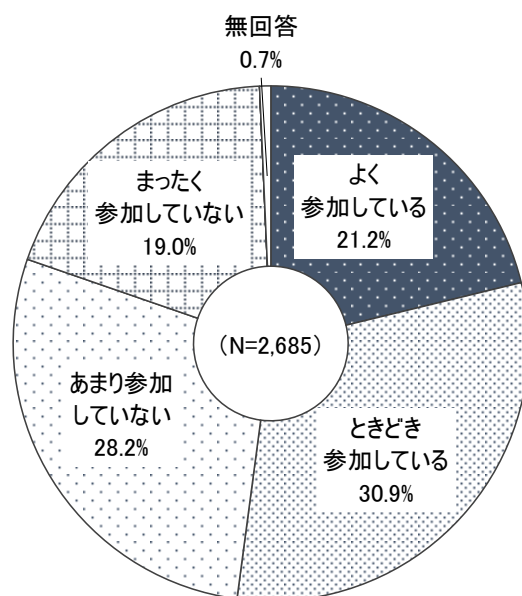
b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへ参加しているかについて、「よく参加している」(21.2%)、「ときどき参加している」(30.9%)となっており、合わせた【参加している】の割合は52.1%となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、【参加している】の割合は、中央値以上の世帯では54.6%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯では52.2%、中央値の2分の1未満では40.8%となっています。

世帯状況別にみると、【参加している】の割合は、ふたり親世帯では54.2%、ひとり親世帯では43.8%、「母子世帯」のみでは42.6%となっています。

図表 PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加



図表 PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加（数表）

調査項目	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(1)+(2)	(3)+(4)	
		よく参加している	参加している	あまり参加していない	まったく参加していない		【参加している】	【参加していない】	
全体	2,685	21.2	30.9	28.2	19.0	0.7	52.1	47.2	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	22.0	32.6	28.1	16.7	0.7	54.6	44.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	21.4	30.8	26.8	20.6	0.4	52.2	47.4
	中央値の2分の1未満	257	17.5	23.3	31.9	25.7	1.6	40.8	57.6
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	21.6	32.6	27.4	17.9	0.6	54.2	45.3
	ひとり親世帯	290	19.3	24.5	31.4	23.8	1.0	43.8	55.2
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	17.5	25.1	33.1	23.9	0.4	42.6	57.0

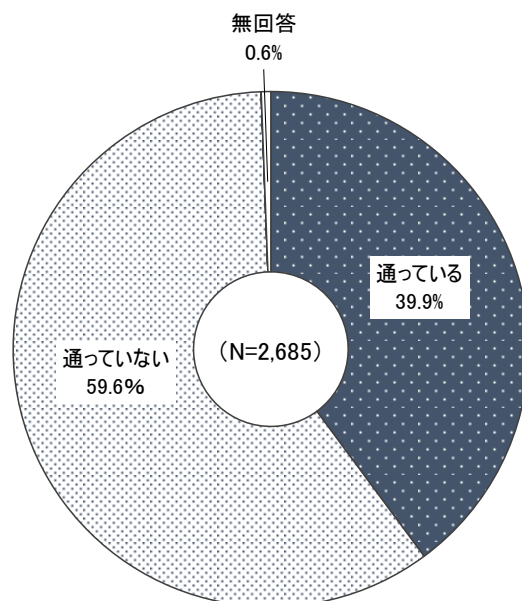
（18）学習塾に通っているか

子どもが学習塾に通っているかについて、「通っている」（39.9%）、「通っていない」（59.6%）となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「通っていない」と回答した方の割合が5割以上と多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「通っていない」と回答した方の割合が5割以上と多くなっています。

図表 学習塾に通っているか



図表 学習塾に通っているか（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数	(1)	(2)	無回答
			通っている	通っていない	
全体		2,685	39.9	59.6	0.6
学年別	小学5年生	938	33.8	66.2	-
	中学2年生	910	52.7	46.5	0.8
	高校2年生	833	32.5	66.4	1.1
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	46.8	52.6	0.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	32.7	66.9	0.3
	中央値の2分の1未満	257	25.7	73.5	0.8
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	41.3	58.2	0.5
	ひとり親世帯	290	33.1	66.6	0.3
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	33.5	66.1	0.4

（19）学習塾に通っていない理由

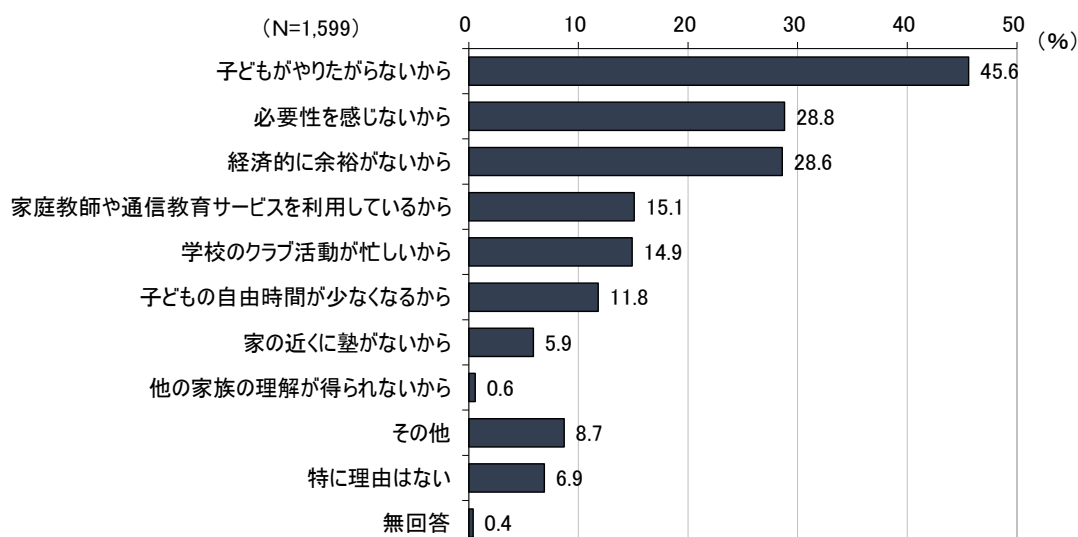
学習塾に通っていない理由について、「子どもがやりたがらないから」（45.6%）が最も多く、次いで「必要性を感じないから」（28.8%）、「経済的に余裕がないから」（28.6%）となっています。

学年別にみると、すべての学年で「子どもがやりたがらないから」が最も多く、小学5年生、高校2年生では「必要性を感じないから」、中学2年生では「経済的に余裕がないから」が続いています。

等価世帯収入の水準別にみると、中央値以上、中央値の2分の1以上中央値未満では「子どもがやりたがらないから」が最も多く、中央値の2分の1未満では「経済的に余裕がないから」が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、ふたり親世帯、ひとり親世帯では「子どもがやりたがらないから」が最も多く、「母子世帯」のみでは「経済的に余裕がないから」が最も多くなっています。

図表 学習塾に通っていない理由



図表 学習塾に通っていない理由（数表）

調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	無回答		
	子どもがやりたがらないから	必要性を感じないから	経済的に余裕がないから	家庭教師や通信教育サービスを利用しているから	学校のクラブ活動が忙しいから	子どもの自由時間が少なくなるから	家の近くに塾がないから	他の家族の理解が得られないから	その他	特に理由はない			
全体	1,599	45.6	28.8	28.6	15.1	14.9	11.8	5.9	0.6	8.7	6.9	0.4	
学年別	小学5年生	621	43.0	31.4	27.4	20.6	4.0	15.6	6.1	1.0	9.3	6.9	0.3
	中学2年生	423	53.7	23.6	31.0	19.1	15.8	13.9	8.3	0.9	10.2	4.5	-
	高校2年生	553	42.1	29.7	28.2	5.8	26.4	6.0	3.8	-	6.9	8.7	0.7
等価世帯収入の水準別	中央値以上	714	44.5	32.5	14.8	19.9	16.0	12.3	4.8	0.7	8.8	8.3	0.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	607	47.6	27.0	36.2	11.9	16.3	11.2	5.6	0.3	8.4	6.3	0.3
	中央値の2分の1未満	189	42.3	19.6	55.0	6.9	8.5	10.6	9.0	1.6	6.9	5.3	-
世帯状況別	ふたり親世帯	1,314	44.7	30.9	25.4	16.6	15.3	12.4	5.8	0.7	8.8	6.9	0.4
	ひとり親世帯	193	51.8	18.7	49.2	7.8	9.3	8.8	6.2	0.5	8.3	5.7	0.5
	ひとり親世帯・母子世帯のみ	166	50.6	18.7	53.0	8.4	8.4	8.4	5.4	0.6	7.2	4.8	0.6

(20) 習い事に通っているか

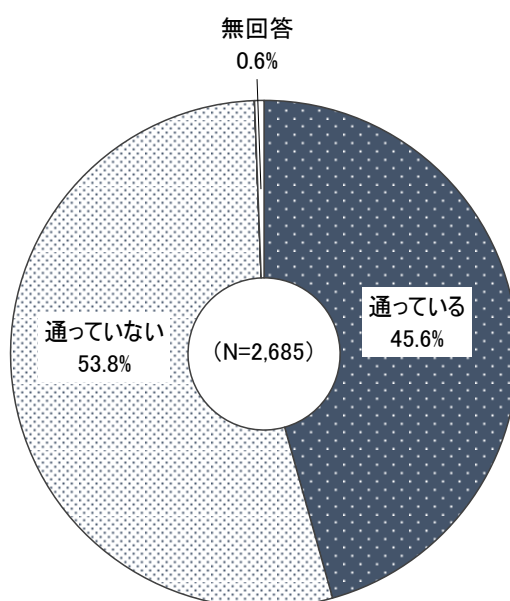
子どもが習い事に通っているかについて、「通っている」(45.6%)、「通っていない」(53.8%)となっています。

学年別にみると、小学5年生では「通っている」、中学2年生、高校2年生では「通っていない」が多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、中央値以上では「通っている」、中央値の2分の1未満中央値以上、中央値の2分の1未満では「通っていない」が多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「通っていない」が多くなっています。

図表 習い事に通っているか



図表 習い事に通っているか（数表）

		調査数	(1) 通 っ て い る	(2) 通 っ て い な い	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け=					
			1位	2位	
全 体		2,685	45.6	53.7	0.6
学年別	小学5年生	938	77.4	22.6	-
	中学2年生	910	40.0	59.1	0.9
	高校2年生	833	16.1	82.8	1.1
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,357	50.3	49.1	0.7
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	41.1	58.4	0.4
	中央値の2分の1未満	257	36.2	63.0	0.8
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,258	47.8	51.7	0.5
	ひとり親世帯	290	32.4	66.9	0.7
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	251	33.1	66.1	0.8

(21) 習い事に通っていない理由

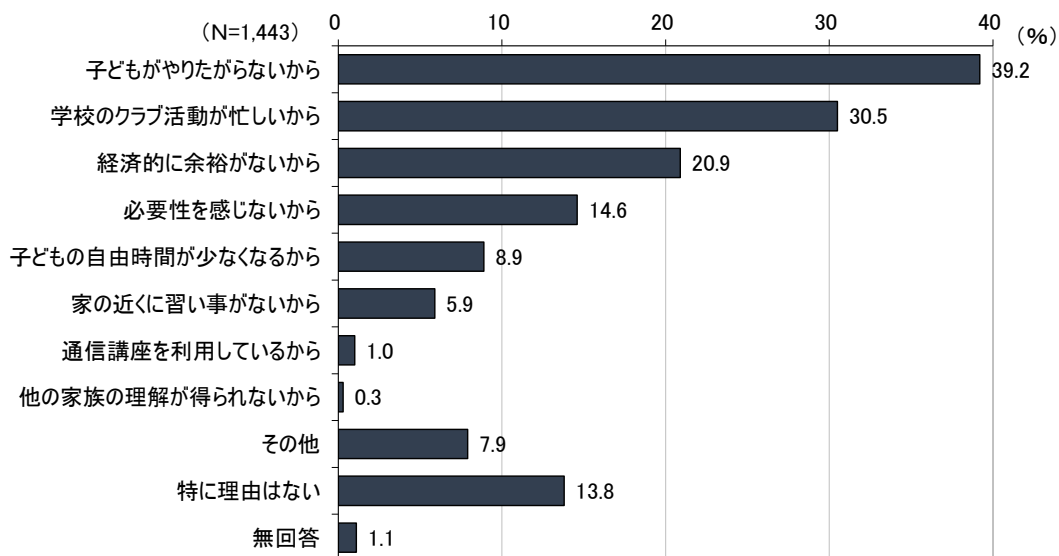
習い事に通っていない理由について、「子どもがやりたがらないから」(39.2%)が最も多く、次いで「学校のクラブ活動が忙しいから」(30.5%)、「経済的に余裕がないから」(20.9%)となっています。

学年別にみると、小学5年生、中学2年生では「子どもがやりたがらないから」が最も多く、高校2年生では「学校のクラブ活動が忙しいから」が最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、中央値以上では「学校のクラブ活動が忙しいから」、中央値の2分の1未満中央値未満では「子どもがやりたがらないから」、中央値の2分の1未満では「経済的に余裕がないから」が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「子どもがやりたがらないから」が最も多くなっています。

図表 習い事に通っていない理由



図表 習い事に通っていない理由（数表）

調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	無回答		
	子どもがやりたがらないから	学校のクラブ活動が忙しいから	経済的に余裕がないから	必要性を感じないから	子どもの自由時間が少なくなるから	家の近くに習い事がないから	通信講座を利用しているから	他の家族の理解が得られないから	その他	特に理由はない			
全体	1,443	39.2	30.5	20.9	14.6	8.9	5.9	1.0	0.3	7.9	13.8	1.1	
学年別	小学5年生	212	53.3	2.4	34.0	7.1	11.8	9.9	1.4	1.4	13.2	10.8	0.5
	中学2年生	538	40.1	36.1	19.5	13.9	11.0	8.0	1.9	0.4	6.5	11.2	2.2
	高校2年生	690	33.8	34.9	18.1	17.4	6.5	3.0	0.1	-	7.4	16.8	0.4
等価世帯収入の水準別	中央値以上	666	37.4	37.5	10.2	17.3	10.7	3.9	1.5	0.3	8.0	13.5	0.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	530	43.8	27.9	27.2	13.4	7.4	7.9	0.2	0.2	7.4	13.0	1.3
	中央値の2分の1未満	162	35.8	11.1	42.6	9.9	5.6	6.8	0.6	1.2	7.4	16.7	1.2
世帯状況別	ふたり親世帯	1,168	38.3	32.6	17.9	15.8	9.8	5.6	0.9	0.3	8.1	13.9	1.2
	ひとり親世帯	194	43.8	18.0	36.1	9.3	5.2	6.2	1.5	0.5	7.7	13.9	0.5
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	166	43.4	16.9	39.2	9.0	4.8	5.4	1.2	0.6	5.4	13.9	0.6

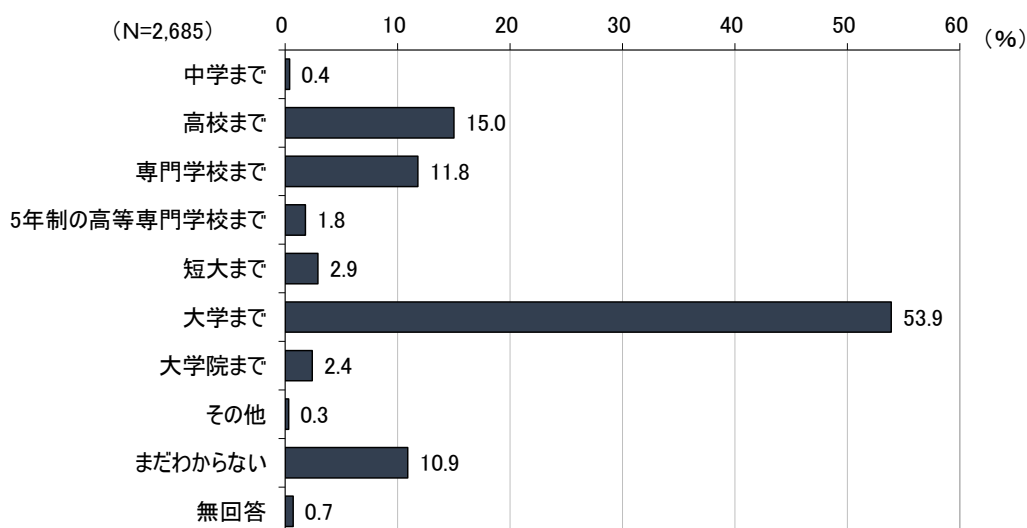
(22) 進学の見通し

想定する子どもの進路（最終学歴）について「大学まで」（53.9%）が最も多く、次いで「高校まで」（15.0%）、「専門学校まで」（11.8%）となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、中央値以上、中央値の2分の1以上中央値未満では「大学まで」が最も多く、中央値の2分の1未満では「高校まで」が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、「大学まで」の回答割合は、「ふたり親世帯」では56.4%、「ひとり親世帯」全体では37.6%、「母子世帯」のみでは37.8%となっています。「ひとり親世帯」では、「高校まで」の回答割合が22.8%で、「ふたり親世帯」と比べて高くなっています。

図表 進学の見通し



図表 進学の見通し（数表）

	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	無回答	
		中学まで	高校まで	専門学校まで	5年制の高等専門学校まで	短大まで	大学まで	大学院まで	その他	まだわからない		
全体	2,685	0.4	15.0	11.8	1.8	2.9	53.9	2.4	0.3	10.9	0.7	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	0.3	8.0	9.1	1.4	2.8	66.2	3.5	0.1	7.7	0.7
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	0.3	20.0	14.6	2.1	3.6	43.4	1.4	0.1	13.8	0.7
	中央値の2分の1未満	257	1.2	32.3	17.9	3.1	0.8	30.0	0.4	1.2	12.5	0.8
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	0.3	13.5	10.9	1.6	3.1	56.4	2.5	0.2	10.7	0.8
	ひとり親世帯	290	1.0	22.8	17.9	2.8	2.4	37.6	2.4	0.3	12.4	0.3
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	1.2	22.7	18.3	2.4	2.0	37.8	2.0	0.4	12.7	0.4

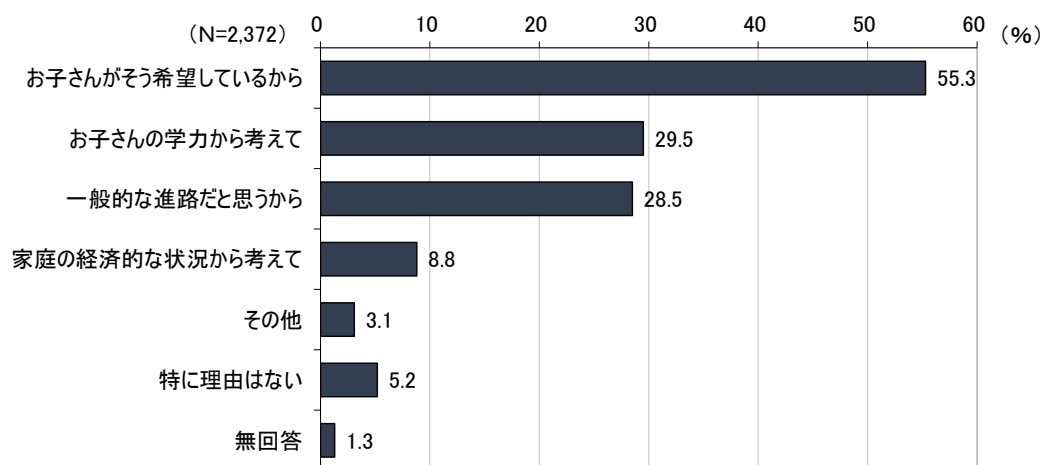
(23) 想定する進学先の理由

想定する子どもの進路（最終学歴）の理由について「お子さんがそう希望しているから」（55.3%）が最も多く、次いで「お子さんの学力から考えて」（29.5%）、「一般的な進路だと思うから」（28.5%）となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「お子さんがそう希望しているから」が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「お子さんがそう希望しているから」が最も多くなっています。

図表 想定する進学先の理由



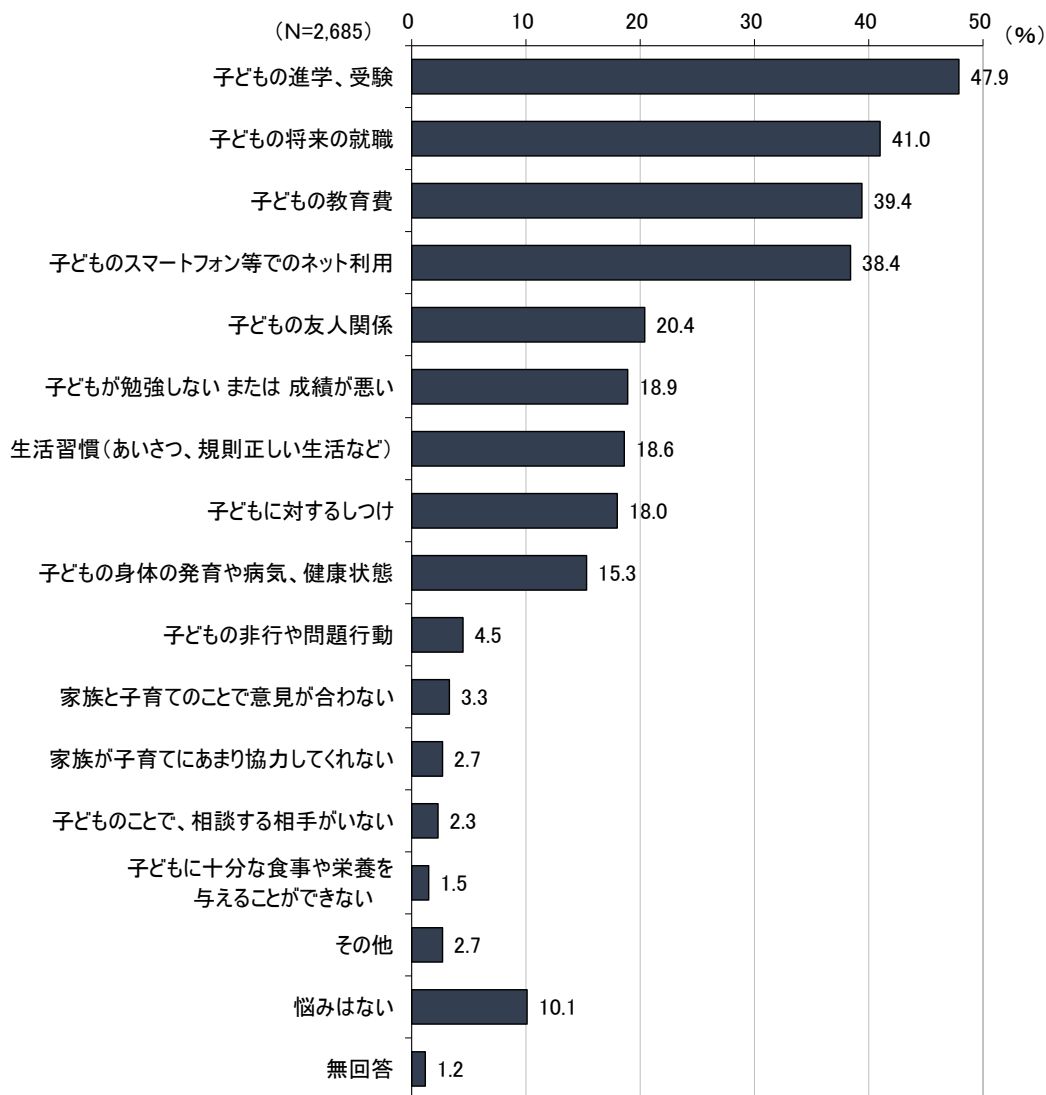
図表 想定する進学先の理由（数表）

調査数	【表の見方】 比率(%) 網掛け=	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	無回答	
		し お て い さ ん か ら そ う 希 望	思 う か ら な 進 路 だ と	学 力 か ら 考 え て	状 況 か ら 考 え て な	そ の 他	特 に 理 由 は な い		
全体	2,372	55.3	28.5	29.5	8.8	3.1	5.2	1.3	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,242	58.6	31.9	29.8	6.0	2.8	4.9	1.5
	中央値の2分の1以上中央値未満	776	52.2	25.9	31.7	10.3	3.1	5.3	0.9
	中央値の2分の1未満	223	49.3	20.2	23.8	19.7	2.7	5.4	1.3
世帯 状況別	ふたり親世帯	1,998	55.2	30.1	30.2	7.7	3.1	4.9	1.4
	ひとり親世帯	253	56.1	19.4	25.7	14.2	2.4	6.7	1.2
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	218	57.8	18.8	26.6	15.6	2.3	6.0	0.9

(24) 子育てに関する不安や悩み

子育てをするうえでの不安や悩みについて、「子どもの進学、受験」(47.9%)が最も多く、次いで「子どもの将来の就職」(41.0%)、「子どもの教育費」(39.4%)、「子どものスマートフォン等でのネット利用」(38.4%)となっています。

図表 子育てに関する不安や悩み



学年別にみると、小学5年生では「子どものスマートフォン等でのネット利用」が最も多く、中学2年生、高校2年生では「子どもの進学、受験」が最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、中央値以上、中央値の2分の1未満では「子どもの進学、受験」が最も多く、中央値の2分の1以上中央値未満では「子どもの教育費」が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「子どもの進学、受験」が最も多くなっています。

図表 子育てに関する不安や悩み（数表）

	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	
		子どもの進学、受験	子どもの将来の就職	子どもの教育費	子どものスマートフォン利用	子どもの友人関係	成績が悪い 子どもが勉強しない または	生活習慣（あいさつ、規則正 しい生活など）	子どもに対するしつけ	子どもの身体の発育や病気、 健康状態	
全体	2,685	47.9	41.0	39.4	38.4	20.4	18.9	18.6	18.0	15.3	
学年別	小学5年生	938	37.7	34.2	40.3	47.7	26.2	20.0	22.2	27.2	16.3
	中学2年生	910	55.8	41.0	39.5	41.1	20.3	24.4	16.9	16.2	14.8
	高校2年生	833	50.9	48.7	38.4	25.0	13.8	11.8	16.3	9.7	14.6
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	47.8	38.2	32.0	39.9	19.7	16.5	19.3	17.2	15.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	48.0	44.3	48.5	36.3	21.5	22.1	18.4	19.3	14.8
	中央値の2分の1未満	257	50.2	45.9	48.2	36.2	19.1	22.6	18.7	18.3	17.1
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	48.0	40.4	39.0	38.8	20.8	18.3	18.2	17.6	15.5
	ひとり親世帯	290	49.3	45.9	44.8	35.9	16.9	24.1	19.7	19.7	15.5
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	53.4	47.8	48.6	35.9	17.5	22.7	19.9	19.9	17.5

	調査数	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	無回答	
		子どもの非行や問題行動	家族と子育てのことで意見が 合わない	家族が子育てにあまり協力し てくれない	手がいない 子どものこと で、相談する相 手がいない	与えること が十分な食 事や栄養を 与えられない	その他	悩みはない		
全体	2,685	4.5	3.3	2.7	2.3	1.5	2.7	10.1	1.2	
学年別	小学5年生	938	6.5	4.2	2.7	1.3	1.2	2.8	9.8	1.1
	中学2年生	910	4.3	3.3	2.5	2.6	1.6	2.7	9.0	1.4
	高校2年生	833	2.5	2.3	3.0	2.9	1.7	2.5	11.5	1.2
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	4.2	3.3	2.4	1.3	0.8	3.1	11.1	1.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	4.3	3.3	3.3	2.6	1.7	1.9	8.5	1.2
	中央値の2分の1未満	257	6.6	2.3	2.7	3.9	3.5	1.9	8.2	0.8
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	4.1	3.4	2.8	1.6	1.0	2.7	10.1	1.2
	ひとり親世帯	290	6.6	1.7	2.4	6.6	3.8	3.1	9.3	0.7
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	7.2	1.6	2.0	6.4	4.0	2.4	7.6	0.8

（25）頼れる人の有無・相手

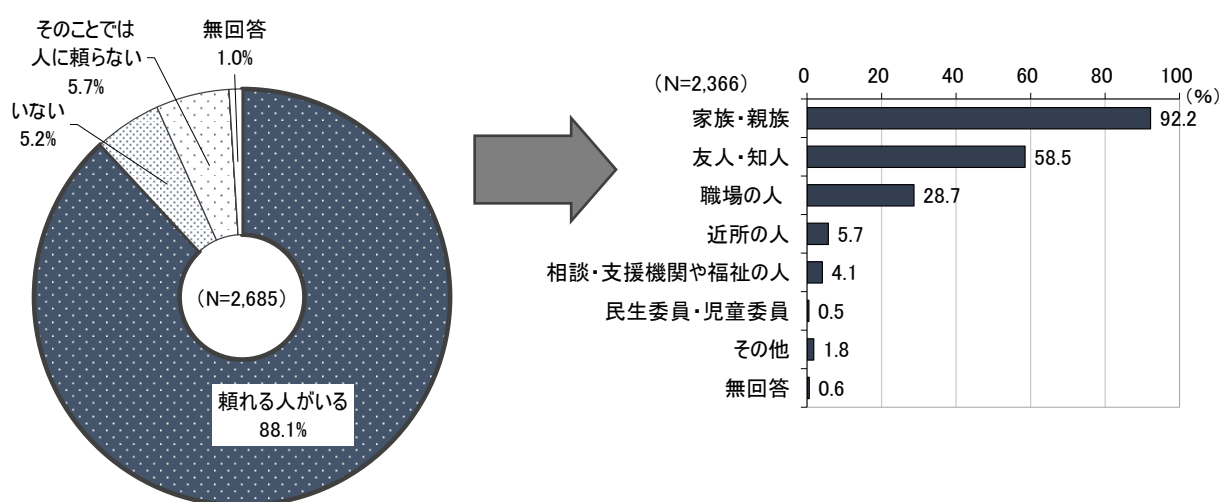
a) 子育てに関する相談

子育てに関する相談について、「頼れる人がいる」（88.1%）、「いない」（5.2%）、「そのことでは人に頼らない」（5.7%）となっています。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」（92.2%）、「友人・知人」（58.5%）、「職場の人」（28.7%）となっています。

頼れる人について等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「家族・親族」と回答した方の割合が8割以上と最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「家族・親族」と回答した方の割合が8割以上と最も多くなっています。

図表 子育てに関する相談



図表 子育てに関する相談（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	無回答
		頼れる人がいる	いない	そのことでは頼らない			家族・親族	友人・知人	職場の人	近所の人	福祉・相談・支援機関や	民生委員・児童委員	その他	
全体	2,685	88.1	5.2	5.7	1.0	2,366	92.2	58.5	28.7	5.7	4.1	0.5	1.8	0.6
等価世帯収入の水準別														
中央値以上	1,357	89.9	3.7	5.5	0.9	1,220	93.8	57.5	30.1	5.8	4.1	0.2	1.8	0.4
中央値の2分の1以上中央値未満	907	86.9	6.4	6.2	0.6	788	92.4	59.3	30.2	6.7	4.1	0.9	1.8	0.5
中央値の2分の1未満	257	83.7	8.2	7.0	1.2	215	84.2	59.5	13.5	2.3	6.5	0.9	1.9	1.9
世帯状況別														
ふたり親世帯	2,258	89.5	4.3	5.3	0.9	2,021	93.4	58.5	28.8	6.2	4.0	0.5	1.7	0.6
ひとり親世帯	290	78.3	12.1	8.3	1.4	227	85.0	57.3	30.0	3.1	4.8	-	2.6	0.9
ひとり親世帯: 母子世帯のみ	251	80.1	11.6	7.2	1.2	201	85.6	60.2	31.3	3.0	5.0	-	2.0	1.0

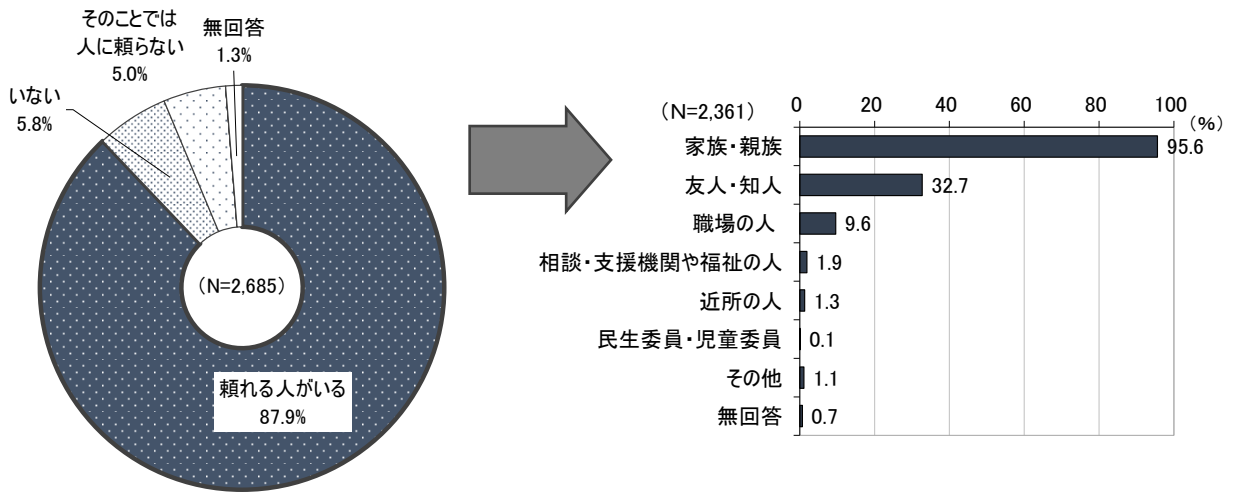
b) 重要な事柄の相談

重要な事柄の相談について、「頼れる人がいる」(87.9%)、「いない」(5.8%)、「そのことでは人に頼らない」(5.0%)となっています。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」(95.6%)、「友人・知人」(32.7%)、「職場の人」(9.6%)となっています。

頼れる人について等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「家族・親族」と回答した方の割合が8割以上と最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「家族・親族」と回答した方の割合が8割以上と最も多くなっています。

図表 重要な事柄の相談



図表 重要な事柄の相談（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	無回答	
		頼れる人がいる	いない	人に頼らない			家族・親族	友人・知人	職場の人	福祉・相談・支援機関や	近所の人	民生委員・児童委員	その他		
全体	2,685	87.9	5.8	5.0	1.3	2,361	95.6	32.7	9.6	1.9	1.3	0.1	1.1	0.7	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	89.6	3.8	5.4	1.2	1,216	97.1	31.7	9.9	1.4	1.2	-	1.1	0.4
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	87.8	6.9	4.6	0.7	796	95.6	33.9	10.2	2.3	1.6	0.1	0.9	0.6
	中央値の2分の1未満	257	81.3	10.9	6.2	1.6	209	88.0	38.3	5.3	3.8	1.4	0.5	2.4	1.9
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	89.7	4.6	4.5	1.2	2,025	97.1	31.4	9.1	1.6	1.3	0.0	0.9	0.6
	ひとり親世帯	290	74.5	14.5	9.0	2.1	216	87.0	41.7	15.3	3.7	1.4	-	3.7	0.9
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	251	75.7	15.1	7.6	1.6	190	88.9	42.1	14.7	3.2	1.6	-	2.6	1.1

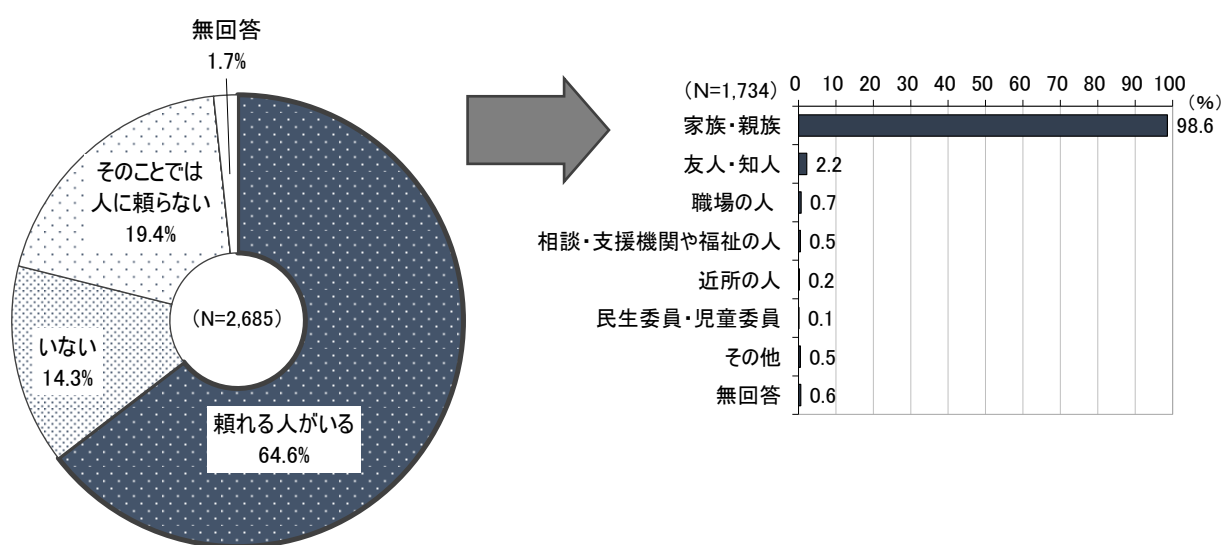
c) いざという時のお金の援助

いざという時のお金の援助について、「頼れる人がいる」(64.6%)、「いない」(14.3%)、「そのことでは人に頼らない」(19.4%)となっています。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」(98.6%)、「友人・知人」(2.2%)、「職場の人」(0.7%)となっています。

頼れる人について等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「家族・親族」と回答した方の割合が9割以上と最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「家族・親族」と回答した方の割合が9割以上と最も多くなっています。

図表 いざという時のお金の援助



図表 いざという時のお金の援助（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	無回答	
		頼れる人がいる	いない	そのことでは頼らない			家族・親族	友人・知人	職場の人	福祉・相談・支援機関や	近所の人	民生委員・児童委員	その他		
全体	2,685	64.6	14.3	19.4	1.7	1,734	98.6	2.2	0.7	0.5	0.2	0.1	0.5	0.6	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	66.4	9.7	22.5	1.5	901	99.1	1.6	0.3	-	0.1	-	0.4	0.3
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	65.4	17.3	16.3	1.0	593	98.5	2.0	1.2	0.8	-	0.2	0.5	1.0
	中央値の2分の1未満	257	52.5	29.2	16.7	1.6	135	94.8	8.1	0.7	2.2	0.7	-	-	0.7
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	66.4	12.8	19.2	1.6	1,500	98.8	1.5	0.6	0.4	0.1	0.1	0.5	0.7
	ひとり親世帯	290	52.1	26.2	20.0	1.7	151	97.4	6.6	2.0	0.7	-	-	1.3	-
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	251	51.0	27.1	20.7	1.2	128	97.7	6.3	1.6	0.8	-	-	0.8	-

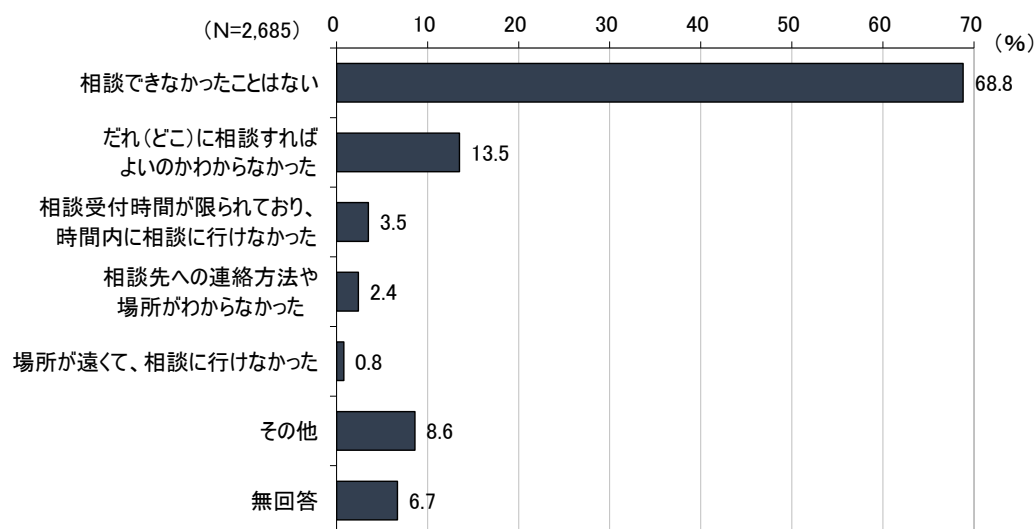
(26) 相談できなかった理由

子育てのことで相談できなかった理由について、「相談できなかったことはない」(68.8%)が最も多く、次いで「だれ(どこ)に相談すればよいのかわからなかった」(13.5%)、「相談受付時間が限られており、時間内に相談に行けなかった」(3.5%)となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「相談できなかったことはない」と回答した方の割合が6割以上と最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「相談できなかったことはない」と回答した方の割合が6割以上と最も多くなっています。

図表 相談できなかった理由



図表 相談できなかった理由（数表）

調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	無回答		
	い相談できなかったことはない	よだれ(どこ)に相談すればよいのかわからなかった	かり相談受付時間内に相談に行けなかった	が相談先への連絡方法や場所	な場所が遠くて、相談に行け	その他			
全体	2,685	68.8	13.5	3.5	2.4	0.8	8.6	6.7	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	70.5	12.2	3.4	2.2	0.9	8.3	6.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	70.2	13.9	3.4	2.3	0.6	8.0	5.3
	中央値の2分の1未満	257	63.4	17.1	4.3	4.3	1.6	10.1	7.0
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	69.7	13.2	3.2	2.2	0.8	8.5	6.2
	ひとり親世帯	290	62.1	16.9	5.2	3.8	1.0	11.0	7.2
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	251	62.2	17.1	5.6	4.0	0.8	10.4	7.2

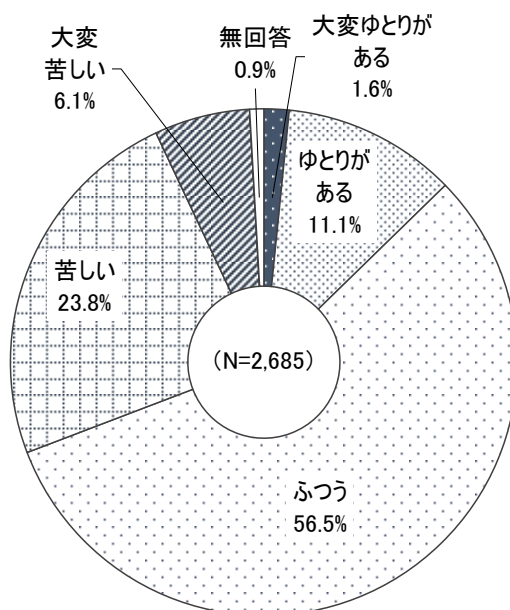
(27) 現在の暮らしの状況

現在の暮らしの状況について、「大変ゆとりがある」(1.6%)、「ゆとりがある」(11.1%)となっており、合わせた【ゆとりがある】の割合は12.7%となっており、「苦しい」(23.8%)、「大変苦しい」(6.1%)を合わせた【苦しい】の割合は29.9%となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、【苦しい】の割合は中央値の2分の1以上中央値未満では41.0%、中央値の2分の1未満では66.2%となっています。

世帯状況別にみると、【苦しい】の割合はひとり親世帯では54.8%、「母子世帯」のみでは58.9%となっています。

図表 現在の暮らしの状況



図表 現在の暮らしの状況（数表）

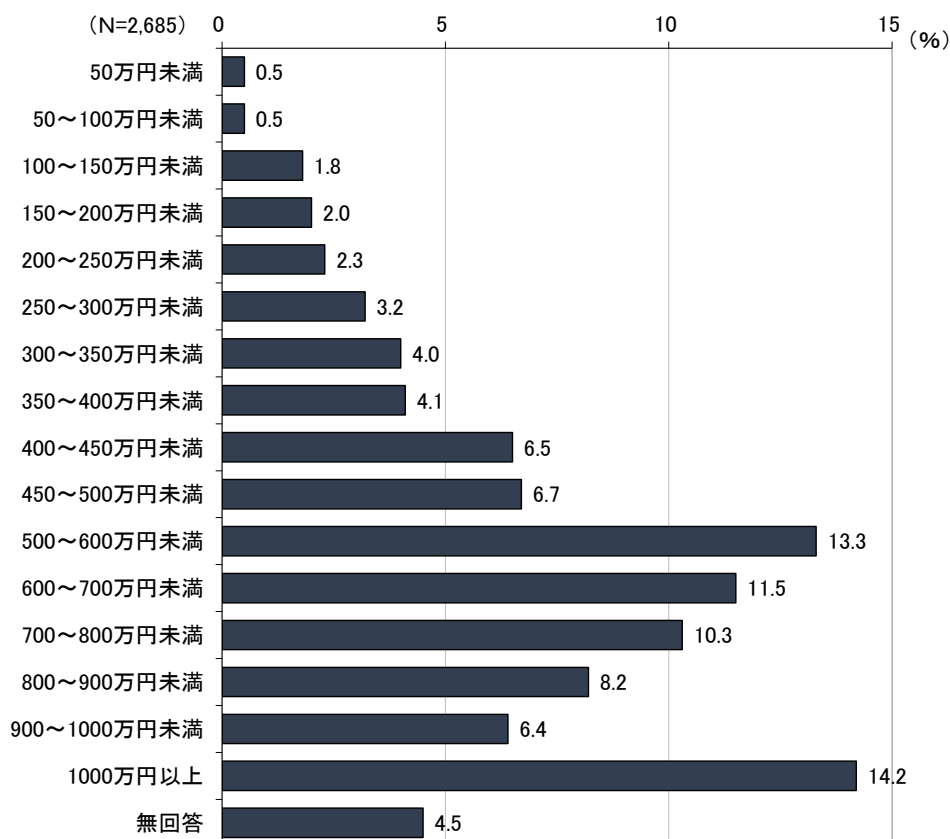
【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2)	(4)+(5)	
		大変ゆとりがある	ゆとりがある	ふつう	苦しい	大変苦しい		【ゆとりがある】	【苦しい】	
	2,685	1.6	11.1	56.5	23.8	6.1	0.9	12.7	29.9	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	2.7	18.6	62.0	13.4	2.4	0.9	21.3	15.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	0.6	3.6	54.4	33.4	7.6	0.4	4.2	41.0
	中央値の2分の1未満	257	0.8	0.4	31.9	44.0	22.2	0.8	1.2	66.2
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	1.7	12.5	58.9	21.1	4.9	0.8	14.2	26.0
	ひとり親世帯	290	0.7	2.4	41.0	41.7	13.1	1.0	3.1	54.8
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	251	0.4	2.0	37.5	45.0	13.9	1.2	2.4	58.9

(28) 世帯収入

世帯全体の年間収入（税込）について、「1,000万円以上」（14.2%）が最も多く、次いで「500～600万円未満」（13.3%）、「600～700万円未満」（11.5%）、「700～800万円未満」（10.3%）となっています。

収入が1000万円を超える世帯の割合が1割超と多くなっている一方で、「300万円未満」に該当する割合も1割を超えています。

図表 世帯収入



「等価世帯収入の水準」の算出

- 年間年収に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする。）
- 上記の値を、保護者票問3で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- 上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かを分類する。

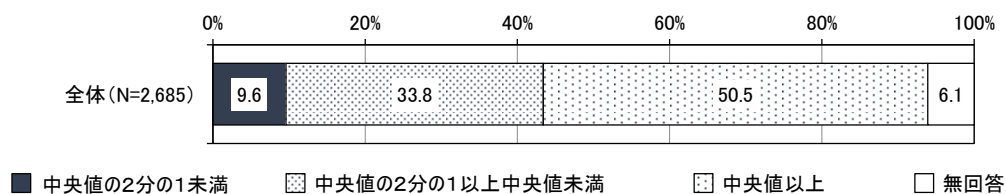
等価世帯収入の中央値：290.69万円

等価世帯収入の中央値の2分の1：145.34万円

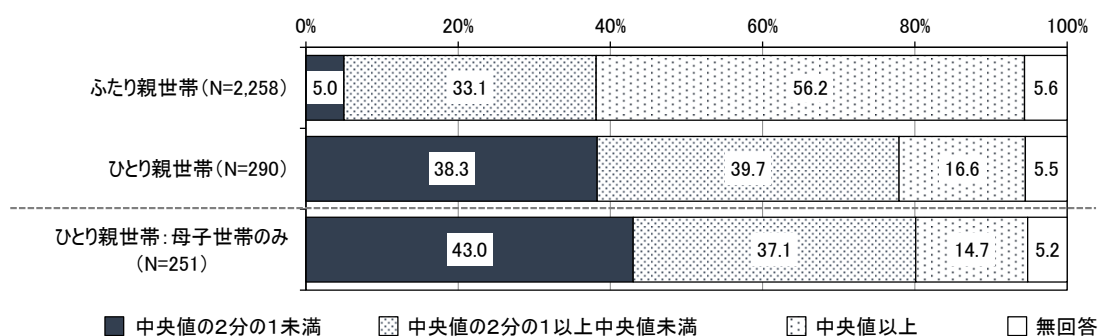
分類の結果、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」は9.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」は33.8%、「中央値以上」は50.5%となっています。

世帯の状況別に等価世帯収入の水準をみると、ふたり親世帯では「中央値以上」が56.2%、ひとり親世帯では「中央値の2分の1以上中央値未満」が39.7%、ひとり親世帯：「母子世帯」のみでは「中央値の2分の1未満」が43.0%とそれぞれ最も高くなっています。

図表 等価世帯収入の水準



図表 等価世帯収入の水準（世帯状況別）



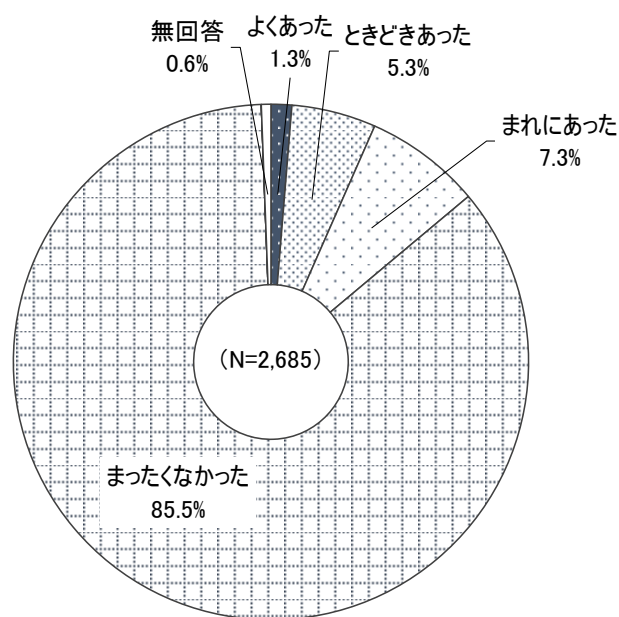
(29) 滞納・欠乏経験（食料）

過去1年間に家族が必要とする食料が買えなかったことについて、「よくあった」（1.3%）、「ときどきあった」（5.3%）、「まれにあった」（7.3%）となっており、合わせた【あった】の割合は13.9%となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、中央値の2分の1未満では「よくあった」「ときどきあった」、「まれにあった」と回答した方の割合が他の水準より多くなっています。

世帯状況別にみると、ひとり親世帯、「母子世帯」のみでは「よくあった」「ときどきあった」、「まれにあった」と回答した方の割合が他の水準より多くなっています。

図表 滞納・欠乏経験（食料）



図表 滞納・欠乏経験（食料）（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(1)+(2)+(3) 【あった】
		よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった		
1位	2,685	1.3	5.3	7.3	85.5	0.6	13.9
2位							
全体	2,685	1.3	5.3	7.3	85.5	0.6	13.9
等価世帯収入の水準別							
中央値以上	1,357	0.1	2.2	3.0	94.7	-	5.3
中央値の2分の1以上中央値未満	907	2.3	7.3	8.8	81.5	0.1	18.4
中央値の2分の1未満	257	5.1	15.6	23.3	55.6	0.4	44.0
世帯状況別							
ふたり親世帯	2,258	1.1	4.1	5.9	88.5	0.4	11.1
ひとり親世帯	290	3.1	12.1	16.9	66.9	1.0	32.1
ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	2.8	13.5	17.5	64.9	1.2	33.8

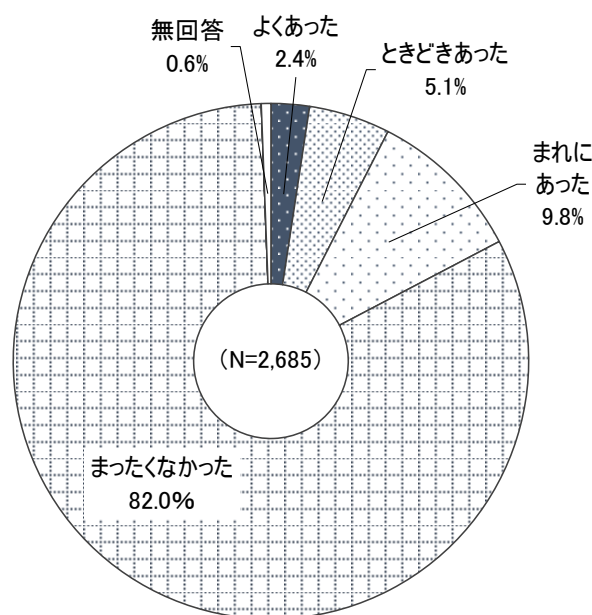
(30) 滞納・欠乏経験（衣服）

過去1年間に家族が必要とする衣服が買えなかったことについて、「よくあった」（2.4%）、「ときどきあった」（5.1%）、「まれにあった」（9.8%）となっており、合わせた【あった】の割合は17.3%となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、中央値の2分の1未満では「よくあった」「ときどきあった」、「まれにあった」と回答した方の割合が他の水準より多くなっています。

世帯状況別にみると、ひとり親世帯、「母子世帯」のみでは「よくあった」「ときどきあった」、「まれにあった」と回答した方の割合が他の水準より多くなっています。

図表 滞納・欠乏経験（衣服）



図表 滞納・欠乏経験（衣服）（数表）

調査項目	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(1)+(2)+(3)	
		よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった			
全体	2,685	2.4	5.1	9.8	82.0	0.6	17.3	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	0.5	2.4	3.9	93.1	0.1	6.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	3.3	6.9	13.5	76.3	-	23.7
	中央値の2分の1未満	257	9.3	15.2	26.8	48.6	-	51.3
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	2.0	4.1	8.1	85.4	0.4	14.2
	ひとり親世帯	290	5.2	11.0	21.4	61.7	0.7	37.6
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	4.8	12.0	23.5	59.0	0.8	40.3

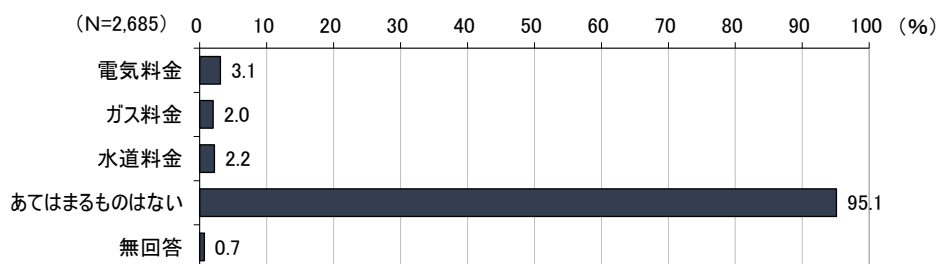
（31）滞納・欠乏経験（電気・ガス・水道料金）

過去1年間に光熱費等が経済的な理由で未払いになったことについて、「電気料金」(3.1%)、「ガス料金」(2.0%)、「水道料金」(2.2%)となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「電気料金」は 14.0%、「ガス料金」は 9.3%、「水道料金」は 11.7%が「あった」(該当)となっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯：「母子世帯」のみ」では、「電気料金」は 9.2%、「ガス料金」は 6.4%、「水道料金」は5.2%が「あった」(該当)と回答している。

図表 滞納・欠乏経験（電気・ガス・水道料金）



図表 滞納・欠乏経験（電気・ガス・水道料金）（数表）

	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答
		電気料金	ガス料金	水道料金	あてはまるものはない	
全体	2,685	3.1	2.0	2.2	95.1	0.7
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1.1	0.5	0.7	98.5	0.1
	中央値の2分の1以上中央値未満	2.9	2.0	1.5	95.5	0.3
	中央値の2分の1未満	14.0	9.3	11.7	80.9	0.4
世帯状況別	ふたり親世帯	2.3	1.3	1.6	96.7	0.4
	ひとり親世帯	8.6	6.2	5.2	86.9	1.7
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	9.2	6.4	5.2	85.7	2.0

【表の見方】
比率(%)
網掛け=

1位
2位

(32) 精神状態

「保護者の心理的な状態」に関して、調査では「K6」と呼ばれる指標を把握するための6つの項目を設定しました。※1

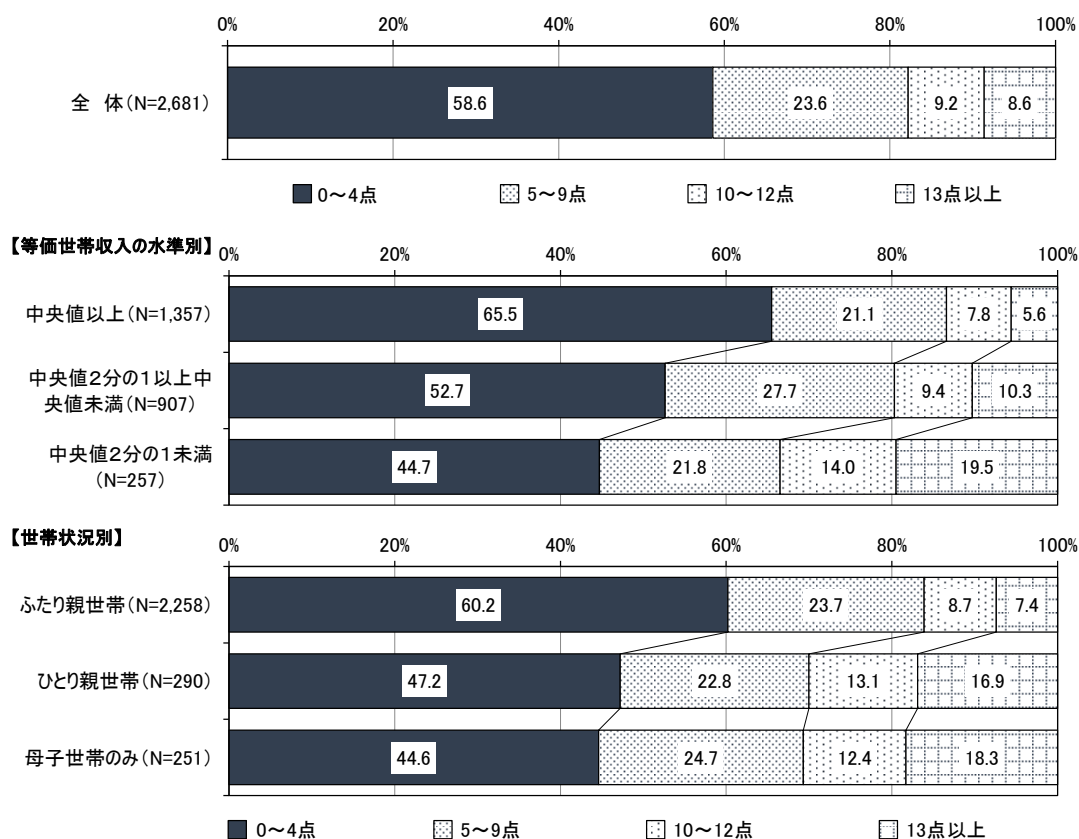
- a) 神経過敏に感じた
- b) 絶望的だと感じた
- c) そわそわ、落ち着かなく感じた
- d) 気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じた
- e) 何をするのも面倒だと感じた
- f) 自分は価値のない人間だと感じた

この6つの調査項目を足し合わせて、スコアを算出した（0～24点）。「うつ・不安障害相当」とされている「13点以上」※2の割合は8.6%となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、「13点以上」と回答した方の割合が、中央値以上で5.6%、中央値の2分の1以上中央値未満で10.3%、中央値の2分の1未満で19.5%となっており、水準が低くなるにつれ、割合が高くなっています。

世帯状況別にみると、ふたり親世帯で7.4%、ひとり親世帯で16.9%、「母子世帯」のみでは18.3%となっています。

図表 精神状態「心理的な状態（問32）」（K6のスコア）



※1 K6は米国のKesslerらによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されている。

採点方法は一つの質問ごとに0点（5.まったくない）から4点（1.いつも）を振り、0点から24点で合計を計算した。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示している。厚生労働省による解説・紹介ページ (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa10/yougo.html>)

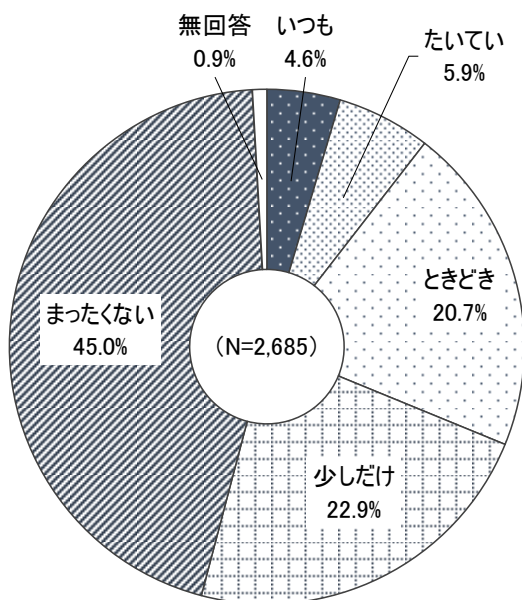
※2 国立精神・神経医療研究センター「うつ・不安に対するスクリーニングと支援マニュアル」

<この1か月の気持ち>

a) 神経過敏に感じた

この1か月の自身の気持ち（神経過敏に感じた）について、「いつも」（4.6%）、「たいてい」（5.9%）、「ときどき」（20.7%）、「少しだけ」（22.9%）、「まったくない」（45.0%）となっています。

図表 神経過敏に感じた

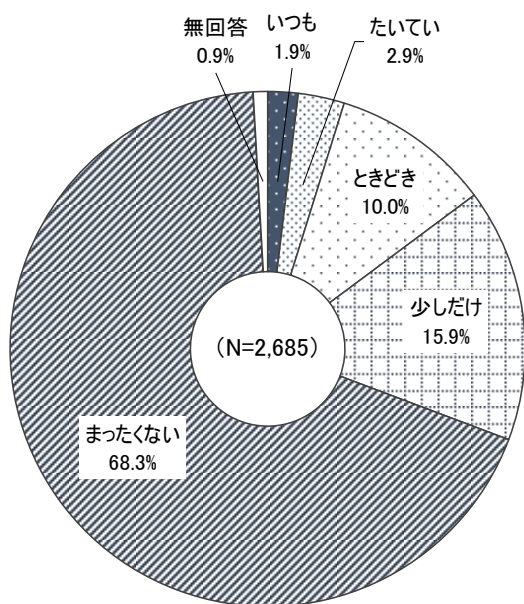


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	
		いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない		
全体	2,685	4.6	5.9	20.7	22.9	45.0	0.9	
水 取 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,357	2.7	4.5	18.3	23.6	50.7	0.3
	中央値の2分の1 以上中央値未満	907	5.5	6.8	23.2	22.6	41.5	0.4
	中央値の 2分の1未満	257	11.7	9.3	22.2	24.5	31.1	1.2
状 況 別 世 帯	ふたり親世帯	2,258	3.7	5.8	20.1	23.1	46.6	0.7
	ひとり親世帯	290	10.3	6.6	23.4	21.7	36.6	1.4
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	251	10.8	6.4	25.1	22.3	34.3	1.2

b) 絶望的だと感じた

この1か月の自身の気持ち（絶望的だと感じた）について、「いつも」（1.9%）、「たいてい」（2.9%）、「ときどき」（10.0%）、「少しだけ」（15.9%）、「まったくない」（68.3%）となっています。

図表 絶望的だと感じた

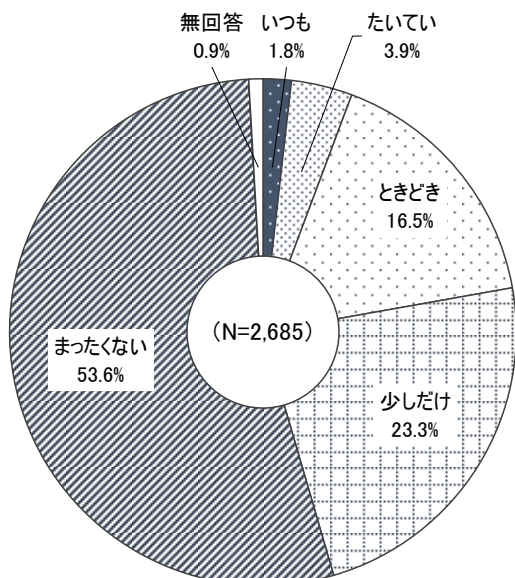


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	
		いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない		
全体	2,685	1.9	2.9	10.0	15.9	68.3	0.9	
水 取 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,357	1.0	2.4	6.9	12.4	77.0	0.4
	中央値の2分の1 以上中央値未満	907	2.5	2.6	12.7	18.9	63.1	0.2
	中央値の 2分の1未満	257	4.7	7.4	16.7	23.3	46.3	1.6
状 況 別 世 帯	ふたり親世帯	2,258	1.6	2.5	9.3	15.1	70.8	0.7
	ひとり親世帯	290	3.8	6.2	15.2	19.7	53.8	1.4
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	251	4.0	6.0	15.9	21.9	51.0	1.2

c) そわそわ、落ち着かなく感じた

この1か月間の自身の気持ち（そわそわ、落ち着かなく感じた）について、「いつも」（1.8%）、「たいてい」（3.9%）、「ときどき」（16.5%）、「少しだけ」（23.3%）、「まったくない」（53.6%）となっています。

図表 そわそわ、落ち着かなく感じた

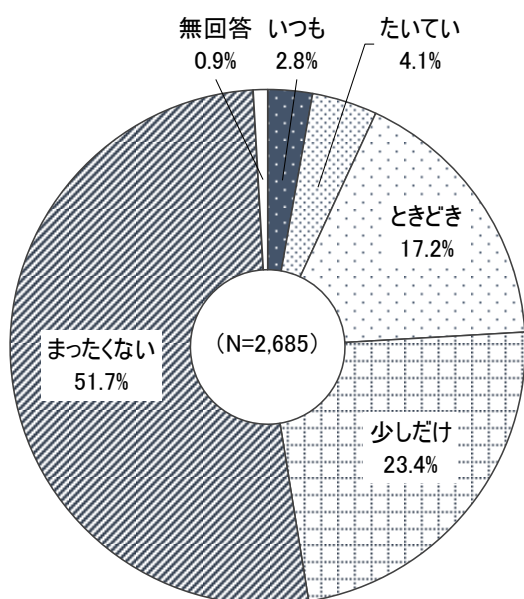


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	
		いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない		
全体	2,685	1.8	3.9	16.5	23.3	53.6	0.9	
水 取 入 別 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,357	1.0	3.1	14.5	22.5	58.6	0.3
	中央値の2分の1 以上中央値未満	907	2.4	3.3	19.2	23.0	51.5	0.6
	中央値の 2分の1未満	257	3.1	9.3	19.5	28.4	38.5	1.2
状 況 別 の 世 帯	ふたり親世帯	2,258	1.5	3.7	15.8	23.6	54.7	0.7
	ひとり親世帯	290	4.1	5.9	20.0	22.4	46.2	1.4
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	251	4.4	5.6	21.1	23.5	44.2	1.2

d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

この1か月間の自身の気持ち（気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた）について、「いつも」（2.8%）、「たいてい」（4.1%）、「ときどき」（17.2%）、「少しだけ」（23.4%）、「まったくない」（51.7%）となっています。

図表 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

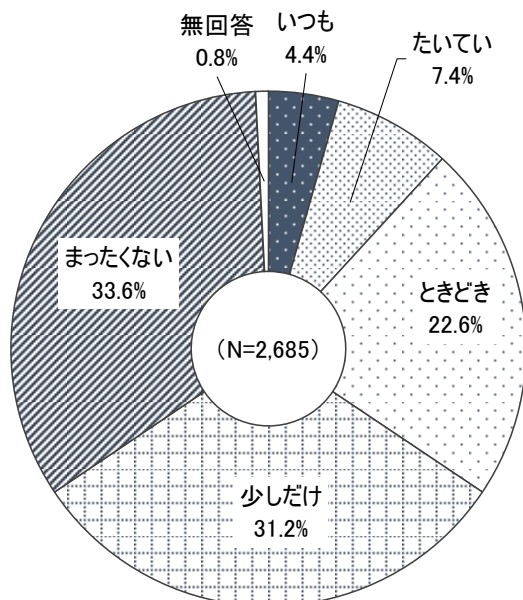


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	
		いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない		
全体	2,685	2.8	4.1	17.2	23.4	51.7	0.9	
水 取 入 別 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,357	1.4	3.2	13.9	24.4	56.8	0.3
	中央値の2分の1 以上中央値未満	907	3.9	4.4	19.5	22.9	48.8	0.4
	中央値の 2分の1未満	257	6.2	7.8	24.9	23.3	36.6	1.2
状 況 別 の 世 帯	ふたり親世帯	2,258	2.4	3.7	16.5	23.7	53.2	0.6
	ひとり親世帯	290	5.9	5.9	22.4	21.0	43.8	1.0
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	251	6.4	6.0	22.7	22.7	41.4	0.8

e) 何をするのも面倒だと感じた

この1か月間の自身の気持ち（何をするのも面倒だと感じた）について、「いつも」（4.4%）、「たいてい」（7.4%）、「ときどき」（22.6%）、「少しだけ」（31.2%）、「まったくない」（33.6%）となっています。

図表 何をするのも面倒だと感じた

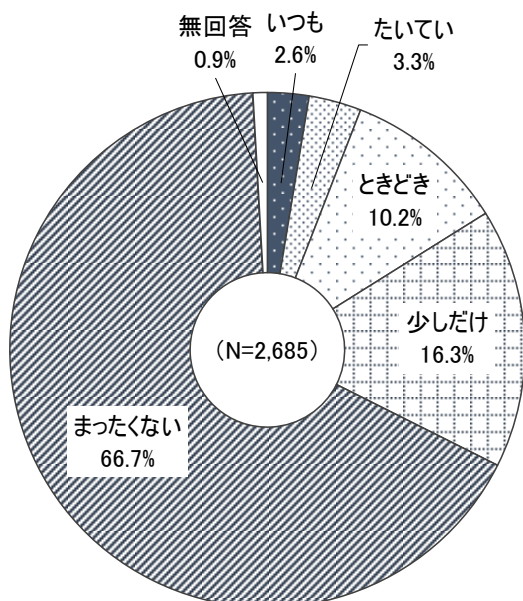


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	
		いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない		
全体	2,685	4.4	7.4	22.6	31.2	33.6	0.8	
水 収 入 別 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,357	2.9	6.1	20.1	33.1	37.4	0.4
	中央値の2分の1 以上中央値未満	907	5.7	8.4	24.8	30.3	30.5	0.2
	中央値の 2分の1未満	257	8.2	10.5	25.3	26.8	28.4	0.8
状 況 別 の 世 帯	ふたり親世帯	2,258	3.8	6.8	22.5	32.0	34.2	0.6
	ひとり親世帯	290	7.9	11.7	25.9	24.8	28.6	1.0
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	251	8.8	12.7	27.5	24.7	25.5	0.8

f) 自分は価値のない人間だと感じた

この1か月間の自身の気持ち（自分は価値のない人間だと感じた）について、「いつも」（2.6%）、「たいてい」（3.3%）、「ときどき」（10.2%）、「少しだけ」（16.3%）、「まったくない」（66.7%）となっています。

図表 自分は価値のない人間だと感じた



【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	
		いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない		
全体	2,685	2.6	3.3	10.2	16.3	66.7	0.9	
水 収 入 別 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,357	1.7	2.8	8.3	14.5	72.4	0.3
	中央値の2分の1 以上中央値未満	907	2.6	3.7	11.5	18.5	63.2	0.4
	中央値の 2分の1未満	257	6.6	4.7	16.0	18.3	53.7	0.8
状 況 別 の 世 帯	ふたり親世帯	2,258	2.1	3.2	9.9	15.8	68.4	0.7
	ひとり親世帯	290	6.9	3.8	13.1	18.6	56.6	1.0
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	251	7.6	4.0	14.7	18.7	54.2	0.8

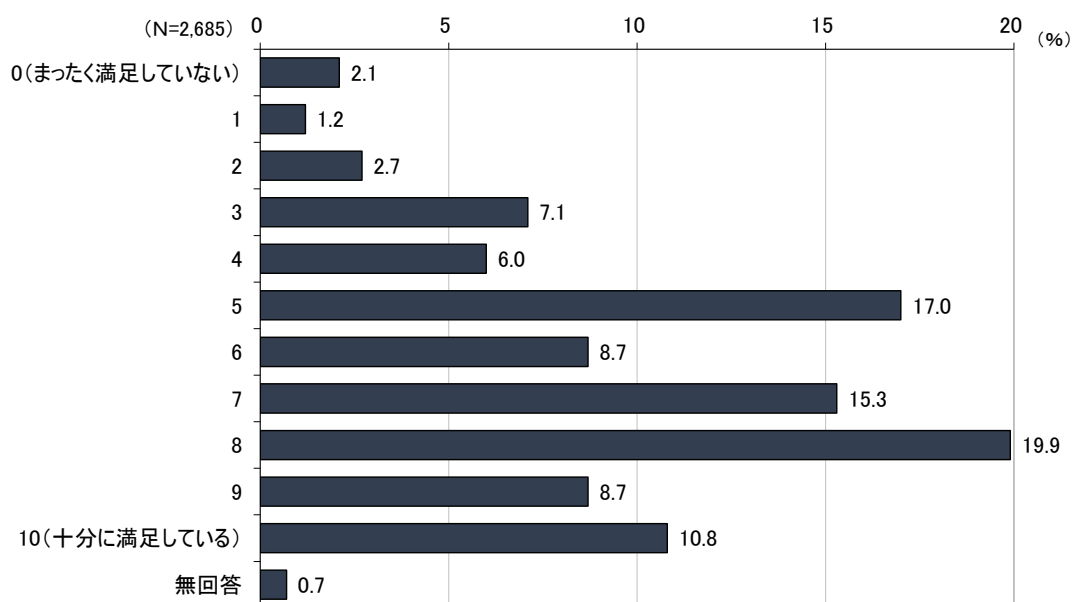
(33) 生活の満足度

最近の生活の満足度を10段階評価でたずねると、「8」と回答した方の割合が19.9%と最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、中央値以上では「8」（23.9%）が最も多く、中央値の2分の1以上中央値未満、中央値の2分の1未満では「5」が18.4%、22.6%とそれぞれ最も多く、中央値以上の世帯より、満足度が低くなっています。

世帯状況別にみると、ふたり親世帯では「8」（21.5%）が最も多く、ひとり親世帯、「母子世帯」のみでは「5」が17.9%、19.5%とそれぞれ最も多く、ふたり親世帯より満足度が低くなっています。

図表 生活の満足度



図表 生活の満足度（数表）

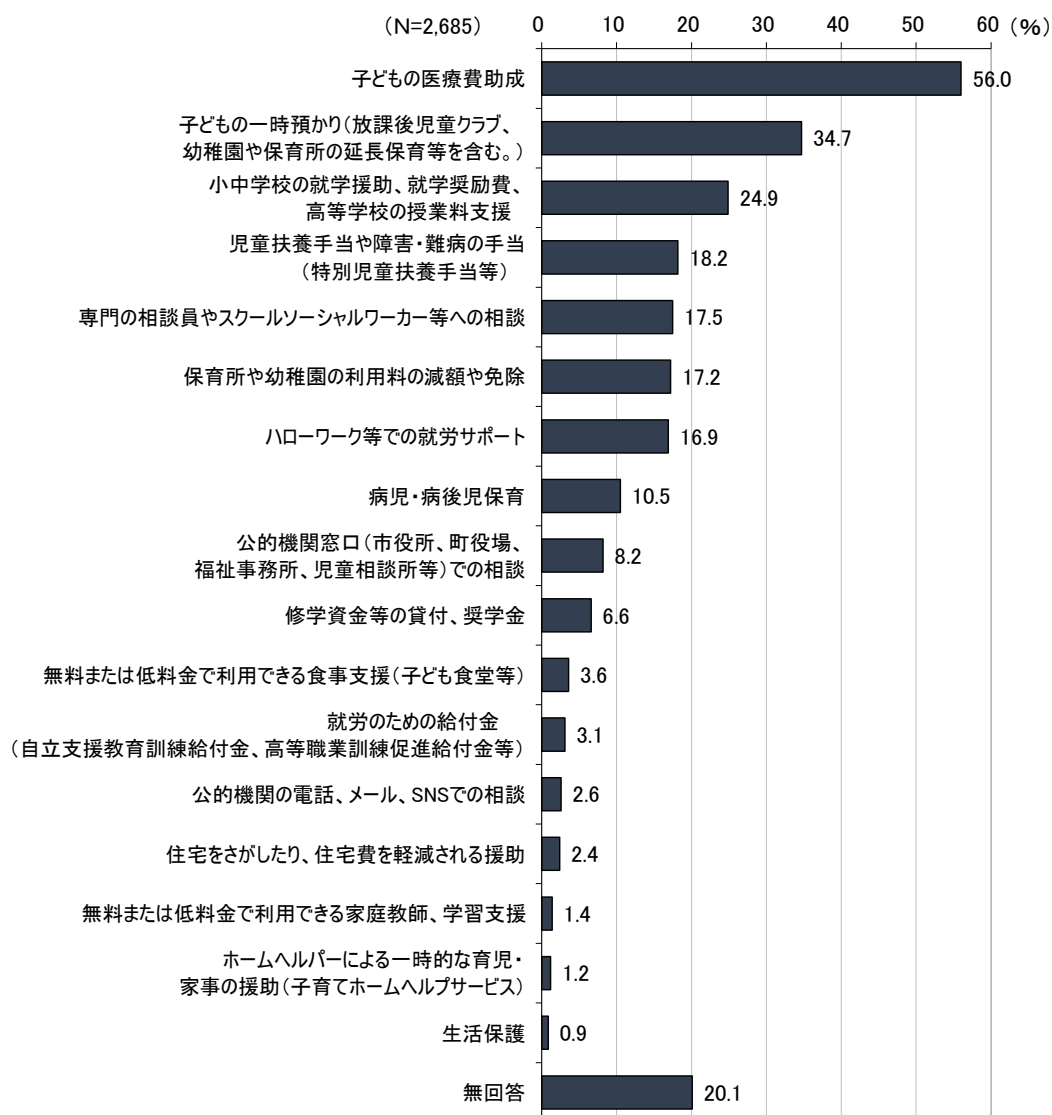
	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	無回答	
		い0 (まったく満足していない)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 (十分に満足している)		
全体	2,685	2.1	1.2	2.7	7.1	6.0	17.0	8.7	15.3	19.9	8.7	10.8	0.7	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	0.7	0.7	1.4	5.2	4.1	14.4	8.4	16.9	23.9	11.0	13.2	0.1
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	2.6	1.2	4.0	8.2	7.7	18.4	9.7	15.2	17.5	6.8	8.5	0.1
	中央値の2分の1未満	257	7.4	4.3	5.1	11.3	9.7	22.6	8.2	11.3	8.9	3.1	7.4	0.8
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	1.6	1.0	2.3	6.5	5.3	16.4	8.9	15.3	21.5	9.3	11.5	0.4
	ひとり親世帯	290	6.6	2.1	5.2	11.4	10.7	17.9	7.2	15.9	9.7	5.9	6.2	1.4
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	251	6.8	2.4	4.8	12.4	12.0	19.5	6.4	14.7	7.2	6.8	6.0	1.2

(34) 子育てに関する制度の利用状況・満足度

【子育てに関する制度の利用の有無】

子育てに関する制度の利用状況について、「子どもの医療費助成」(56.0%)が最も多く、次いで「子どもの一時預かり(放課後児童クラブ、幼稚園や保育所の延長保育を含む。)」(34.7%)、「小中学校の就学援助、就学奨励費、高等学校の授業料支援」(24.9%)、「児童扶養手当や障害・難病の手当(特別児童扶養手当等)」(18.2%)となっています。

図表 支援の利用状況



等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「子どもの医療費助成」の割合が最も多くなっています。中央値の2分の1未満では「小中学校の就学援助、就学奨励費、高等学校の授業料支援」の割合が他より多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「子どもの医療費助成」の割合が最も多くなっています。ひとり親世帯、「母子世帯」のみでは「小中学校の就学援助、就学奨励費、高等学校の授業料支援」の割合が他より多くなっています。

図表 支援の利用状況（数表）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	
		調査数	⑰子どもの医療費助成	⑭子ども園や保育所の延長保育等を含む。	③小中学校の授業料支援、就学奨励費、	⑦児童扶養手当や障害・難病の手当（特別児童扶養手当等）	①専門の相談員やスクールソーシャルワーカー等への相談	②保育所や幼稚園の利用料の減額や免除	⑨ハローワーク等での就労サポート	⑮病児・病後児保育	⑫公的機関窓口（市役所、町役場、福祉事務所、児童相談所等）での相談
			【表の見方】 比率(%) 網掛け＝		1位		2位				
全体		2,685	56.0	34.7	24.9	18.2	17.5	17.2	16.9	10.5	8.2
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	56.8	35.9	16.8	13.9	17.5	14.4	15.7	11.6	6.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	57.1	34.4	30.3	20.3	18.4	18.7	18.5	9.2	9.5
	中央値の2分の1未満	257	58.0	33.1	52.1	38.5	15.6	24.1	19.5	10.5	13.6
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	55.3	35.2	20.3	15.0	17.8	15.6	16.7	10.3	7.5
	ひとり親世帯	290	65.5	34.8	51.7	39.3	16.2	27.9	17.6	14.1	12.8
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	251	66.5	36.3	52.6	41.4	17.5	29.1	17.5	13.9	12.4

		(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)		
		調査数	④修学資金等の貸付、奨学金	⑩無料または低料金で利用できる食事支援（子ども食堂等）	⑧就労のための給付金（自立支援教育訓練給付金、高専職業訓練促進給付金等）	⑬公的機関の電話、メール、SNSでの相談	⑤住宅をさがしたり、住宅費を軽減させるための支援	⑪無料または低料金で利用できる家庭教師、学習支援	⑯ホームヘルパーによる一時的なヘルプサービス（子育てによるホームヘルプ）	⑥生活保護	無回答
			【表の見方】 比率(%) 網掛け＝		1位		2位				
全体		2,685	6.6	3.6	3.1	2.6	2.4	1.4	1.2	0.9	20.1
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	5.4	2.7	2.3	2.7	1.4	1.0	1.0	0.5	21.1
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	6.2	4.3	3.7	2.5	3.5	1.4	1.0	0.4	17.9
	中央値の2分の1未満	257	14.8	5.8	5.8	2.7	3.5	4.3	2.7	5.1	15.2
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	5.4	3.5	2.6	2.7	2.1	1.1	1.0	0.4	20.9
	ひとり親世帯	290	12.1	2.8	6.6	1.7	4.1	3.4	2.4	4.5	11.7
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	251	13.1	3.2	7.6	1.6	4.8	3.2	2.4	4.8	11.6

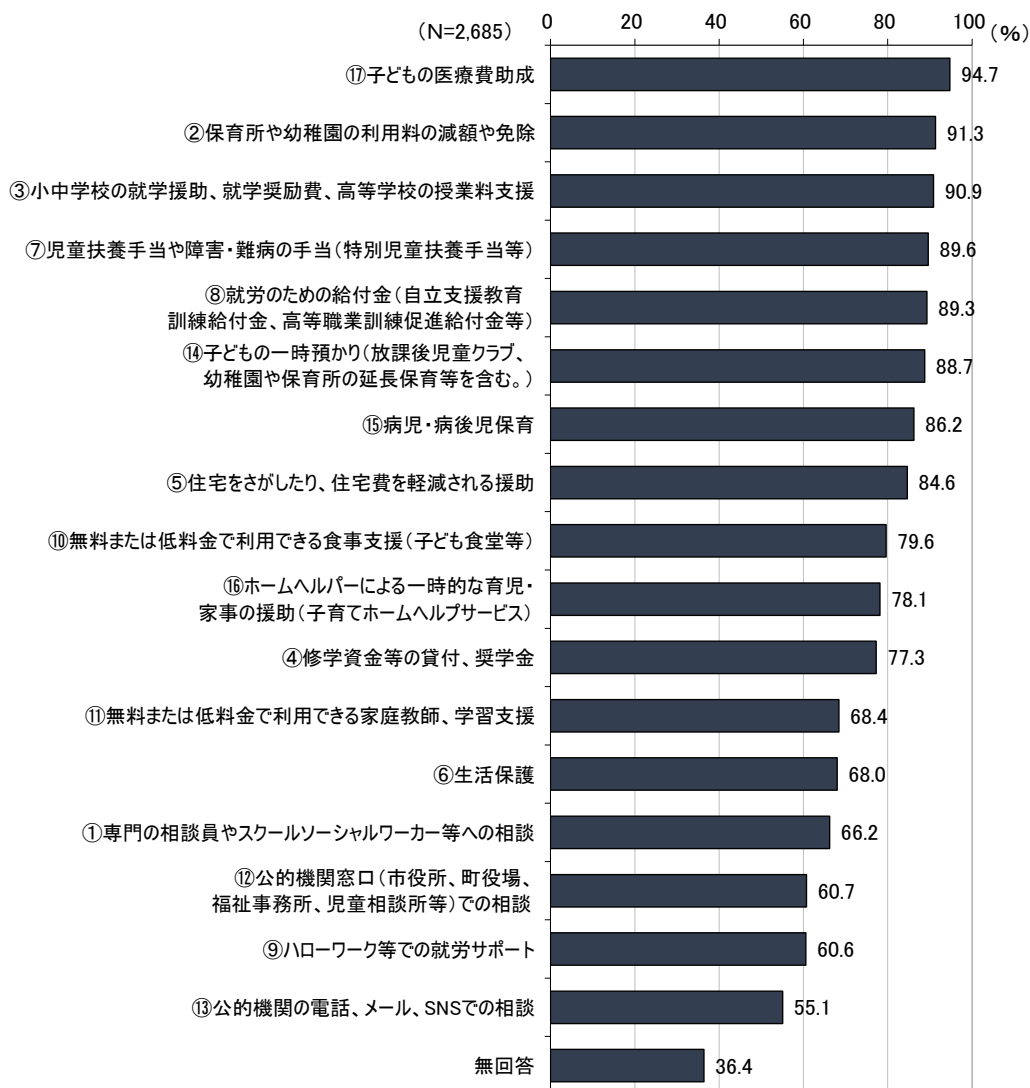
【満足度について（利用した制度のうち、高評価の制度）】

実際に制度を利用したことがある人のうち、利用してよかったの回答割合が高い高評価の制度（満足度）を見てみると、「子どもの医療費助成」及び「保育所や幼稚園の利用料の減額や免除」、「小中学校の就学援助、就学奨励費、高等学校の授業料支援」は利用経験が多く、また、満足度も約90%となっており、最も高い評価の制度といえます。

等価世帯収入の水準別にみると、中央値以上では「ホームヘルパーによる一時的な育児・家事の援助（子育てホームヘルプサービス）」が最も高く、中央値の2分の1以上中央値未満では「就労のための給付金（自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金等）」、中央値の2分の1未満では「子どもの医療費助成」が最も高くなっています。

世帯状況別にみると、ふたり親世帯では「子どもの医療費助成」が最も高く、「母子世帯」のみでは「就労のための給付金（自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金等）」が最も高くなっており、ひとり親世帯では「子どもの医療費助成」、「就労のための給付金（自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金等）」が同率で最も高くなっています。

図表 支援の利用状況（利用してよかったもの）



図表 支援の利用状況(利用してよかったもの)(数表)

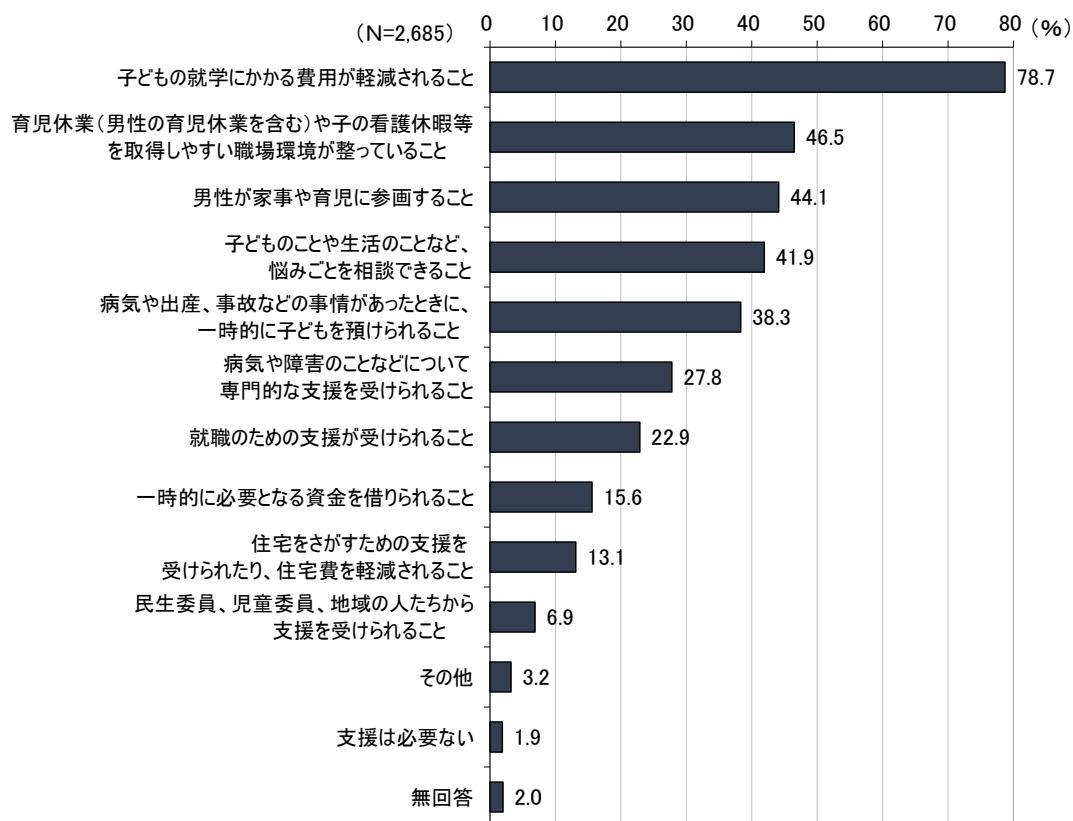
調査数		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)		
		①子どもの医療費助成	②料の保育所や幼稚園の利用	③授就小中高等学校の奨励費、高等学	④養病の児童手当(特別児童手当)	⑤金、自立支援のための職業訓練給付金等	⑥等推へ園を保育士を含む。)	⑦病児・病後児保育	⑧宅費を軽減された住	⑨も食料等)	⑩無料または低料金で利用できる食事支援(子ども)	
全体	利用した制度	2,685	1,504	461	668	490	84	933	283	65	98	
	利用してよかった制度	2,144	1,425	421	607	439	75	828	244	55	78	
	満足度	100.0	94.7	91.3	90.9	89.6	89.3	88.7	86.2	84.6	79.6	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	利用した制度	1,357	771	196	228	188	31	487	157	19	37
		利用してよかった制度	1,071	736	182	214	168	27	438	142	17	28
		満足度	100.0	95.5	92.9	93.9	89.4	87.1	89.9	90.4	89.5	75.7
	中央値の2分に1以上中央値未満	利用した制度	907	518	170	275	184	34	312	83	32	39
		利用してよかった制度	745	487	158	248	170	32	270	67	27	34
		満足度	100.0	94.0	92.9	90.2	92.4	94.1	86.5	80.7	84.4	87.2
中央値の2分の1未満	利用した制度	257	149	62	134	99	15	85	27	9	15	
	利用してよかった制度	218	138	51	117	86	12	73	22	6	10	
	満足度	100.0	92.6	82.3	87.3	86.9	80.0	85.9	81.5	66.7	66.7	
世帯状況別	ふたり親世帯	利用した制度	2,258	1,248	353	458	339	59	794	232	47	80
		利用してよかった制度	1,787	1,186	322	422	304	52	714	202	41	67
		満足度	100.0	95.0	91.2	92.1	89.7	88.1	89.9	87.1	87.2	83.8
	ひとり親世帯	利用した制度	290	190	81	150	114	19	101	41	12	8
		利用してよかった制度	256	180	75	134	103	18	83	36	9	5
		満足度	100.0	94.7	92.6	89.3	90.4	94.7	82.2	87.8	75.0	62.5
	ひとり親世帯 母子世帯のみ	利用した制度	251	167	73	132	104	19	91	35	12	8
		利用してよかった制度	222	157	67	122	95	18	74	31	9	5
		満足度	100.0	94.0	91.8	92.4	91.3	94.7	81.3	88.6	75.0	62.5

調査数		(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	無回答		
		⑩サ(一時保育)ヘルパー事業の支援	⑪学修資金等の貸付、奨	⑫支用できない家庭は低料金で習	⑬生活保護	⑭ヘルソの相談員等	⑮相談、児童相談所(福祉事務所)の	⑯労サポーター等での就	⑰ル、公的機関との電話、メ			
全体	利用した制度	2,685	32	176	38	25	471	219	454	69	541	
	利用してよかった制度	2,144	25	136	26	17	312	133	275	38	197	
	満足度	100.0	78.1	77.3	68.4	68.0	66.2	60.7	60.6	55.1	36.4	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	利用した制度	1,357	14	73	14	7	237	89	213	37	286
		利用してよかった制度	1,071	14	58	11	6	161	53	130	24	97
		満足度	100.0	100.0	79.5	78.6	85.7	67.9	59.6	61.0	64.9	33.9
	中央値の2分に1以上中央値未満	利用した制度	907	9	56	13	4	167	86	168	23	162
		利用してよかった制度	745	5	39	10	3	112	52	109	10	73
		満足度	100.0	55.6	69.6	76.9	75.0	67.1	60.5	64.9	43.5	45.1
中央値の2分の1未満	利用した制度	257	7	38	11	13	40	35	50	7	39	
	利用してよかった制度	218	5	34	5	8	20	21	23	4	15	
	満足度	100.0	71.4	89.5	45.5	61.5	50.0	60.0	46.0	57.1	38.5	
世帯状況別	ふたり親世帯	利用した制度	2,258	23	123	24	9	403	170	378	61	471
		利用してよかった制度	1,787	20	95	18	7	268	104	235	35	163
		満足度	100.0	87.0	77.2	75.0	77.8	66.5	61.2	62.2	57.4	34.6
	ひとり親世帯	利用した制度	290	7	35	10	13	47	37	51	5	34
		利用してよかった制度	256	4	27	7	8	29	22	30	2	20
		満足度	100.0	57.1	77.1	70.0	61.5	61.7	59.5	58.8	40.0	58.8
	ひとり親世帯 母子世帯のみ	利用した制度	251	6	33	8	12	44	31	44	4	29
		利用してよかった制度	222	4	26	6	8	26	18	27	2	17
		満足度	100.0	66.7	78.8	75.0	66.7	59.1	58.1	61.4	50.0	58.6

(35) 必要・重要だと思う施策

子育てをするうえで、必要・重要だと思う施策について、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」(78.7%)、「育児休業（男性の育児休業を含む）や子の看病休暇等を取得しやすい職場環境が整っていること」(46.5%)、「男性が家事や育児に参画すること」(44.1%) となっています。

図表 必要・重要だと思う施策



等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が7割以上と最も多くなっています。中央値の2分の1以上中央値未満では「男性が家事や育児に参画すること」が続いています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が7割以上と最も多くなっています。ひとり親世帯、「母子世帯」のみでは「子どものことや生活のことなど、悩みごとを相談できること」が続いています。

図表 必要・重要だと思う施策（数表）

	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	
		子どもの就学にかかる費用が軽減されること	境子の育休が整っていること	男性が家事や育児に参画すること	子どもを相談できること	病気にや、一時、病的な子どもを預けられたこと	病気や障害を受けられること	就職のための支援が受けられること	
全体	2,685	78.7	46.5	44.1	41.9	38.3	27.8	22.9	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	74.1	52.4	49.0	44.7	41.3	28.7	19.7
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	85.1	42.9	43.3	40.0	35.6	27.8	26.2
	中央値の2分の1未満	257	84.4	31.9	23.7	37.7	34.2	23.7	27.2
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	78.4	48.8	48.2	42.9	39.7	28.7	22.5
	ひとり親世帯	290	81.4	33.8	17.6	36.6	30.0	23.1	24.1
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	81.7	35.5	17.5	38.2	32.3	24.3	25.9

【表の見方】
比率(%)
網掛け=

1位
2位

	調査数	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)		
		一時的に必要な資金を借りられること	住宅費が軽減されること	民生委員、児童委員、地域のみなさんからの支援を受けること	その他	支援は必要ない	無回答	
全体	2,685	15.6	13.1	6.9	3.2	1.9	2.0	
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,357	12.7	10.6	6.8	3.2	2.7	0.9
	中央値の2分の1以上中央値未満	907	18.0	14.4	6.5	2.9	1.0	1.9
	中央値の2分の1未満	257	21.8	20.6	8.9	2.3	1.6	5.4
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	14.6	11.5	6.6	3.2	1.8	1.4
	ひとり親世帯	290	19.7	22.1	8.3	3.4	2.1	4.8
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	251	20.7	24.7	8.4	2.4	1.6	5.2

【表の見方】
比率(%)
網掛け=

1位
2位

2 子どもに対する調査

(1) 性別

性別について、「男」（48.1%）、「女」（49.5%）、「その他・答えたくない」（2.4%）となっています。

図表 性別（数表）

	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答		
		男	女	答その えの た他 く ない			
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け= <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="background-color: #0070C0; color: white;">1位</td></tr> <tr><td style="background-color: #4F81BD; color: white;">2位</td></tr> </table>	1位	2位					
1位							
2位							
全体	2,556 100.0	1,230 48.1	1,264 49.5	61 2.4	1 0.0		

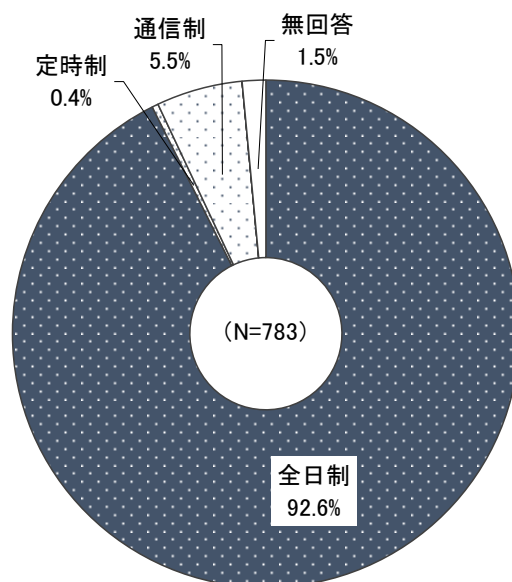
(2) 高校の課程（※高校生票のみ）

高校の課程について、「全日制」（92.6%）、「定時制」（0.4%）、「通信制」（5.5%）となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「全日制」と回答した方の割合が8割以上となっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「全日制」と回答した方の割合が8割以上となっています。

図表 高校の課程



図表 高校の課程（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		全 日 制	定 時 制	通 信 制		
全体	783	92.6	0.4	5.5	1.5	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	363	94.8	0.3	3.6	1.4
	中央値の2分の1以上中央値未満	293	92.2	0.3	6.8	0.7
	中央値の2分の1未満	78	83.3	1.3	11.5	3.8
世帯 状況別	ふたり親世帯	622	94.1	0.3	4.5	1.1
	ひとり親世帯	108	88.0	0.9	9.3	1.9
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	94	88.3	1.1	9.6	1.1

(3) 学習環境

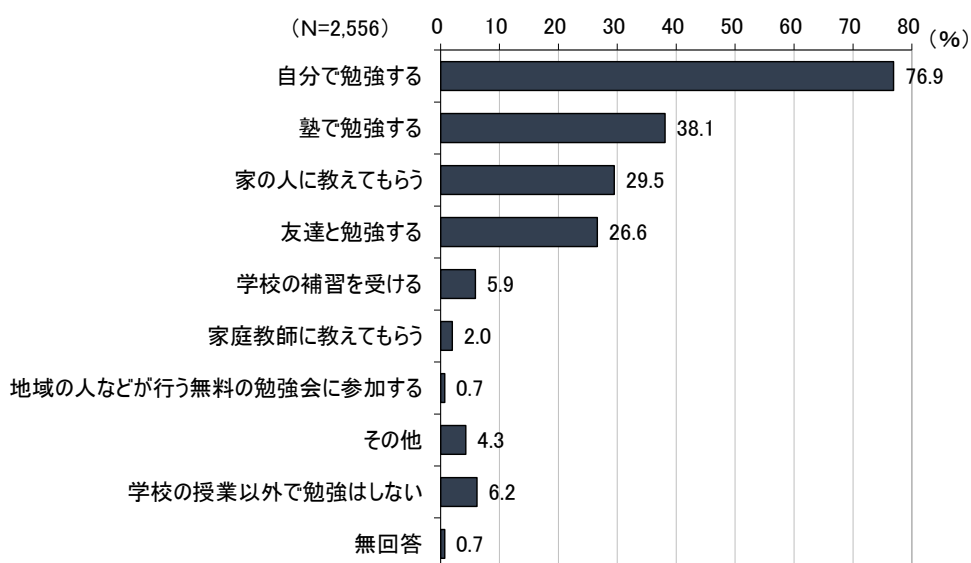
学校の授業以外での勉強方法について、「自分で勉強する」(76.9%)が最も多く、次いで「塾で勉強する」(38.1%)、「家の人に教えてもらう」(29.5%)、「友達と勉強する」(26.6%)となっています。

学年別にみると、すべての学年で「自分で勉強する」が最も多く、小学5年生では「家の人に教えてもらう」、中学2年生では「塾で勉強する」、高校2年生では「友達と勉強する」が続いています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「自分で勉強する」が最も多く、7割を超えています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「自分で勉強する」が最も多く、6割を超えています。

図表 学習環境



図表 学習環境（数表）

	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	無回答	
		自分で勉強する	塾で勉強する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	その他	学校の授業以外で勉強はしない		
全体	2,556	76.9	38.1	29.5	26.6	5.9	2.0	0.7	4.3	6.2	0.7	
学年別	小学5年生	905	76.7	31.4	52.5	23.3	6.1	1.1	0.9	6.9	4.1	0.1
	中学2年生	868	76.5	52.3	26.4	25.6	4.1	2.9	1.3	3.6	4.6	0.6
	高校2年生	783	77.7	30.0	6.4	31.7	7.5	2.2	-	2.0	10.3	1.4
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,179	79.9	46.2	31.4	26.4	4.7	2.6	0.4	4.2	4.2	0.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	75.7	31.3	29.1	27.5	7.6	1.7	0.8	4.2	7.9	0.4
	中央値の2分の1未満	265	75.1	25.7	24.5	27.9	6.4	0.8	1.9	3.0	9.4	0.4
世帯状況別	ふたり親世帯	2,143	78.5	39.9	31.0	26.4	5.9	2.1	0.7	4.3	5.1	0.5
	ひとり親世帯	276	69.6	28.3	20.3	27.2	6.2	1.4	0.7	4.3	11.2	1.1
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	241	70.5	29.0	21.6	29.5	7.1	1.7	0.8	4.6	10.4	0.4

(4) 学習習慣

a) 学校がある日（月～金曜日）

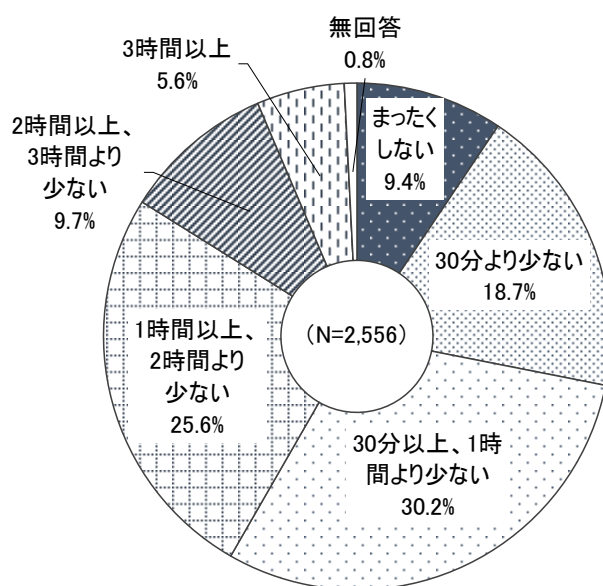
学校がある日の学校の授業以外での勉強時間について、「30分以上、1時間より少ない」(30.2%)が最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」(25.6%)、「30分より少ない」(18.7%)となっています。

学年別にみると、小学5年生では「30分以上1時間より少ない」が最も多く、中学2年生、高校2年生では「1時間以上、2時間より少ない」が最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「30分以上1時間より少ない」が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「30分以上1時間より少ない」が最も多くなっています。

図表 学校がある日（月～金曜日）



図表 学校がある日（月～金曜日）（数表）

	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	無回答	
		まったくしない	30分より少ない	い30分以上、1時間より少ない	い1時間以上、2時間より少ない	い2時間以上、3時間より少ない	3時間以上		
全体	2,556	9.4	18.7	30.2	25.6	9.7	5.6	0.8	
学年別	小学5年生	905	2.4	19.0	46.3	24.0	4.9	3.1	0.3
	中学2年生	868	8.1	18.1	25.0	31.6	12.8	3.9	0.6
	高校2年生	783	19.0	19.0	17.2	20.9	12.0	10.2	1.5
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,179	6.9	16.2	29.5	27.0	12.8	6.8	0.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	10.8	20.1	31.6	26.0	7.2	4.0	0.4
	中央値の2分の1未満	265	12.1	25.3	31.3	18.9	6.0	5.7	0.8
世帯状況別	ふたり親世帯	2,143	8.1	18.1	30.4	27.1	10.0	5.6	0.7
	ひとり親世帯	276	16.3	25.0	29.0	16.7	8.0	4.0	1.1
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	241	16.2	24.9	29.9	16.6	7.5	4.6	0.4

b) 学校がない日（土・日曜日・祝日）

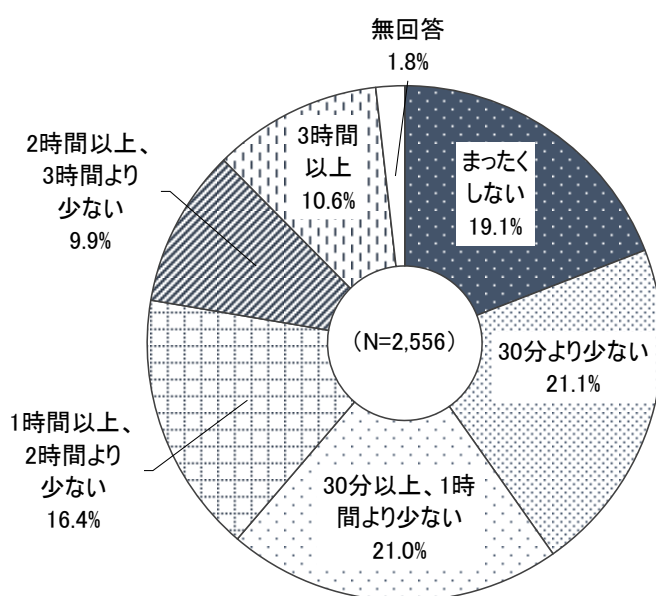
学校がない日の学校の授業以外での勉強時間について、「30分より少ない」（21.1%）が最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」（21.0%）、「まったくしない」（19.1%）となっています。

学年別にみると、小学5年生では「30分より少ない」が最も多く、中学2年生では「30分以上、1時間より少ない」、高校2年生では「まったくしない」が最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、中央値以上では「30分以上、1時間より少ない」が最も多く、中央値の2分の1未満では「30分より少ない」が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、ふたり親世帯では「30分以上、1時間未満」が最も多く、ひとり親世帯、「母子世帯」のみでは「まったくしない」が最も多くなっています。

図表 学校がない日（土・日曜日・祝日）



図表 学校がない日（土・日曜日・祝日）（数表）

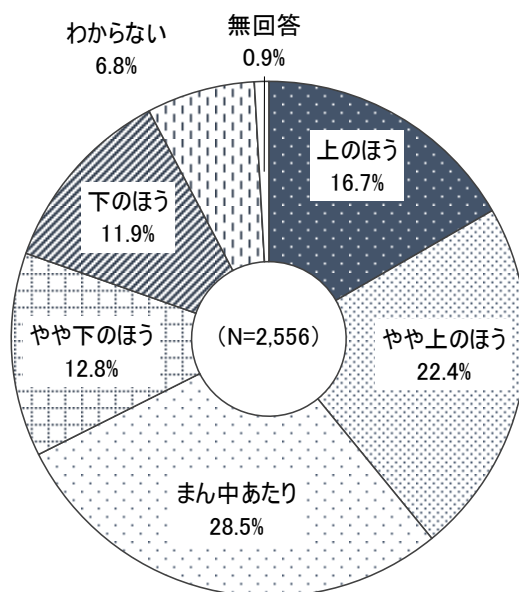
	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	無回答	
		まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上		
全体	2,556	19.1	21.1	21.0	16.4	9.9	10.6	1.8	
学年別	小学5年生	905	17.1	28.4	27.2	15.9	6.4	3.2	1.8
	中学2年生	868	16.1	18.0	21.5	20.4	12.8	10.0	1.2
	高校2年生	783	24.5	16.2	13.4	12.6	10.9	19.7	2.7
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,179	14.8	18.2	20.3	18.3	12.6	14.2	1.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	22.1	22.7	22.7	15.4	8.4	7.0	1.7
	中央値の2分の1未満	265	24.2	26.0	21.1	15.1	4.2	7.2	2.3
世帯状況別	ふたり親世帯	2,143	17.8	20.4	21.6	16.8	10.5	11.1	1.8
	ひとり親世帯	276	27.2	26.1	17.4	13.4	6.9	7.6	1.4
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	241	28.2	27.4	16.6	13.3	6.6	7.1	0.8

(5) 学習成績

自分の成績について、「まん中あたり」(28.5%)が最も多く、次いで「やや上のほう」(22.4%)、「上のほう」(16.7%)、「やや下のほう」(12.8%)となっています。

学年別、等価世帯収入の水準別、世帯状況別すべてにおいて、「まん中あたり」と回答した方の割合が最も多くなっています。

図表 学習成績



図表 学習成績（数表）

		調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	無回答
			上のほう	やや上のほう	まん中あたり	やや下のほう	下のほう	わからない	
【表の見方】 比率(%) 網掛け=				1位	2位				
全体		2,556	16.7	22.4	28.5	12.8	11.9	6.8	0.9
学年別	小学5年生	905	16.5	21.4	32.2	11.7	6.9	10.6	0.8
	中学2年生	868	14.2	22.9	27.3	15.0	15.3	4.7	0.6
	高校2年生	783	19.9	23.0	25.5	11.5	13.9	4.9	1.3
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,179	18.9	26.4	28.5	10.5	9.5	5.5	0.7
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	15.0	19.9	29.9	13.8	13.5	7.5	0.4
	中央値の2分の1未満	265	11.7	18.5	23.8	18.9	16.6	10.2	0.4
世帯状況別	ふたり親世帯	2,143	17.0	23.5	28.9	12.3	11.0	6.7	0.7
	ひとり親世帯	276	13.8	17.0	25.0	15.6	18.5	8.7	1.4
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	241	14.5	16.6	25.3	16.2	17.4	9.1	0.8

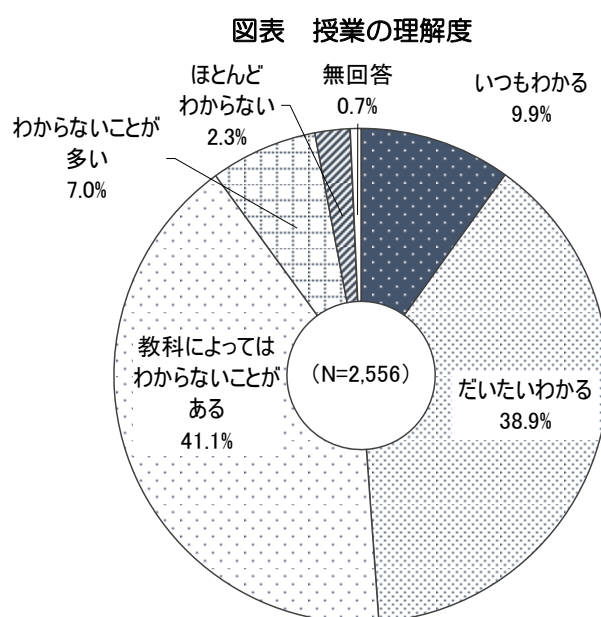
(6) 授業の理解度

学校の授業がわからないことがあるかについて、「教科によってはわからないことがある」（41.1%）が最も多く、次いで「だいたいわかる」（38.9%）、「いつもわかる」（9.9%）、「わからないことが多い」（7.0%）となっています。

学年別にみると、小学5年生では「だいたいわかる」が最も多く、中学2年生、高校2年生では「教科によってはわからないことがある」が最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、中央値以上では「だいたいわかる」がもっと多く、中央値の2分の1以上中央値未満、中央値の2分の1未満では「教科によってはわからないことがある」が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「教科によってはわからないところがある」が最も多くなっています。



図表 授業の理解度（数表）

		調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(1)+(2)	(3)+(4)+(5)
			いつもわかる	だいたいわかる	教科によってはわからないところがある	わからないことが多い	ほとんどわからない		【わかる】	【わからない】
全体		2,556	9.9	38.9	41.1	7.0	2.3	0.7	48.8	50.4
学年別	小学5年生	905	14.3	45.0	34.0	4.8	1.0	1.0	59.3	39.8
	中学2年生	868	8.6	34.3	43.9	9.1	3.9	0.1	42.9	56.9
	高校2年生	783	6.4	37.0	46.2	7.3	2.0	1.0	43.4	55.5
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,179	13.2	42.5	38.3	4.2	1.6	0.3	55.7	44.1
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	6.7	37.7	42.7	9.2	2.7	1.1	44.4	54.6
	中央値の2分の1未満	265	6.4	31.3	44.5	12.8	3.8	1.1	37.7	61.1
世帯状況別	ふたり親世帯	2,143	10.1	39.8	41.0	6.6	2.1	0.5	49.9	49.7
	ひとり親世帯	276	8.0	31.9	44.2	10.1	4.0	1.8	39.9	58.3
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	241	8.7	31.1	43.6	10.8	3.7	2.1	39.8	58.1

(7) 授業についていけなくなった時期

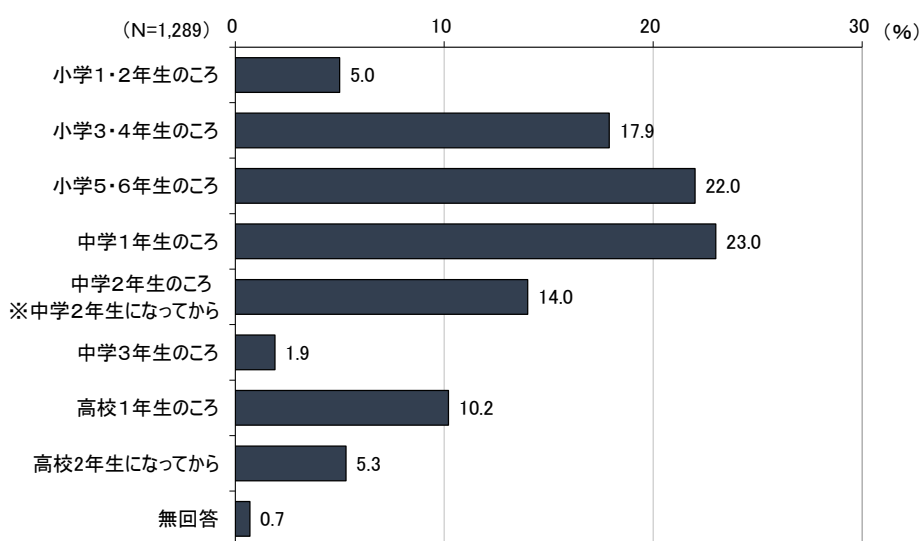
学校の授業がわからないことがあるようになった時期について、「中学1年生のころ」(23.0%)、「小学5・6年生のころ」(22.0%)、「小学3・4年生のころ」(17.9%)となっています。

学年別にみると、小学5年生では「小学3・4年生のころ」が最も多く、中学2年生では「中学1年生のころ」、高校2年生では「高校1年生のころ」が最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての世帯で「中学1年生のころ」と回答した方の割合が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「中学1年生のころ」と回答した方の割合が最も多くなっています。

図表 授業についていけなくなった時期



図表 授業についていけなくなった時期（数表）

	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	無回答	
		小学1・2年生のころ	小学3・4年生のころ	小学5・6年生のころ	中学1年生のころ	中学2年生のころ	中学3年生のころ	高校1年生のころ	高校2年生になってから		
全体	1,289	5.0	17.9	22.0	23.0	14.0	1.9	10.2	5.3	0.7	
学年別	小学5年生	360	8.1	48.9	41.4	-	-	-	-	1.7	
	中学2年生	494	3.4	5.5	19.4	47.6	23.7	-	-	0.4	
	高校2年生	435	4.4	6.4	8.7	14.0	14.7	5.5	30.3	15.6	0.2
等価世帯収入の水準別	中央値以上	519	5.0	15.6	20.6	22.0	14.5	2.3	13.1	6.4	0.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	517	4.6	18.2	23.6	24.2	14.1	1.5	7.9	5.2	0.6
	中央値の2分の1未満	162	6.2	22.2	22.8	24.7	11.1	1.2	7.4	3.7	0.6
世帯状況別	ふたり親世帯	1,064	5.2	18.1	21.8	22.8	13.5	1.8	10.5	5.4	0.8
	ひとり親世帯	161	3.7	16.8	22.4	26.7	15.5	2.5	6.2	6.2	-
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	140	3.6	17.9	22.9	26.4	15.7	2.9	6.4	4.3	-

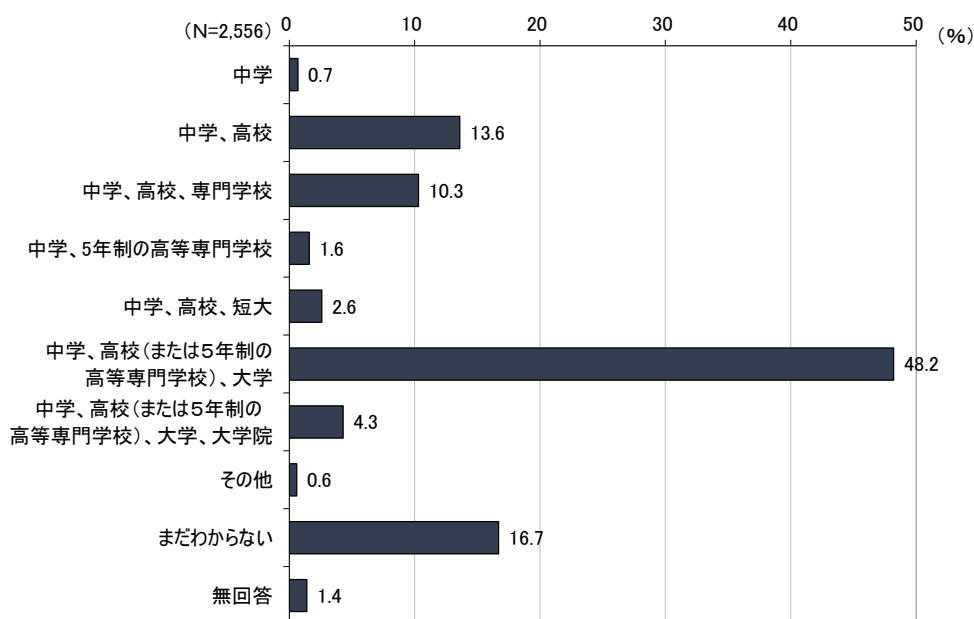
(8) 進学希望

どこまで進学したいかについて、「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」(48.2%)が最も多く、「中学、高校」(13.6%)、「中学、高校、専門学校」(10.3%)となっています。一方、「まだわからない」と回答した方の割合も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」の回答割合は、「中央値以上」の世帯では56.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では44.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では28.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」の回答割合は、「ふたり親世帯」では49.6%、「ひとり親世帯」全体では37.3%、「母子世帯」のみでは38.2%となっている。

図表 進学希望



図表 進学希望(数表)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)		
		調査数	中学	中学、高校	中学、高校、専門学校	中学、5年制の高等専門学校	中学、高校、短大	中学、高校、専門学校(または5年制の高等専門学校)、大学	院 高等専 門学校(または5年制の 大学、大学	その他	まだわからない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け=												
		1位										
		2位										
全体		2,556	0.7	13.6	10.3	1.6	2.6	48.2	4.3	0.6	16.7	1.4
学年別	小学5年生	905	1.7	15.0	11.3	0.9	3.8	36.2	4.2	0.3	25.2	1.4
	中学2年生	868	0.5	14.3	8.6	2.0	2.0	50.9	2.8	0.5	17.3	1.3
	高校2年生	783	-	11.2	11.1	1.9	2.0	59.0	6.0	1.1	6.1	1.4
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,179	0.8	7.0	9.0	1.4	2.6	56.3	5.9	0.2	16.2	0.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	0.6	17.2	11.5	2.1	2.6	44.1	2.7	0.7	16.7	1.6
	中央値の2分の1未満	265	1.5	26.4	13.2	1.1	2.6	28.3	2.3	1.5	19.6	3.4
世帯状況別	ふたり親世帯	2,143	0.7	12.6	10.3	1.8	2.7	49.6	4.3	0.5	16.7	0.9
	ひとり親世帯	276	1.4	19.6	11.6	0.7	2.9	37.3	4.3	1.1	18.8	2.2
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	1.2	19.5	12.9	0.4	2.5	38.2	4.1	1.2	17.4	2.5

(9) 想定する進学先の理由

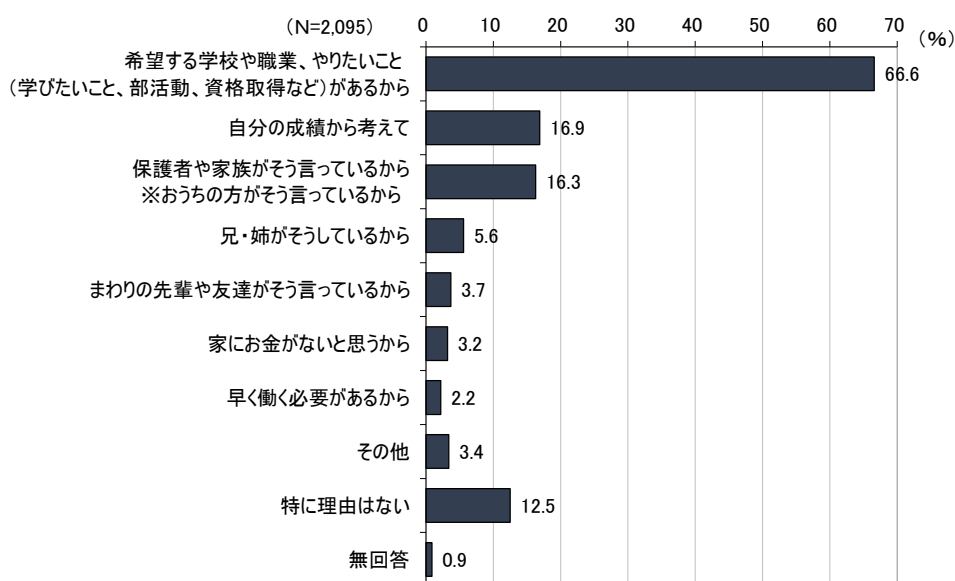
希望する学校まで進学したい理由について、「希望する学校や職業、やりたいこと（学びたいこと、部活動、資格取得など）があるから」（66.6%）が最も多く、次いで「自分の成績から考えて」（16.9%）、「保護者や家族がそう言っているから」（16.3%）となっています。

学年別にみると、すべての学年で「希望する学校や職業、やりたいこと（学びたいこと、部活動、資格取得など）があるから」と回答した方の割合が最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「希望する学校や職業、やりたいこと（学びたいこと、部活動、資格取得など）があるから」と回答した方の割合が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての水準で「希望する学校や職業、やりたいこと（学びたいこと、部活動、資格取得など）があるから」と回答した方の割合が最も多くなっています。

図表 想定する進学先の理由



図表 想定する進学先の理由（数表）

	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	無回答	
		な（希望する学校や職業、やりたいこと、部活動、資格取得など）があるから	自分の成績から考えて	保護者や家族がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達にそう言っているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	特に理由はない		
全体	2,095	66.6	16.9	16.3	5.6	3.7	3.2	2.2	3.4	12.5	0.9	
学年別	小学5年生	664	59.8	16.9	14.6	5.7	2.1	2.7	1.8	4.2	15.2	1.4
	中学2年生	707	62.5	18.0	19.2	6.1	3.7	3.4	1.8	2.4	15.3	0.6
	高校2年生	724	76.9	16.0	15.1	5.0	5.1	3.5	2.9	3.7	7.2	0.7
等価世帯収入の水準別	中央値以上	979	71.4	17.6	16.6	6.2	3.8	1.6	1.0	2.9	10.9	0.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	774	63.4	16.9	17.4	5.0	4.1	3.6	2.7	3.7	12.7	1.2
	中央値の2分の1未満	204	62.7	14.7	12.3	5.9	2.5	9.3	4.4	4.4	13.7	0.5
世帯状況別	ふたり親世帯	1,765	67.1	17.1	16.9	5.9	3.8	2.7	2.2	3.3	12.1	0.9
	ひとり親世帯	218	66.1	14.7	12.8	2.8	2.8	6.4	2.8	2.8	14.2	0.5
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	193	66.8	13.5	13.0	3.1	3.1	7.3	3.1	3.1	14.0	0.5

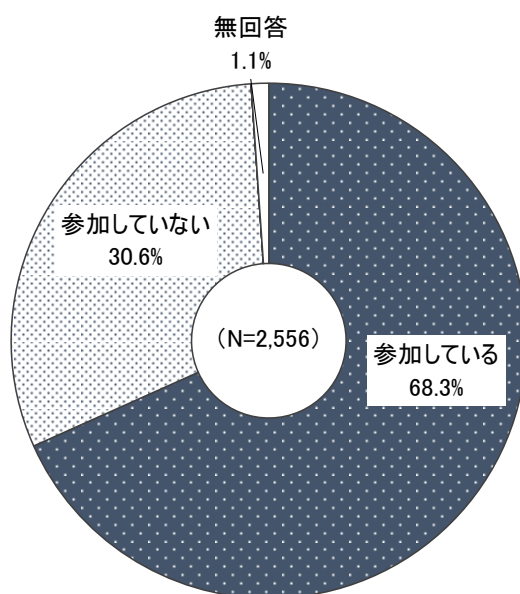
（10）部活動等の状況

クラブ活動や地域のスポーツ少年団、部活動の参加状況について、「参加している」（68.3%）、「参加していない」（30.6%）となっています。

等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」の割合は、「中央値以上」の世帯では 29.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 29.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 40.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」の割合は、「ふたり親世帯」では 30.2%、「ひとり親世帯」全体では 35.9%、「母子世帯」のみでは 36.5%となっている。

図表 部活動等の状況



図表 部活動等の状況（数表）

		調査数	(1)	(2)	無回答
			参加している	参加していない	
【表の見方】 比率(%) 網掛け=					
		1位			
		2位			
全体		2,556	68.3	30.6	1.1
学年別	小学5年生	905	48.4	49.7	1.9
	中学2年生	868	86.6	12.9	0.5
	高校2年生	783	71.1	28.1	0.8
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,179	70.1	29.1	0.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	68.8	29.9	1.3
	中央値の2分の1未満	265	58.5	40.4	1.1
世帯状況別	ふたり親世帯	2,143	69.0	30.2	0.8
	ひとり親世帯	276	62.0	35.9	2.2
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	241	61.4	36.5	2.1

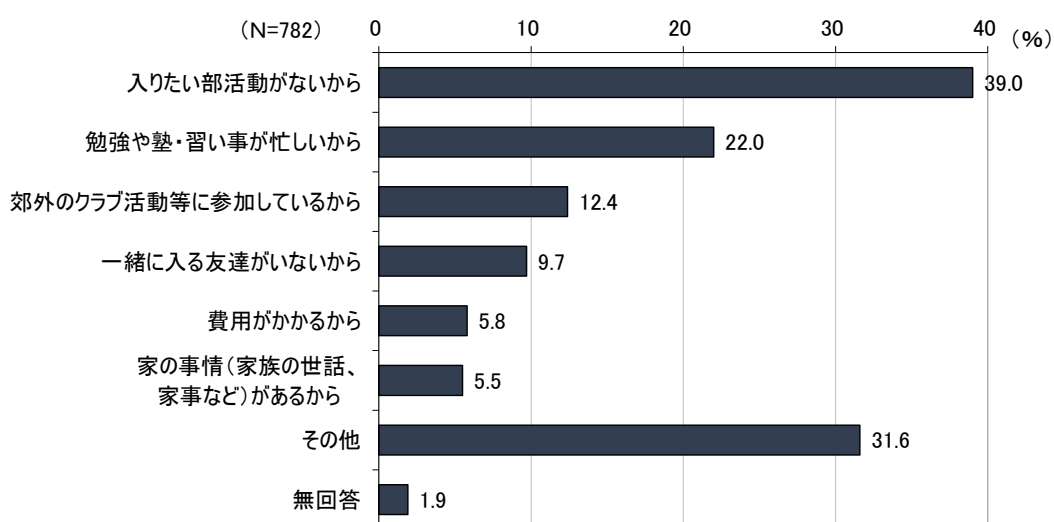
（11）部活動等を行わない理由

クラブ活動や地域のスポーツ少年団、部活動に参加していない理由について、「入りたい部活動がないから」（39.0%）が最も多く、次いで「勉強や塾・習い事が忙しいから」（22.0%）、「郊外のクラブ活動等に参加しているから」（12.4%）、「一緒に入る友達がないから」（9.7%）となっています。一方、「その他」と回答した方の割合が31.6%と多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「費用がかかるから」が13.1%で、10%を超えている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「費用がかかるから」が10.1%で、10%を超えている。

図表 部活動等を行わない理由



図表 部活動等を行わない（数表）

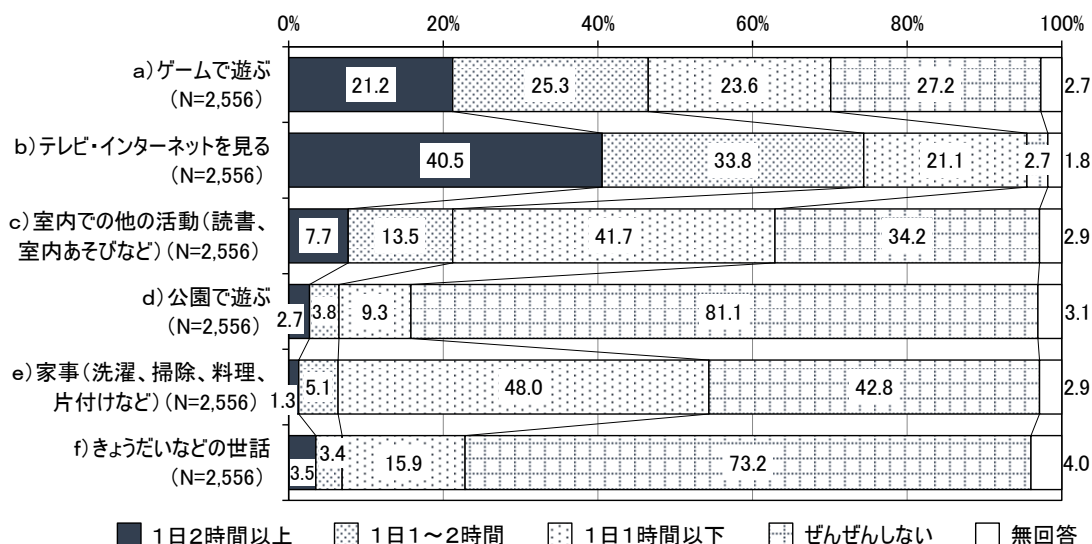
	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	無回答	
		入りたい部活動がないから	勉強や塾・習い事が忙しいから	郊外のクラブ活動等に参加しているから	一緒に入る友達がないから	費用がかかるから	家の事情(家族の世話、家事など)があるから	その他		
全体	782	39.0	22.0	12.4	9.7	5.8	5.5	31.6	1.9	
学年別	小学5年生	450	40.2	28.9	10.0	11.3	8.0	8.2	26.2	1.3
	中学2年生	112	28.6	8.0	37.5	7.1	0.9	-	33.9	0.9
	高校2年生	220	41.8	15.0	4.5	7.7	3.6	2.7	41.4	3.6
等価世帯収入の水準別	中央値以上	343	40.2	28.3	15.7	10.8	2.9	3.5	27.7	2.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	283	38.2	17.7	11.0	8.1	6.4	6.4	33.6	2.1
	中央値の2分の1未満	107	37.4	13.1	5.6	10.3	13.1	7.5	35.5	0.9
世帯状況別	ふたり親世帯	647	38.5	24.0	13.1	9.9	4.9	5.4	31.2	1.7
	ひとり親世帯	99	42.4	12.1	9.1	8.1	10.1	5.1	32.3	3.0
	ひとり親世帯・母子世帯のみ	88	43.2	13.6	6.8	9.1	10.2	4.5	31.8	3.4

（12）活動時間

<学校がある日（月～金曜日）>

学校がある日（月～金曜日）の活動時間について、「ゲームで遊ぶ」、「テレビ・インターネットを見る」の割合が他の活動より多くなっています。

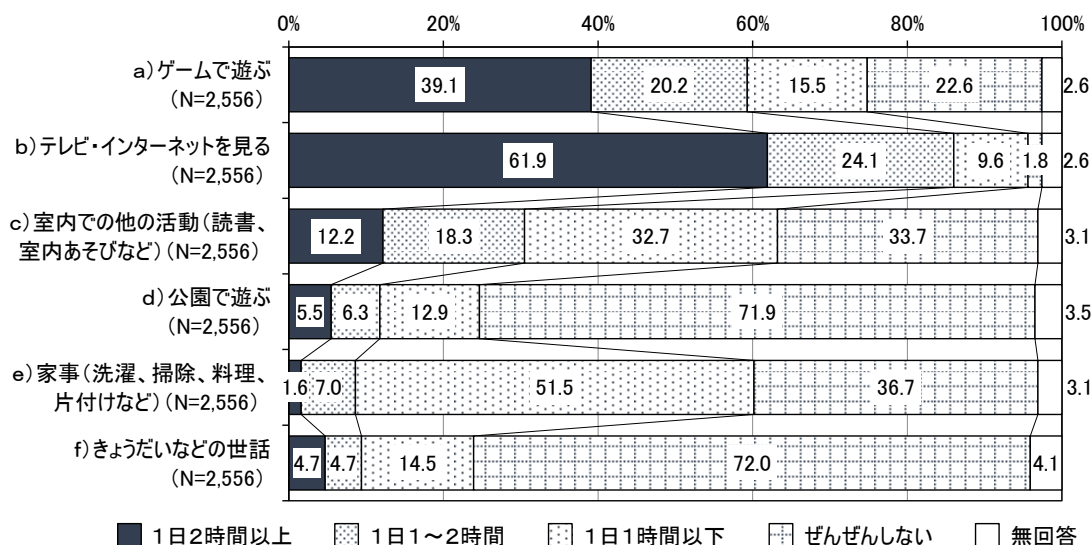
図表 【活動時間】学校がある日（月～金曜日）



<学校がない日（土・日曜日・祝日）>

学校がない日（土・日曜日・祝日）の活動時間について、「ゲームで遊ぶ」、「テレビ・インターネットを見る」の割合が他の活動より多く、平日の活動時間より多くなっています。

図表 【活動時間】学校がない日（土・日曜日・祝日）



<学校がある日(月～金曜日)> (数表)

a) ゲームで遊ぶ

		(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	1日2時間以上	1日1時間2時間	1日1時間以下	ぜんぜんしない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位		
全体		2,556	21.2	25.3	23.6	27.2
学 年 別	小学5年生	905	18.9	29.9	28.1	20.8
	中学2年生	868	21.1	26.2	21.9	29.6
	高校2年生	783	23.9	19.0	20.3	31.9
水 収 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,179	16.4	25.3	25.4	31.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	25.6	27.1	21.3	22.6
	中央値の2分の1未満	265	28.3	22.6	20.8	24.5
状 況 別 世 帯	ふたり親世帯	2,143	20.2	26.1	23.9	27.2
	ひとり親世帯	276	29.7	21.4	21.4	24.6
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	29.0	22.0	20.3	25.7

b) テレビ・インターネットを見る

		(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	1日2時間以上	1日1時間2時間	1日1時間以下	ぜんぜんしない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位		
全体		2,556	40.5	33.8	21.1	2.7
学 年 別	小学5年生	905	34.6	37.6	23.0	3.0
	中学2年生	868	41.5	33.5	22.2	2.3
	高校2年生	783	46.2	29.9	17.8	2.9
水 収 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,179	34.9	36.4	24.4	3.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	45.8	32.5	17.8	1.7
	中央値の2分の1未満	265	49.4	27.2	16.2	4.9
状 況 別 世 帯	ふたり親世帯	2,143	39.0	35.5	21.2	2.8
	ひとり親世帯	276	52.9	23.9	18.1	2.5
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	51.0	26.6	17.4	2.5

c) 室内での他の活動
(読書、室内あそびなど)

		(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	1日2時間以上	1日1時間2時間	1日1時間以下	ぜんぜんしない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位		
全体		2,556	7.7	13.5	41.7	34.2
学 年 別	小学5年生	905	10.6	18.7	47.0	21.2
	中学2年生	868	5.6	11.6	45.7	35.6
	高校2年生	783	6.6	9.7	31.0	47.8
水 収 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,179	7.6	13.3	42.2	34.9
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	8.1	11.6	41.6	34.7
	中央値の2分の1未満	265	7.2	22.3	38.5	29.4
状 況 別 世 帯	ふたり親世帯	2,143	7.8	13.3	42.3	33.9
	ひとり親世帯	276	9.1	17.4	35.5	34.4
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	8.7	18.3	34.0	35.3

d) 公園で遊ぶ

		(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	1日2時間以上	1日1時間2時間	1日1時間以下	ぜんぜんしない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位		
全体		2,556	2.7	3.8	9.3	81.1
学 年 別	小学5年生	905	5.4	9.0	16.0	66.7
	中学2年生	868	1.5	1.3	7.6	88.1
	高校2年生	783	0.9	0.6	3.3	89.9
水 収 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,179	2.9	3.6	9.3	82.4
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	2.3	4.1	8.3	81.2
	中央値の2分の1未満	265	3.8	3.8	11.7	75.5
状 況 別 世 帯	ふたり親世帯	2,143	2.7	3.8	9.1	81.6
	ひとり親世帯	276	1.8	3.3	13.0	77.5
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	2.1	2.9	13.3	77.2

e) 家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)

		(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	1日2時間以上	1日1時間2時間	1日1時間以下	ぜんぜんしない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位		
全体		2,556	1.3	5.1	48.0	42.8
学 年 別	小学5年生	905	1.1	4.4	53.5	38.1
	中学2年生	868	1.2	5.1	47.8	44.8
	高校2年生	783	1.5	5.9	41.9	45.8
水 収 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,179	1.0	4.5	48.9	43.9
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	1.3	5.1	49.1	40.7
	中央値の2分の1未満	265	1.5	7.2	43.0	44.2
状 況 別 世 帯	ふたり親世帯	2,143	1.3	4.6	48.3	43.3
	ひとり親世帯	276	0.7	8.3	47.1	40.2
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	0.4	8.7	46.9	40.2

f) きょうだいなどの世話

		(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	1日2時間以上	1日1時間2時間	1日1時間以下	ぜんぜんしない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位		
全体		2,556	3.5	3.4	15.9	73.2
学 年 別	小学5年生	905	5.4	4.2	19.1	66.9
	中学2年生	868	2.3	3.3	16.7	75.9
	高校2年生	783	2.7	2.6	11.2	77.7
水 収 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,179	3.2	3.2	13.5	77.4
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	3.9	3.6	18.8	69.0
	中央値の2分の1未満	265	4.5	3.8	17.4	68.3
状 況 別 世 帯	ふたり親世帯	2,143	3.8	3.4	16.6	72.8
	ひとり親世帯	276	2.2	3.3	10.1	79.0
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	2.1	2.9	9.1	80.1

<学校がない日(土・日曜日・祝日)> (数表)

a) ゲームで遊ぶ

		(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	1日2時間以上	1日1~2時間	1日1時間以下	ぜんぜんしない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位		
全体		2,556	39.1	20.2	15.5	22.6
学 年 別	小学5年生	905	40.0	26.4	17.9	13.3
	中学2年生	868	41.8	18.7	12.7	25.0
	高校2年生	783	35.1	14.8	15.7	30.7
水 収 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,179	33.4	22.2	16.5	25.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	44.6	18.7	15.2	18.4
	中央値の2分の1未満	265	46.4	16.6	12.5	21.9
状 況 別	ふたり親世帯	2,143	38.2	21.0	16.1	22.2
	ひとり親世帯	276	47.1	15.9	10.5	23.2
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	46.5	15.8	10.8	24.1

b) テレビ・インターネットを見る

		(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	1日2時間以上	1日1~2時間	1日1時間以下	ぜんぜんしない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位		
全体		2,556	61.9	24.1	9.6	1.8
学 年 別	小学5年生	905	55.5	29.2	10.8	1.7
	中学2年生	868	65.7	22.1	9.4	1.3
	高校2年生	783	65.1	20.6	8.3	2.4
水 収 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,179	57.7	27.7	10.5	2.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	67.2	20.6	8.2	1.2
	中央値の2分の1未満	265	66.4	20.0	8.7	2.3
状 況 別	ふたり親世帯	2,143	61.5	25.0	9.5	1.7
	ひとり親世帯	276	67.0	17.8	10.5	1.4
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	67.6	18.7	9.5	1.2

c) 室内での他の活動
(読書、室内あそびなど)

		(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	1日2時間以上	1日1~2時間	1日1時間以下	ぜんぜんしない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位		
全体		2,556	12.2	18.3	32.7	33.7
学 年 別	小学5年生	905	17.0	25.0	35.4	19.7
	中学2年生	868	9.9	17.1	36.4	34.9
	高校2年生	783	9.1	11.9	25.7	48.7
水 収 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,179	11.7	17.8	34.9	33.2
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	11.6	18.8	31.5	34.3
	中央値の2分の1未満	265	15.5	21.9	27.5	32.1
状 況 別	ふたり親世帯	2,143	12.5	18.3	33.0	33.4
	ひとり親世帯	276	12.7	19.6	28.6	35.1
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	12.0	20.7	27.4	36.1

d) 公園で遊ぶ

		(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	1日2時間以上	1日1~2時間	1日1時間以下	ぜんぜんしない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位		
全体		2,556	5.5	6.3	12.9	71.9
学 年 別	小学5年生	905	10.3	11.8	21.8	52.6
	中学2年生	868	4.5	5.0	10.9	77.5
	高校2年生	783	1.0	1.3	4.7	88.0
水 収 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,179	6.1	5.6	12.9	72.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	4.5	6.3	11.9	73.0
	中央値の2分の1未満	265	6.4	10.2	15.5	63.4
状 況 別	ふたり親世帯	2,143	5.3	6.3	12.5	72.8
	ひとり親世帯	276	3.6	5.8	16.3	68.8
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	3.3	6.2	17.4	68.0

e) 家事(洗濯、掃除、料理、
片付けなど)

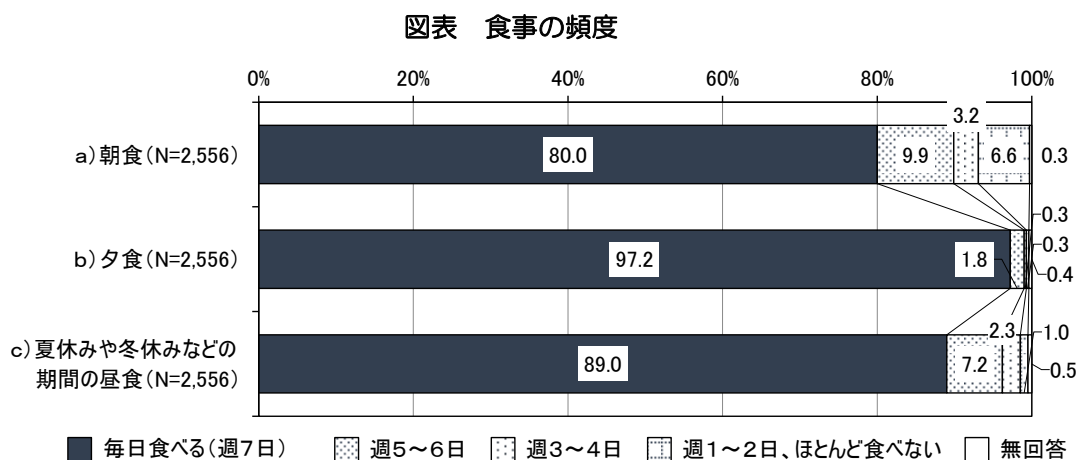
		(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	1日2時間以上	1日1~2時間	1日1時間以下	ぜんぜんしない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位		
全体		2,556	1.6	7.0	51.5	36.7
学 年 別	小学5年生	905	1.7	7.1	55.7	32.7
	中学2年生	868	1.6	6.7	52.4	37.2
	高校2年生	783	1.7	7.4	45.7	40.7
水 収 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,179	1.2	6.2	52.9	37.2
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	1.5	7.4	51.6	35.7
	中央値の2分の1未満	265	2.6	8.3	50.6	35.8
状 況 別	ふたり親世帯	2,143	1.6	6.6	51.9	37.2
	ひとり親世帯	276	1.1	10.5	50.4	33.7
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	0.8	10.4	51.5	33.6

f) きょうだいなどの世話

		(1)	(2)	(3)	(4)	
		調査数	1日2時間以上	1日1~2時間	1日1時間以下	ぜんぜんしない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位		
全体		2,556	4.7	4.7	14.5	72.0
学 年 別	小学5年生	905	6.9	6.2	17.3	65.1
	中学2年生	868	3.8	4.8	15.3	73.4
	高校2年生	783	3.3	2.8	10.2	78.4
水 収 入 の 等 価 世 帯	中央値以上	1,179	4.2	3.7	12.5	76.2
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	4.9	5.3	17.2	67.9
	中央値の2分の1未満	265	6.0	7.5	14.7	67.5
状 況 別	ふたり親世帯	2,143	5.0	4.5	15.4	71.6
	ひとり親世帯	276	3.3	4.7	8.0	77.9
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	3.3	4.1	7.1	79.7

(13) 食事の頻度

食事の頻度について、すべての項目で「毎日食べる（週7日）」の割合が8割以上と最も多く、夕食では97.2%と最も多くなっています。



等価世帯収入の水準別にみると、「朝食」について、「週1~2日、ほとんど食べない」の割合が、中央値以上の世帯では4.2%、中央値の2分の1未満の世帯では14.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「朝食」について、「週1~2日、ほとんど食べない」の割合が、ふたり親の世帯では5.3%、ひとり親世帯では14.9%となっている。

図表 食事の頻度【a. 朝食】(数表)

		調査数	(1) 毎日食べる (週7日)	(2) 週5 ~ 6日	(3) 週3 ~ 4日	(4) ほ と 1 ん ど 2 日 食 べ な い	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け=							
			1位	2位			
全体		2,556	80.0	9.9	3.2	6.6	0.3
学年別	小学5年生	905	86.3	6.6	3.4	3.3	0.3
	中学2年生	868	80.3	10.8	2.6	6.0	0.2
	高校2年生	783	72.3	12.5	3.7	11.1	0.4
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	84.1	8.8	2.6	4.2	0.3
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	78.6	10.1	4.2	6.8	0.3
	中央値の2分の1未満	265	67.2	13.6	3.8	14.7	0.8
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	82.2	9.4	2.8	5.3	0.3
	ひとり親世帯	276	65.6	13.4	5.4	14.9	0.7
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	64.7	13.7	5.4	15.4	0.8

夕食について学年別にみると、すべての学年で「毎日食べる（週7日）」と回答した方の割合が9割以上と最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「毎日食べる（週7日）」と回答した方の割合が9割以上と最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「毎日食べる（週7日）」と回答した方の割合が9割以上と最も多くなっています。

図表 食事の頻度【b. 夕食】（数表）

		調査数	(1) 毎日 食 べ る (週 7 日)	(2) 週 5 〜 6 日	(3) 週 3 〜 4 日	(4) ほ と と ん ど 2 食 日 べ 、 な い	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け=							
			1位				
			2位				
全 体		2,556	97.2	1.8	0.3	0.3	0.4
学 年 別	小学5年生	905	98.1	1.1	-	0.2	0.6
	中学2年生	868	97.6	1.5	0.3	0.2	0.3
	高校2年生	783	95.7	3.1	0.5	0.5	0.3
等 価 世 帯 収 入 の 水 準 別	中央値以上	1,179	98.2	1.0	0.3	0.2	0.3
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	96.1	3.0	0.3	0.2	0.4
	中央値の2分の1未満	265	96.2	2.3	0.4	0.4	0.8
世 帯 状 況 別	ふたり親世帯	2,143	97.4	1.6	0.3	0.3	0.4
	ひとり親世帯	276	95.7	2.9	0.4	0.4	0.7
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	95.4	2.9	0.4	0.4	0.8

夏休みや冬休みなどの期間の昼食について学年別にみると、すべての学年で「毎日食べる（週7日）」と回答した方の割合が8割以上と最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「毎日食べる（週7日）」と回答した方の割合が8割以上と最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「毎日食べる（週7日）」と回答した方の割合が8割以上と最も多くなっています。

図表 食事の頻度【c. 夏休みや冬休みなどの期間の昼食】（数表）

		調査数	(1) 毎 日 食 べ る (週 7 日)	(2) 週 5 〜 6 日	(3) 週 3 〜 4 日	(4) ほ と と ん ど 2 食 日 べ 、 な い	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け=							
			1位				
			2位				
全 体		2,556	89.0	7.2	2.3	1.0	0.5
学 年 別	小学5年生	905	92.8	4.4	1.5	0.8	0.4
	中学2年生	868	88.1	7.9	2.9	0.6	0.5
	高校2年生	783	85.6	9.6	2.7	1.7	0.5
等 価 世 帯 収 入 の 水 準 別	中央値以上	1,179	91.2	6.1	1.8	0.8	0.2
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	88.2	7.6	2.5	1.2	0.5
	中央値の2分の1未満	265	81.5	10.6	5.3	1.1	1.5
世 帯 状 況 別	ふたり親世帯	2,143	90.2	6.5	1.9	0.9	0.4
	ひとり親世帯	276	81.5	10.9	5.1	1.4	1.1
	ひとり親世帯:母子世帯のみ	241	80.1	11.6	5.4	1.7	1.2

（14）就寝時間の規則性

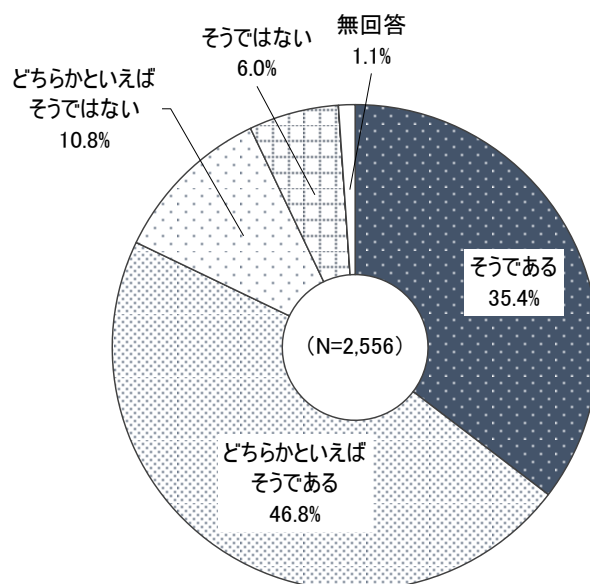
ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、「そうである」（35.4%）、「どちらかといえばそうである」（46.8%）、「どちらかといえばそうではない」（10.8%）、「そうではない」（6.0%）となっています。

学年別にみると、すべての学年で「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた【そうである】の割合が「どちらかといえばそうではない」と「そうではない」を合わせた【そうではない】の割合より多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で【そうである】の割合が【そうではない】の割合より多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての水準で【そうである】の割合が【そうではない】の割合より多くなっています。

図表 就寝時間の規則性



図表 就寝時間の規則性（数表）

調査項目	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(1)+(2)	(3)+(4)	
		そうである	どちらかといえばそうである	どちらかといえばそうではない	そうではない		【そうである】	【そうではない】	
全体	2,556	35.4	46.8	10.8	6.0	1.1	82.2	16.8	
学年別	小学5年生	905	37.0	45.7	11.4	5.4	0.4	82.7	16.8
	中学2年生	868	37.1	46.4	10.1	5.1	1.3	83.5	15.2
	高校2年生	783	31.5	48.3	10.7	7.7	1.8	79.8	18.4
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,179	36.6	47.4	10.6	4.6	0.8	84.0	15.2
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	35.6	45.8	11.1	5.9	1.6	81.4	17.0
	中央値の2分の1未満	265	27.2	49.8	12.1	10.9	-	77.0	23.0
世帯状況別	ふたり親世帯	2,143	36.7	46.2	10.6	5.5	1.0	82.9	16.1
	ひとり親世帯	276	28.6	48.2	14.5	7.2	1.4	76.8	21.7
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	241	27.0	50.2	14.1	7.9	0.8	77.2	22.0

（15）信頼できる大人・友人

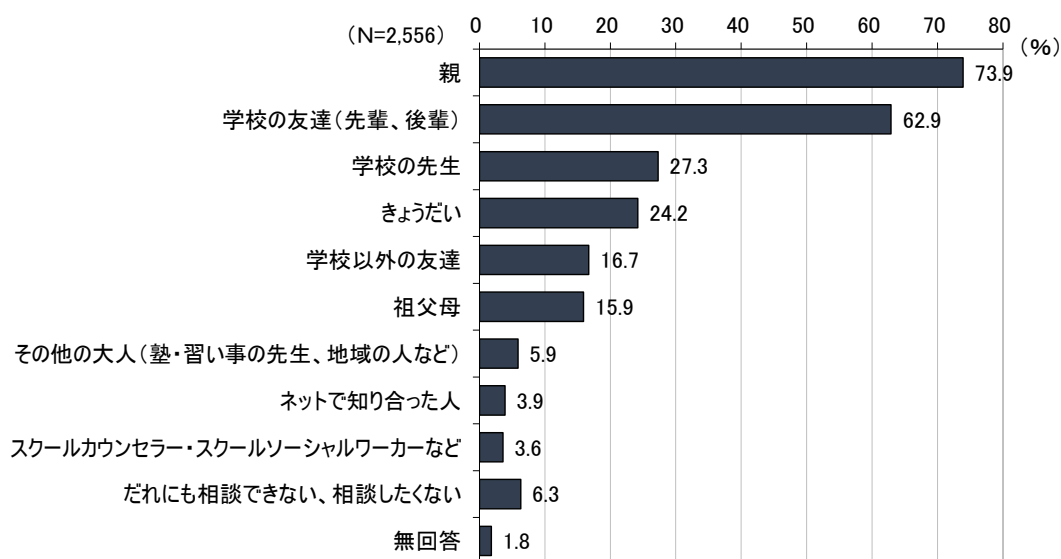
悩みなどを相談できる人の有無について、「親」（73.9%）が最も多く、次いで「学校の友達（先輩、後輩）」（62.9%）、「学校の先生」（27.3%）、「きょうだい」（24.2%）となっています。

学年別にみると、すべての学年で「親」と回答した方の割合が6割以上と最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「親」と回答した方の割合が6割以上と最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「親」と回答した方の割合が6割以上と最も多くなっています。

図表 信頼できる大人・友人



図表 信頼できる大人・友人（数表）

	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	無回答	
		親	学校の友達（先輩、後輩）	学校の先生	きょうだい	学校以外の友達	祖父母	先生、その他の大人（塾・習い事の人など）	ネットで知り合った人	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなど	だれにも相談できない、相談したくない		
全体	2,556	73.9	62.9	27.3	24.2	16.7	15.9	5.9	3.9	3.6	6.3	1.8	
学年別	小学5年生	905	79.9	59.6	30.9	24.5	12.2	21.1	5.6	2.3	3.8	6.1	0.9
	中学2年生	868	69.2	66.7	28.1	23.7	14.3	15.1	5.2	3.2	3.6	7.0	1.8
	高校2年生	783	72.2	62.6	22.1	24.3	24.5	10.9	6.9	6.4	3.6	5.6	2.7
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,179	74.5	65.0	28.8	24.9	15.9	16.9	6.3	2.6	4.0	6.3	1.4
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	74.4	62.6	25.6	23.9	17.7	14.9	5.3	5.0	3.1	6.1	2.2
	中央値の2分の1未満	265	69.4	58.1	28.7	23.4	16.6	16.2	5.7	5.7	4.2	5.3	0.8
世帯状況別	ふたり親世帯	2,143	75.1	64.0	28.5	24.9	16.6	15.5	6.2	3.7	3.7	6.1	1.6
	ひとり親世帯	276	66.3	58.0	21.4	21.4	17.0	16.7	4.7	5.4	3.6	8.0	2.2
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	241	67.2	58.9	23.2	22.0	18.3	15.8	4.6	6.2	4.1	7.5	1.2

（16）生活の満足度

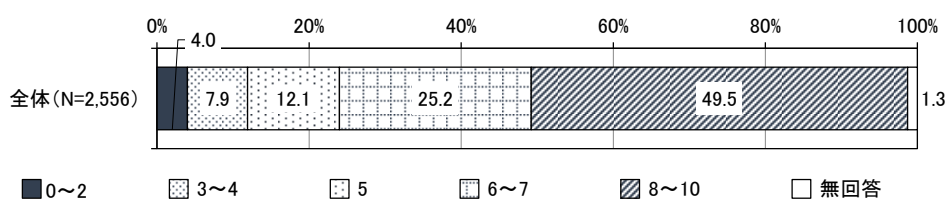
最近の生活の満足度については、「0～2」に該当する割合が 4.0%、「3～4」に該当する割合が 7.9%、「5」に該当する割合が 12.1%、「6～7」に該当する割合が 25.2%、「8～10」に該当する割合が 49.5%となっている。

満足度が高い方の回答（6～10）割合は 74.7%となっている。

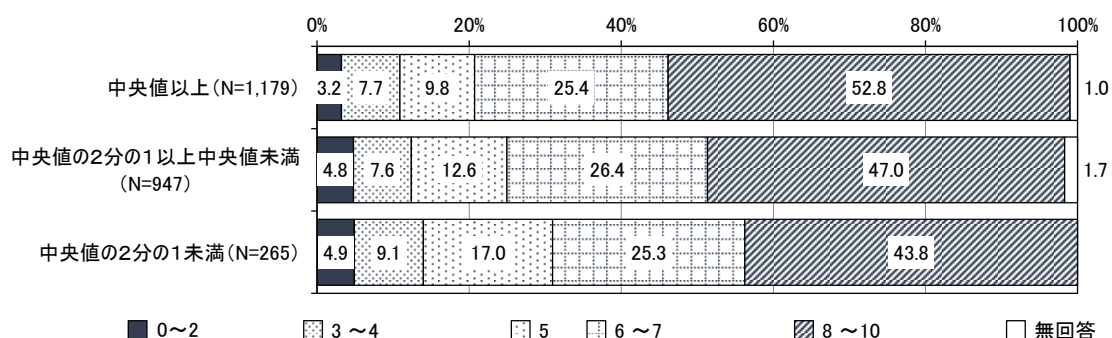
等価世帯収入の水準別に見ると、「6～10」に該当する割合は、中央値以上の世帯では 78.2%、中央値の2分の1未満の世帯では 69.1%となっている。

世帯の状況別についてみると、「6～10」に該当する割合は、ふたり親世帯では 75.8%、ひとり親世帯では 69.9%となっている。

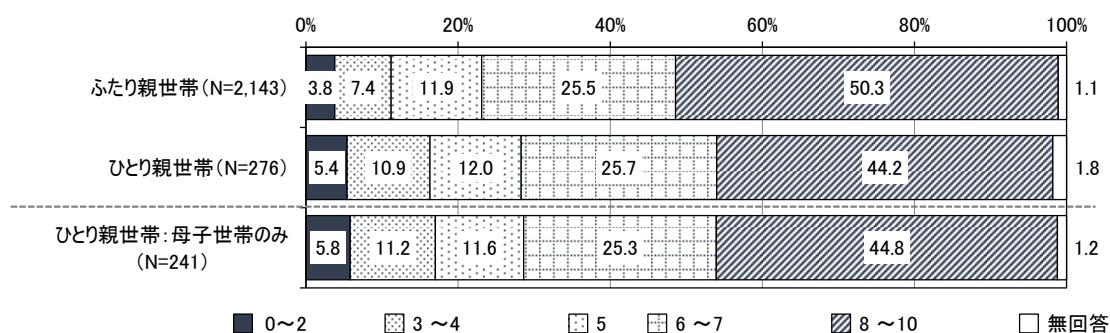
図表 生活の満足度（全体）



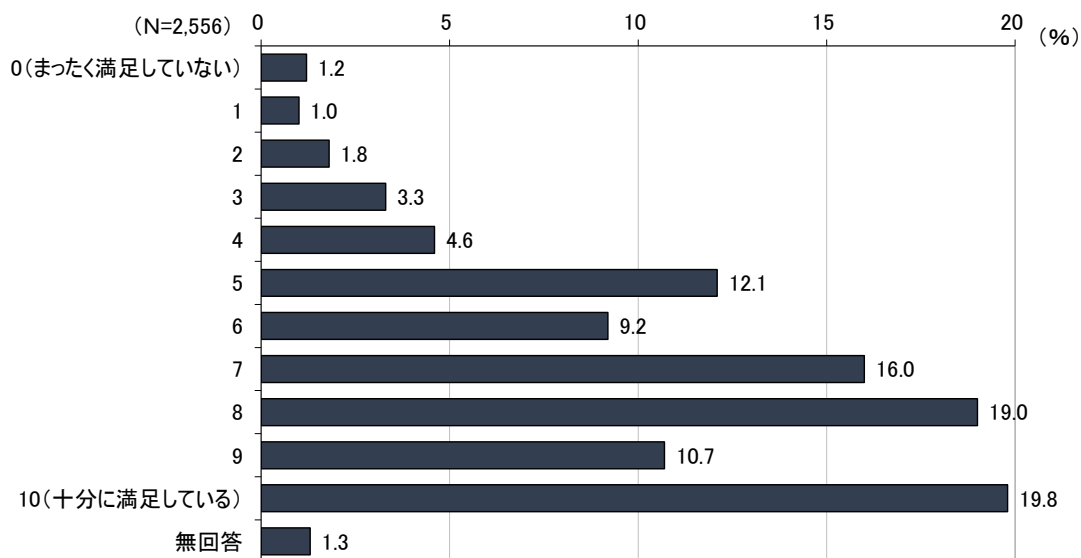
図表 生活の満足度（等価世帯収入の水準別）



図表 生活の満足度（世帯状況別）



図表 生活の満足度



図表 生活の満足度（数表）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	無回答	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
		（まったく満足していない）										（十分に満足している）		
【表の見方】 比率(%) 網掛け=														
		1位												
		2位												
全体	調査数	2,556	1.2	1.0	1.8	3.3	4.6	12.1	9.2	16.0	19.0	10.7	19.8	1.3
学年別	小学5年生	905	1.2	0.8	1.8	2.3	2.8	9.8	6.9	12.9	19.9	13.0	28.2	0.4
	中学2年生	868	0.6	0.8	1.7	3.8	5.3	12.9	9.3	16.5	19.1	11.5	16.8	1.6
	高校2年生	783	1.9	1.4	2.0	4.0	5.9	13.7	11.9	19.0	17.9	7.0	13.4	1.9
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	1.1	0.6	1.5	3.3	4.4	9.8	8.7	16.6	20.4	12.6	19.8	1.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	1.2	1.5	2.1	3.5	4.1	12.6	9.8	16.6	17.7	9.2	20.1	1.7
	中央値の2分の1未満	265	1.1	1.5	2.3	2.6	6.4	17.0	10.2	15.1	17.4	8.7	17.7	-
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	1.3	0.9	1.6	3.4	4.0	11.9	9.2	16.2	19.5	11.2	19.6	1.1
	ひとり親世帯	276	1.1	1.4	2.9	4.0	6.9	12.0	10.1	15.6	17.4	5.8	21.0	1.8
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	241	1.2	1.7	2.9	3.7	7.5	11.6	10.8	14.5	17.8	5.8	21.2	1.2

（17）満足した生活を送るために必要なもの

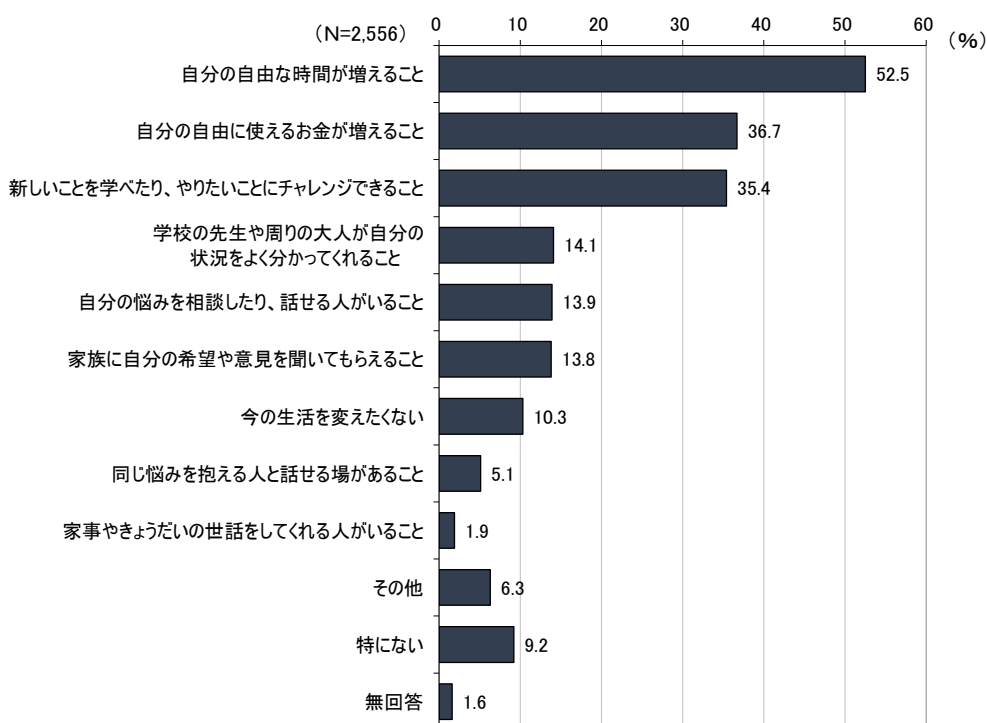
満足した生活を送るために必要なものについて、「自分の自由な時間が増えること」（52.5%）が最も多く、「自分の自由に使えるお金が増えること」（36.7%）、「新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできること」（35.4%）、「学校の先生や周りの大人が自分の状況をよく分かってくれること」（14.1%）となっています。

学年別にみると、すべての学年で「自分の自由な時間が増えること」と回答した方の割合が最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「自分の自由な時間が増えること」と回答した方の割合が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての学年で「自分の自由な時間が増えること」と回答した方の割合が最も多くなっています。

図表 満足した生活を送るために必要なもの



図表 満足した生活を送るために必要なもの（数表）

調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	無回答		
	自分の自由な時間が増えること	自分の自由に使えるお金が増えること	新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできること	学校の先生や周りの大人が自分の状況をよく分かってくれること	自分の悩みを相談したり、話せる人がいること	家族に自分の希望や意見を聞いてもらえること	今の生活を変えたくない	同じ悩みを抱える人と話せる場があること	家事やきょうだいの世話をしてくれる人がいること	その他	特になし			
全体	2,556	52.5	36.7	35.4	14.1	13.9	13.8	10.3	5.1	1.9	6.3	9.2	1.6	
学年別	小学5年生	905	49.9	27.2	37.2	15.0	15.6	18.6	14.5	-	3.2	6.0	10.2	1.4
	中学2年生	868	53.7	37.3	34.6	15.8	13.1	12.9	9.0	9.3	1.2	5.9	9.6	1.5
	高校2年生	783	54.3	47.1	34.1	11.2	12.8	9.3	6.8	6.3	1.3	7.0	7.7	1.8
等価世帯収入の水準別	中央値以上	1,179	53.9	35.1	38.6	13.4	13.9	14.2	9.9	5.1	1.8	6.5	8.0	1.4
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	52.5	37.7	32.3	15.1	14.4	13.0	11.1	5.6	2.4	5.7	9.7	1.9
	中央値の2分の1未満	265	49.4	43.8	36.2	15.5	12.1	13.6	9.8	3.4	1.1	6.8	10.6	-
世帯状況別	ふたり親世帯	2,143	53.4	35.6	35.8	13.8	14.3	14.0	10.2	5.0	1.9	6.4	9.2	1.4
	ひとり親世帯	276	48.9	42.8	30.8	17.4	12.3	10.9	10.9	5.4	1.8	5.8	9.4	1.8
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	241	49.8	44.4	31.5	18.3	12.9	10.8	10.8	6.2	2.1	6.6	7.9	0.8

（18）精神状態

（1）情緒の問題

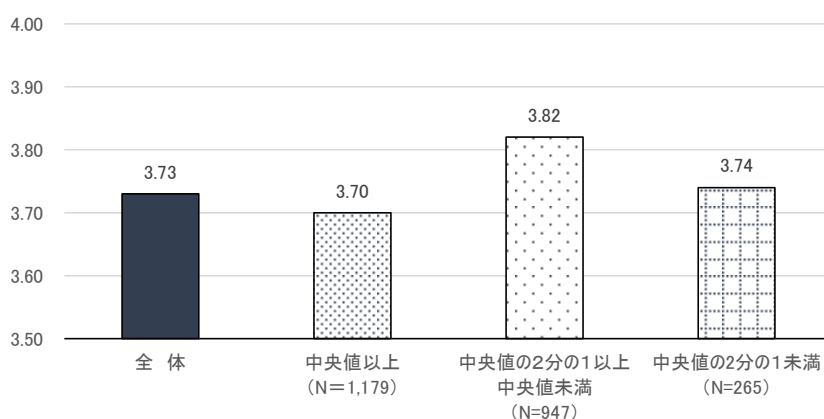
- b) 私は、よく頭やお腹が痛くなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e) 私は心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h) 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j) 私は、新しい場面に直面すると不安になりやすい。
- o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

「情緒の問題」に関して、上記5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出しました（0～10点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。全体の平均値は3.73となっています。

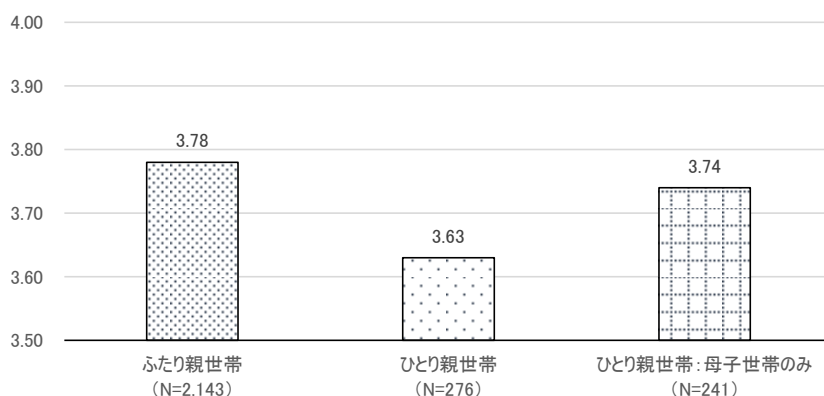
等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」の世帯では3.70、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では3.82、「中央値の2分の1未満」の世帯では3.74となっています。

世帯状況別にみると、「ふたり親世帯」では3.78、「ひとり親世帯」では3.63、「ひとり親世帯：母子世帯のみ」みでは3.74となっています。

図表 「情緒の問題」に関するスコアの平均値（全体、等価世帯収入の水準別）



図表 「情緒の問題」に関するスコアの平均値（世帯状況別）



(2) 仲間関係の問題

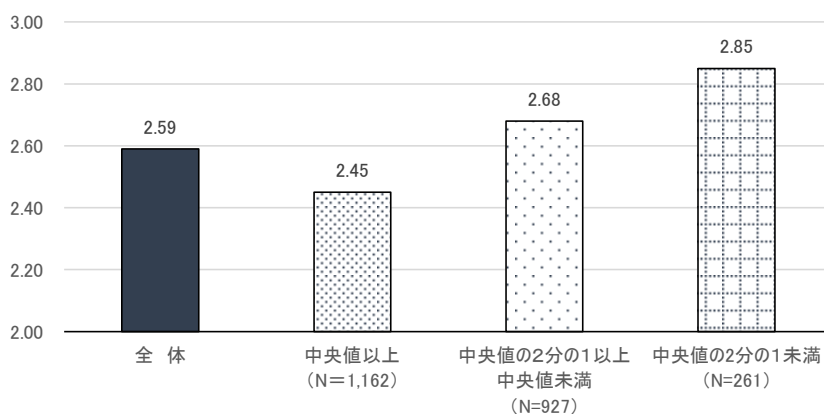
- d) 私は、一人でいることが多い。集団でいるより一人を好む。
- g) 私は、仲の良い友だち（先輩・後輩）が一人はいる。
- i) 私は、同じくらいの年齢のだいたいの子供から好かれている。
- l) 私は他の子供から、いじわるされたり、からかわれたりする。
- n) 私は、他の子供たちより、大人といる方がうまくいく。

「仲間関係の問題」に関して、上記5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出しました（0～10点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる※）。全体の平均値は 2.59 となっています。

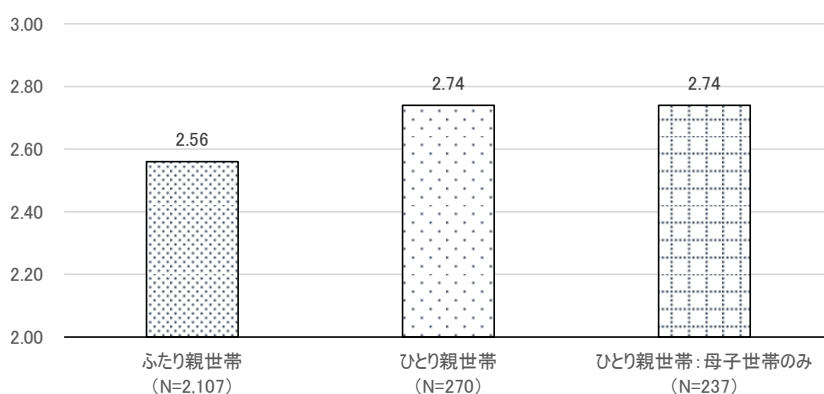
等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」の世帯では 2.45、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 2.68、「中央値の2分に1未満」の世帯では 2.85 となっています。

世帯状況別にみると、「ふたり親世帯」では 2.56、「ひとり親世帯」では 2.74、「母子世帯」のみでは 2.74 となっています。

図表 「仲間関係の問題」に関するスコアの平均値（全体、等価世帯収入の水準別）



図表 「仲間関係の問題」に関するスコアの平均値（世帯状況別）



※「g. 私は、仲の良い友だち（先輩・後輩）が一人はいる。」、「i. 私は、同じくらいの年齢のだいたいの子供から好かれている。」の項目は逆転項目として、スコアを算出した。

（3）向社会性

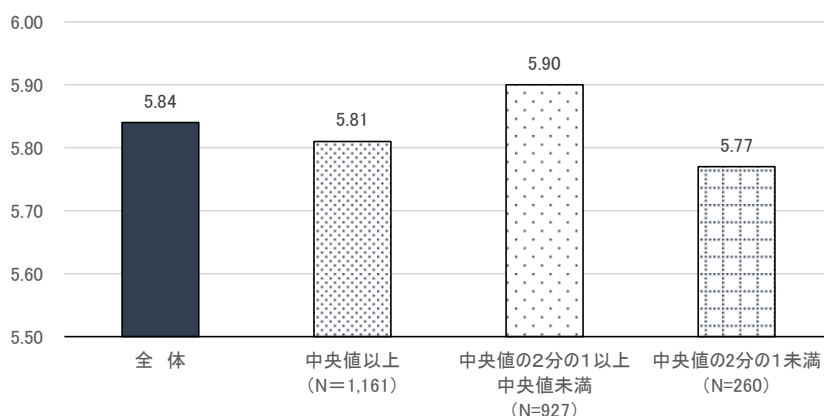
- a) 私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
- f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
- k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。
- m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。

「向社会性」に関して、上記5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出しました（0～10点、得点が高いほど、社会性が高いと考えられる）。全体の平均値は5.84となっています。

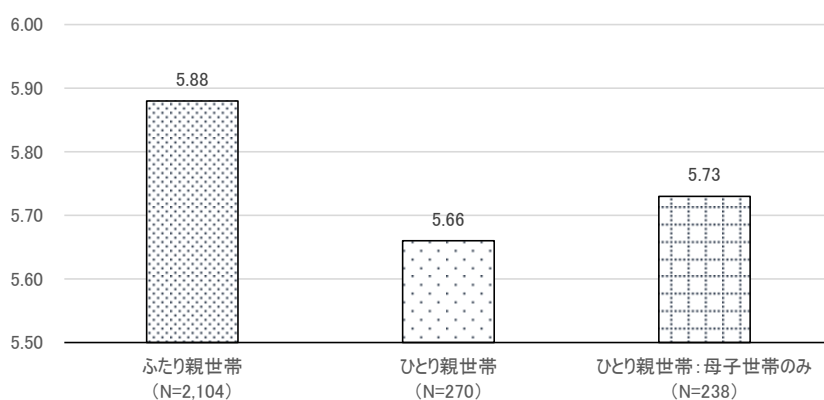
等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」の世帯では5.81、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では5.90、「中央値の2分に1未満」の世帯では5.77となっています。

世帯状況別にみると、「ふたり親世帯」では5.88、「ひとり親世帯」では5.66、「母子世帯」のみでは5.73となっています。

図表 「向社会性」に関するスコアの平均値（全体、等価世帯収入の水準別）



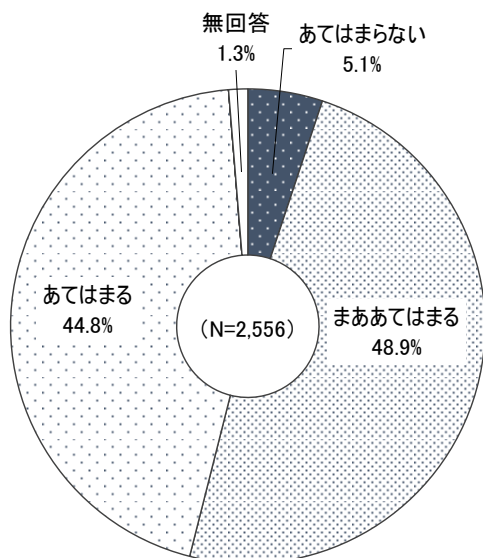
図表 「向社会性の問題」に関するスコアの平均値（世帯状況別）



a) 私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。

私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。について、「あてはまらない」(5.1%)、「まああてはまる」(48.9%)、「あてはまる」(44.8%)となっています。

図表 私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。

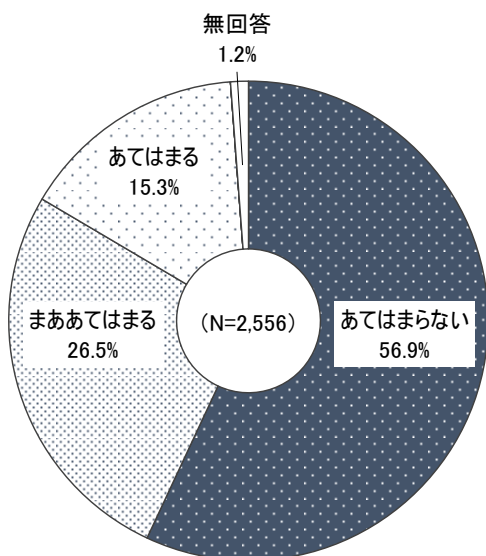


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる		
1位 2位						
全体	2,556	5.1	48.9	44.8	1.3	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	5.9	47.3	45.9	0.9
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	4.3	48.7	45.2	1.8
	中央値の2分の1未満	265	4.9	56.2	38.9	-
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	4.9	48.3	45.6	1.1
	ひとり親世帯	276	5.8	51.4	41.3	1.4
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	5.8	52.3	41.1	0.8

b) 私は、よく頭やお腹が痛くなったり、気持ちが悪くなったりする。

私は、よく頭やお腹が痛くなったり、気持ちが悪くなったりする。について、「あてはまらない」(56.9%)、「まああてはまる」(26.5%)、「あてはまる」(15.3%)となっています。

図表 私は、よく頭やお腹が痛くなったり、気持ちが悪くなったりする。

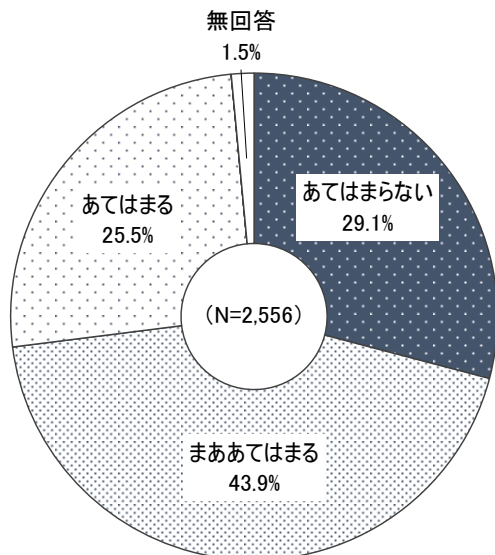


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる		
1位 2位						
全体	2,556	56.9	26.5	15.3	1.2	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	58.1	25.8	15.2	0.9
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	56.0	26.5	15.8	1.7
	中央値の2分の1未満	265	52.1	30.6	17.4	-
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	57.3	26.0	15.5	1.1
	ひとり親世帯	276	52.9	30.1	15.6	1.4
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	51.9	31.5	15.8	0.8

c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)。

私は、他の子供たちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)。について、「あてはまらない」(29.1%)、「まああてはまる」(43.9%)、「あてはまる」(25.5%)となっています。

図表 私は、他の子供たちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)。

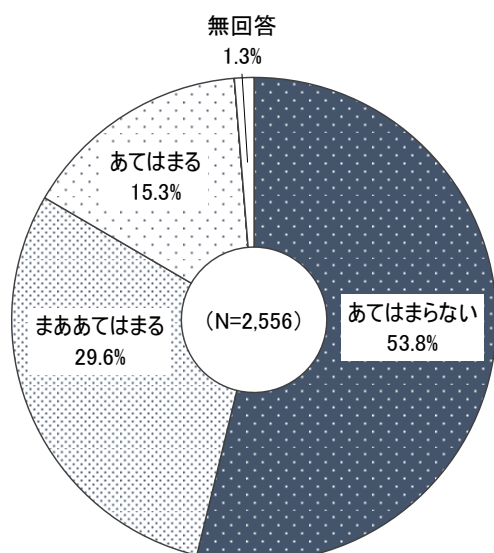


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる		
全体	2,556	29.1	43.9	25.5	1.5	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	30.6	42.6	25.7	1.1
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	27.3	44.8	26.0	1.9
	中央値の2分の1未満	265	23.8	51.3	23.8	1.1
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	29.4	43.7	25.5	1.3
	ひとり親世帯	276	28.6	44.2	25.4	1.8
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	27.8	44.4	27.0	0.8

d) 私は、一人であることが多い。集団であるより一人を好む。

私は、一人であることが多い。集団であるより一人を好む。について、「あてはまらない」(53.8%)、「まああてはまる」(29.6%)、「あてはまる」(15.3%)となっています。

図表 私は、一人であることが多い。集団であるより一人を好む。

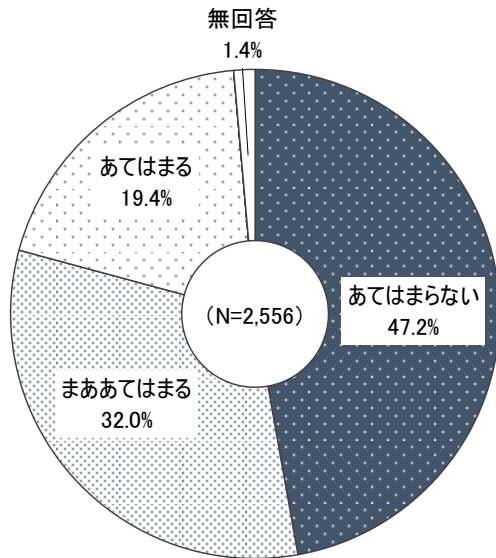


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる		
全体	2,556	53.8	29.6	15.3	1.3	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	55.6	29.1	14.4	0.9
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	52.3	30.9	15.1	1.7
	中央値の2分の1未満	265	51.3	29.8	18.5	0.4
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	54.3	29.4	15.2	1.2
	ひとり親世帯	276	47.8	34.1	16.7	1.4
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	49.0	33.2	17.0	0.8

e) 私は心配ごとが多く、いつも不安だ。

私は心配ごとが多く、いつも不安だ。について、「あてはまらない」(47.2%)、「まああてはまる」(32.0%)、「あてはまる」(19.4%)となっています。

図表 私は心配ごとが多く、いつも不安だ。

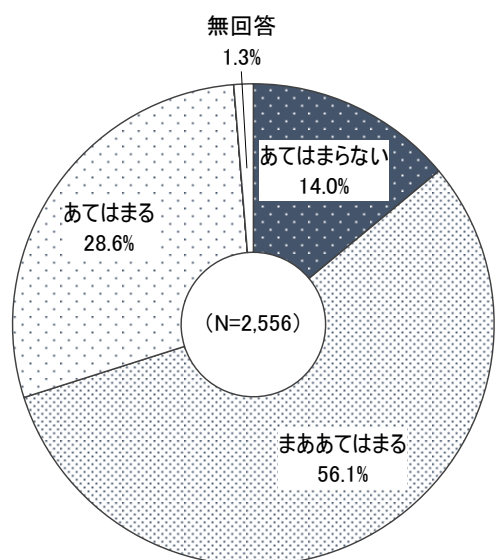


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる		
1位 2位						
全体	2,556	47.2	32.0	19.4	1.4	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	48.0	32.7	18.2	1.1
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	45.2	32.0	20.9	1.9
	中央値の2分の1未満	265	48.3	32.8	18.5	0.4
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	46.7	32.5	19.6	1.2
	ひとり親世帯	276	48.2	31.9	17.8	2.2
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	47.3	32.4	18.7	1.7

f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。

私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。について、「あてはまらない」(14.0%)、「まああてはまる」(56.1%)、「あてはまる」(28.6%)となっています。

図表 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。

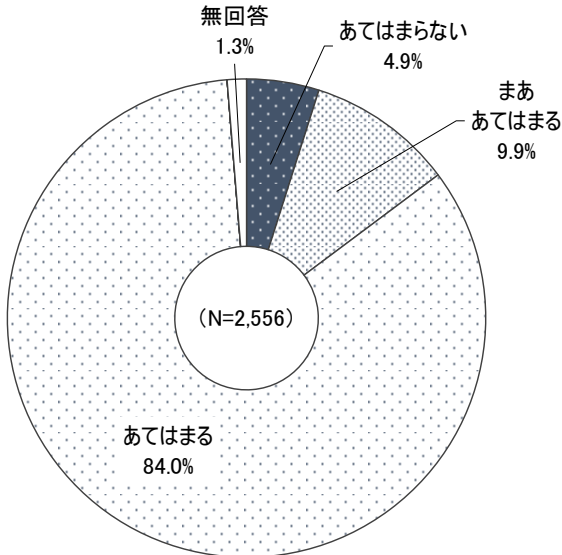


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる		
1位 2位						
全体	2,556	14.0	56.1	28.6	1.3	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	13.8	57.2	28.1	0.9
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	14.8	54.1	29.5	1.7
	中央値の2分の1未満	265	11.7	62.3	26.0	-
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	13.7	55.7	29.5	1.0
	ひとり親世帯	276	13.8	60.1	24.3	1.8
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	13.3	59.8	25.7	1.2

g) 私は、仲の良い友だち(先輩・後輩)が一人はいる。

私は、仲の良い友だち(先輩・後輩)が一人はいる。について、「あてはまらない」(4.9%)、「まああてはまる」(9.9%)、「あてはまる」(84.0%)となっています。

図表 私は、仲の良い友だち(先輩・後輩)が一人はいる。

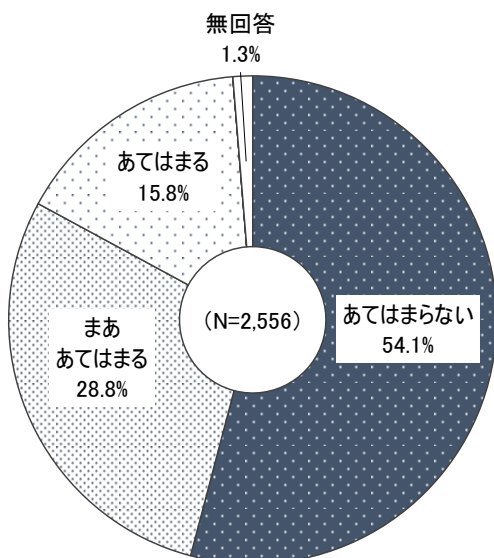


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる		
1位 2位						
全体	2,556	4.9	9.9	84.0	1.3	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	3.6	10.0	85.6	0.8
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	5.6	9.5	83.2	1.7
	中央値の2分の1未満	265	8.7	11.3	79.6	0.4
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	4.7	9.3	85.0	1.1
	ひとり親世帯	276	6.2	12.0	80.1	1.8
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	5.4	12.0	81.3	1.2

h) 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。

私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。について、「あてはまらない」(54.1%)、「まああてはまる」(28.8%)、「あてはまる」(15.8%)となっています。

図表 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。

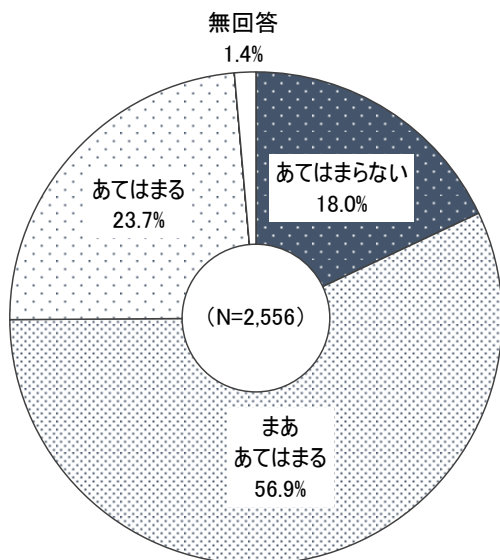


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる		
1位 2位						
全体	2,556	54.1	28.8	15.8	1.3	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	54.4	28.9	15.7	1.0
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	53.1	28.5	16.7	1.7
	中央値の2分の1未満	265	55.8	28.7	15.5	-
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	53.7	29.1	16.1	1.1
	ひとり親世帯	276	56.2	28.6	13.8	1.4
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	53.9	31.1	14.1	0.8

i) 私は、同じくらいの年齢のだいたいの子供から好かれている。

私は、同じくらいの年齢のだいたいの子供から好かれている。について、「あてはまらない」(18.0%)、「まああてはまる」(56.9%)、「あてはまる」(23.7%)となっています。

図表 私は、同じくらいの年齢のだいたいの子供から好かれている。

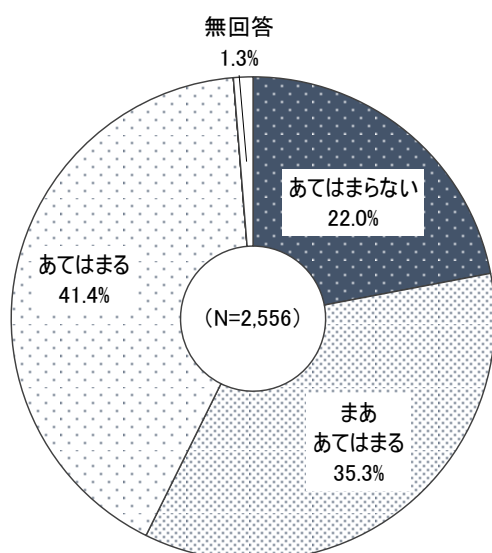


【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数	(1) あてはまらない	(2) まああてはまる	(3) あてはまる	無回答
全体		2,556	18.0	56.9	23.7	1.4
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	15.8	58.3	24.8	1.2
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	19.0	56.9	22.5	1.6
	中央値の2分の1未満	265	22.3	55.5	21.9	0.4
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	18.2	56.5	24.1	1.2
	ひとり親世帯	276	16.3	59.1	23.2	1.4
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	15.8	59.3	24.1	0.8

j) 私は、新しい場面に直面すると不安になりやすい。

私は、新しい場面に直面すると不安になりやすい。について、「あてはまらない」(22.0%)、「まああてはまる」(35.3%)、「あてはまる」(41.4%)となっています。

図表 私は、新しい場面に直面すると不安になりやすい。

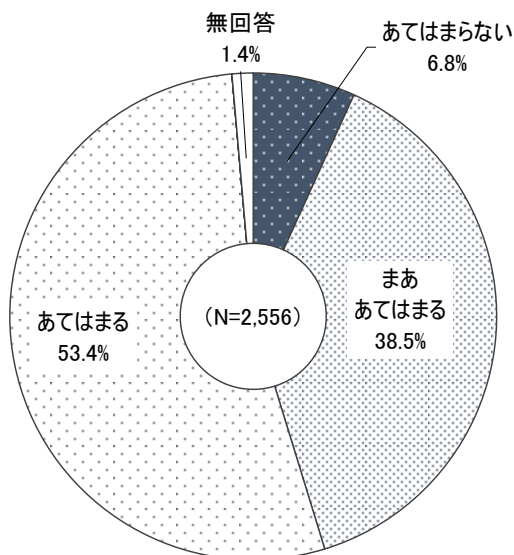


【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数	(1) あてはまらない	(2) まああてはまる	(3) あてはまる	無回答
全体		2,556	22.0	35.3	41.4	1.3
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	22.1	35.6	41.4	0.8
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	22.2	33.5	42.8	1.6
	中央値の2分の1未満	265	19.2	44.2	35.8	0.8
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	22.2	34.5	42.2	1.0
	ひとり親世帯	276	18.8	40.2	39.5	1.4
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	17.4	41.5	40.2	0.8

k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。

私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。について、「あてはまらない」(6.8%)、「まああてはまる」(38.5%)、「あてはまる」(53.4%)となっています。

図表 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。

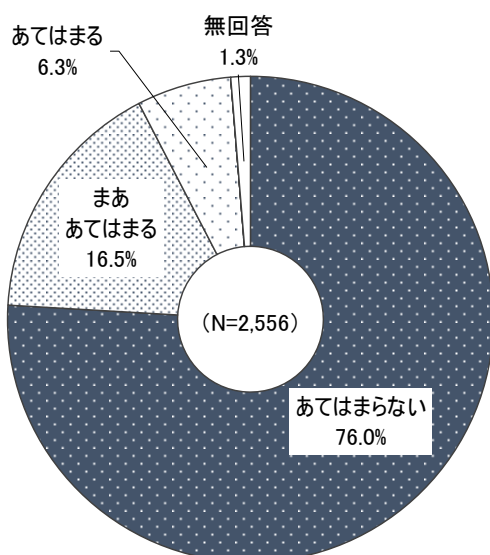


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる		
1位 2位						
全体	2,556	6.8	38.5	53.4	1.4	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	6.6	39.5	52.9	0.9
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	6.3	37.2	54.7	1.8
	中央値の2分の1未満	265	7.5	41.1	50.6	0.8
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	6.6	38.3	53.8	1.2
	ひとり親世帯	276	8.0	39.1	51.4	1.4
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	7.9	39.0	52.3	0.8

l) 私は他の子供から、いじわるされたり、からかわれたりする。

私は他の子供から、いじわるされたり、からかわれたりする。について、「あてはまらない」(76.0%)、「まああてはまる」(16.5%)、「あてはまる」(6.3%)となっています。

図表 私は他の子供から、いじわるされたり、からかわれたりする。

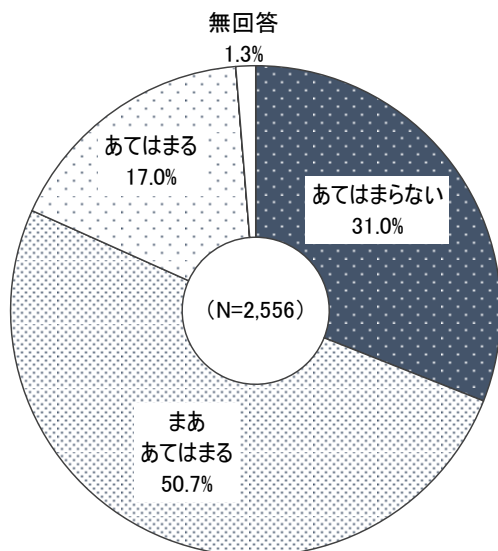


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる		
1位 2位						
全体	2,556	76.0	16.5	6.3	1.3	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	78.4	15.2	5.5	0.9
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	74.0	16.7	7.6	1.7
	中央値の2分の1未満	265	74.7	20.0	5.3	-
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	76.5	16.1	6.3	1.1
	ひとり親世帯	276	73.2	18.8	6.5	1.4
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	72.6	19.9	6.6	0.8

m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・他の子供たちなど)。

私は、自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・他の子供たちなど)。について、「あてはまらない」(31.0%)、「まああてはまる」(50.7%)、「あてはまる」(17.0%)となっています。

図表 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・他の子供たちなど)。

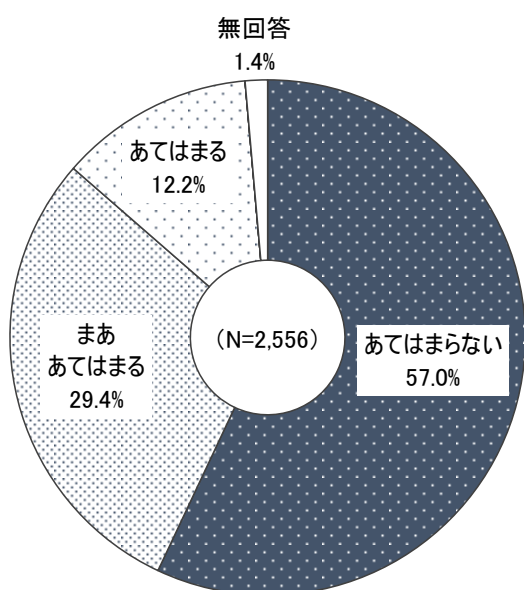


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる		
1位 2位						
全体	2,556	31.0	50.7	17.0	1.3	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	31.8	50.2	16.9	1.1
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	30.3	51.5	16.6	1.6
	中央値の2分の1未満	265	31.3	52.8	15.8	-
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	30.5	50.8	17.6	1.1
	ひとり親世帯	276	35.1	48.9	14.5	1.4
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	33.6	50.2	15.4	0.8

n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。

私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。について、「あてはまらない」(57.0%)、「まああてはまる」(29.4%)、「あてはまる」(12.2%)となっています。

図表 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。

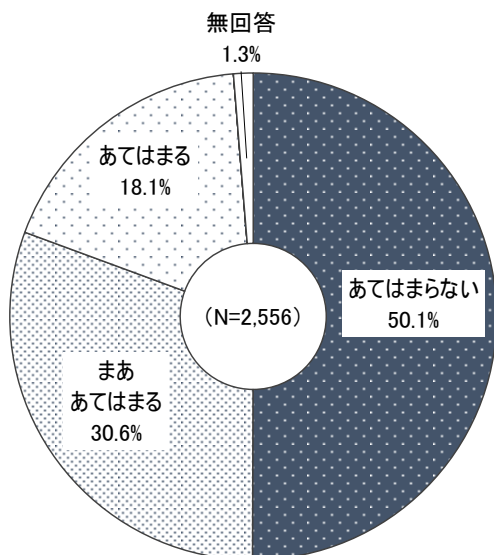


【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる		
1位 2位						
全体	2,556	57.0	29.4	12.2	1.4	
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	58.0	29.6	11.3	1.1
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	56.5	28.7	13.0	1.8
	中央値の2分の1未満	265	53.6	33.6	12.5	0.4
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	57.4	29.4	11.9	1.2
	ひとり親世帯	276	55.1	31.5	11.6	1.8
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	53.5	32.8	12.4	1.2

o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。について、「あてはまらない」(50.1%)、「まああてはまる」(30.6%)、「あてはまる」(18.1%)となっています。

図表 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。



		調査数	(1) あては まら ない	(2) ま あ あ て は ま る	(3) あ て は ま る	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位			
			2位			
全 体		2,556	50.1	30.6	18.1	1.3
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	51.4	29.0	18.7	0.9
	中央値の2分の1以上 中央値未満	947	47.9	31.6	18.9	1.6
	中央値の2分の1未満	265	50.6	35.1	14.0	0.4
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	49.6	30.1	19.2	1.0
	ひとり親世帯	276	52.9	31.9	13.4	1.8
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	241	52.7	32.0	14.1	1.2

（19）支援の利用状況

a)（自分や友人の家以外で）平日の夜や休日を過ごすことができる場所（図書館、地域の交流スペースなど）

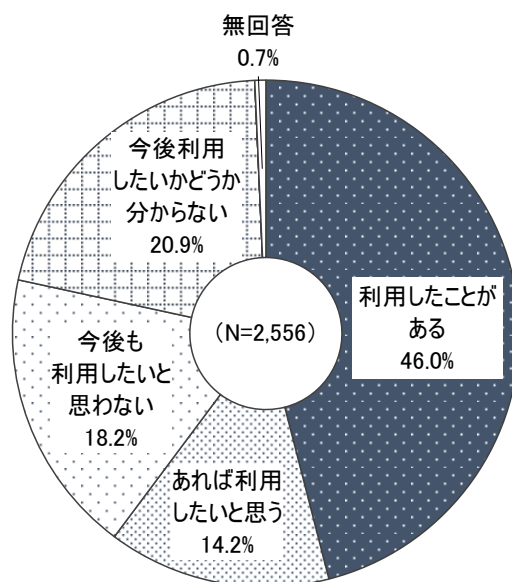
（自分や友人の家以外で）平日の夜や休日を過ごすことができる場所（図書館、地域の交流スペースなど）について、「利用したことがある」（46.0%）、「あれば利用したいと思う」（14.2%）、「今後も利用したいと思わない」（18.2%）、「今後利用したいかどうか分からない」（20.9%）となっています。

学年別にみると、すべての学年で「利用したことがある」と回答した方の割合が最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「利用したことがある」と回答した方の割合が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「利用したことがある」と回答した方の割合が最も多くなっています。

図表 （自分や友人の家以外で）平日の夜や休日を過ごすことができる場所（図書館、地域の交流スペースなど）



図表 （自分や友人の家以外で）平日の夜や休日を過ごすことができる場所（図書館、地域の交流スペースなど）（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	
		あ 利 用 し た こ と が	利 あ れ ば し ば 利 用 し た い と 思 う	し 今 後 も 利 用 し な い	ど 今 後 か 利 用 し な い		
全体	2,556	46.0	14.2	18.2	20.9	0.7	
学年別	小学5年生	905	49.1	9.9	21.4	18.7	0.9
	中学2年生	868	39.6	17.4	17.7	24.5	0.7
	高校2年生	783	49.4	15.7	14.9	19.4	0.5
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	46.4	13.4	16.3	23.2	0.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	46.6	14.6	20.5	18.0	0.4
	中央値の2分の1未満	265	41.5	17.7	18.1	21.9	0.8
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	46.1	13.9	18.5	20.9	0.6
	ひとり親世帯	276	46.7	16.7	15.6	19.9	1.1
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	241	46.9	17.8	13.7	20.7	0.8

b) (自分や友人の家以外で) タご飯を無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

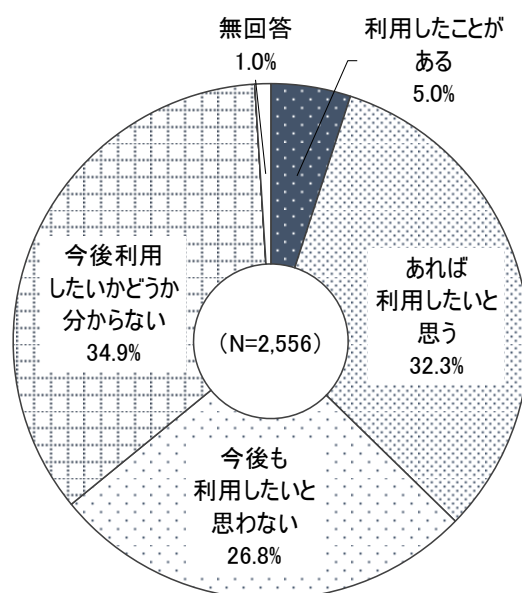
(自分や友人の家以外で) タご飯を無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など) について、「利用したことがある」(5.0%)、「あれば利用したいと思う」(32.3%)、「今後も利用したいと思わない」(26.8%)、「今後利用したいかどうか分からない」(34.9%)となっています。

学年別にみると、すべての学年で「今後利用したいかどうか分からない」と回答した方の割合が最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」と回答した方の割合は「中央値の2分の1未満」の世帯では42.3%となっており、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯や「中央値以上」の世帯と比べて高くなっています。

世帯状況別にみると、「あれば利用したいと思う」と回答した方の割合は「ひとり親世帯：「母子世帯」のみ」では39.8%となっており、「ふたり親世帯」や「ひとり親世帯」と比べて高くなっています。

図表 (自分や友人の家以外で) タご飯を無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)



図表 (自分や友人の家以外で) タご飯を無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など) (数表)

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	
		あ 利 用 し た こ と が	利 あ れ ば 利 用 し た い と 思 う	し 今 後 も 利 用 し た い か ら な い	ど 今 後 も 利 用 し た い か ら な い		
全体	2,556	5.0	32.3	26.8	34.9	1.0	
学年別	小学5年生	905	5.7	31.6	27.2	34.3	1.2
	中学2年生	868	4.4	32.4	28.6	34.0	0.7
	高校2年生	783	5.0	33.0	24.5	36.5	1.0
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	4.6	30.0	27.4	36.9	1.1
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	5.1	32.2	28.0	34.3	0.4
	中央値の2分の1未満	265	6.4	42.3	20.4	30.2	0.8
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	4.9	31.5	27.3	35.4	0.9
	ひとり親世帯	276	6.2	38.0	23.9	30.8	1.1
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	241	5.4	39.8	22.4	31.5	0.8

c) 勉強を無料でみてくれる場所

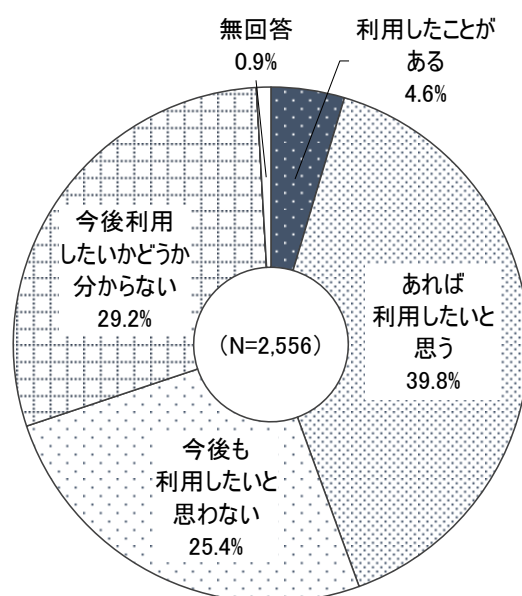
勉強を無料でみてくれる場所について、「利用したことがある」（4.6%）、「あれば利用したいと思う」（39.8%）、「今後も利用したいと思わない」（25.4%）、「今後利用したいかわからない」（29.2%）となっています。

学年別にみると、すべての学年で「あれば利用したいと思う」と回答した方の割合が最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「あれば利用したいと思う」と回答した方の割合が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「あれば利用したいと思う」と回答した方の割合が最も多くなっています。

図表 勉強を無料でみてくれる場所



図表 勉強を無料でみてくれる場所（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	
		あ 利 用 し た こ と が	利 あ れ ば 利 用 し た い と 思 う	し 今 後 も 利 用 し た い か わ か ら な い	ど 今 後 か 利 用 し た い か		
全体	2,556	4.6	39.8	25.4	29.2	0.9	
学年別	小学5年生	905	6.1	35.0	28.0	29.7	1.2
	中学2年生	868	3.5	43.3	24.5	28.1	0.6
	高校2年生	783	4.1	41.5	23.5	29.9	1.0
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	4.2	38.2	26.5	29.9	1.1
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	4.4	41.1	24.3	29.9	0.3
	中央値の2分の1未満	265	6.0	42.6	25.3	25.3	0.8
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	4.3	39.6	25.4	29.7	0.9
	ひとり親世帯	276	7.6	38.0	25.0	28.3	1.1
	ひとり親世帯・母子世帯のみ	241	7.5	38.6	25.3	27.8	0.8

d)（家や学校以外で）なんでも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）

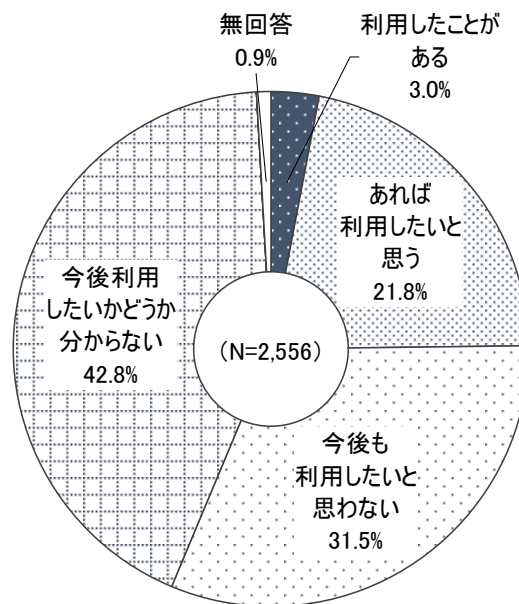
（家や学校以外で）なんでも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）について、「利用したことがある」（3.0%）、「あれば利用したいと思う」（21.8%）、「今後も利用したいと思わない」（31.5%）、「今後利用したいかどうか分からない」（42.8%）となっています。

学年別にみると、すべての学年で「今後利用したいかどうか分からない」と回答した方の割合が最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「今後利用したいかどうか分からない」と回答した方の割合が最も多くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「今後利用したいかどうか分からない」と回答した方の割合が最も多くなっています。

図表 （家や学校以外で）なんでも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）



図表 （家や学校以外で）なんでも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）（数表）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	
		あ 利 用 し た こ と が	利 あ れ ば 利 用 し た い と 思 う	し 今 後 も 利 用 し な い	ど 今 後 か 利 用 し な い か		
	2,556	3.0	21.8	31.5	42.8	0.9	
学年別	小学5年生	905	3.6	23.3	32.9	39.0	1.1
	中学2年生	868	2.2	20.4	31.7	45.2	0.6
	高校2年生	783	3.2	21.5	29.6	44.6	1.1
等価世帯 収入の 水準別	中央値以上	1,179	2.5	21.7	30.9	43.9	1.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	947	2.7	23.0	33.1	40.9	0.3
	中央値の2分の1未満	265	4.2	20.4	30.9	43.8	0.8
世帯 状況別	ふたり親世帯	2,143	2.8	21.7	31.7	42.9	0.8
	ひとり親世帯	276	4.0	22.5	29.3	43.1	1.1
	ひとり親世帯・母子世帯のみ	241	4.1	22.8	27.8	44.4	0.8

（20）支援の効果

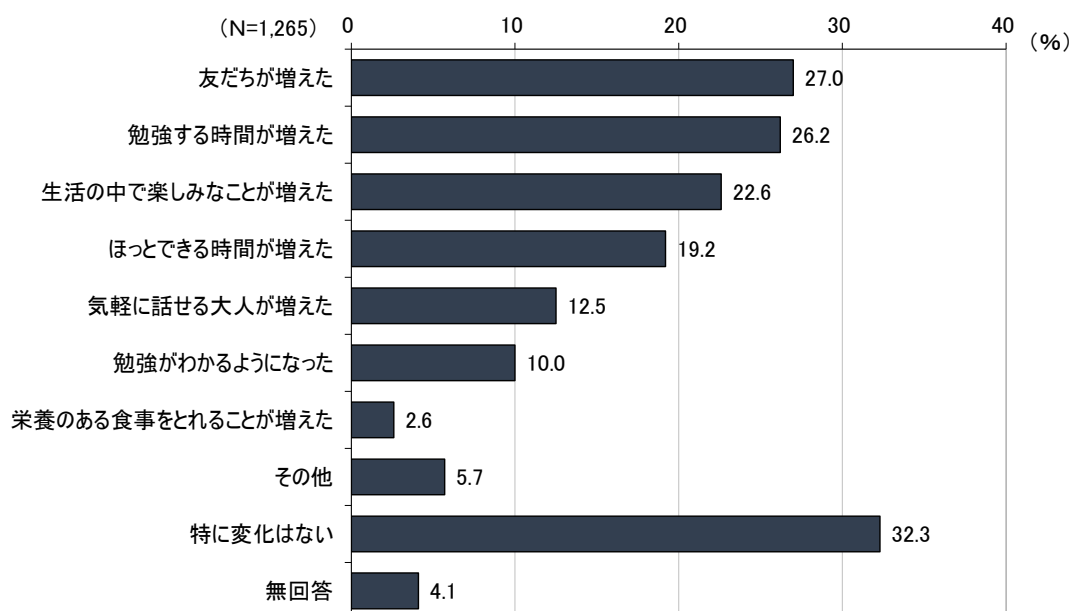
利用したことでどのような変化があったかについて、「特に変化はない」（32.3%）が最も多く、次いで「友達が増えた」（27.0%）、「勉強する時間が増えた」（26.2%）、「生活の中で楽しみなことが増えた」（22.6%）となっています。

学年別にみると、小学5年生は「友達が増えた」が52.1%、中学2年生は「特に変化はない」が41.9%、高校2年生は「勉強する時間が増えた」が35.1%でそれぞれ最も多くなっています。

等価世帯収入の水準別にみると、「生活の中で楽しみなことが増えた」の割合は、「中央値の2分の1未満の世帯」では28.8%となっており、「中央値の2分の1以上中央値未満の世帯」や「中央値以上の世帯」と比べて高くなっています。

世帯状況別にみると、すべての世帯で「特に変化はない」と回答した方の割合が最も多くなっています。

図表 支援の効果



図表 支援の効果（数表）

	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	無回答	
		友だちが増えた	勉強する時間が増えた	生活の中で楽しみなことが増えた	ほっとできる時間が増えた	気軽に話せる大人が増えた	勉強がわかるようになった	栄養のある食事をとれることが増えた	その他	特に変化はない		
全体	1,265	27.0	26.2	22.6	19.2	12.5	10.0	2.6	5.7	32.3	4.1	
学年別	小学5年生	480	52.1	22.7	36.5	23.3	23.3	12.3	5.0	8.8	22.5	2.7
	中学2年生	372	13.7	20.7	18.3	19.1	6.2	11.0	1.3	4.0	41.9	6.2
	高校2年生	413	9.7	35.1	10.4	14.5	5.6	6.5	1.0	3.6	34.9	3.9
等価世帯収入の水準別	中央値以上	582	25.9	26.6	21.1	19.6	12.2	8.4	1.7	5.2	33.7	2.7
	中央値の2分の1以上中央値未満	473	29.6	26.6	24.1	18.2	13.1	10.1	2.7	4.7	31.9	5.1
	中央値の2分の1未満	125	24.8	25.6	28.8	24.0	15.2	16.8	4.0	9.6	28.8	3.2
世帯状況別	ふたり親世帯	1,058	27.4	26.1	23.1	19.5	12.8	9.7	2.7	5.6	31.9	3.8
	ひとり親世帯	142	22.5	24.6	19.0	17.6	10.6	11.3	1.4	6.3	38.7	3.5
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	123	22.0	25.2	18.7	19.5	8.9	9.8	1.6	7.3	39.8	3.3

3 項目間のクロス集計・分析

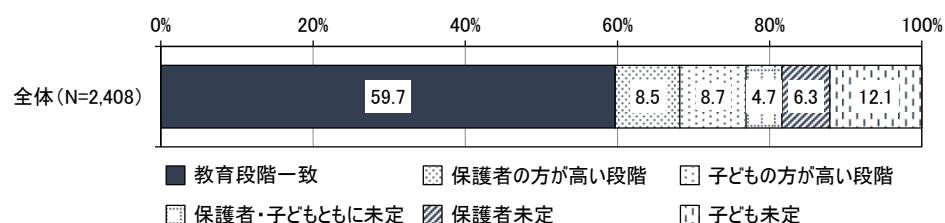
保護者と子どもの考えの一致・不一致

保護者が考える子どもの進学段階に関する希望・展望の回答と子ども自身が進学したいと思う教育段階の一致・不一致の状況について、「教育段階一致」、「保護者の方が高い段階」、「子どもの方が高い段階」、「保護者・子どもともに未定」、「保護者未定」、「子ども未定」の6分類※で集計しました。その結果、「教育段階一致」の割合は59.7%となっています。

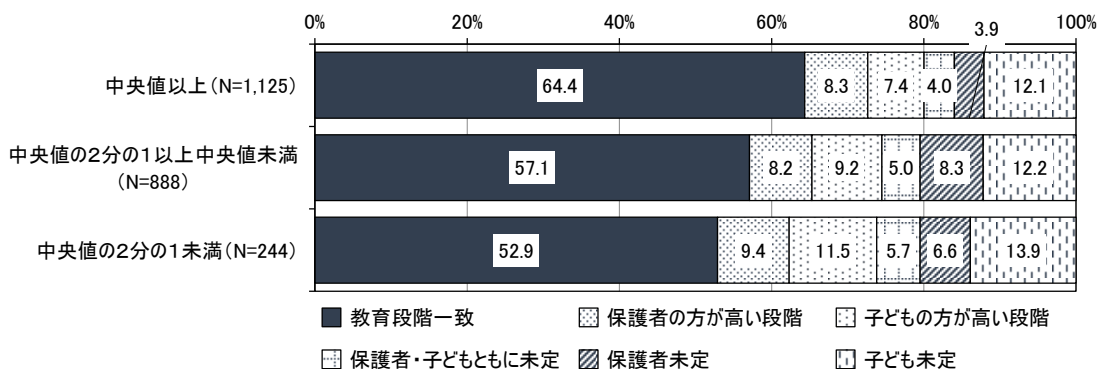
等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」の割合は、「中央値以上」の世帯では64.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では57.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では52.9%となっています。

世帯状況別にみると、「教育段階一致」の割合は、「ふたり親世帯」では59.9%、「ひとり親世帯」57.1%、「ひとり親世帯・母子世帯のみ」58.8%となっています。

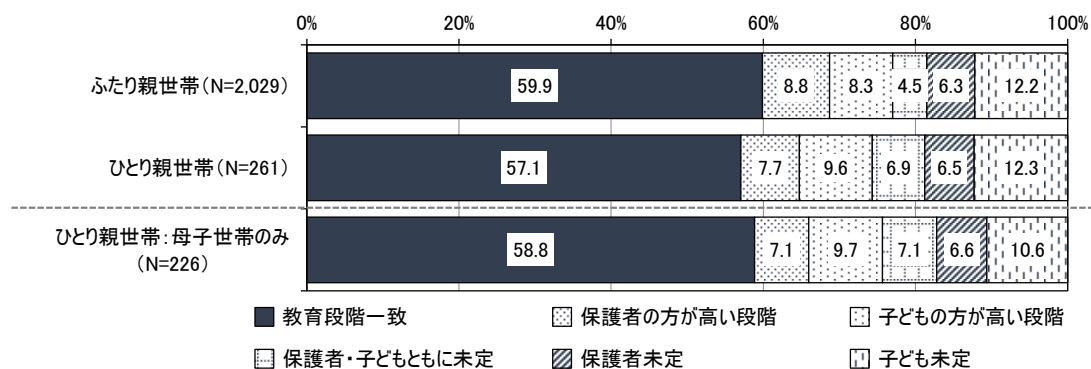
図表 保護者と子どもの考えの一致・不一致（全体）



図表 保護者と子どもの考えの一致・不一致（等価世帯収入の水準別）



図表 保護者と子どもの考えの一致・不一致（世帯状況別）

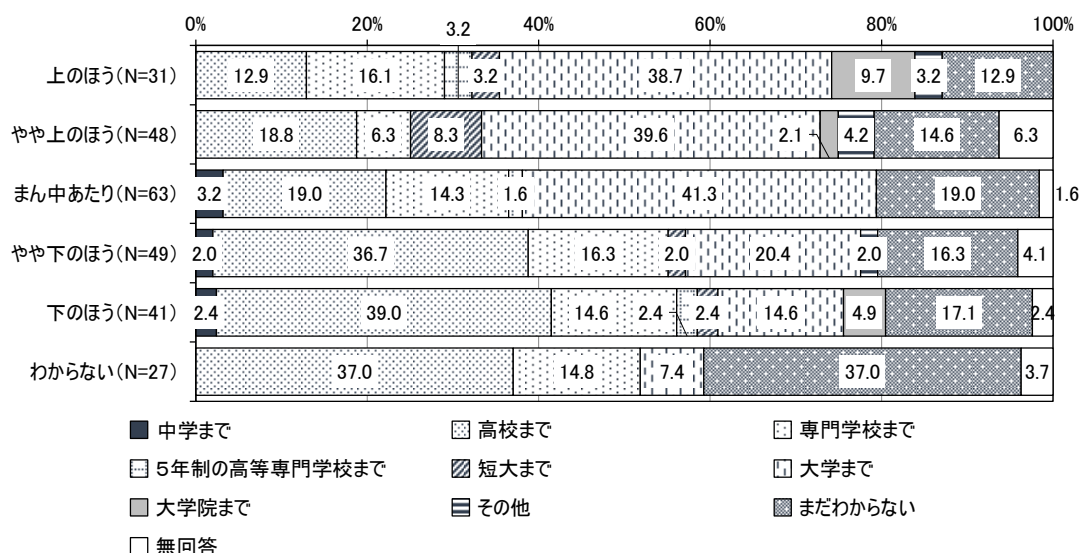


※保護者・子どものいずれか、または両方が「その他・不明・無回答」の場合は集計の対象外とした。

進学したいと思う教育段階

等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合に、クラスの中での成績別にみると、収入の水準が低い場合であっても、成績が「上のほう」の場合には、進学したいと思う教育段階について「大学またはそれ以上」の割合が48.4%と多くなっています。

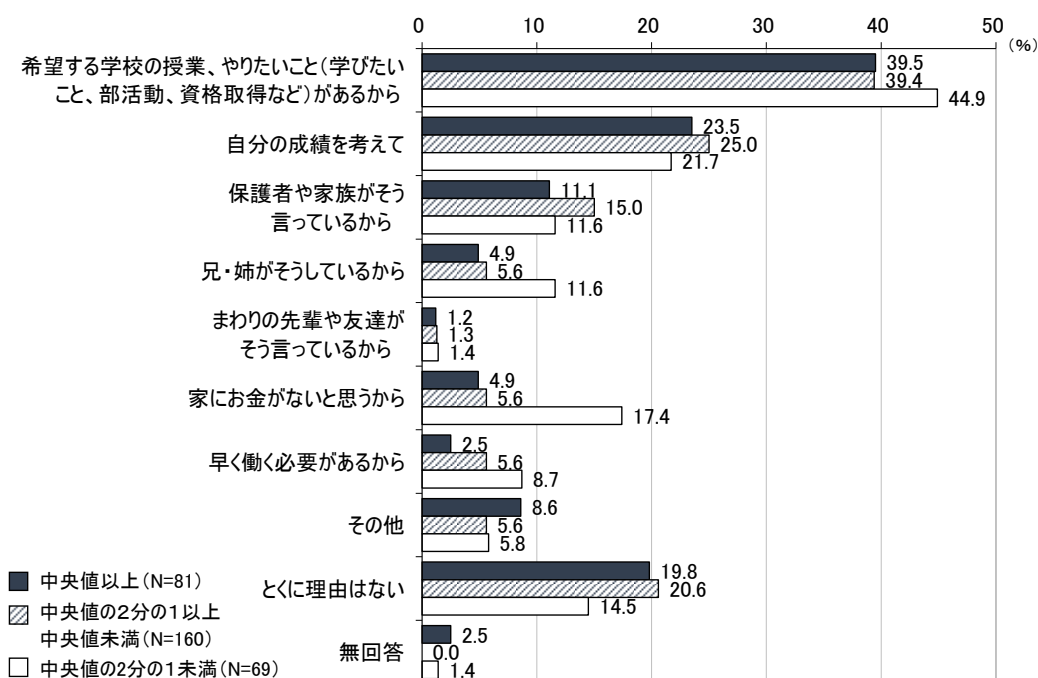
図表 等価世帯収入の水準が「中央値2分の1未満」の場合のクラスの中での成績別、進学したいと思う教育段階



進学希望の教育段階について「高校まで」と考える理由

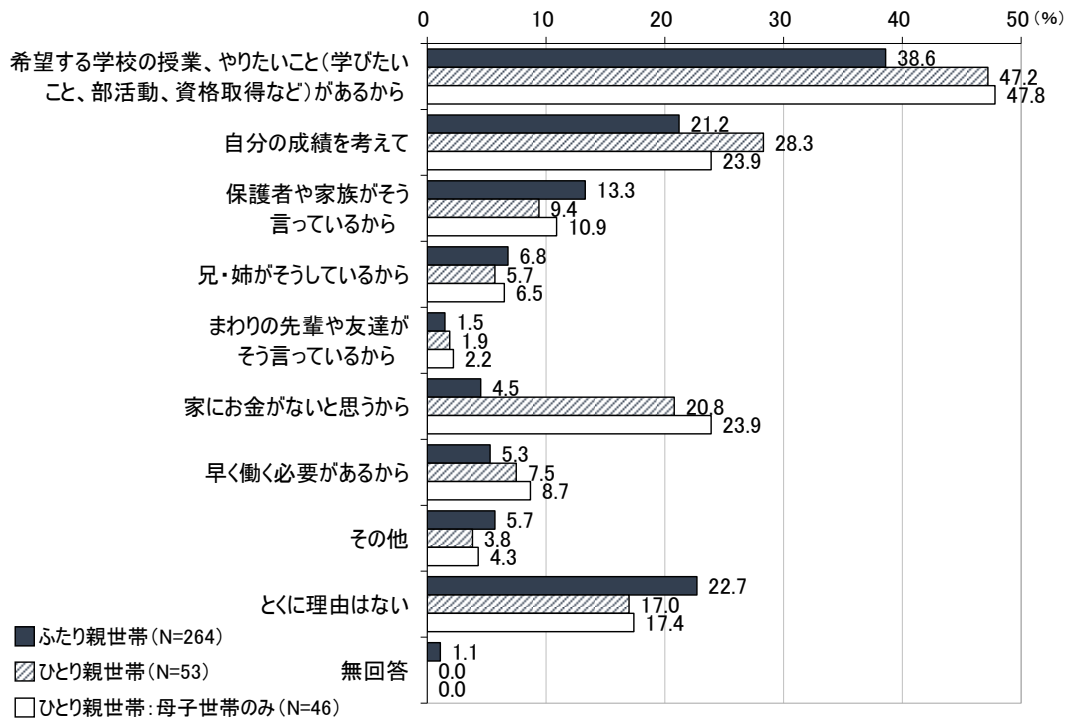
「高校まで」と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、すべての水準で「希望する学校の授業、やりたいこと（学びたいこと、部活動、資格取得など）があるから」の割合が最も多くなっています。「中央値の2分の1未満」の水準では「家にお金がないと思うから」の割合が他の水準と比べて多くなっています。

図表 進学希望の教育段階について「高校まで」と考える理由（等価世帯収入の水準別）



「高校まで」と回答した場合の理由を世帯状況別にみると、すべての世帯で「希望する学校の授業、やりたいこと（学びたいこと、部活動、資格取得など）があるから」の割合が最も多くなっています。「ひとり親世帯」、「母子世帯」のみでは「家にお金がないと思うから」の割合が他の水準と比べて多くなっています。

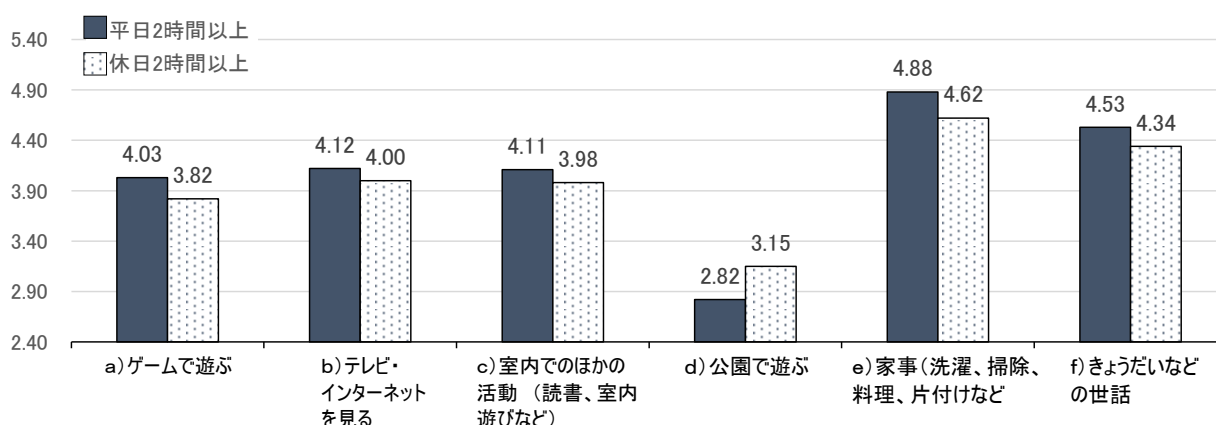
図表 進学希望の教育段階について「高校まで」と考える理由（世帯状況別）



子どもの活動状況と子どもの心理的な状態

ふだんの活動を平日・休日それぞれ2時間以上行っている子どもの心理的な状態のスコアの平均値（※得点が高いほど問題性が高いと考えられる。）を活動ごとにみると、「a）ゲームで遊ぶ」の平均値は【平日】で4.03、【休日】で3.82、「b）テレビ・インターネットを見る」の平均値は【平日】で4.12、【休日】で4.00、「c）室内でのほかの活動（読書、室内遊びなど）」の平均値は【平日】で4.11、【休日】で3.98、「d）公園で遊ぶ」の平均値は【平日】で2.82、【休日】で3.15、「e）家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）」の平均値は【平日】で4.88、【休日】で4.62、「f）きょうだいなどの世話」の平均値は【平日】で4.53、【休日】で4.34となっています。

図表 子どもの活動状況と子どもの心理的な状態



子どもの「勉強を無料で見てくれる場所の利用意向」と保護者の「子どもが塾に通っていない理由」

子どもの「勉強を無料で見てくれる場所の利用意向」と保護者の「子どもが塾に通っていない理由」についてみると、子どもが勉強を無料で見てくれる場所を「利用したことがある」、「あれば利用したいと思う」を回答した場合の保護者の「子どもが塾に通っていない理由」では「子どもがやりたがらないから」が最も多く、続いて「経済的に余裕がないから」の割合も多くなっています。

図表 子どもの「勉強を無料で見てくれる場所の利用意向」と保護者の「子どもが塾に通っていない理由」（数表）

調査数		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	無回答	
		子どもがやりたがらないから	家庭教師や通信教育サービスを利用して	必要性を感じないから	経済的に余裕がないから	家の近くに塾がないから	学校のクラブ活動が忙しいから	子どもの自由時間が少なくなるから	他の家族の理解が得られないから	その他	特に理由はない		
今回(R6)	全体	685 45.4	233 15.4	437 28.9	441 29.2	92 6.1	223 14.8	178 11.8	10 0.7	130 8.6	104 6.9	6 0.4	
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=1位 2位	＜勉強を無料で見てくれる場所＞	利用したことがある	68 3.2	11 4.7	20 16.2	25 29.4	6 8.8	9 13.2	9 13.2	1 1.5	6 8.8	6 8.8	-
		あれば利用したいと思う	581 39.6	86 14.8	158 27.2	200 34.4	38 6.5	103 17.7	68 11.7	4 0.7	41 7.1	41 7.1	3 0.5
	意向場所の料利用	今後利用したいと思わない	411 203	69 16.8	135 32.8	110 26.8	19 4.6	49 11.9	56 13.6	1 0.2	39 9.5	24 5.8	-
		今後利用したいかどうかわからない	435 49.0	66 15.2	121 27.8	103 23.7	27 6.2	60 13.8	44 10.1	4 0.9	44 10.1	32 7.4	3 0.7

保護者の「心理的な状態」と子どもの「情緒の問題」

保護者の「心理的な状態」と子どもの「情緒の問題」の相関関係について、保護者の心理的な状態が良い（0～4点）場合は、子どもの情緒に問題がない（0～3点）が54.0%と最も多くなっています。また、保護者の心理的な状態が「13点以上（うつ・不安障害相当とされる）」では子どもの情緒の問題性が高い（8～10点）が13.3%と最も多くなっています。

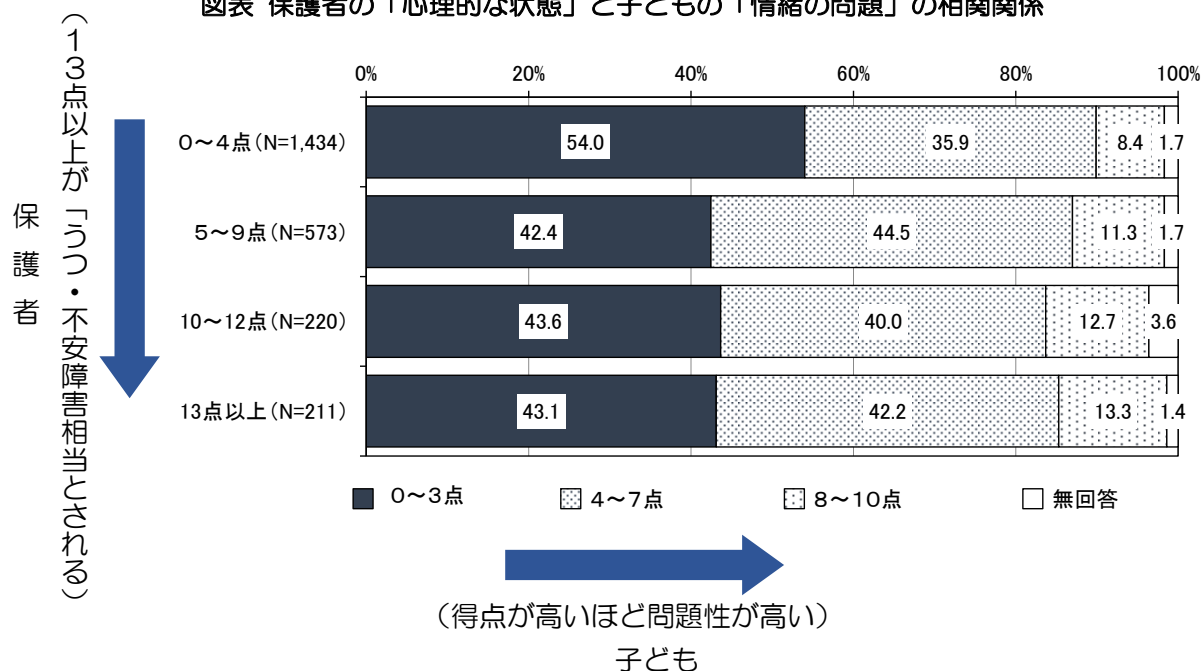
【保護者】項目

- a) 神経過敏に感じた
- b) 絶望的だと感じた
- c) そわそわ、落ち着かなく感じた
- d) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた
- e) 何をしても面倒だと感じた
- f) 自分は価値のない人間だと感じた

【子ども】項目

- b) 私は、よく頭やお腹が痛くなったり、気持ちが悪くなったりする
- e) 私は心配ごとが多く、いつも不安だ
- h) 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある
- j) 私は、新しい場面に直面すると不安になりやすい
- o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする

図表 保護者の「心理的な状態」と子どもの「情緒の問題」の相関関係



子どもの情緒の問題

	調査数	(1)	(2)	(3)	無回答	
		0 ～ 3 点	4 ～ 7 点	8 ～ 10 点		
保護者の心理的な状態	0～4点	1,434	774	515	121	24
		100	54.0	35.9	8.4	1.7
	5～9点	573	243	255	65	10
		100	42.4	44.5	11.3	1.7
	10～12点	220	96	88	28	8
		100	43.6	40.0	12.7	3.6
	13点以上	211	91	89	28	3
		100	43.1	42.2	13.3	1.4

4 相談・支援機関に対する調査結果

この調査では必要に応じて、調査対象機関を次の区分に分けて集計・分析しています。

機関区分	相談・支援機関
教育等機関	保育所・幼稚園、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、教育支援機関、高等学校（定時制・通信制）
福祉機関	福祉事務所（生活保護担当）、母子・父子自立支援員
児童福祉機関	児童相談所、児童福祉施設
地域の相談機関	民生委員・児童委員、社会福祉協議会、NPO法人

相談状況について

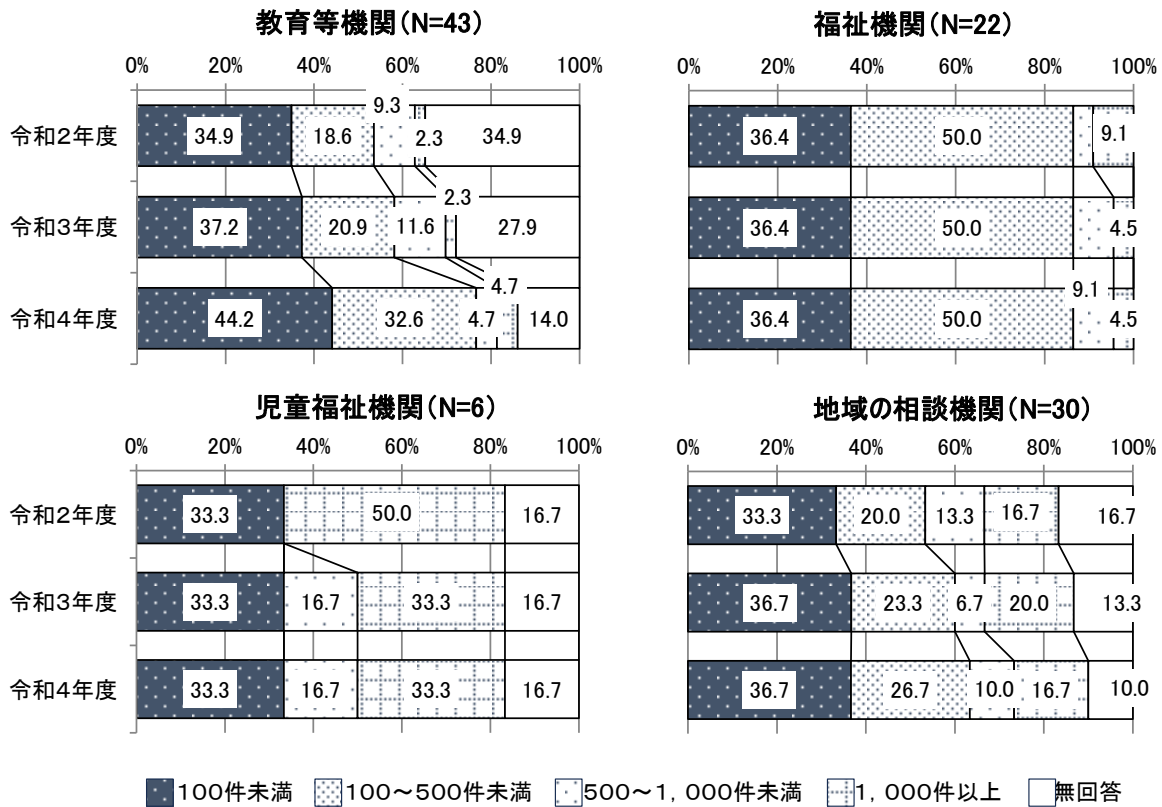
ア 相談件数（延べ）及び相談人数（実人数）

ここでの回答は、貧困や子どもに関する相談に関わらず、各機関において受けたすべての相談件数（延べ）及び相談人数（実人数）を対象にしています。

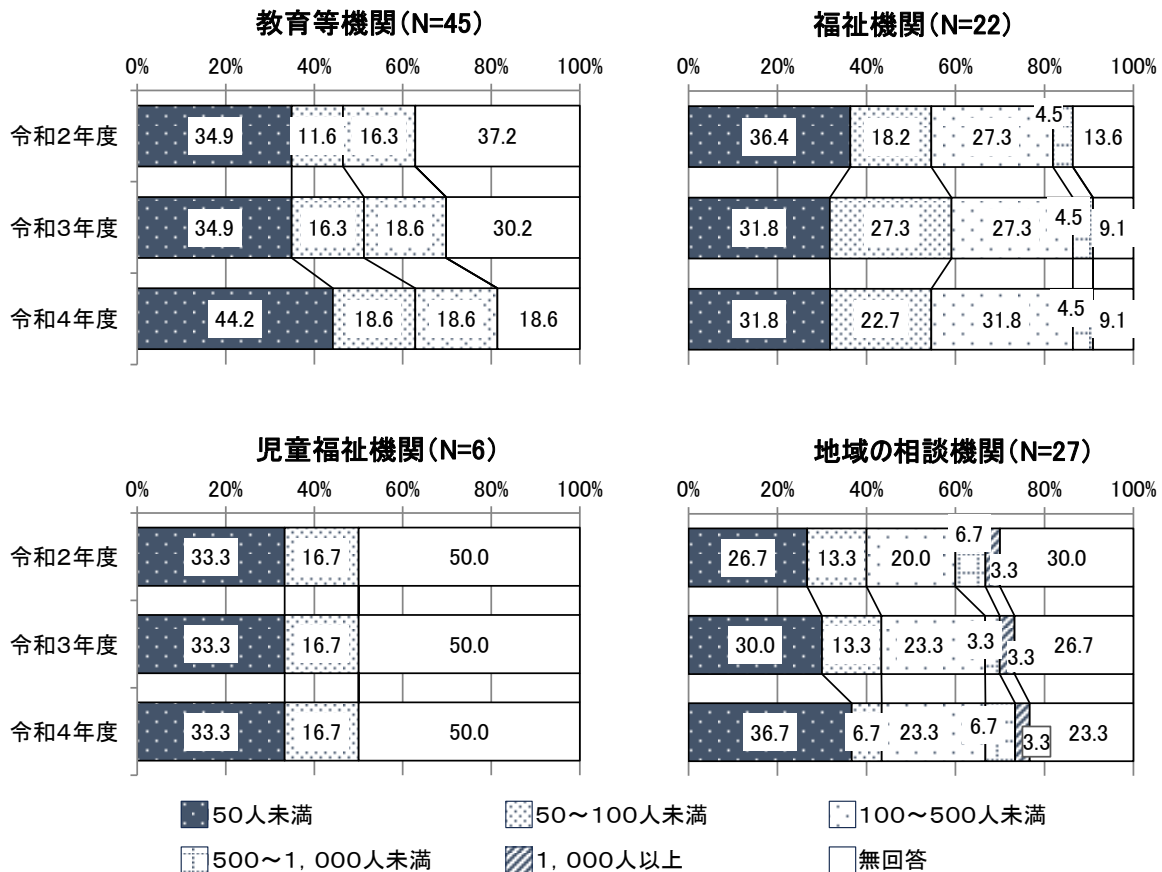
教育等機関のうちスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーは年度によって担当する学校が異なるなどの理由により、単純に経年比較することはできませんが、「児童福祉機関」での相談規模は、他機関に比べて大きくなっています。

また、「教育等機関」「福祉機関」及び「地域の相談機関」では、相談件数が100件未満から1,000件以上まで分布しており、個別の機関ごとに相談規模が異なります。

図表 令和2年度～令和4年度の相談件数（延べ）



図表 令和2年度～令和4年度の相談人数（実人数）



イ 従来から多くある相談内容 及び 最近増加傾向にある相談内容

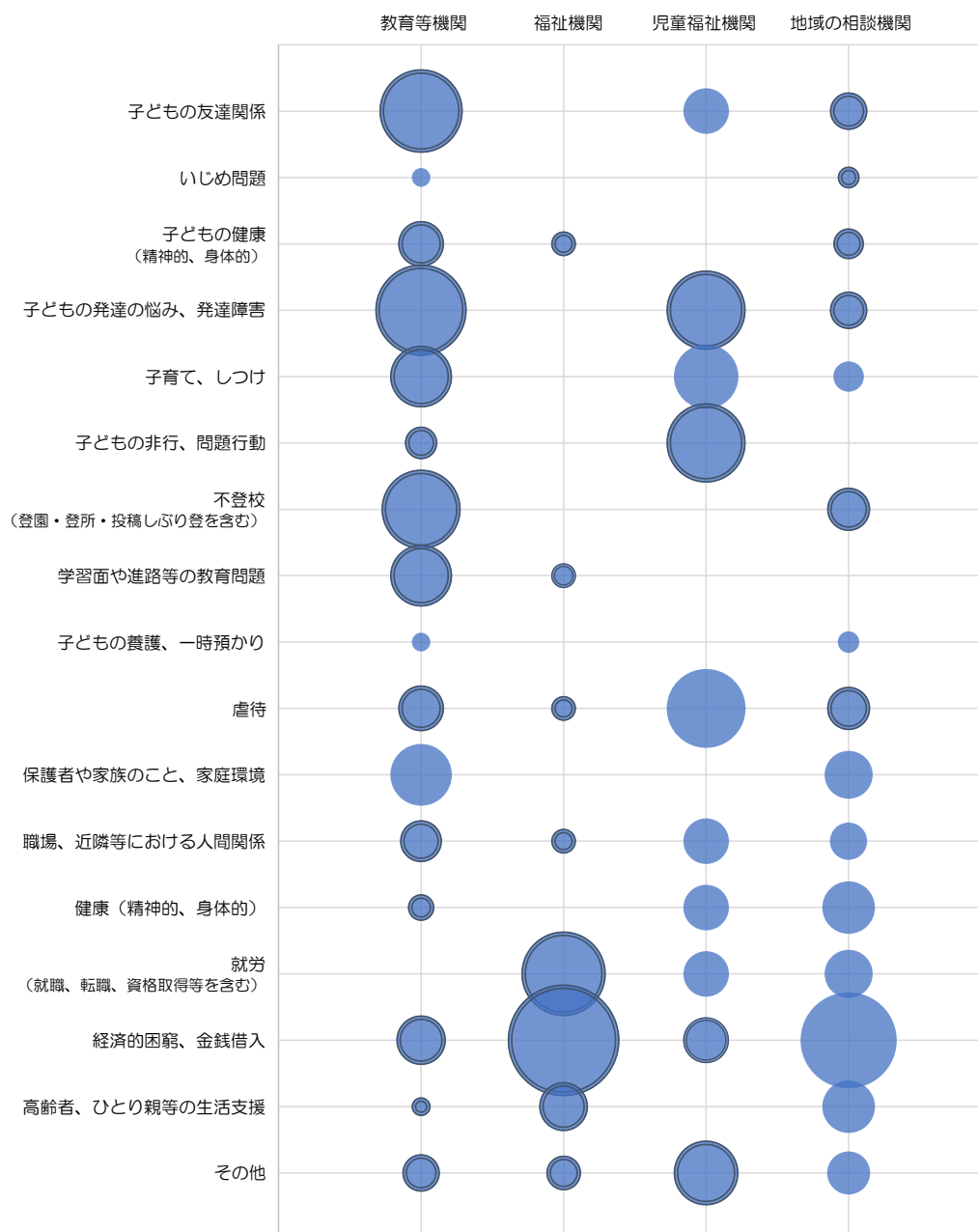
従来から多くある相談内容として挙げられたものを分類して図示すると、次のようになります。図中の円の大きさは、これらの項目を挙げた機関を機関区分ごとに割合で示しており、円が大きなものほど、より多くの機関から挙げられた項目となっています。

「教育等機関」では「子どもの発達の悩み、発達障害」、「子どもの友達関係」「不登校」に関すること、「福祉機関」では「経済的困窮、金銭借入」、「就労」に関すること、「児童福祉機関」では「子どもの非行、問題行動」、「子どもの発達の悩み、発達障害」に関すること、「地域の相談機関」では「経済的困窮、金銭借入」に関することなどが主な相談内容となっています。

また、二重丸で囲まれたものは、20%以上の機関から「最近増加傾向にある」相談内容として挙げられたものです。

「経済的困窮、金銭借入」の相談は、「福祉機関」、「子どもの発達の悩み、発達障害」の相談は、「教育等機関」「児童福祉機関」で増加傾向にあります。

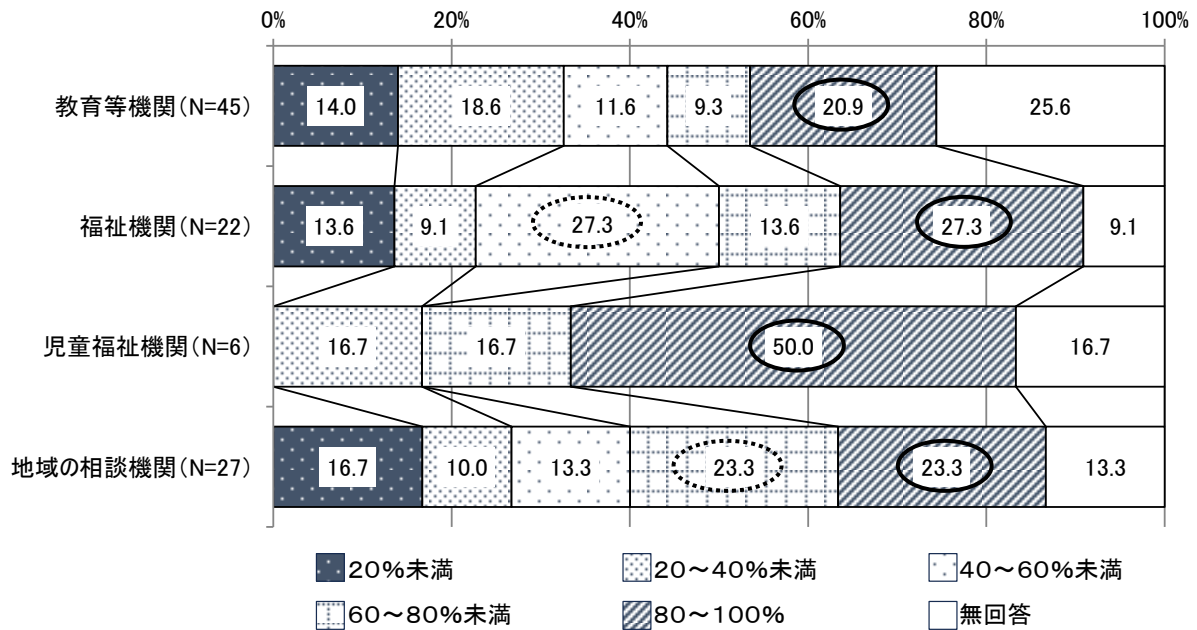
図表 従来から多くある相談内容 及び 最近増加傾向にある相談内容



ウ すべての相談のうち、相談から支援（他機関へのつなぎは含まず）に至る割合

相談から支援に至る割合については、「教育等機関」、「児童福祉機関」では「80～100%」が多いのに対し、「福祉機関」では「40～60%未満」、「80～100%」が同率で、「地域の相談機関」では「60～80%未満」、「80～100%」が同率となっています。

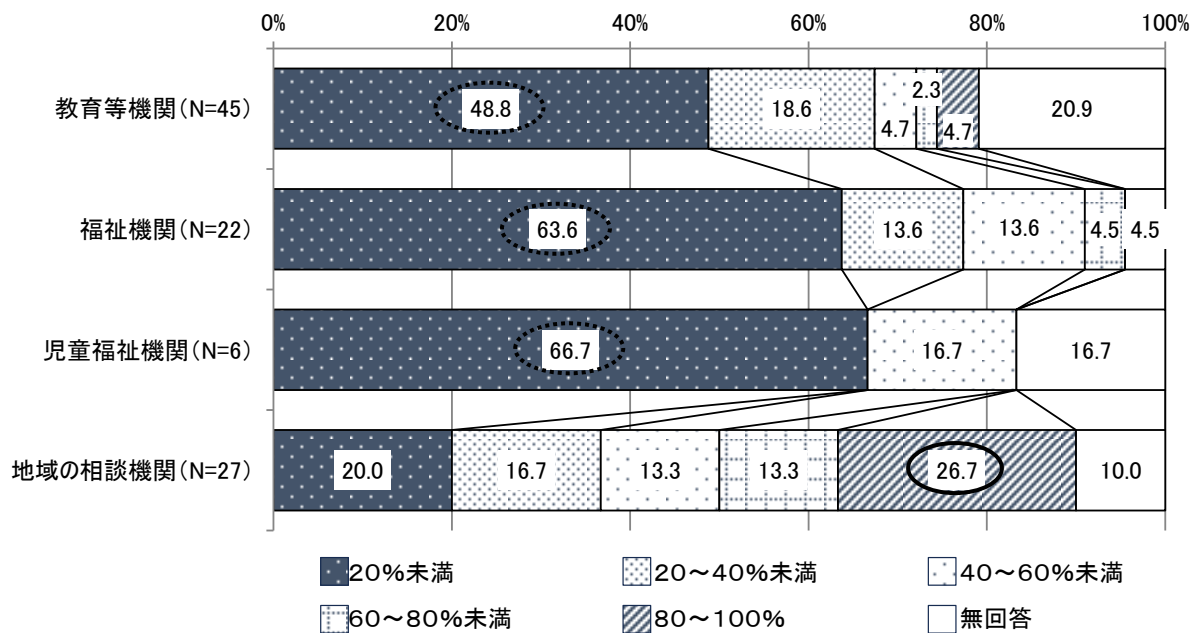
図表 すべての相談のうち、相談から支援に至る割合



エ すべての相談のうち、他機関へのつなぎに至る割合

他機関へのつなぎに至る割合については、「地域の相談機関」を除き、「20%未満」が4割以上と最も多くなっています。

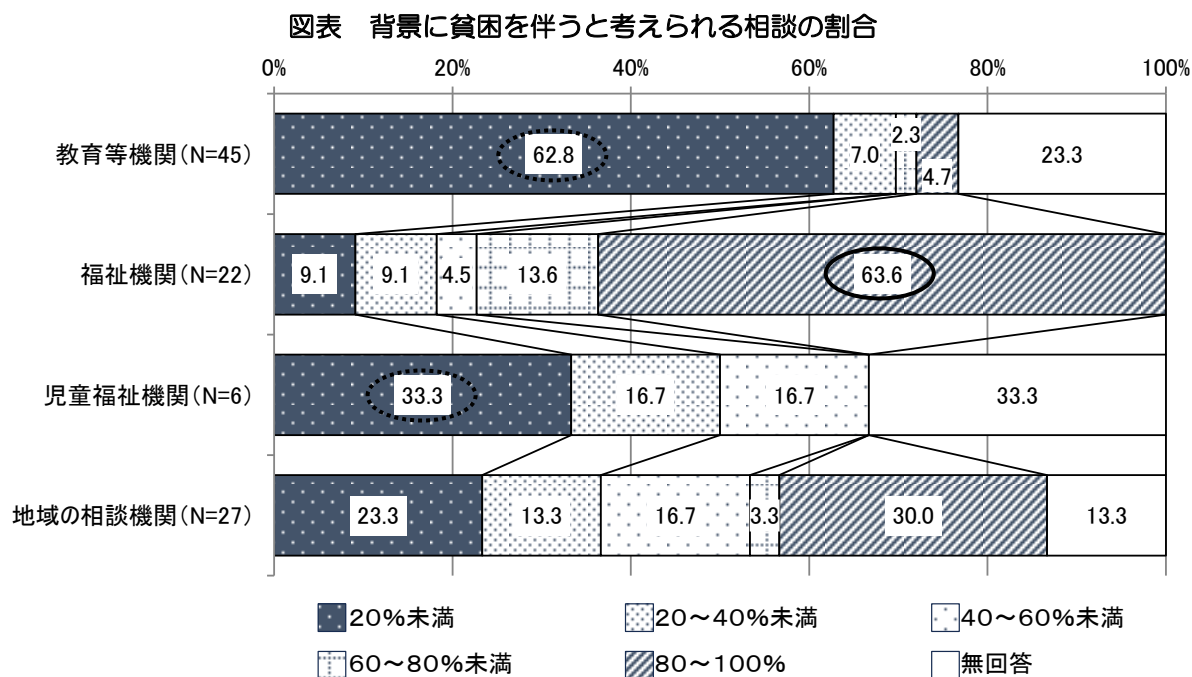
図表 すべての相談のうち、他機関へのつなぎに至る割合



相談の背景に貧困を伴うと考えられる案件について

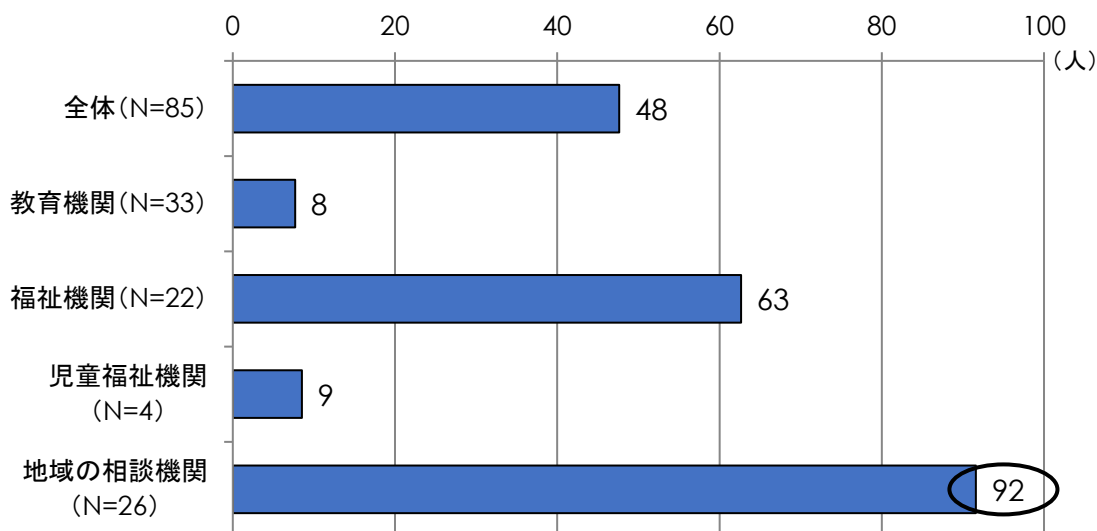
ア すべての相談（実人数）のうち、背景に貧困を伴うと考えられる相談の割合

背景に貧困を伴うと考えられる相談の割合は、「福祉機関」では高く、「教育等機関」「児童福祉機関」では低い傾向にあります。



背景に貧困を伴うと考えられる相談人数の年平均値（おおよその数）は、次のようになります。
「福祉機関」「地域の相談機関」では背景に貧困を伴うと認識される相談が多い一方で、「教育等機関」「児童福祉機関」では非常に少なくなっています。

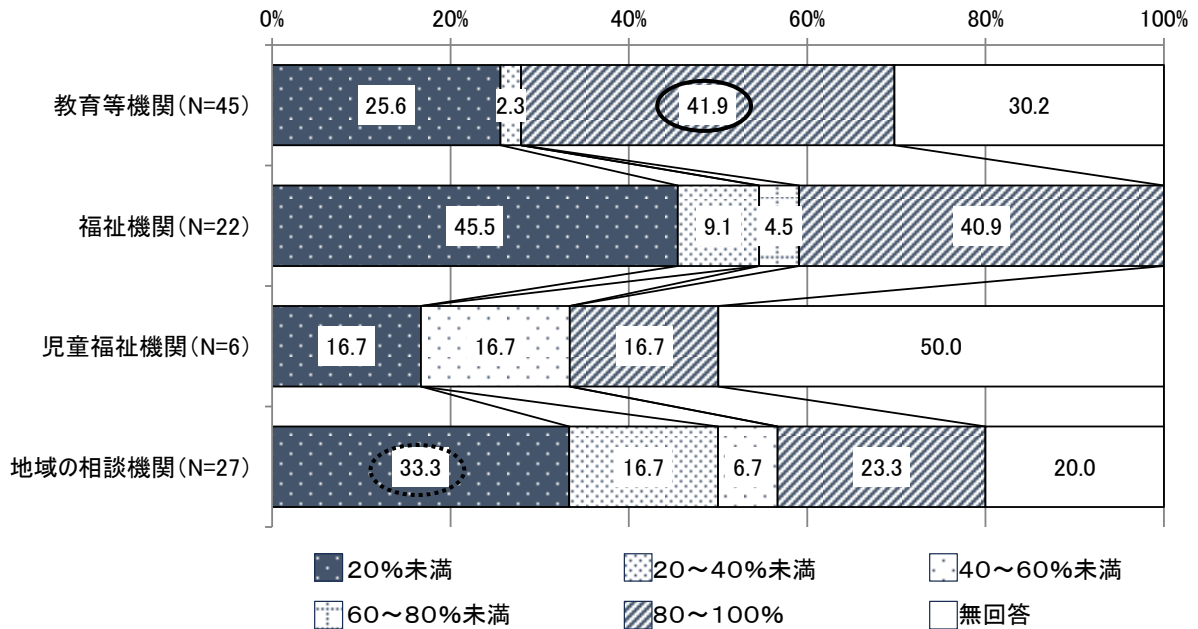
図表 背景に貧困を伴うと考えられる相談人数（年平均）



イ 背景に貧困を伴うと考えられる相談のうち、子どものいる世帯の割合

背景に貧困を伴うと考えられる相談のうち、子どものいる世帯の割合については、「教育等機関」では「80%以上」、「地域の相談機関」では「20%未満」が多くなっています。

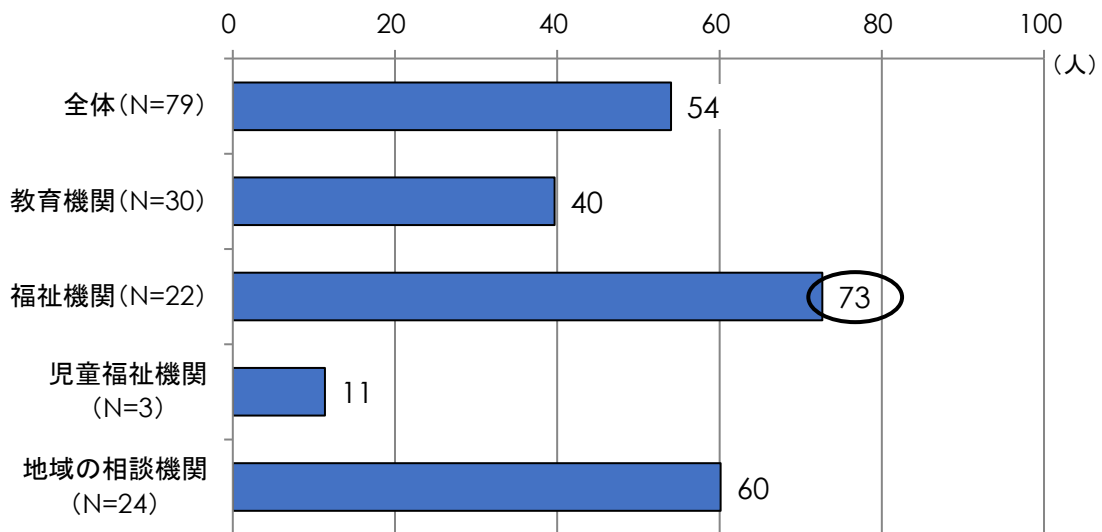
図表 背景に貧困を伴うと考えられる相談のうち、子どものいる世帯の割合



背景に貧困を伴うと考えられる、子どものいる世帯からの相談人数の年平均値（おおよその数）は、次のようになります。

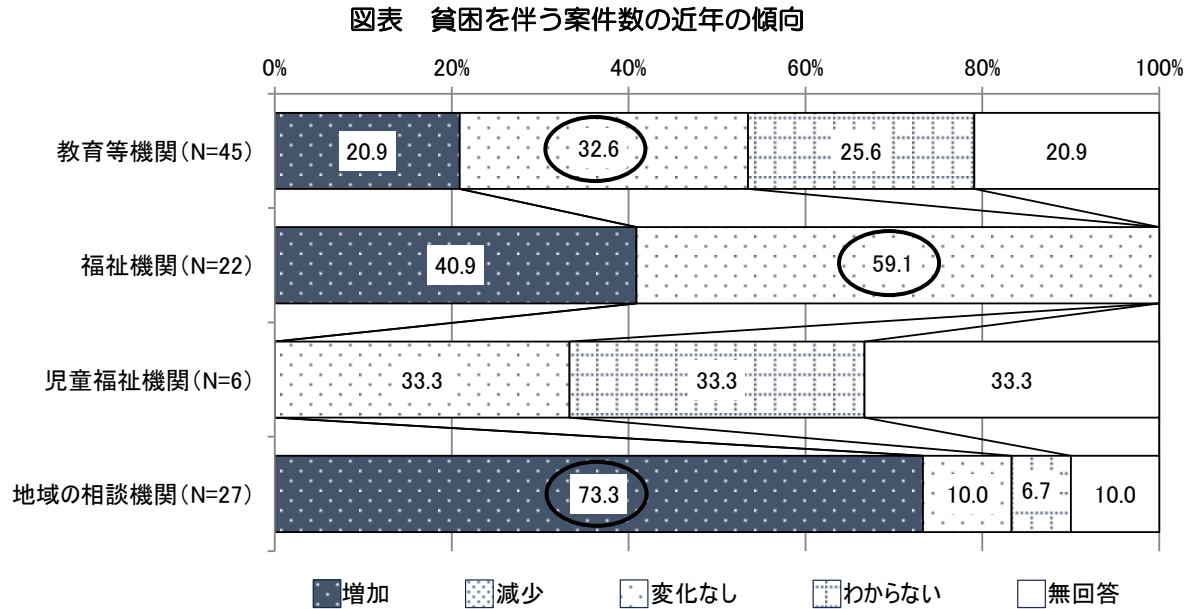
「福祉機関」では、就労や貧困についての相談が多くあります。

図表 子どものいる貧困世帯からの相談人数（年平均）



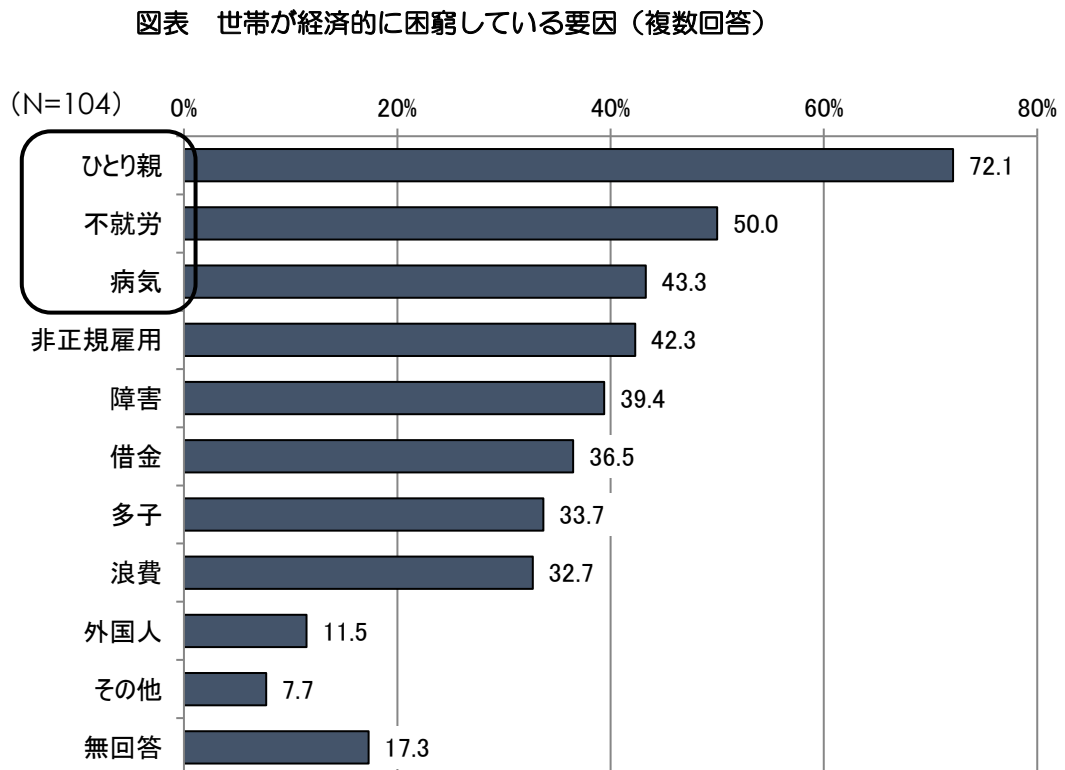
ウ 貧困を伴う案件数の近年の傾向

貧困を伴う案件数の近年の傾向については、「地域の相談機関」では「増加」、「教育等機関」、「福祉機関」では「変化なし」が多く、「児童福祉機関」では「変化なし」と「わからない」が同率となっています。



エ 世帯が経済的に困窮している要因

世帯が経済的に困窮している主な要因としては、「ひとり親」(72.1%)、「不就労」(50.0%)「病気」(43.3%)が多く挙げられています。

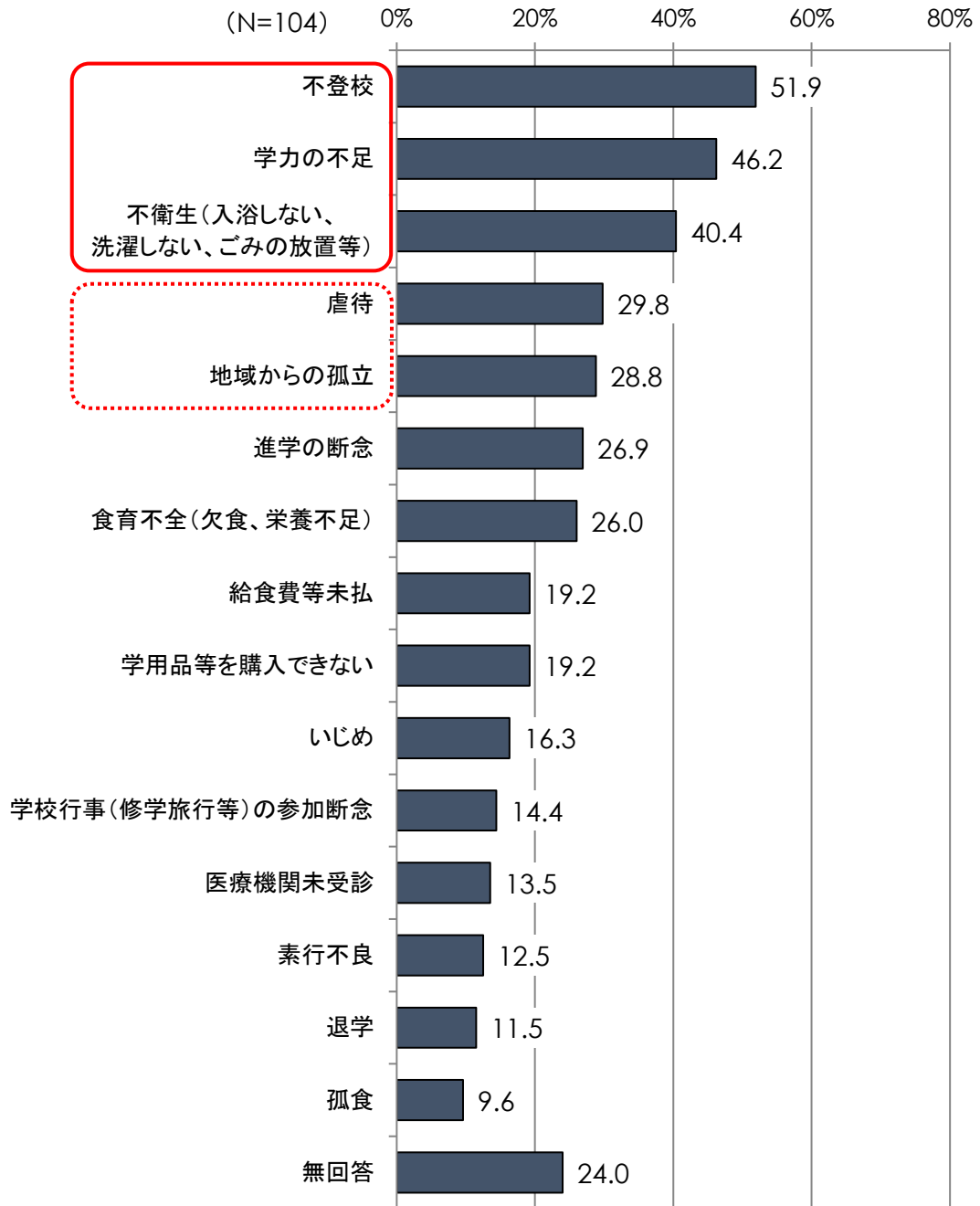


背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯について

ア 背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯に多く見られる困難な状況等

背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯に多く見られる困難な状況としては、「不登校」(51.9%)が最も多く、次いで、「学力の不足」(46.2%)、「不衛生(入浴しない、洗濯しない、ごみの放置等)」(40.4%)や「虐待」(29.8%)、「地域からの孤立」(28.8%)も多く挙げられています。

図表 背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯に多く見られる困難な状況（複数回答）



イ 背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯に多く見られる困難状況等
 についての具体的事項

具体的な事項としては、次のような事項が挙げられています。

図表 具体的な事項

	具体的内容
不登校	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の乱れによる不登校 ・家庭の事情に伴う不登校 ・コロナにより学校への登校の制限により不登校
虐待	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭で時々父らしき人が来るので、虐待の疑い ・幼少期に面前でDVがあり、心理的虐待を受けていたことがある
学力の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに寄り添う時間が少なくなるためか学力が低下していることに気がつきにくい
進学の見送り	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的なことで自分が行きたい進路に行けない ・各種奨学金制度を利用しても、奨学金返済の負担が重いため、進学を見送る者がいる ・両親が不労のため学校費用が支払えない
医療機関未受診	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの医療費が無料でも、親が受診する習慣がない
不衛生(入浴しない、洗濯しない、ゴミの放置等)	<ul style="list-style-type: none"> ・アトピーの治癒をせず、皮膚ががさがさ、お風呂にも入っていない ・水筒や上靴、給食エプロンをよく洗っていない
食育不全(欠食、栄養不足)	<ul style="list-style-type: none"> ・親が病気のためにご飯を作ってもらえず食育不全など ・食事の量が少ない
給食費等未払	<ul style="list-style-type: none"> ・必要とする諸費等の納入が滞りがちとなる ・入学金や授業料が払えない
学用品等を購入できない	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット購入費用がない、制服代がない ・学用品や進学のための経費などがない場合が多い ・学用品が揃わずに、学校行事(修学旅行、校外学習)に参加することができない
地域からの孤立	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困ではないが、移住者や転勤者の言葉の問題からなるいじめ等がある ・親に余裕がなく、地域からも孤立している
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・30代から50代のひきこもりが多くなった ・子どもだけではなく親御さんの課題もあるが、親御さんへの関りが難しく、子どもが18歳になると関係機関も減り、アプローチが困難となるケースがある ・パートタイムであるため、夜間の時間帯に就労していくことを望んでいる世帯が多い

ウ その他多く見られる特徴的な事項

その他多く見られる特徴的な事項としては、次のような事項が挙げられています。

図表 その他多く見られる特徴的な事項

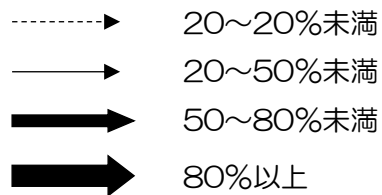
	具体的内容
支援する上での問題	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関に出向くことや手続きすること等が困難 ・保護者の多くは、過去に相談、支援機関で不本意な思いを味わっていることが多く、子どものことであっても支援の利用を躊躇する様子が見られる
世帯の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親世帯 ・多子
生活の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋はごみ屋敷である場合が多く、生活習慣が身につけていない ・貧困であることに慣れている ・生活習慣が乱れている
保護者が抱える問題	<ul style="list-style-type: none"> ・教育権（義務、権利）についての認識が乏しい ・母親の精神疾患による不就業
経済的な問題	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困により教育の格差が生じている ・子どもへの関心が薄く、子どもの為の経費の優先度が低い ・手当など、お金が入ってくると使い道を考えずに欲しいもの、食べたいものにお金を使っている
子どもが抱える困難な状況	<ul style="list-style-type: none"> ・家でゲーム、ネット依存 ・昼夜逆転 ・部活の不参加 ・家族で外出したり一緒に何かをしたりすることが少なく、生活経験が乏しい

エ 他機関を経由して相談に来た場合の経由機関、他機関へつないだ場合のつなぎ先

子どものいる世帯で、背景に貧困を伴うと考えられる相談案件が、他機関を経由して相談に来た場合の経由機関と、他の機関へつないだ場合のつなぎ先の関係について、機関ごとに図示したものが次の図です。

機関ごとの特徴をより詳細に分析するため、ここでは区分を「保育所・幼稚園」「小学校・中学校・高等学校等（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを含む）、高等学校」「母子・父子自立支援員、福祉事務所」「児童相談所、児童福祉施設」「民生委員・児童委員、社会福祉協議会」「NPO 法人」としています。

図中の矢印は、該当項目を挙げた機関数が機関全体に占める割合を表したもので、矢印が大きなものほど、より多くの機関から挙げられたことを示しています。

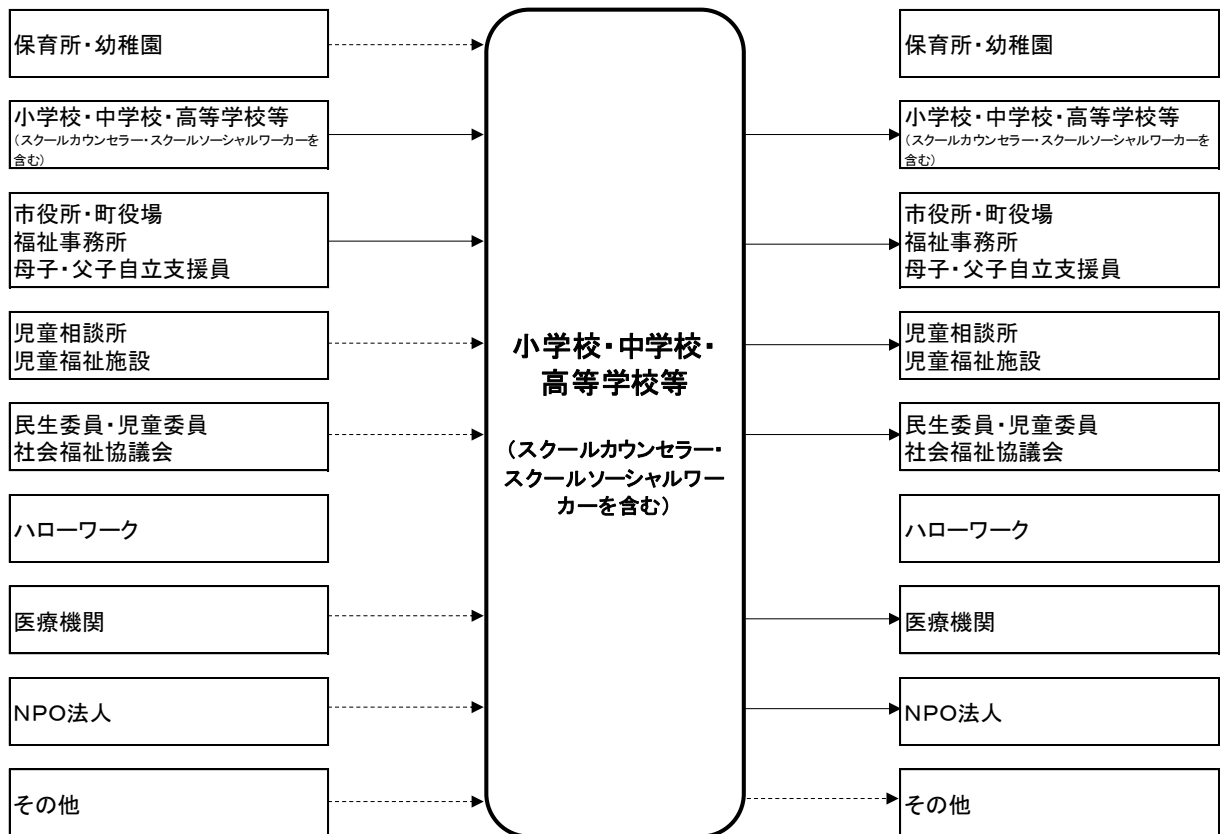
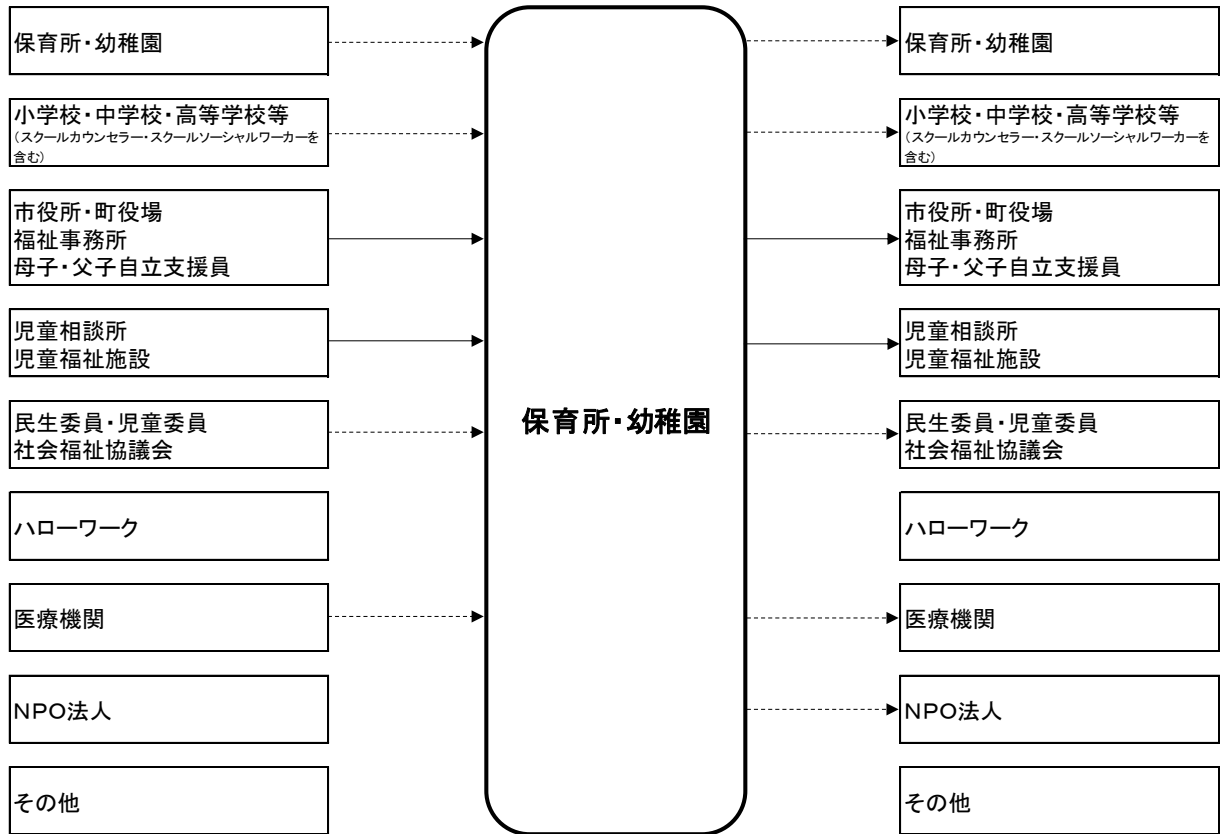


ただし、「主なもの」について回答されているため、「矢印がないこと」が「連携関係が全くないこと」を意味するものではありません。

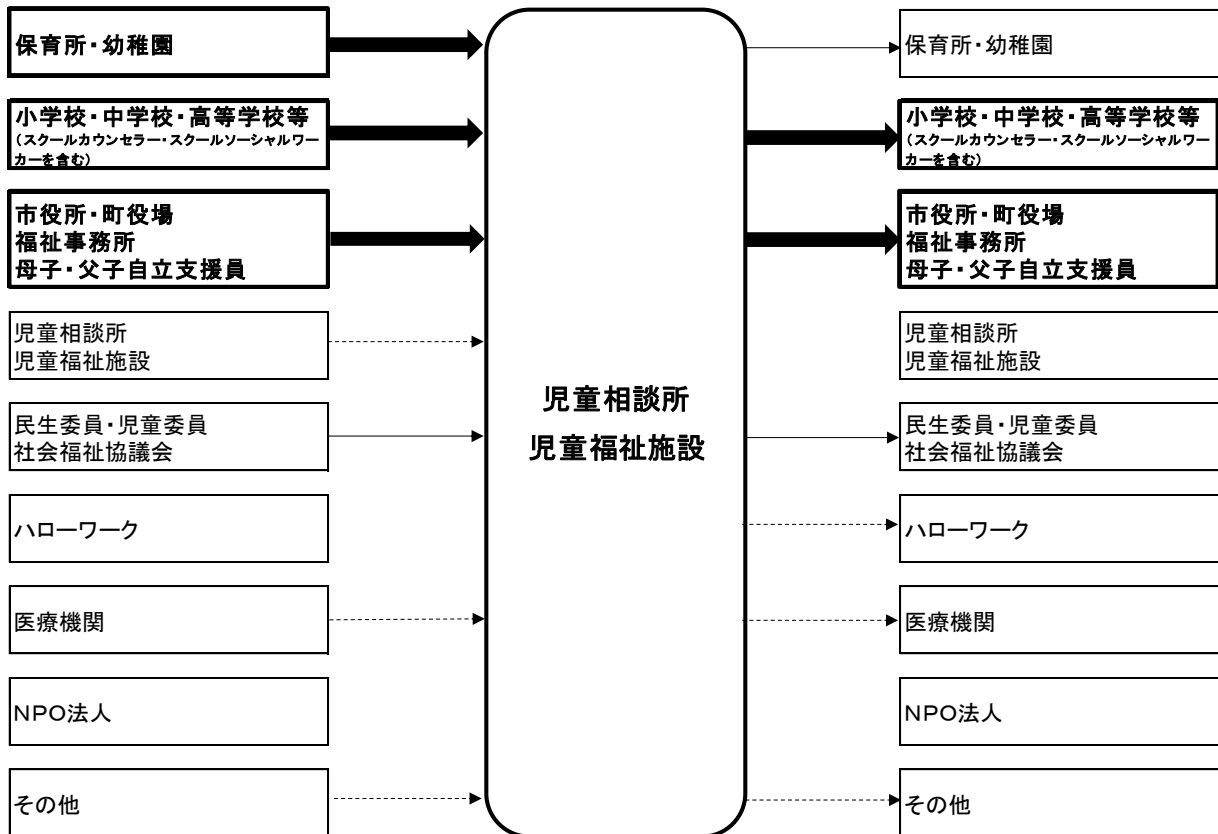
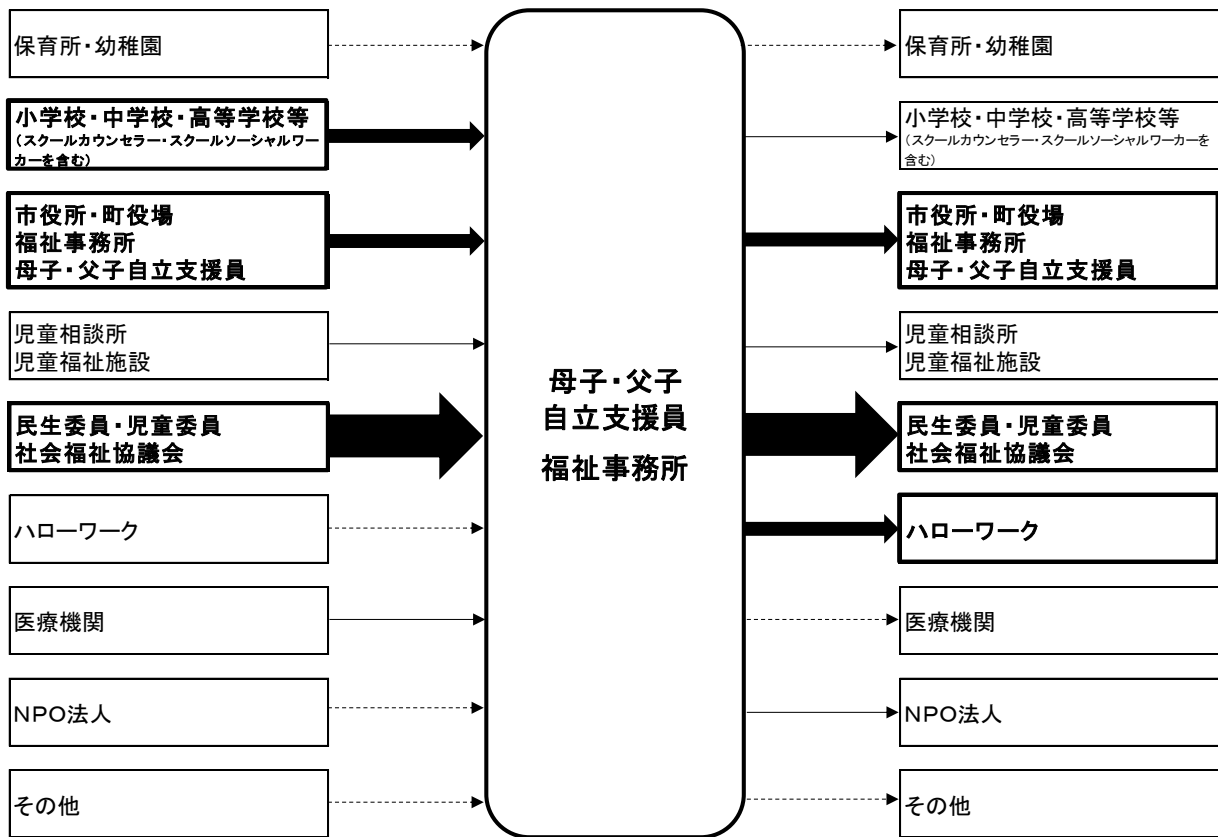
機関によって一定の連携ルートが認められます。連携先が限定されている機関や他機関とあまり連携がない機関なども見られます。

また「母子・父子自立支援員、福祉事務所」や「NPO 法人」は、必要に応じて多様な機関と連携していることがうかがえます。

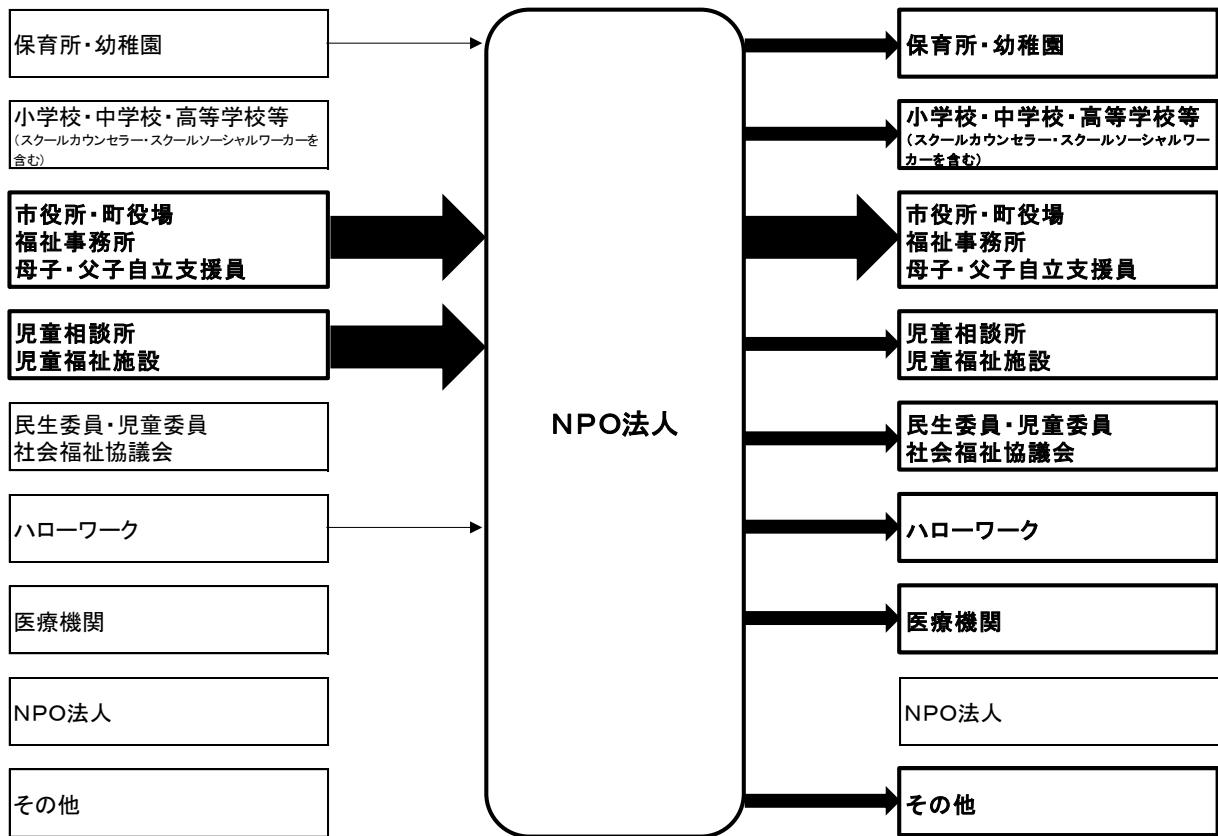
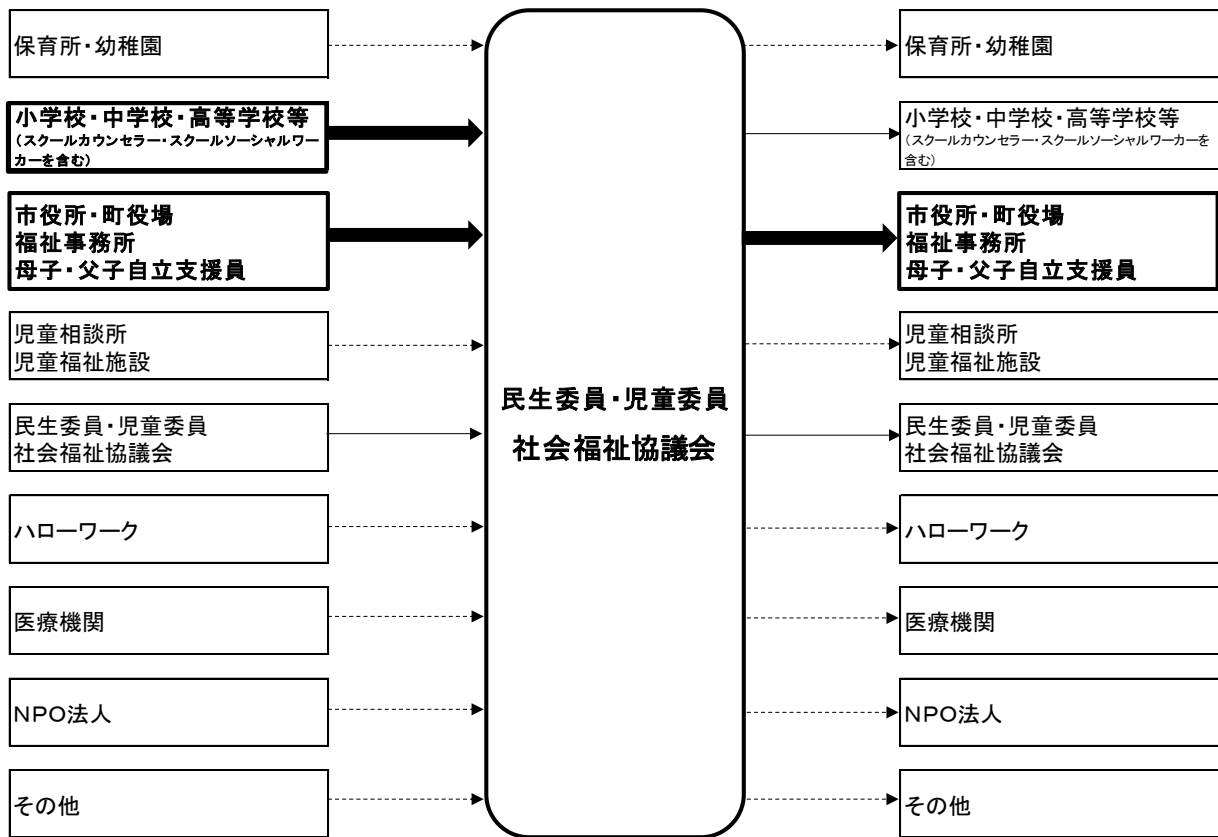
図表 相談の経由機関と他機関へのつなぎ先（相談・支援機関別）



図表 相談の経由機関と他機関へのつなぎ先（相談・支援機関別）



図表 相談の経由機関と他機関へのつなぎ先（相談・支援機関別）



才 他機関と連携する際の問題点、支援する際の問題点

他機関と連携する際の問題点 及び 支援する際の問題点として挙げられたものは、大きく＜情報共有＞ ＜連携体制・役割分担＞ ＜その他支援する側の問題＞ ＜支援を受ける側の問題＞の4つの区分に分類できます。

まず、＜情報共有＞については、情報を共有して連携する必要性を感じつつも、「個人情報の保護との関連で他機関と十分に情報共有することが困難」との意見が非常に多く挙げられています。

また、「情報提供を行ったにも関わらず、経過が知らされない」といった意見もいくつか見られ、情報提供から連携支援につなげることの難しさがうかがえます。

＜連携体制・役割分担＞については、「普段からの交流の重要性」、「連携のスピード感」といった意見が挙げられており、お互いに連携体制が不十分であると感じていると思われます。

＜その他支援する側の問題＞としては、「支援施策に精通した人材の確保」、「対応時間の問題」などが挙げられています。

一方、＜支援を受ける側の問題＞としては、「保護者の認識や理解」、「問題の多重化・複雑化」、「支援の拒否」といった意見が多く挙げられており、相談・支援の現場での対応の難しさがあらわれています。

具体的な意見は、次のとおりです。内容に応じて、重複して掲載しているものがあります。

図表 他機関と連携する際の問題点、支援する際の問題点（自由記述）

＜情報共有＞

意見概要	意見のあった相談・支援機関
個人情報の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の守秘義務による双方の情報開示 ・個人情報の取扱いについて、組織や担当サイドでの解釈に違いがあり、十分な支援のための情報を得られない場合も多い ・個人情報とそれぞれの機関の考え方 ・個人情報保護・守秘義務を理由に情報共有や連携に消極的な機関・担当者がある 	保育所・幼稚園 SC・SSW 母子・父子自立支援員 福祉事務所 児童福祉施設 民生委員・児童委員 社会福祉協議会 NPO 法人
情報共有 <ul style="list-style-type: none"> ・他機関に情報提供してもその後の状況が知らされない ・他機関の細かな施策まで把握しきれない ・世帯の問題を他機関と共有することが難しい ・医療機関を訪問し、ドクターと情報共有したいが時間の調整が難しい ・同じタイミングで情報共有することが難しく、どうしてもタイムラグが生じてしまう 	保育所・幼稚園 SC・SSW 福祉事務所 児童福祉施設 民生委員・児童委員 社会福祉協議会

＜連携体制・役割分担＞

意見概要	意見のあった相談・支援機関
連携の重要性 <ul style="list-style-type: none"> ・普段からの交流が必要 ・スピード感に欠けていると感じる 	母子・父子自立支援員 福祉事務所 民生委員・児童委員
連携意識や相互理解 <ul style="list-style-type: none"> ・機関の担当者が自分の役割を理解しきれていないことが多い ・たらい回しにならないよう、相談内容を正しく理解する ・直接のかかわり（支援）につながるまでのプロセス 	SC・SSW 母子・父子自立支援員 児童福祉施設 社会福祉協議会
役割分担 <ul style="list-style-type: none"> ・機関の役割やできることの限界が分からず、役割分担が難しい ・ケースによってはどの部署が主導権を持つか難しい場合があり、迅速な意思決定や対応が取れない場合がある 	SC・SSW 教育支援機関 母子・父子自立支援員 福祉事務所 社会福祉協議会

＜その他支援する側の問題＞

意見概要	意見のあった相談・支援機関
<p>人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人員が少ない（足りない）、予算が足りない ・ 役所の担当者の不勉強（とくに虐待案件） 	-
<p>支援体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各機関が有するサービスや社会資源を活用しても支援が行き届かない場合がある ・ 各種支援のうち金銭給付によるものについて、子どもの生活費以外に浪費するため、制度の目的が達成されていないと感ずることがある ・ 誰が子どもや保護者とつながって、必要な支援につなげていくか 	教育支援機関 福祉事務所
<p>支援施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 父子家庭で掃除や家事の準備に困っている家庭があり、家事援助サービスの必要性を感じる ・ 多子世帯は、関わっている機関が多く、それぞれ相談しながら対応するため時間がかかる 	保育所・幼稚園 SC・SSW 児童相談所 児童福祉施設 社会福祉協議会 NPO 法人

＜支援を受ける側の問題＞

意見概要	意見のあった相談・支援機関
<p>保護者の認識や理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の支援拒否や同意を得られないケースへの対応 ・ 支援を受けたい人ばかりでもないのので、支援をこぼむ人もいるので、説明と同意が必要であるが、なかなか同意をもらえず会えないことも多い ・ 親が子供を隠し、子供との面談が出来ない事がある 	高等学校 母子・父子自立支援員 福祉事務所 児童福祉事務所 民生委員・児童委員
<p>問題の多重化・複雑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困を知られたくない親や子どもへの配慮 ・ 子どもに対する直接支援のサービスが不足しており、また、利用についても原則保護者の同意が必要であるため、迅速な支援が行いづらい ・ 経済的な問題を隠したい（恥ずかしい）と思う対象者ばかりなので、なかなか表面的に出てこない 	保育所・幼稚園 SC・SSW 母子・父子自立支援員 福祉事務所 社会福祉協議会 NPO 法人
<p>就労</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の就労意欲が低い ・ 保護者だけで各種手続きを進められない ・ 母子家庭などは、フルタイムの仕事につきづらい 	母子・父子自立支援員 社会福祉協議会

子どもの貧困対策にかかる支援について

ア 支援制度の利用状況

相談・支援機関が受けた相談のうち、実際に支援を行った、又は他機関につないだ案件について、支援制度の利用状況をみると、「相談者が利用した または 利用できるよう他機関につないだ」との回答が多かった制度は、「公的機関窓口（市役所、町役場、福祉事務所、児童相談所等）での相談」「生活保護」「修学資金等の貸付、奨学金」となっています。

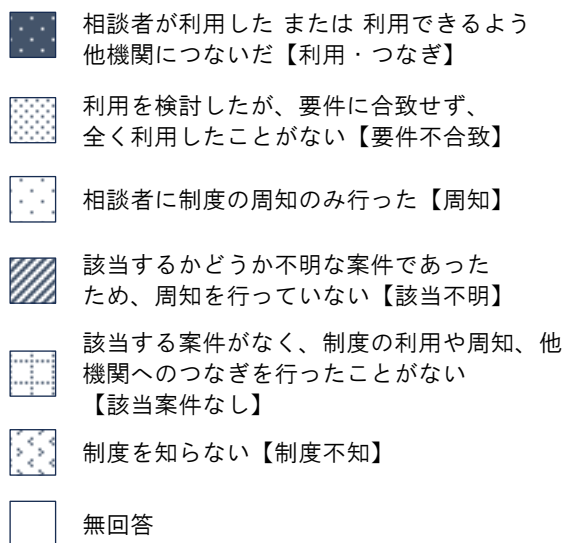
一方、「該当するかどうか不明な案件であったため、周知を行っていない」との回答が多かった制度は、「地域による学習支援（放課後子供教室等）」、「病児・病後児保育」、「ホームヘルパーによる一時的な育児・家事の援助（子育てホームヘルプサービス）」などです。

また、「制度を知らない」との回答が多かった制度は、「住居確保給付金」「地域による学習支援（放課後子供教室等）」です。

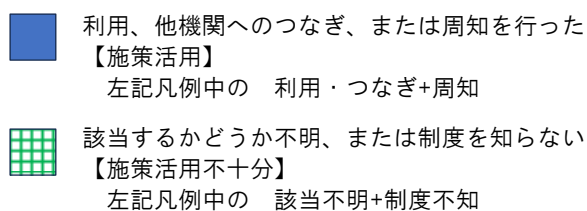
さらに、「相談者が利用した または 利用できるよう他機関につないだ」又は「相談者に制度の周知のみ行った」を選択した場合を【施策活用】に、「該当するかどうか不明な案件であったため、周知を行っていない」又は「制度を知らない」を選択した場合を【施策活用不十分】に区分した場合、「福祉機関」では、多くの施策において【施策活用】の割合が高く、多様な支援制度を活用していることがわかります。

図表 支援制度の利用状況と活用状況（全体、機関区分別）

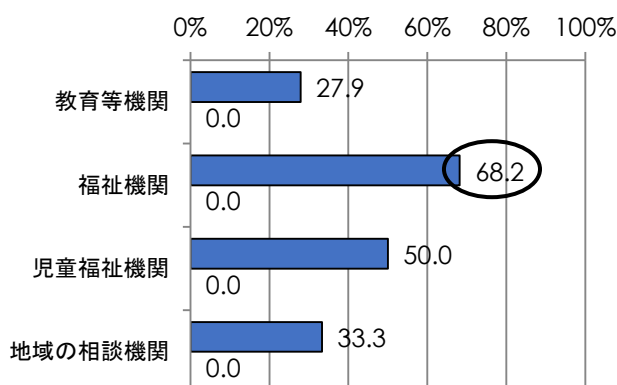
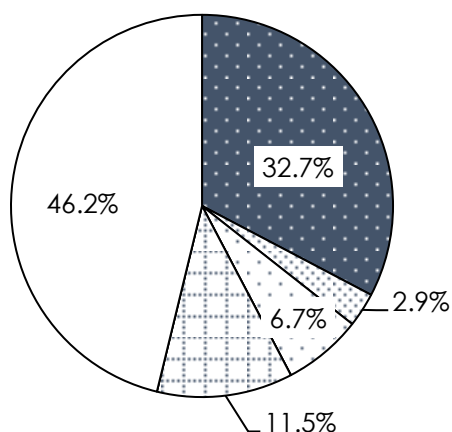
○ 支援制度の利用状況（N=104）



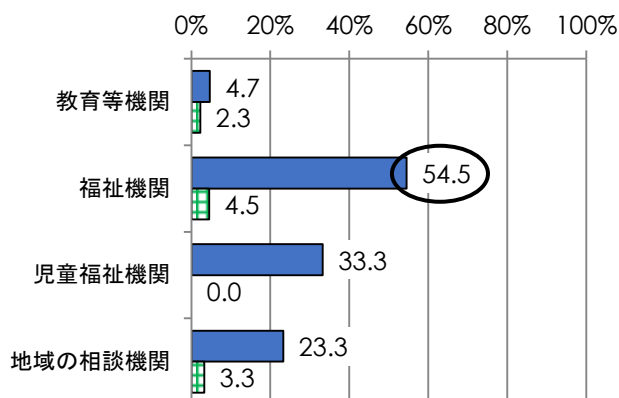
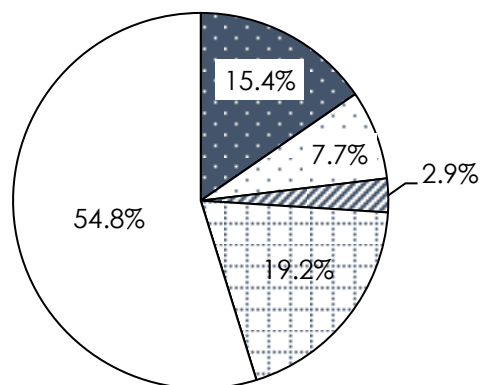
○ 機関別の施策活用状況（N=104）



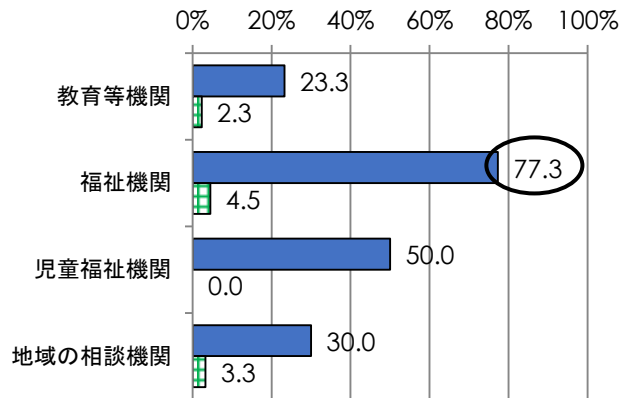
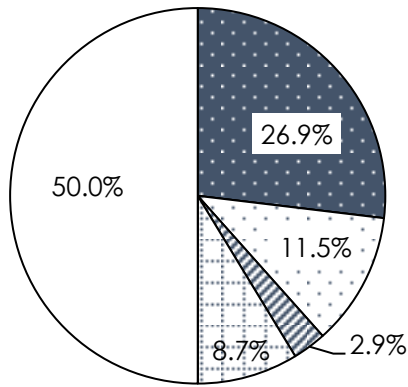
① スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等への相談



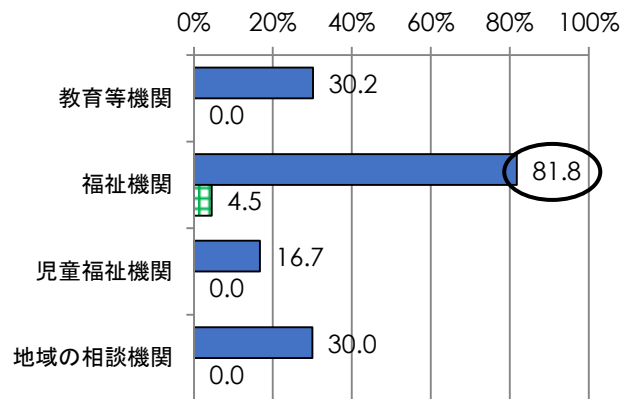
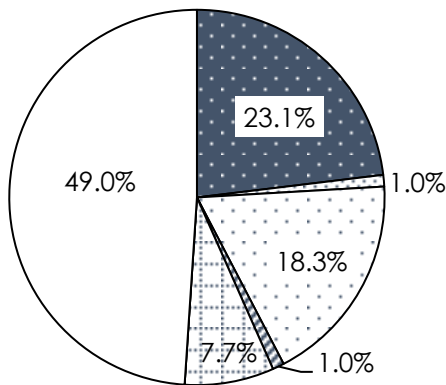
② 保育所や幼稚園の利用料の減額や免除



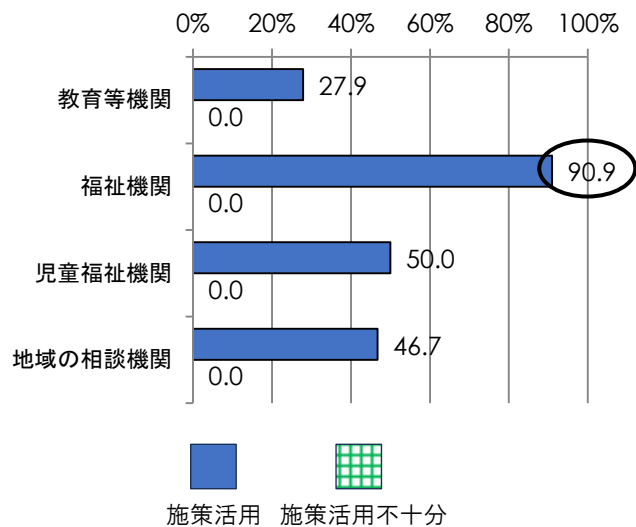
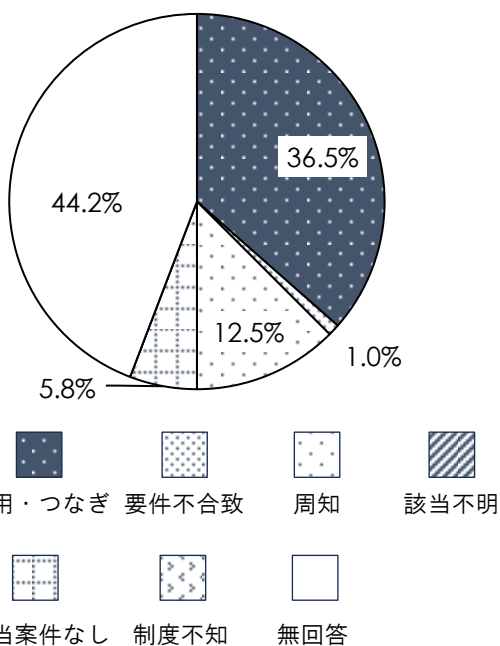
③ 小中学校の就学援助、特別支援教育就学奨励費



④ 高等学校等就学支援金（高等学校の授業料支援）



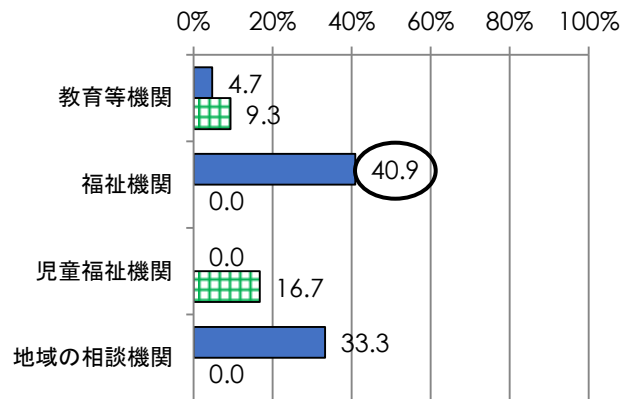
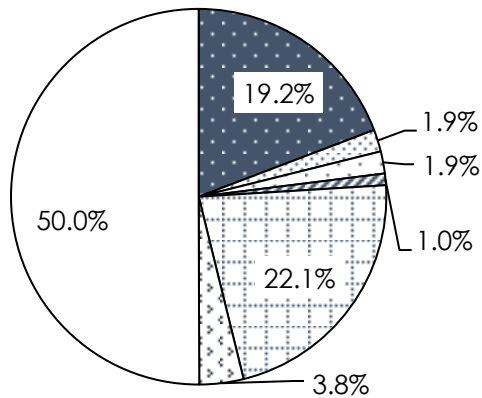
⑤ 修学資金の貸付、奨学金



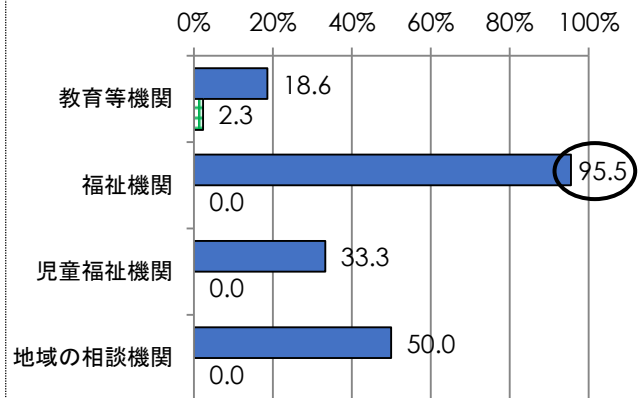
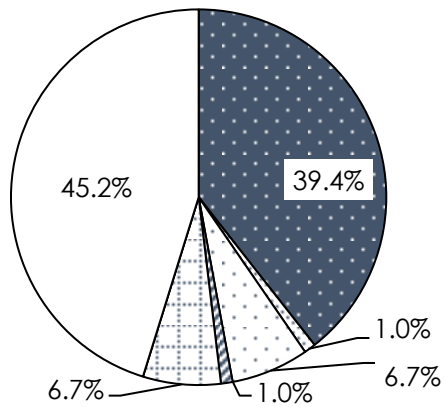
利用・つなぎ
 要件不適合
 周知
 該当不明

該当案件なし
 制度不知
 無回答

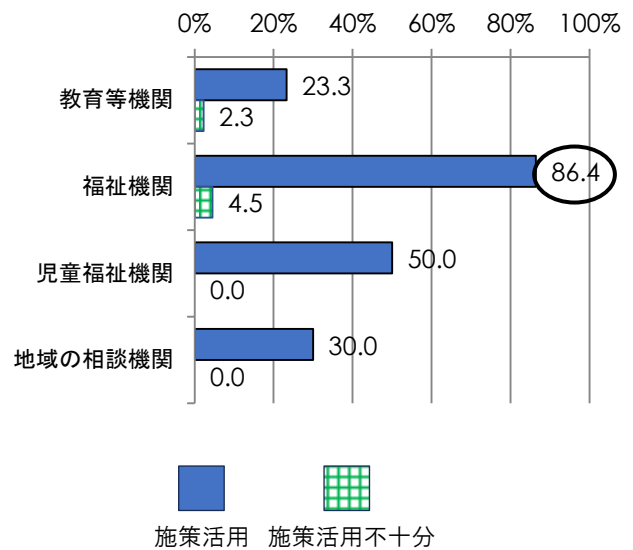
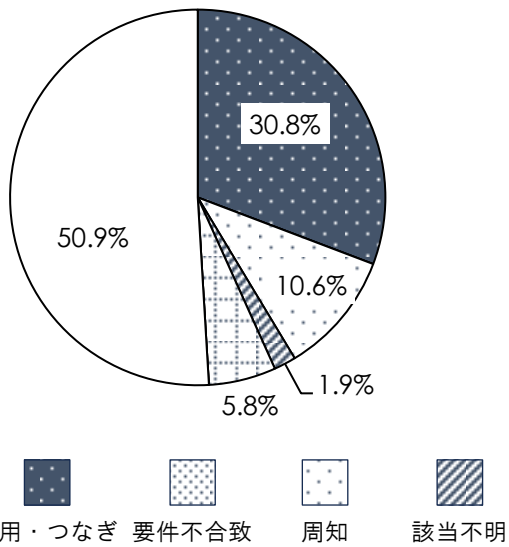
⑥ 住居確保給付金



⑦ 生活保護



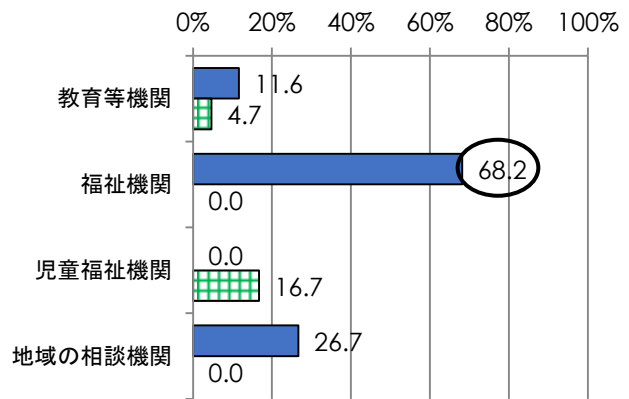
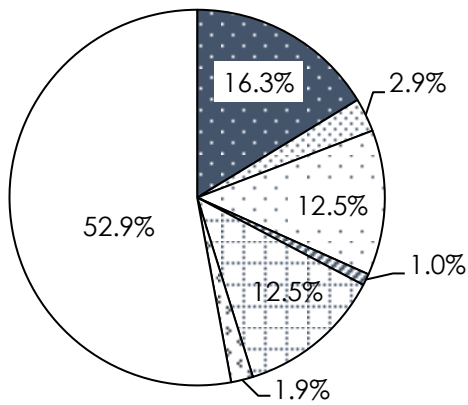
⑧ 児童扶養手当や障害・難病の手当（特別児童扶養手当等）



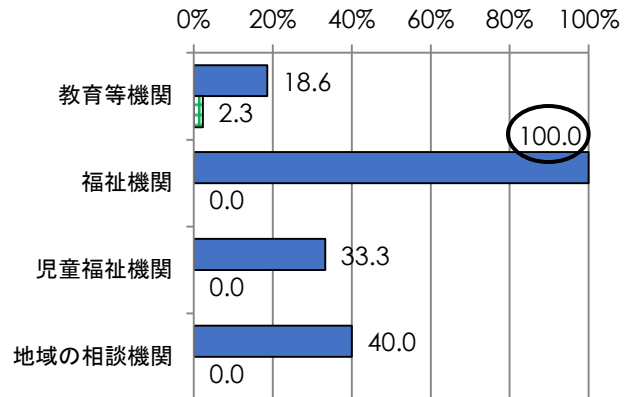
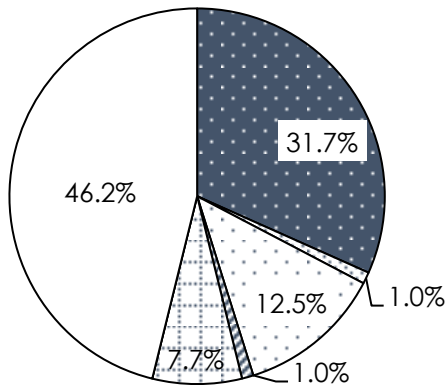
利用・つなぎ
 要件不合致
 周知
 該当不明

該当案件なし
 制度不知
 無回答

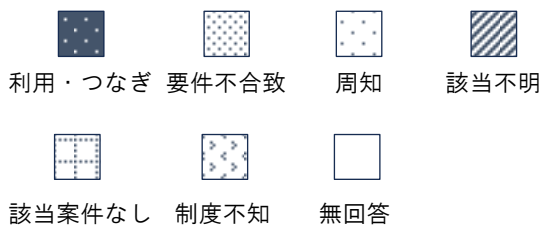
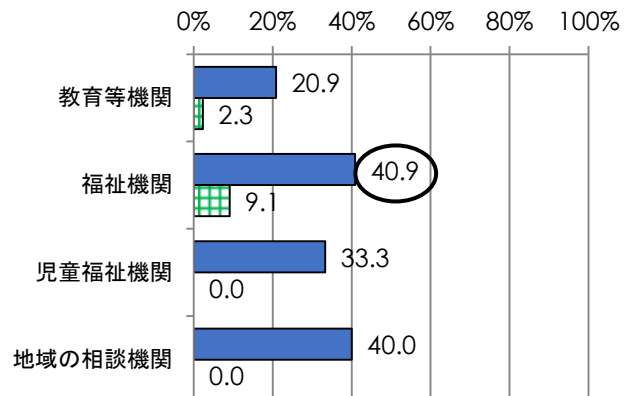
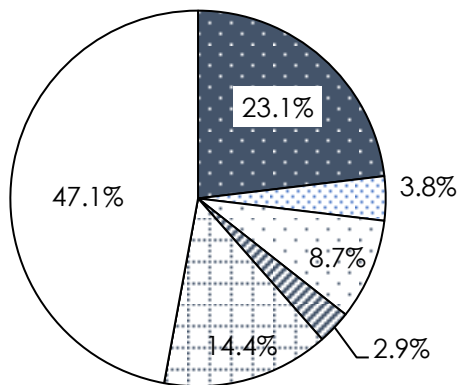
⑨ 高等職業訓練促進給付金又は貸付金、自立支援教育訓練給付金



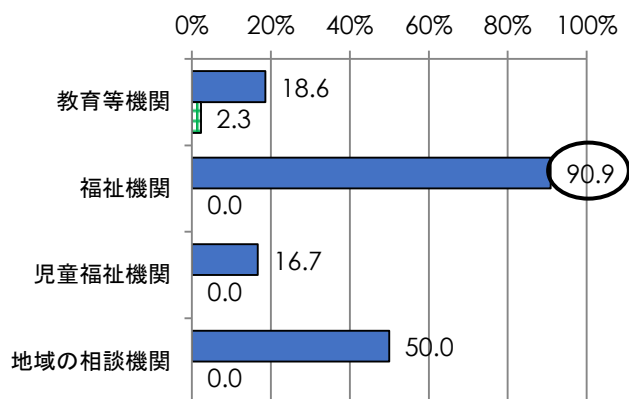
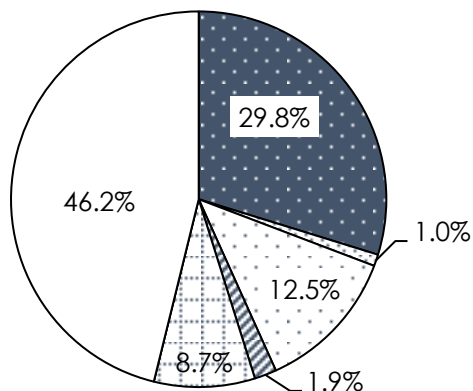
⑩ ハローワーク等での就労サポート



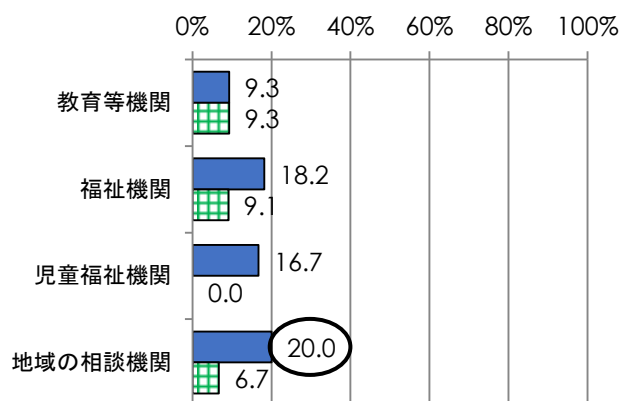
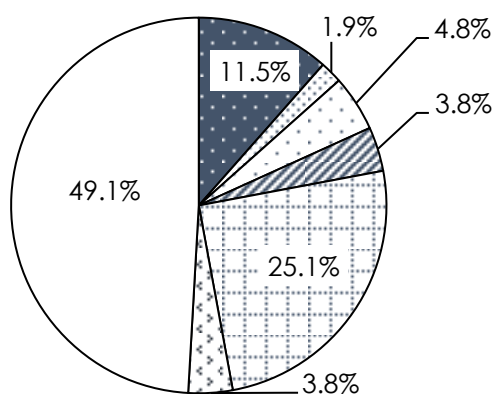
⑪ 地域による食事支援(子ども食堂等)



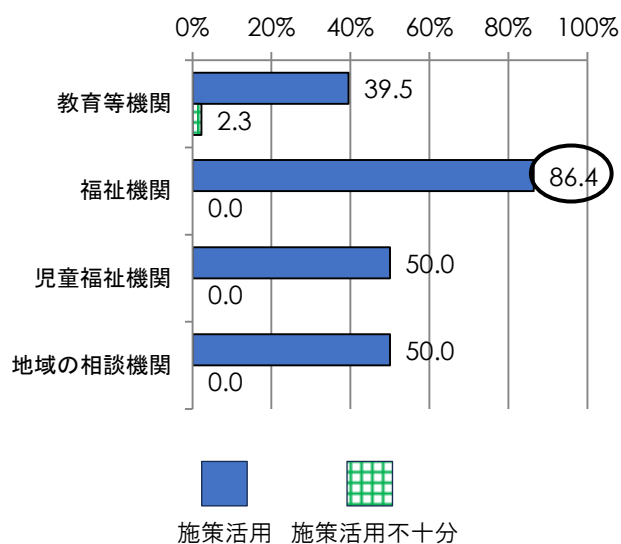
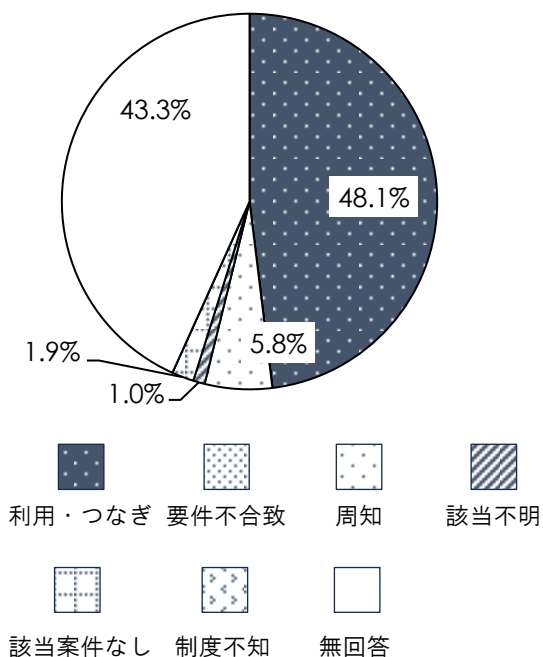
⑫ 生活困窮世帯、ひとり親家庭等への学習支援



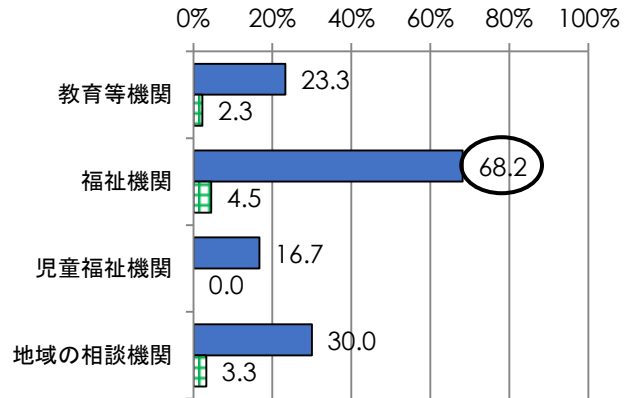
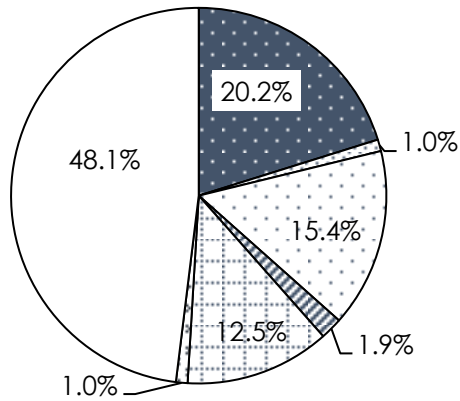
⑬ 地域による学習支援（放課後子供教室等）



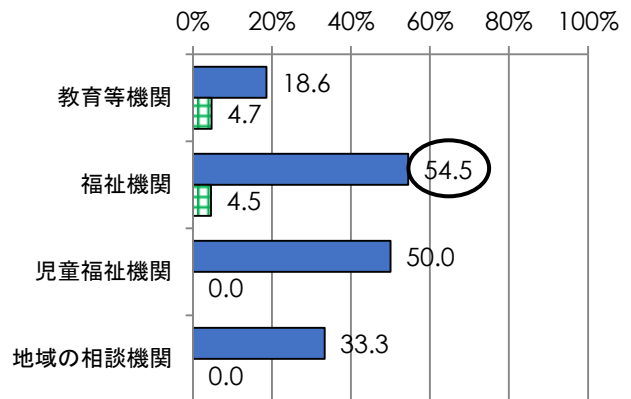
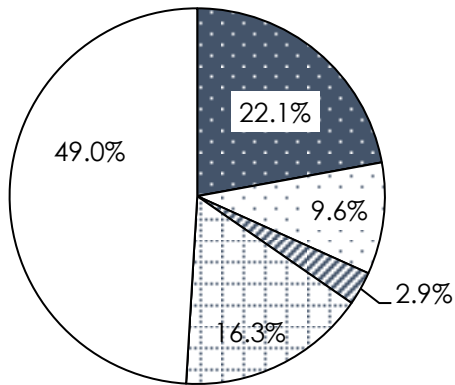
⑭ 公的機関窓口（市役所、町役場、福祉事務所、児童相談所等）での相談



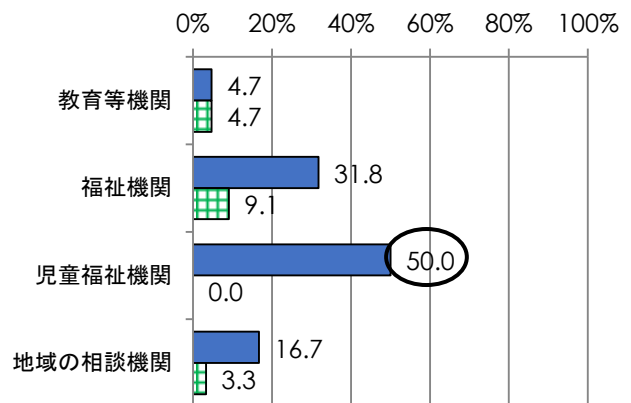
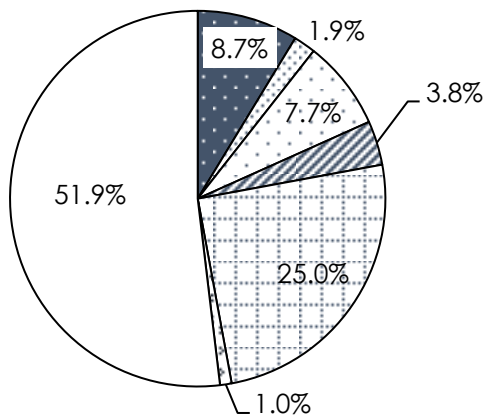
⑮ 公的機関の電話、メール、SNSでの相談



⑯ 子どもの一時預かり（放課後児童クラブ、幼稚園や保育園の延長保育等）



⑰ 病児・病後児保育

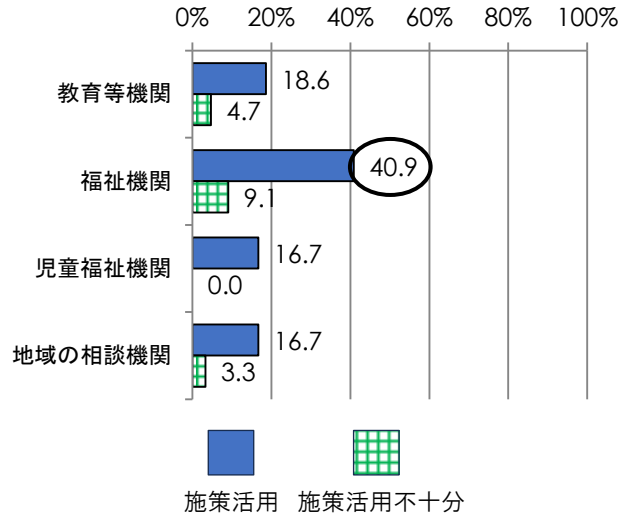
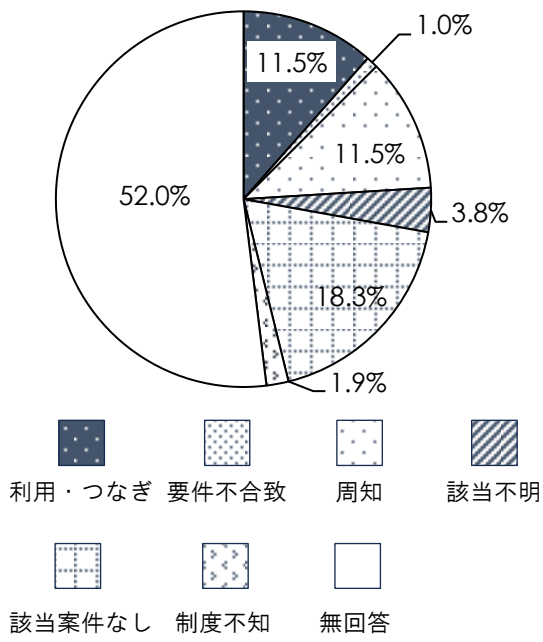


利用・つなぎ
 要件不合致
 周知
 該当不明

該当案件なし
 制度不知
 無回答

施策活用
 施策活用不十分

⑱ ホームヘルパーによる一時的な育児・家事の援助（子育てホームヘルプサービス）



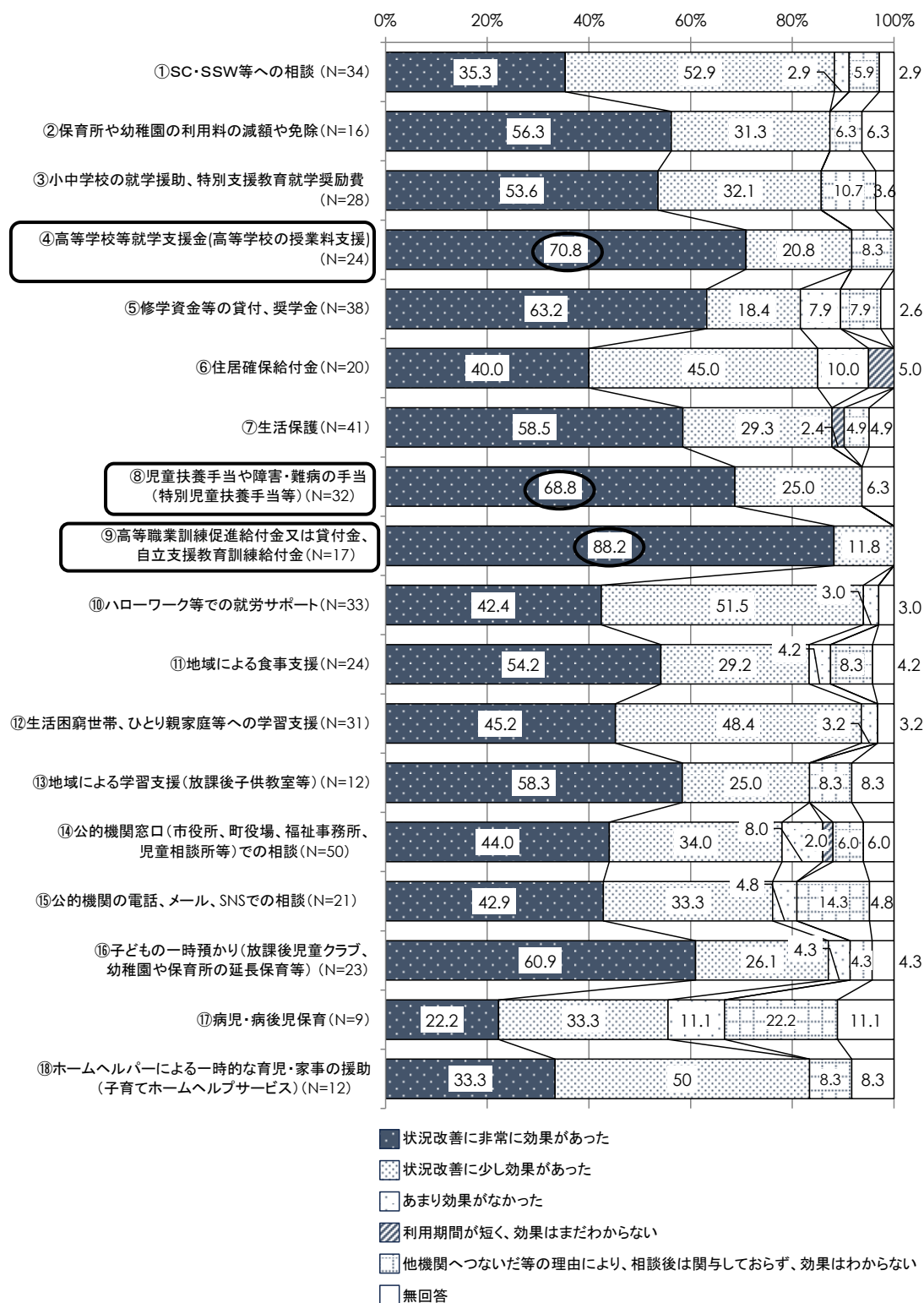
イ 支援制度の利用効果

利用効果の内訳を詳細に見た場合は、次のようになっています。

「状況改善に非常に効果があった」の割合が高かったのは「高等職業訓練促進給付金又は貸付金、自立支援教育訓練給付金」(88.2%)、「高等学校等就学支援金(高等学校の授業料支援)」(70.8%)及び「児童扶養手当や障害・難病の手当(特別児童扶養手当等)」(68.8%)です。

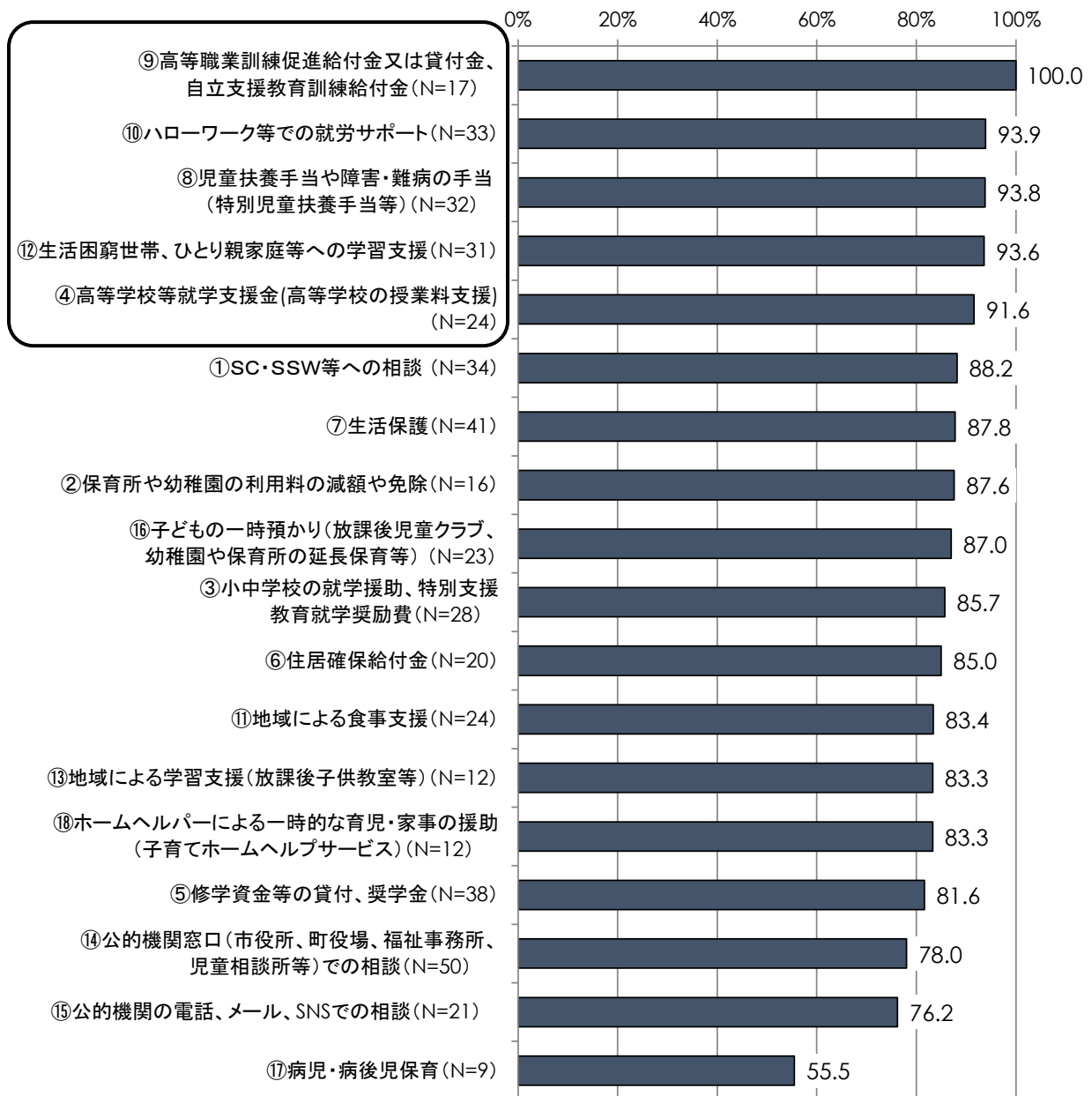
次いで、「修学資金の貸付、奨学金」(63.2%)、「子どもの一時預かり(放課後児童クラブ、幼稚園や保育所の延長保育等)」(60.9%)が60%以上となっています。

図表 支援制度の利用効果(詳細)



各種支援制度の利用効果について、「状況改善に非常に効果があった」と「状況改善に少し効果があった」を合わせて満足度を表した場合、「高等職業訓練促進給付金又は貸付金、自立支援教育訓練給付金」が100%の満足度となっています。次いで「ハローワーク等での就労サポート」(93.9%)、「児童扶養手当や障害・難病の手当（特別児童扶養手当等）」(93.8%)、「生活困窮世帯、ひとり親家庭等への学習支援」(93.6%)、「高等学校等就学支援金（高等学校の授業料支援）」(91.6%)の満足度が90%を超えています。

図表 支援制度の満足度（全体）



ウ 利用効果がなかった理由と改善点

「あまり効果がなかった」を選択した場合の、効果がなかった理由及び改善点として考えられることについては、次のとおりとなっています。

図表 支援制度の利用効果がなかった理由と改善点

効果がなかった理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門学校等の進学の際に、合格発表してから入学するまでに前期もしくは1年間の授業料を支払うところが多い。 ・ 高校入学にはつなげられたが続き、退学後すぐに返済が始まり返済に苦しんでいたから。 ・ 抽選等にもれた。 ・ 生活の確保、貸付等の併用で行っていく制度となっているが、うまく貸付が利用できないと生活費を確保出来ない。 ・ 保護者の同意を得られず続かない。 ・ 保護者の予定があわず、送迎できないなど。 ・ 各機関が何回も相談して働きかけてくれたが進展が難しい。 ・ 既に利用していたり知っていた制度で新しい情報は得られなかった。 ・ 親が拒否をする。 ・ 実際に利用してみた利用者の感想が「時間の無駄だった」というものであった。 ・ 在宅で仕事をしている人は預かってもらえないと聞いた。在宅ワークは育児の片手間でやっていると思っている窓口担当者が多い。また、放課後児童クラブの申込で冠婚葬祭の司会業をしている人は「葬儀は昼間だ」と断られた。葬儀は子どもが学校に行っている時間だけではない。準備と後片付け等もある。 ・ 直接利用に繋がらなかった。
改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子父子の貸付は、授業料は4月入ってからの支給になるので間に合わず、社協で貸付している。 ・ 高校中退後、どこにも所属していない子どもを支える機関が欲しい。 ・ 公共交通機関等の少ない地域自動車の使用についてもう少し用件緩和をしてほしい。 ・ 若年層への就労先の拡大（正社員）。 ・ 相互の情報提供が、スムーズにできるようにするなど。 ・ 根気よく子どもや親に寄り添い長期間の支援が必要である。 ・ 在宅ワークが増えてきているのだから、雇用契約書などで預かりを認めてもらいたい。ファミサポがない地域なので放課後児童クラブの利用の要件を広くしてほしい。

第3章 資料

1 集計表

相談・支援機関に対する調査

I 相談状況について

1 あなた(貴団体)は、次のどれに該当しますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	無回答	
	保育所・幼稚園	S C S S W	教育支援機関	高等学校	母子・父子自立支援員	福祉事務所	児童相談所	児童福祉施設	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	NPO法人		
前回調査(H28)	100	16	24	1	4	11	11	2	4	14	10	3	-
	100.0	16.0	24.0	1.0	4.0	11.0	11.0	2.0	4.0	14.0	10.0	3.0	-
今回調査(R6)	104	19	18	2	4	11	11	2	4	12	16	2	3
	100.0	18.3	17.3	1.9	3.8	10.6	10.6	1.9	3.8	11.5	15.4	1.9	2.9

2 あなた(貴団体)が受けている相談の状況

■相談件数(延べ)

調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	
	0件未満	0件未満	0件未満	0件以上		
今回調査(R6)	104	36	26	9	11	22
	100.0	34.6	25.0	8.7	10.6	21.2
令和2年度	43	15	8	4	1	15
	100.0	34.9	18.6	9.3	2.3	34.9
教育等機関	22	8	11	1	2	-
	100.0	36.4	50.0	4.5	9.1	-
福祉機関	6	2	-	-	3	1
	100.0	33.3	-	-	50.0	16.7
児童福祉機関	30	10	6	4	5	5
	100.0	33.3	20.0	13.3	16.7	16.7
地域の相談機関	104	38	28	10	10	18
	100.0	36.5	26.9	9.6	9.6	17.3
令和3年度	43	16	9	5	1	12
	100.0	37.2	20.9	11.6	2.3	27.9
教育等機関	22	8	11	2	1	-
	100.0	36.4	50.0	9.1	4.5	-
福祉機関	6	2	-	1	2	1
	100.0	33.3	-	16.7	33.3	16.7
児童福祉機関	30	11	7	2	6	4
	100.0	36.7	23.3	6.7	20.0	13.3
地域の相談機関	104	41	34	8	10	11
	100.0	39.4	32.7	7.7	9.6	10.6
令和4年度	43	19	14	2	2	6
	100.0	44.2	32.6	4.7	4.7	14.0
教育等機関	22	8	11	2	1	-
	100.0	36.4	50.0	9.1	4.5	-
福祉機関	6	2	-	1	2	1
	100.0	33.3	-	16.7	33.3	16.7
児童福祉機関	30	11	8	3	5	3
	100.0	36.7	26.7	10.0	16.7	10.0
地域の相談機関						

■相談人数(実人数)

調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	
	0人未満	0人未満	0人未満	0人以上	0人以上		
今回調査(R6)	104	34	14	19	3	1	33
	100.0	32.7	13.5	18.3	2.9	1.0	31.7
令和2年度	43	15	5	7	-	-	16
	100.0	34.9	11.6	16.3	-	-	37.2
教育等機関	22	8	4	6	1	-	3
	100.0	36.4	18.2	27.3	4.5	-	13.6
福祉機関	6	2	1	-	-	-	3
	100.0	33.3	16.7	-	-	-	50.0
児童福祉機関	30	8	4	6	2	1	9
	100.0	26.7	13.3	20.0	6.7	3.3	30.0
地域の相談機関	104	34	18	21	2	1	28
	100.0	32.7	17.3	20.2	1.9	1.0	26.9
令和3年度	43	15	7	8	-	-	13
	100.0	34.9	16.3	18.6	-	-	30.2
教育等機関	22	7	6	6	1	-	2
	100.0	31.8	27.3	27.3	4.5	-	9.1
福祉機関	6	2	1	-	-	-	3
	100.0	33.3	16.7	-	-	-	50.0
児童福祉機関	30	9	4	7	1	1	8
	100.0	30.0	13.3	23.3	3.3	3.3	26.7
地域の相談機関	104	40	16	22	3	1	22
	100.0	38.5	15.4	21.2	2.9	1.0	21.2
令和4年度	43	19	8	8	-	-	8
	100.0	44.2	18.6	18.6	-	-	18.6
教育等機関	22	7	5	7	1	-	2
	100.0	31.8	22.7	31.8	4.5	-	9.1
福祉機関	6	2	1	-	-	-	3
	100.0	33.3	16.7	-	-	-	50.0
児童福祉機関	30	11	2	7	2	1	7
	100.0	36.7	6.7	23.3	6.7	3.3	23.3
地域の相談機関							

■すべての相談のうち、相談から支援（他機関へのつなぎは含まず）に至る割合

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答
		20%未満	20%以上40%未満	40%以上60%未満	60%以上80%未満	80%以上	
前回調査(H28)	100	21	13	17	16	20	13
今回調査(R6)	104	14	14	15	16	26	19
相談・支援機関別	100.0	13.5	13.5	14.4	15.4	25.0	18.3
教育等機関	43	6	8	5	4	9	11
福祉機関	22	3	2	6	3	6	2
児童福祉機関	6	-	1	-	1	3	1
地域の相談機関	30	5	3	4	7	7	4
	100.0	16.7	10.0	13.3	23.3	23.3	13.3

■すべての相談のうち、他機関へのつなぎに至る割合

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答
		20%未満	20%以上40%未満	40%以上60%未満	60%以上80%未満	80%以上	
前回調査(H28)	100	42	21	12	6	6	13
今回調査(R6)	104	45	17	10	7	10	15
相談・支援機関別	100.0	43.3	16.3	9.6	6.7	9.6	14.4
教育等機関	43	21	8	2	1	2	9
福祉機関	22	14	3	3	1	-	1
児童福祉機関	6	4	-	1	-	-	1
地域の相談機関	30	6	5	4	4	8	3
	100.0	20.0	16.7	13.3	13.3	26.7	10.0

II 相談の背景に貧困を伴うと考えられる案件について

貴団体が受ける相談のうち、背景に貧困を伴うと考えられる案件の概要、全般的傾向についてお答えください。

■すべての相談(実人数)のうち、背景に貧困を伴うと考えられる相談の割合

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答
		20%未満	20%以上40%未満	40%以上60%未満	60%以上80%未満	80%以上	
前回調査(H28)	100	42	11	5	6	24	12
今回調査(R6)	104	38	11	8	5	25	17
相談・支援機関別	100.0	36.5	10.6	7.7	4.8	24.0	16.3
教育等機関	43	27	3	-	1	2	10
福祉機関	22	2	2	1	3	14	-
児童福祉機関	6	2	1	-	-	-	2
地域の相談機関	30	7	4	5	1	9	4
	100.0	23.3	13.3	16.7	3.3	30.0	13.3

■背景に貧困を伴うと考えられる相談のうち、子どものいる世帯の割合

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答
		20%未満	20%以上40%未満	40%以上60%未満	60%以上80%未満	80%以上	
前回調査(H28)	100	35	8	3	1	39	14
今回調査(R6)	104	32	9	3	1	36	23
相談・支援機関別	100.0	30.8	8.7	2.9	1.0	34.6	22.1
教育等機関	43	11	1	-	-	18	13
福祉機関	22	10	2	-	1	9	-
児童福祉機関	6	1	-	1	-	1	3
地域の相談機関	30	10	5	2	-	7	6
	100.0	33.3	16.7	6.7	-	23.3	20.0

■貧困を伴う案件数の近年の傾向(○は1つ)

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答
		増加	減少	変化なし	わからない	
1位 2位						
前回調査(H28)	100 100.0	37 37.0	2 2.0	27 27.0	22 22.0	12 12.0
今回調査(R6)	104 100.0	42 40.4		33 31.7	15 14.4	14 13.5
相談・支援機関別						
教育等機関	43 100.0	9 20.9		14 32.6	11 25.6	9 20.9
福祉機関	22 100.0	9 40.9		13 59.1	-	-
児童福祉機関	6 100.0	-		2 33.3	2 33.3	2 33.3
地域の相談機関	30 100.0	22 73.3		3 10.0	2 6.7	3 10.0

■世帯が経済的に困窮している要因(あてはまるものすべてに○)

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	無回答
		不 就 労	非 正 規 雇 用	ひとり 親	病 気	障 害	借 金	浪 費	多 子	外 国 人	そ の 他	
1位 2位												
前回調査(H28)	100 100.0	60 60.0	39 39.0	65 65.0	45 45.0	32 32.0	30 30.0	28 28.0	18 18.0	9 9.0	8 8.0	15 15.0
今回調査(R6)	104 100.0	52 50.0	44 42.3	75 72.1	45 43.3	41 39.4	38 36.5	34 32.7	35 33.7	12 11.5	8 7.7	18 17.3

Ⅲ 背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯について

これまで実際に相談を受けた、背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯の全般的傾向についてお答えください。

■世帯が経済的に困窮している要因(あてはまるものすべてに○)

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	無回答
		不 登 校	退 学	虐 待	い じ め	業 行 不 良	学 力 の 不 足	進 学 の 断 念	医 療 機 関 二 受 診	不 衛 生 (入浴しない、洗濯しない、ごみの放置等)	足 食 育 不 全 (欠食、栄養不)	孤 食	給 食 費 用 未 払	学 用 品 等 を 購 入 で き な い	参 加 断 念 (修学旅行等)	地 域 か ら の 孤 立	
1位 2位																	
前回調査(H28)	100 100.0	55 55.0	17 17.0	30 30.0	16 16.0	26 26.0	59 59.0	25 25.0	13 13.0	39 39.0	31 31.0	13 13.0	20 20.0	19 19.0	12 12.0	23 23.0	19 19.0
今回調査(R6)	104 100.0	54 51.9	12 11.5	31 29.8	17 16.3	13 12.5	48 46.2	28 26.9	14 13.5	42 40.4	27 26.0	10 9.6	20 19.2	20 19.2	15 14.4	30 28.8	25 24.0

■他機関を経由してあなた(貴団体)へ相談に来た場合の経由機関(あてはまるものすべてに○)

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	無回答
		保 育 所 ・ 幼 稚 園 等	S 小 学 校 ・ S W を 含 む 中 学 校 (S C、 S W 等 を 含 む)	高 等 学 校 ・ S ・ 専 門 学 校 等	市 役 所 ま た は 町 役 場	福 祉 事 務 所	児 童 相 談 所	母 子 ・ 父 子 自 立 支 援 員	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	社 会 福 祉 協 議 会	ハ ロ ー ワ ー ク	医 療 機 関	N P O 法 人	そ の 他	
1位 2位															
前回調査(H28)	100 100.0	12 12.0	38 38.0	12 12.0	35 35.0	16 16.0	16 16.0	9 9.0	20 20.0	16 16.0	6 6.0	12 12.0	4 4.0	10 10.0	19 19.0
今回調査(R6)	104 100.0	11 10.6	43 41.3	11 10.6	47 45.2	23 22.1	20 19.2	12 11.5	21 20.2	28 26.9	9 8.7	13 12.5	11 10.6	8 7.8	31 29.8

■あなた(貴団体)から他機関へつないだ場合のつなぎ先(あてはまるものすべてに○)

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	無回答
		保 育 所 ・ 幼 稚 園 等	S 小 学 校 ・ S W を 含 む 中 学 校 (S C、 S W 等 を 含 む)	高 等 学 校 ・ S ・ 専 門 学 校 等	市 役 所 ま た は 町 役 場	福 祉 事 務 所	児 童 相 談 所	母 子 ・ 父 子 自 立 支 援 員	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	社 会 福 祉 協 議 会	ハ ロ ー ワ ー ク	医 療 機 関	N P O 法 人	そ の 他	
1位 2位															
前回調査(H28)	100 100.0	8 8.0	29 29.0	8 8.0	39 39.0	25 25.0	35 35.0	8 8.0	15 15.0	26 26.0	23 23.0	20 20.0	7 7.0	11 11.0	19 19.0
今回調査(R6)	104 100.0	10 9.6	35 33.7	13 12.5	53 51.0	29 27.9	22 21.2	15 14.4	10 9.6	36 34.6	20 19.2	24 23.1	15 14.4	12 11.5	26 25.0

IV 子どもの貧困対策にかかる支援について

■あなた（貴団体）が受けた相談のうち、実際に支援を行った（または他機関へつないだ）案件について、各種支援施策の利用状況をお答えください。

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=	【利用状況】										【利用効果】					
	調査数	1 相 談 者 が 他 機 関 に つ な い だ と す る 理 由 が あ る た り は な い だ	2 相 談 者 が 利 用 し た も と に な ら な い 理 由 が あ る た り は な い だ	3 相 談 者 に 制 度 の 周 知 の み を 行 っ た	4 あ ら ま り 周 知 の た め に 周 知 を 行 っ た	5 あ ら ま り 周 知 の た め に 周 知 を 行 っ た も と に な ら な い 理 由 が あ る た り は な い だ	6 制 度 を 知 ら な い	無 回 答	調査数	1 状 況 改 善 に 非 常 に 効 果 が あ っ た	2 状 況 改 善 に 少 し 効 果 が あ っ た	3 あ ま り 効 果 が な か っ た	4 利 用 期 間 が 短 く 、 効 果 は ま だ わ か ら な い	5 他 機 関 へ つ な い だ 等 の 理 由 に よ り、 相 談 後 は 関 与 し て お ら ず、 効 果 は わ か ら な い	無 回 答	
①SC・SSW等への相談	前回調査(H28)	100	33	1	8	1	9	48	33	5	22	4	1	1	-	
	今回調査(R6)	104	34	3	7	-	12	48	34	12	18	1	-	2	1	
②保育所や幼稚園の利用料の減額や免除	前回調査(H28)	100	13	2	8	1	23	1	52	13	7	4	-	1	1	
	今回調査(R6)	104	16	2	8	3	20	1	57	16	9	5	-	1	1	
③中小学校の就学援助、特別支援教育就学奨励費	前回調査(H28)	100	25	1	8	1	14	51	25	14	11	-	-	-	-	
	今回調査(R6)	104	28	1	12	3	9	52	28	15	9	-	-	3	1	
④高等学校等就学支援金(高等学校の授業料支援)	前回調査(H28)	100	19	1	13	1	15	52	19	14	2	1	-	2	-	
	今回調査(R6)	104	24	1	19	1	8	51	24	17	5	-	-	2	-	
⑤修学資金等の貸付、奨学金	前回調査(H28)	100	21	1	12	3	11	1	52	21	15	4	1	-	1	-
	今回調査(R6)	104	38	1	13	-	6	46	38	24	7	3	-	3	1	
⑥住居確保給付金	前回調査(H28)	100	6	3	1	3	20	10	57	6	4	1	-	-	1	-
	今回調査(R6)	104	20	2	2	1	23	4	52	20	8	9	2	1	-	-
⑦生活保護	前回調査(H28)	100	37	3	5	3	4	48	37	28	8	-	1	-	-	
	今回調査(R6)	104	41	1	7	1	7	47	41	24	12	-	1	2	2	
⑧児童扶養手当や障害・難病の手当(特別児童扶養手当等)	前回調査(H28)	100	27	1	3	4	10	55	27	24	2	-	1	-	-	
	今回調査(R6)	104	32	1	11	2	6	53	32	22	8	-	-	-	2	
⑨高等職業訓練促進給付金又は貸付金、自立支援教育訓練給付金	前回調査(H28)	100	16	2	5	-	17	3	57	16	12	3	-	1	-	
	今回調査(R6)	104	17	3	13	1	13	2	55	17	15	2	-	-	-	
⑩ハローワーク等での就労サポート	前回調査(H28)	100	35	-	5	2	6	-	52	35	15	16	1	3	-	
	今回調査(R6)	104	33	1	13	1	8	-	48	33	14	17	1	-	1	
⑪地域による食事支援(子ども食費等)	前回調査(H28)	100	24	4	9	3	15	-	49	24	13	7	1	-	2	1
	今回調査(R6)	100	23	3	8	2	14	-	47	23	12	11	1	-	2	1
⑫生活困窮世帯、ひとり親家庭等への学習支援	前回調査(H28)	100	17	4	7	6	11	3	52	17	8	4	1	2	2	-
	今回調査(R6)	104	31	1	13	2	9	-	48	31	14	15	1	-	-	1
⑬地域による学習支援(放課後子供教室等)	前回調査(H28)	100	12	1	7	4	16	4	56	12	6	5	1	-	-	-
	今回調査(R6)	104	12	2	5	4	26	4	51	12	7	3	-	-	1	1
⑭公的機関窓口(市役所、町役場、福祉事務所、児童相談所等)での相談	前回調査(H28)	100	50	1	5	-	2	-	42	50	23	19	3	1	4	-
	今回調査(R6)	104	50	1	5	-	2	-	42	50	23	19	3	1	4	-
⑮公的機関の電話、メール、SNSでの相談	前回調査(H28)	100	21	1	16	2	13	1	50	21	9	7	1	-	3	1
	今回調査(R6)	100	20	1	15	1	12	1	48	20	9	7	1	-	3	1
⑯子どもの一時預かり(放課後児童クラブ、幼稚園や保育所の延長保育等)	前回調査(H28)	100	26	-	7	1	15	-	51	26	16	7	2	-	1	-
	今回調査(R6)	104	23	-	10	3	17	-	51	23	14	6	1	-	1	1
⑰病児・病後児保育	前回調査(H28)	100	10	-	8	1	21	4	56	10	7	1	-	1	1	-
	今回調査(R6)	104	9	2	8	4	26	4	54	9	2	3	1	-	2	1
⑱ホームヘルパーによる一時的な育児、家事の援助(子育てホームヘルプサービス)	前回調査(H28)	100	12	-	12	4	19	2	54	12	4	6	-	-	1	1
	今回調査(R6)	104	5	-	11	3	18	1	98	5	5	-	-	-	-	8
⑳その他	前回調査(H28)	100	4	-	-	-	1	-	94	4	-	-	-	-	-	-
	今回調査(R6)	104	2	-	-	-	-	-	102	2	-	-	-	-	-	-
㉑その他	前回調査(H28)	100	1	-	-	-	-	-	98	1	-	-	-	-	-	-
	今回調査(R6)	104	1	-	-	-	-	-	98	1	-	-	-	-	-	-

2 調査票

保護者に対する調査

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学5年生、中学2年生または高校2年生のお子さんのことをいいます。「親」「母親」「父親」とは、^{けいぼ けいふ}継母や継父、母親や父親に代わる保護者の方を含みます。

◎この調査で、調査対象となるお子さん（調査票の送付があったお子さん）を選んでください。

- 1 小5 2 中2 3 高2

問1 お子さんとおなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた^{つづきから}続柄でお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1 母親 | 2 父親 |
| 3 祖父母 | 4 その他 |

問2 あなたがお住まいの市町を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---------|----------|--------|
| 1 高松市 | 2 丸亀市 | 3 坂出市 |
| 4 善通寺市 | 5 観音寺市 | 6 さぬき市 |
| 7 東かがわ市 | 8 三豊市 | 9 土庄町 |
| 10 小豆島町 | 11 三木町 | 12 直島町 |
| 13 宇多津町 | 14 綾川町 | 15 琴平町 |
| 16 多度津町 | 17 まんのう町 | |

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a~hそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 祖母	b) 祖父	c) 母親	d) 父親	h) 合計 <small>(あなたや対象のお子さんを含む)</small>
0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	2 2人
1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	3 3人
2 2人	2 2人			4 4人
				5 5人
e) 姉・兄	対象のお子さん (本人)	f) 妹・弟	g) その他	6 6人
0 いない		0 いない	0 いない	7 7人
1 1人		1 1人	1 1人	8 8人
2 2人	1人	2 2人	2 2人	9 9人
3 3人		3 3人	3 3人	10 10人以上
4 4人以上		4 4人以上	4 4人以上	

問4 お子さんのお父さんの現在の年齢についてお答えください。
(母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)

母親 歳 父親 歳

問5 お子さんのお家族のうち、現在^{ふにん}単身赴任中の方はいらっしゃいますか。
(1～3については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1 お子さんの母親が ^{ふにん} 単身赴任中 | 2 お子さんの父親が ^{ふにん} 単身赴任中 |
| 3 その他 | 4 ^{ふにん} 単身赴任中の者はいない |

問6 お子さんと同じく、生計を同一にしている親の^{こんいん}婚姻状況を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

2
に○を
つけた
場合の
み↓

- | | |
|----------------------|---------|
| 1 結婚している(再婚や事実婚を含む。) | 3 死別 |
| 2 離婚 | 5 わからない |
| 4 未婚 | |
| 6 いない | |

問7 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。
また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|-------------------------|
| 1 取り決めをしており、受け取っている |
| 2 特に取り決めはしていないが、受け取っている |
| 3 取り決めをしているが、受け取っていない |
| 4 取り決めをしておらず、受け取っていない |

問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 日本語のみを使用している |
| 2 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い |
| 3 日本語以外の言語を使うことが多い |

問9 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

(a,bそれぞれについて、あてはまるものひとつに○)

	a) 母親	b) 父親
中学	1	1
中学、高校	2	2
中学、高校、専門学校	3	3
中学、5年制の高等専門学校	4	4
中学、高校、短大	5	5
中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学	6	6
中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院	7	7
その他	8	8
わからない	9	9
いない	10	10

※中学、高校には、特別支援学校の中学部、高等部を含みます。

問10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親
正社員・正規職員・会社役員	1	1
嘱託 ^{じよくたく} ・契約社員・派遣職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	4
働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	5	5
わからない	6	6
いない	7	7

5に○をつけた場合のみ

問11 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。←

(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病気や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

問12 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 認可保育所・認定こども園 | 2 その他の教育・保育等の施設 |
| 3 親・親族以外の個人 | 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた |
| 5 その他 | |

問13 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 幼稚園・認可保育所・認定こども園 | 2 その他の教育・保育等の施設 |
| 3 親・親族以外の個人 | 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた |
| 5 その他 | |

問14 あなたの家庭では、1週間にどれくらい、お子さんだけ（または、お子さんとお子さんの兄弟姉妹だけ）で晩ごはんを食べますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 毎日食べる（週7日） | 2 週5～6日 |
| 3 週3～4日 | 4 週1～2日、ほとんど食べない |

問15 お子さんにむし歯はありますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 まったくない | 2 あるが、すべて治療中 または 治療済み |
| 3 治療していないむし歯が1～3本ある | 4 治療していないむし歯が4本以上ある |

問16 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

（a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば、 どちらかといえば、 あてはまらない	どちらかといえば、 あてはまらない	あてはまらない
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4

問17 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
b) P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問18 お子さんは、学習塾に通っていますか。

1 通っている 2 通っていない

問19 前の質問で「2 通っていない」と答えた場合、その理由は何ですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1 子どもがやりたがらないから | 2 家庭教師や通信教育サービスを利用しているから |
| 3 必要性を感じないから | 4 経済的に余裕がないから |
| 5 家の近くに塾がないから | 6 学校のクラブ活動が忙しいから |
| 7 子どもの自由時間が少なくなるから | 8 他の家族の理解が得られないから |
| 9 その他 | 10 特に理由はない |

問20 お子さんは、習い事に通っていますか。

1 通っている 2 通っていない

問21 前の質問で「2 通っていない」と答えた場合、その理由は何ですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 子どもがやりたがらないから | 2 通信講座を利用しているから |
| 3 必要性を感じないから | 4 経済的に余裕がないから |
| 5 家の近くに習い事がないから | 6 学校のクラブ活動が忙しいから |
| 7 子どもの自由時間が少なくなるから | 8 他の家族の理解が得られないから |
| 9 その他 | 10 特に理由はない |

問 2 2 お子さんは現実的に見てどの学校まで進学すると思いますか。(最終学歴) (あてはまるものひとつに○)

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1 中学まで | 2 高校まで |
| 3 専門学校まで | 4 5年制の高等専門学校まで |
| 5 短大まで | 6 大学まで |
| 7 大学院まで | 8 その他 |
| 9 まだわからない →問 2 4に進んでください。 | |

※中学、高校には、特別支援学校の中学部、高等部を含みます。

問 2 3 前問で 1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

(1～5については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 お子さんがそう希望しているから | 2 一般的な進路だと思うから |
| 3 お子さんの学力から考えて | 4 家庭の経済的な状況から考えて |
| 5 その他 | 6 特に理由はない |

問 2 4 子育てをするうえで、今、不安に感じていることや悩んでいることはありますか。

(1～15については、あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------|
| 1 子どもに対するしつけ |
| 2 生活習慣 (あいさつ、規則正しい生活など) |
| 3 子どもが勉強しない または 成績が悪い |
| 4 子どもの進学、受験 |
| 5 子どもの将来の就職 |
| 6 子どもの友人関係 |
| 7 子どもの教育費 |
| 8 子どもの身体の発育や病気、健康状態 |
| 9 子どものスマートフォン等でのネット利用 |
| 10 子どもの非行や問題行動 |
| 11 子どもに十分な食事や栄養を与えることができない |
| 12 家族が子育てにあまり協力してくれない |
| 13 家族と子育てのことで意見が合わない |
| 14 子どものことで、相談する相手がいない |
| 15 その他 |
| 16 悩みはない |

問25 あなたは次に挙げる事柄^{ことがら}で頼れる人はいますか。

(a～cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

	a) 子育てに関する相談	b) 重要な事柄 ^{ことがら} の相談	c) いざという時の お金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
家族・親族	①	①	①
友人・知人	②	②	②
近所の人	③	③	③
職場の人	④	④	④
民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤
相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥
その他	⑦	⑦	⑦
いない	2	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3	3

↓
①～⑦のあてはまるものすべてに○

問26 子育てのことで相談したいと思ったが、相談できなかったことはありますか。ある場合、相談できなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 相談できなかったことはない
- 2 だれ(どこ)に相談すればよいのわからなかった
- 3 相談先への連絡方法や場所がわからなかった
- 4 相談受付時間が限られており、時間内に相談に行けなかった
- 5 場所が遠くて、相談に行けなかった
- 6 その他

問27 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1 大変ゆとりがある | 2 ゆとりがある |
| 3 ふつう | 4 苦しい |
| 5 大変苦しい | |

問28 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

※令和4年の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入(定期収入、賞与等)
- ・事業収入(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)
- ・農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)
- ・資産収入(預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く)
- ・その他の収入(仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 50万円未満 | 2 50~100万円未満 |
| 3 100~150万円未満 | 4 150~200万円未満 |
| 5 200~250万円未満 | 6 250~300万円未満 |
| 7 300~350万円未満 | 8 350~400万円未満 |
| 9 400~450万円未満 | 10 450~500万円未満 |
| 11 500~600万円未満 | 12 600~700万円未満 |
| 13 700~800万円未満 | 14 800~900万円未満 |
| 15 900~1000万円未満 | 16 1000万円以上 |

問29 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった |
| 3 まれにあった | 4 まったくなかった |

問30 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。
(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった |
| 3 まれにあった | 4 まったくなかった |

問31 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1~3については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1 電気料金 | 2 ガス料金 |
| 3 水道料金 | 4 あてはまるものはない |

問3 2 次の a)～f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。
(a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくくない
a) 神経過敏 ^{かびん} に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問3 3 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していないから「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足していない						10 : 十分に満足している				
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問3 4 あなたは、次のものについて、これまでに実際に利用したことがありますか。また、よかったと思う制度はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

	利用したもので、 左で○をつけたもの のうち、 <u>利用して</u> <u>よかったものに○を</u> <u>つけてください。</u>
① 専門の相談員やスクールソーシャルワーカー等への相談	
② 保育所や幼稚園の利用料の減額や免除	
③ 小中学校の就学援助、就学奨励費、高等学校の授業料支援	
④ 修学資金等の貸付、奨学金	
⑤ 住宅をさがしたり、住宅費を軽減される援助	
⑥ 生活保護	
⑦ 児童扶養手当や障害・難病の手当(特別児童扶養手当等)	
⑧ 就労のための給付金(自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金等)	

	利用したものとすべ てに○をつけてくだ さい。	左で○をつけたも ののうち、利用して よかったものに○を つけてください。
⑨ ハローワーク等での就労サポート		
⑩ 無料または低料金で利用できる食事支援（子ども食堂等）		
⑪ 無料または低料金で利用できる家庭教師、学習支援		
⑫ 公的機関窓口（市役所、町役場、福祉事務所、児童相談所 等）での相談		
⑬ 公的機関の電話、メール、SNS での相談		
⑭ 子どもの一時預かり（放課後児童クラブ、幼稚園や保育所の延 長保育等を含む。）		
⑮ 病児・病後児保育		
⑯ ホームヘルパーによる一時的な育児・家事の援助（子育てホーム ヘルプサービス）		
⑰ 子どもの医療費助成		

問35 あなたが子育てをするうえで必要としていること、重要だと思う支援はどのようなものですか。

（1～11については、あてはまるものすべてに○）

- 1 子どものことや生活のことなど、悩みごとを相談できること
- 2 男性が家事や育児に参画すること
- 3 育児休業（男性の育児休業を含む）や子の看護休暇等を取得しやすい職場環境
が整っていること
- 4 病気や出産、事故などの事情があったときに、一時的に子どもを預けられること
- 5 就職のための支援が受けられること
- 6 子どもの就学にかかる費用が軽減されること
- 7 一時的に必要な資金を借りられること
- 8 住宅をさがすための支援を受けられたり、住宅費を軽減されること
- 9 病気や障害のことなどについて専門的な支援を受けられること
- 10 民生委員、児童委員、地域の人たちから支援を受けられること
- 11 その他
- 12 支援は必要ない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

子どもに対する調査

【小学生】

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1 男	2 女
3 その他・答えたくない	

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

1 自分で勉強する
2 塾で勉強する
3 学校の補習を受ける
4 家庭教師に教えてもらう
5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
6 家の人に教えてもらう
7 友達と勉強する
8 その他
9 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない	30分以上、 1時間より少ない	1時間以上、 2時間より少ない	2時間以上、 3時間より少ない	3時間以上
a) 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	
b) 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 上のほう	2 やや上のほう
3 まん中あたり	4 やや下のほう
5 下のほう	6 わからない

問5 あなたは、^{がっこう}学校の^{じゅぎょう}授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---|-----------------------------------|----------------|
| 1 | いつもわかる | } →問7に進んでください。 |
| 2 | だいたいわかる | |
| 3 | ^{きょうか} 教科によってはわからないことがある | |
| 4 | わからないことが多い | |
| 5 | ほとんどわからない | |

問6 前の質問で「3 ^{きょうか}教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、^{じゅぎょう}授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|---|----------|---|-----------|
| 1 | 1・2年生のころ | 2 | 3年生のころ |
| 3 | 4年生のころ | 4 | 5年生になってから |

問7 あなたは、^{しょうらい}将来、どの^{がっこう}学校に^{しんがく}進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|---|--|--------------|--|
| 1 | ^{ちゅうがく} 中学 | 2 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{がっこう} 高校 |
| 3 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{がっこう} 高校、 ^{せんもんがっこう} 専門学校 | 4 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校 |
| 5 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{がっこう} 高校、 ^{たんだい} 短大 | | |
| 6 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{がっこう} 高校 (または ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校)、 ^{だいがく} 大学 | | |
| 7 | ^{ちゅうがく} 中学、 ^{がっこう} 高校 (または ^{ねんせい} 5年制の ^{こうとうせんもんがっこう} 高等専門学校)、 ^{だいがく} 大学、 ^{だいがくいん} 大学院 | | |
| 8 | その他 | | |
| 9 | まだわからない | →問9に進んでください。 | |

※^{ちゅうがく}中学、^{がっこう}高校には、^{とくべつしえんがっこう}特別支援学校の^{ちゅうがくぶ}中学部、^{こうとうぶ}高等部をふくみます。

問8 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1 | ^{きぼう} 希望する ^{がっこう} 学校や ^{しゅぎょう} 職業、やりたいこと (^{まな} 学びたいこと、 ^{ぶかつどう} 部活動、 ^{しかくしゅとく} 資格取得など) があるから | 3 | ^{かた} おうちの方がそう言っているから |
| 2 | ^{じぶん} 自分の ^{せいせき} 成績から ^{かんが} 考えて | 5 | ^{せんばい} まわりの先輩や ^{ともだち} 友達 ^い がそう言っているから |
| 4 | ^{あに} 兄・ ^{あね} 姉がそうしているから | 7 | ^{はや} 早く ^{はたら} 働く ^{ひつよう} 必要があるから |
| 6 | ^{いえ} 家にお金がないと思うから | 9 | ^{りゆう} とくに理由はない |
| 8 | その他 | | |

問9 あなたは、^{ほうかご}放課後、^{がっこう}学校の^{かつどう}クラブ活動や^{ちいき}地域の^{しやうねんだん}スポーツ少年団に参加していますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | | | | |
|---|-----------------------|---------------|---|------------------------|
| 1 | ^{さんか} 参加している | →問11に進んでください。 | 2 | ^{さんか} 参加していない |
|---|-----------------------|---------------|---|------------------------|

問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 校外のクラブ活動などに参加しているから
- 2 入りたいクラブ活動・スポーツ少年団がないから
- 3 勉強や塾・習い事が忙しいから
- 4 費用がかかるから
- 5 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
- 6 一緒に入る友達がいないから
- 7 その他

問11 あなたは、以下の活動をふたどどのくらいしますか。(「学校がある日」と「学校がない日」について、それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	学校がある日 (月～金曜日)				学校がない日 (土・日曜日・祝日)			
	1日 2時間 以上	1日 1～2 時間	1日 1時間 以下	ぜんぜ んしな い	1日 2時間 以上	1日 1～2 時間	1日 1時間 以下	ぜんぜ んしな い
a) ゲームで遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7	8
b) テレビ・インターネットを見る	1	2	3	4	5	6	7	8
c) 室内でのほかの活動 (読書、室内あそびなど)	1	2	3	4	5	6	7	8
d) 公園で遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7	8
e) 家事(洗濯、掃除、 料理、片付けなど)	1	2	3	4	5	6	7	8
f) きょうだいなどの世話	1	2	3	4	5	6	7	8

問12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(週7日) 毎日食 べる	週 5 ～ 6 日	週 3 ～ 4 日	ほと んど 食 べ ない 週 1 ～ 2 日
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問13 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。
(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|---|----------------|---|---------------|
| 1 | そうである | 2 | どちらかといえばそうである |
| 3 | どちらかといえばそうではない | 4 | そうではない |

問14 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。
(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----|---|---|--------|
| 1 | 親 | 2 | きょうだい |
| 3 | 祖父母など | 4 | 学校の先生 |
| 5 | 学校の友達 | 6 | 学校外の友達 |
| 7 | スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど | | |
| 8 | その他の大人(放課後児童クラブ(学童保育)の先生、塾・習い事の先生、地域の人など) | | |
| 9 | ネットで知り合った人 | | |
| 10 | だれにも相談できない、相談したくない | | |

問15 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足していない							10 : 十分に満足している			
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問16 今より満足した生活を送るために必要なものは何だと思いますか。
(1～9については、あてはまるもの最大3つまで○)

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできること |
| 2 | 自分の自由な時間が増えること |
| 3 | 自分の自由に使えるお金が増えること |
| 4 | 家族に自分の希望や意見を聞いてもらえること |
| 5 | 学校の先生や周りの大人が自分の状況をよくわかってくれること |
| 6 | 自分の悩みを相談したり、話せる人がいること |
| 7 | 家事やきょうだいなどの世話をしてくれる人がいること |
| 8 | 今の生活を変えたくない |
| 9 | その他 |
| 10 | 特にない |

問17 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのご半年くらいのことを考えて答えてください。(a~o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)。	1	2	3
d) 私は、一人でいることが多い。集団でいるより一人を好む。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢のたいの子供から好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になりやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじわるされたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・他の子供たちなど)。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまい。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問18 あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a~d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	利用 した こと が あ る	利用したことはない			
		と 思 う	あ れ ば 利 用 し た い	と 思 わ な い	今 後 も 利 用 し た い
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (放課後児童クラブ (学童保育) や 放課後子供教室、児童館、図書館、地域の交流スペースなど)	1	2	3	4	
b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料で安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4	
c) 勉強を無料でみてる場所	1	2	3	4	
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談をふくむ。)	1	2	3	4	

問19 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1~8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみなことが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【中学生】

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|-----|
| 1 男 | 2 女 |
| 3 その他・答えたくない | |

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強していますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------|
| 1 自分で勉強する |
| 2 塾で勉強する |
| 3 学校の補習を受ける |
| 4 家庭教師に教えてもらう |
| 5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する |
| 6 家の人に教えてもらう |
| 7 友達と勉強する |
| 8 その他 |
| 9 学校の授業以外で勉強はしない |

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。
(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない 30分以上、	2時間より少ない 1時間以上、	3時間より少ない 2時間以上、	3時間以上
a) 学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------|----------|
| 1 上のほう | 2 やや上のほう |
| 3 まん中あたり | 4 やや下のほう |
| 5 下のほう | 6 わからない |

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---|-------------------|----------------|
| 1 | いつもわかる | } →問7に進んでください。 |
| 2 | だいたいわかる | |
| 3 | 教科によってはわからないことがある | |
| 4 | わからないことが多い | |
| 5 | ほとんどわからない | |

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きます。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|---|-------------|---|------------|
| 1 | 小学1・2年生のころ | 2 | 小学3・4年生のころ |
| 3 | 小学5・6年生のころ | 4 | 中学1年生のころ |
| 5 | 中学2年生になってから | | |

問7 あなたは、どの学校まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|---|---------|--------------|--------------|
| 1 | 中学まで | 2 | 高校まで |
| 3 | 専門学校まで | 4 | 5年制の高等専門学校まで |
| 5 | 短大まで | 6 | 大学まで |
| 7 | 大学院まで | 8 | その他 |
| 9 | まだわからない | →問9に進んでください。 | |

※中学、高校には、特別支援学校の中学部、高等部をふくみます。

問8 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|--|---|---------------------|
| 1 | 希望する学校や職業、やりたいこと(学びたいこと、部活動、資格取得など)があるから | | |
| 2 | 自分の成績から考えて | 3 | 保護者や家族がそう言っているから |
| 4 | 兄・姉がそうしているから | 5 | まわりの先輩や友達がそう言っているから |
| 6 | 家にお金がないと思うから | 7 | 早く働く必要があるから |
| 8 | その他 | 9 | とくに理由はない |

問9 あなたは、学校の部活動に参加していますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | | | | |
|---|--------|---------------|---|---------|
| 1 | 参加している | →問11に進んでください。 | 2 | 参加していない |
|---|--------|---------------|---|---------|

問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きます。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 校外のクラブ活動等に参加しているから
- 2 入りたい部活動がないから
- 3 勉強や塾・習い事が忙しいから
- 4 費用がかかるから
- 5 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
- 6 一緒に入る友達がいないから
- 7 その他

問11 あなたは、以下の活動をふだんのくらいしますか。(「学校がある日」と「学校がない日」について、それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	学校がある日 (月～金曜日)				学校がない日 (土・日曜日・祝日)			
	1日 2時間 以上	1日 1～2 時間	1日 1時間 以下	ぜんぜ んしな い	1日 2時間 以上	1日 1～2 時間	1日 1時間 以下	ぜんぜ んしな い
a) ゲームで遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7	8
b) テレビ・インターネットを見る	1	2	3	4	5	6	7	8
c) 室内でのほかの活動 (読書、室内あそびなど)	1	2	3	4	5	6	7	8
d) 公園で遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7	8
e) 家事(洗濯、掃除、 料理、片付けなど)	1	2	3	4	5	6	7	8
f) きょうだいなどの世話	1	2	3	4	5	6	7	8

問12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	毎日食べる (週7日)	週5 ～ 6日	週3 ～ 4日	ない ほとん ど食べ ない
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問13 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間じかん ねに寝ていますか。
(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 そうである | 2 どちらかといえばそうである |
| 3 どちらかといえばそうではない | 4 そうではない |

問14 あなたに困こまっていることや悩みなやみごとがあるとき、あなたが相談そうだんできると思う人はだれですか。
(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|----------|
| 1 親 | 2 きょうだい |
| 3 祖父母 <small>そふぼ</small> など | 4 学校の先生 |
| 5 学校の友達 <small>せんぱい こうはい</small> (先輩、後輩) | 6 学校外の友達 |
| 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど | |
| 8 その他の大人 <small>じゅく なら</small> (塾・習い事の先生、地域の人など) | |
| 9 ネットで知り合った人 | |
| 10 だれにも相談 <small>そうだん</small> できない、相談 <small>そうだん</small> したくない | |

問15 全体として、あなたは最近さいきんの生活に、どのくらい満足まんぞくしていますか。「0」(まったく満足まんぞくしていない)から「10」(十分に満足まんぞくしている)の数字で教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足 <small>まんぞく</small> していない						10 : 十分に満足 <small>まんぞく</small> している				
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問16 今いまより満足まんぞくした生活を送るために必要なものせいかつ おくは何ひつようだと思いますか。(1～10については、あてはまるもの最大3つまで○)

- | |
|---|
| 1 新 <small>あた</small> しいことを学 <small>まな</small> べたり、やりたいことにチャレンジできること |
| 2 自分 <small>じぶん</small> の自由 <small>じゆう</small> な時間 <small>じかん</small> が増えること |
| 3 自分 <small>じぶん</small> の自由 <small>じゆう</small> に使えるお金 <small>ふ</small> が増えること |
| 4 家族 <small>かぞく</small> に自分 <small>じぶん</small> の希望 <small>きぼう</small> や意見 <small>いけん</small> を聞いてもらえること |
| 5 学校 <small>がっこう</small> の先生 <small>せんせい</small> や周り <small>まわ</small> の大人 <small>おとな</small> が自分 <small>じぶん</small> の状況 <small>じゆうきょう</small> をよく分 <small>わ</small> かってくれること |
| 6 自分 <small>じぶん</small> の悩み <small>なや</small> みを相談 <small>そうだん</small> したり、話 <small>はな</small> せる人 <small>ひと</small> がいること |
| 7 同じ悩み <small>なや</small> を抱 <small>かか</small> える人 <small>ひと</small> と話 <small>はな</small> せる場 <small>ば</small> があること |
| 8 家事 <small>かじ</small> やきょうだいなどの世話 <small>せわ</small> をしてくれる人 <small>ひと</small> がいること |
| 9 今 <small>いま</small> の生活 <small>せいかつ</small> を変 <small>か</small> えたくない |
| 10 その他 |
| 11 特 <small>とく</small> にない |

問17 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
d) 私は、一人でいることが多い。集団でいるより一人を好む。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だち（先輩・後輩）が一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢のだいたいの子供から好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になりやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじわるされたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問 1 8 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	利用したことがある	利用したことはない		
		い あ れ ば 利 用 し た と 思 う	い 今 後 も 利 用 し た と 思 わ な い	な い か ど う か 分 か ら な い
a) (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日 を過ごすことができる場所 (図書館、地域の交流 スペースなど)	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か 安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電 話やネットの相談をふくむ。)	1	2	3	4

問 1 9 前の質問で、1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きます。そこを利用したこ
とで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみなことが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【高校生】

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|-----|
| 1 男 | 2 女 |
| 3 その他・答えたくない | |

問2 あなたの高校の課程を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1 全日制 | 2 定時制 | 3 通信制 |
|-------|-------|-------|

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 自分で勉強する | 2 塾で勉強する |
| 3 学校の補習を受ける | 4 家庭教師に教えてもらう |
| 5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する | 6 家の人に教えてもらう |
| 7 友達と勉強する | 8 その他 |
| 9 学校の授業以外で勉強はしない | |

問4 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間以上、30分より少ない	2時間以上、1時間より少ない	3時間以上、2時間より少ない	3時間以上
a) 月～金曜日	1	2	3	4	5	6
b) 土・日曜日・祝日	1	2	3	4	5	6

問5 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------|----------|
| 1 上のほう | 2 やや上のほう |
| 3 まん中あたり | 4 やや下のほう |
| 5 下のほう | 6 わからない |

問6 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---|-------------------|----------------|
| 1 | いつもわかる | } →問8に進んでください。 |
| 2 | だいたいわかる | |
| 3 | 教科によってはわからないことがある | |
| 4 | わからないことが多い | |
| 5 | ほとんどわからない | |

問7 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きます。

いつごろから、授業がわからないことになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | 小学1・2年生のころ | 2 | 小学3・4年生のころ |
| 3 | 小学5・6年生のころ | 4 | 中学1年生のころ |
| 5 | 中学2年生のころ | 6 | 中学3年生のころ |
| 7 | 高校1年生のころ | 8 | 高校2年生になってから |

問8 あなたは、どの学校まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|---|-----------------------|---|--------|
| 1 | 高校まで | 2 | 専門学校まで |
| 3 | 5年制の高等専門学校まで | 4 | 短大まで |
| 5 | 大学まで | 6 | 大学院まで |
| 7 | その他 | | |
| 8 | まだわからない →問10に進んでください。 | | |

※高校には、特別支援学校の高等部をふくみます。

問9 前の質問で1～7と答えた場合、その理由を教えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|--|---|---------------------|
| 1 | 希望する学校や職業、やりたいこと(学びたいこと、部活動、資格取得など)があるから | | |
| 2 | 自分の成績から考えて | 3 | 保護者や家族がそう言っているから |
| 4 | 兄・姉がそうしているから | 5 | まわりの先輩や友達がそう言っているから |
| 6 | 家にお金がないと思うから | 7 | 早く働く必要があるから |
| 8 | その他 | 9 | とくに理由はない |

問10 あなたは、学校の部活動に参加していますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|---|----------------------|---|---------|
| 1 | 参加している →問12に進んでください。 | 2 | 参加していない |
|---|----------------------|---|---------|



問1 1 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きます。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 校外のクラブ活動等に参加しているから
- 2 入りたい部活動がないから
- 3 勉強や塾・習い事が忙しいから
- 4 費用がかかるから
- 5 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
- 6 一緒に入る友達がいないから
- 7 その他

問1 2 あなたは、以下の活動をふだんのくらいしますか。(「月～金曜日」と「土・日曜日・祝日」について、それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	月～金曜日				土・日曜日・祝日			
	1日 2時間 以上	1日 1～2 時間	1日 1時間 以下	ぜんぜ んしな い	1日 2時間 以上	1日 1～2 時間	1日 1時間 以下	ぜんぜ んしな い
a) ゲームで遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7	8
b) テレビ・インターネットを見る	1	2	3	4	5	6	7	8
c) 室内でのほかの活動 (読書、室内あそびなど)	1	2	3	4	5	6	7	8
d) 公園で遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7	8
e) 家事(洗濯、掃除、 料理、片付けなど)	1	2	3	4	5	6	7	8
f) きょうだいなどの世話	1	2	3	4	5	6	7	8

問1 3 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(週7日) 毎日食べる	週5 ～ 6日	週3 ～ 4日	ない ほ い 週1 ～ 2日、 ど ど 食 べ
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問14 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間^{じかん ね}に寝ていますか。
(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 そうである | 2 どちらかといえばそうである |
| 3 どちらかといえばそうではない | 4 そうではない |

問15 あなたに困^{こま}っていることや悩^{なや}みごとがあるとき、あなたが相談^{そうだん}できると思う人はだれですか。
(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|----------|
| 1 親 | 2 きょうだい |
| 3 祖父母 ^{そふぼ} など | 4 学校の先生 |
| 5 学校の友達 ^{せんぱい こうはい} (先輩、後輩) | 6 学校外の友達 |
| 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど | |
| 8 その他の大人 ^{じゆく なら} (塾・習い事の先生、地域 ^{ちいき} の人など) | |
| 9 ネットで知り合った人 | |
| 10 だれにも相談 ^{そうだん} できない、相談 ^{そうだん} したくない | |

問16 全体として、あなたは最近^{さいきん}の生活に、どのくらい満足^{まんぞく}していますか。「0」(まったく満足^{まんぞく}していない)から「10」(十分に満足^{まんぞく}している)の数字で教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足 ^{まんぞく} していない						10 : 十分に満足 ^{まんぞく} している				
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問17 今^{いま}より満足^{まんぞく}した生活を送^{せいかつ}るために必要^{おく}なものは何^{ひつよう}だと思いますか。(1～10については、あてはまるもの最大3つまで○)

- | | |
|----|--|
| 1 | あたら ^{あたら} しいことを学 ^{まな} べたり、やりたいことにチャレンジできること |
| 2 | 自分 ^{じぶん} の自由 ^{じゆう} な時間 ^{じかん} が増 ^ふ えること |
| 3 | 自分 ^{じぶん} の自由 ^{じゆう} に使えるお金 ^か が増 ^ふ えること |
| 4 | 家族 ^{かぞく} に自分 ^{じぶん} の希望 ^{きぼう} や意見 ^{いけん} を聞 ^き いてもらえること |
| 5 | 学校 ^{がっこう} の先生 ^{せんせい} や周り ^{まわ} りの大人 ^{おとな} が自分 ^{じぶん} の状況 ^{じょうきょう} をよく分 ^わ かってくれること |
| 6 | 自分 ^{じぶん} の悩 ^{なや} みを相談 ^{そうだん} したり、話 ^{はな} せる人 ^{ひと} がいること |
| 7 | 同じ ^{おな} 悩 ^{なや} みを抱 ^{かか} える人 ^{ひと} と話 ^{はな} せる場 ^ば があること |
| 8 | 家事 ^{かじ} やきょうだいなどの世 ^せ 話 ^わ をしてくれる人 ^{ひと} がいること |
| 9 | 今 ^{いま} の生活 ^{せいかつ} を変 ^か えたくない |
| 10 | その他 |
| 11 | 特 ^{とく} にない |

問18 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのこの半年くらいのことを考えて答えてください。(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
d) 私は、一人でいることが多い。集団でいるより一人を好む。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だち（先輩・後輩）が一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢のだいたいの子供から好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になりやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじわるされたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまい。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問19 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	利用 した こと が あ る	利用したことはない			
		あ れ ば 利 用 し た い と 思 う	い た い と 思 わ な い	今 後 も 利 用 し な い	今 後 利 用 し た い か ど う か 分 か ら な い
a) (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所(図書館、地域の交流スペースなど)	1	2	3	4	
b) (自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)	1	2	3	4	
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4	
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談をふくむ。)	1	2	3	4	

問20 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きます。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみなことが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

相談・支援機関に対する調査

香川県子どもの生活状況調査 回答票

I 相談状況について

※ 相談の内容を問わず、あなた（貴団体）が受ける相談状況全般の概要についてお答えください。

1 あなた（貴団体）は、次のどれに該当しますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|------------|-----------|----------|
| 1 保育所・幼稚園 | 2 SC・SSW | 3 教育支援機関 | 4 高等学校 |
| 5 母子・父子自立支援員 | 6 福祉事務所 | 7 児童相談所 | 8 児童福祉施設 |
| 9 民生委員・児童委員 | 10 社会福祉協議会 | 11 NPO 法人 | |

2 あなた（貴団体）が受けている相談の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数（延べ）	件	件	件
相談人数（実人数）	人	人	人
従来から多くある相談内容			
最近増加傾向にある相談内容			
すべての相談のうち、相談から支援（他機関へのつなぎは含まず）に至る割合	約	%程度（おおよそで結構です）	
すべての相談のうち、他機関へのつなぎに至る割合	約	%程度（おおよそで結構です）	

II 相談の背景に貧困を伴うと考えられる案件について

※ あなた（貴団体）が受ける相談のうち、背景に貧困を伴うと考えられる案件の概要、全般的傾向についてお答えください。なお、相談の主な内容が経済的な困窮でない場合でも、その他の状況から貧困を伴っていると考えられる案件も含めてお答えください。

すべての相談（実人数）のうち、背景に貧困を伴うと考えられる相談の割合	約	%程度（おおよそで結構です）	
上記のうち、子どものいる世帯の割合	約	%程度（おおよそで結構です）	
貧困を伴う案件数の近年の傾向	あてはまるもの一つに○をつけてください。 1 増加 2 減少 3 変化なし 4 わからない		
世帯が経済的に困窮している要因	主なものに○をつけてください。（※いくつでも） 1 不就労 2 非正規雇用 3 ひとり親 4 病気 5 障害 6 借金 7 浪費 8 多子 9 外国人 10 その他（ ）		

Ⅲ 背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯について

※ これまで実際に相談を受けた、背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯の全般的傾向についてお答えください。相談の主な内容が経済的な困窮でない場合でも、その他の状況から貧困を伴っていると考えられる案件も含めてお答えください。

背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯に多く見られる困難な状況等	主なものに○をつけてください。(※いくつでも) 1 不登校 2 退学 3 虐待 4 いじめ 5 素行不良 6 学力の不足 7 進学の断念 8 医療機関未受診 9 不衛生(入浴しない、洗濯しない、ごみの放置等) 10 食育不全(欠食、栄養不足) 11 孤食 12 給食費等未払 13 学用品等を購入できない 14 学校行事(修学旅行等)の参加断念 15 地域からの孤立
①上記についての具体的事項	
②上記以外で、その他特徴的な事項	
他機関を経由してあなた(貴団体)へ相談に来た場合の経由機関	主なものに○をつけてください。(※いくつでも) 1 保育所・幼稚園等 2 小学校・中学校(SC、SSWを含む。) 3 高等学校・専門学校等(SC、SSW等を含む。) 4 市役所または町役場 5 福祉事務所 6 児童相談所 7 母子・父子自立支援員 8 民生委員・児童委員 9 社会福祉協議会 10 ハローワーク 11 医療機関 12 NPO法人 13 その他()
あなた(貴団体)から他機関へつないだ場合のつなぎ先	主なものに○をつけてください。(※いくつでも) 1 保育所・幼稚園等 2 小学校・中学校(SC、SSWを含む。) 3 高等学校・専門学校等(SC、SSW等を含む。) 4 市役所または町役場 5 福祉事務所 6 児童相談所 7 母子・父子自立支援員 8 民生委員・児童委員 9 社会福祉協議会 10 ハローワーク 11 医療機関 12 NPO法人 13 その他()
他機関と連携する際の問題点	
その他、子どものいる貧困世帯を支援する際の問題点や支援施策の活用における問題点	

Ⅳ 子どもの貧困対策にかかる支援について

※ あなた（貴団体）が受けた相談のうち、実際に支援を行った（または他機関につないだ）案件について、各種支援施策の利用状況等をお答えください。

「利用状況」欄には、次の1～6の番号のうち、あてはまるものを一つ記載してください。

- 1 相談者が利用した または 利用できるよう他機関につないだ
- 2 利用を検討したが、要件に合致せず、まったく利用したことがない
- 3 相談者に制度の周知のみを行った
- 4 該当するかどうか不明な案件であったため、周知を行っていない
- 5 該当する案件がなく、制度の利用や周知、他機関へのつなぎを行ったことがない
- 6 制度を知らない

「利用状況」欄で「1 相談者が利用した または 利用できるよう他機関につないだ」を選択した場合、「利用効果」欄に、次の1～5の番号のうち、あてはまるものを一つ記載してください。

- 1 状況改善に非常に効果があった
- 2 状況改善に少し効果があった
- 3 あまり効果がなかった
- 4 利用期間が短く、効果はまだわからない
- 5 他機関へつないだ等の理由により、相談後は関与しておらず、効果はわからない

各種支援施策	利用状況	利用効果	効果がなかった理由 (利用効果3を選択した場合)	支援策の改善点として 考えられること
① SC・SSW等への相談				
② 保育所や幼稚園の利用料の減額や免除				
③ 小中学校の就学援助、特別支援教育就学奨励費				
④ 高等学校等就学支援金 (高等学校の授業料支援)				
⑤ 修学資金等の貸付、奨学金				
⑥ 住居確保給付金				
⑦ 生活保護				

各種支援施策	利用 状況	利用 効果	効果がなかった理由 (利用効果3を選択した場合)	支援策の改善点として 考えられること
⑧ 児童扶養手当や障害・難病の手当(特別児童扶養手当等)				
⑨ 高等職業訓練促進給付金又は貸付金、自立支援教育訓練給付金				
⑩ ハローワーク等での就労サポート				
⑪ 地域による食事支援(子ども食堂等)				
⑫ 生活困窮世帯、ひとり親家庭等への学習支援				
⑬ 地域による学習支援(放課後子供教室等)				
⑭ 公的機関窓口(市役所、町役場、福祉事務所、児童相談所等)での相談				
⑮ 公的機関の電話、メール、SNSでの相談				
⑯ 子どもの一時預かり(放課後児童クラブ、幼稚園や保育所の延長保育等)				
⑰ 病児・病後児保育				
⑱ ホームヘルパーによる一時的な育児・家事の援助(子育てホームヘルプサービス)				
⑲ その他 ()				
⑳ その他 ()				

ご協力、ありがとうございました。

香川県子どもの生活状況調査報告書

令和6年8月

香川県 健康福祉部 子ども政策推進局 子ども政策課

〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1番10号

TEL 087-832-3282 FAX 087-806-0207

E-mail kosodate@pref.kagawa.lg.jp